

「コロナ禍における高齢者の意識や行動等についての実態調査」
報告書

2022（令和4）年3月

公益財団法人 いきいき岩手支援財団

【目 次】

I	調査概要	1
1.	テーマ	1
2.	目 的	1
3.	調査実施時期・方法	1
4.	調査対象・調査項目の概要	1
5.	調査実施の方法	1
6.	アンケートの配布数と回収数	1
7.	結果の公表	2
II	単純集計結果	3
1.	アンケート実施範囲と回答者属性（問 1）	3
2.	現在の日常生活（問 2）	9
3.	昨年と比べた現在の外出頻度（問 3）	11
4.	昨年と比べた場合の収入の増減（問 4）	15
5.	コロナ禍で困ったこと、現在困っていること（問 5）	16
6.	コロナ禍で時間が増えたもの（問 6）	17
7.	コロナ禍で生活に取り入れたこと、やってみたこと（問 7）	18
8.	仕事の重要性に関する意識の影響（問 8）	19
9.	社会とのつながりの重要性に関する意識の影響（問 9）	20
10.	ワーク・ライフ・バランスに対する意識の影響（問 10）	21
11.	現在の健康状態（問 11）	22
12.	新型コロナウイルス感染症による生活の変化（問 12）	31
13.	新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合、心配に感じる事（問 13）	32
14.	今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合、支援策として行政機関等を実施してほしい施策（問 14）	33
15.	新型コロナウイルス感染症に関する意見（問 15）	34

Ⅲ	クロス集計結果	35
1.	分析に当たって	35
2.	現在の日常生活について（問2）	36
3.	昨年と比べた外出頻度について（問3）	41
4.	生活面でのコロナの影響について（問4～問7）	53
5.	意識面でのコロナの影響について（問8～問10）	69
6.	健康面でのコロナの影響について（問11）	75
7.	コロナ禍における今後の日常生活について（問12～問13）	91
8.	行政機関等に望む対策・取り組みなどについて（問14～15）	98
Ⅳ	まとめ（総合的考察）	106
1.	クロス集計等の分析結果を踏まえた小括	106
2.	クロス集計の分析結果を踏まえた小括	108
3.	追加的な分析	109
4.	総合的考察	117
5.	むすび	118
Ⅴ	資料	119
1.	自由記述回答	119
2.	調査票	134

I 調査概要

1. テーマ

コロナ禍における高齢者等の意識や行動等についての実態調査

2. 目的

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下において、岩手県内では6月に従来株より感染力の強いアルファ株にほぼ置き換わっており、その後はさらに感染力が強いとされるデルタ株により、これまで以上に感染拡大の進行が危惧されている。

このような中において、高齢者等の日常生活に関する心配事や、外出自粛による健康や日常生活全般への影響などについて、その現状等を把握することが重要である。

これらのことから、本調査においてコロナ禍での高齢者等における生活全般に係る意識や行動等の状況を明らかにすることにより、今後の各支援策等策定の際の資料として提示することなどを目的とする。

3. 調査実施時期・方法

- (1) 実施時期 令和3年10月～令和4年3月
- (2) 実施方法 郵送等によるアンケート調査とする。

4. 調査対象・調査項目の概要

(1) 調査対象	○県内各地域の計1,500世帯 ・各地域の老人クラブ・・・700世帯分 ・各地域の包括支援センター利用世帯・・・700部 ・その他・・・100部
(2) 調査項目 の概要	○生活面でのコロナの影響について ○意識面でのコロナの影響について ○健康面でのコロナの影響について ○その他必要と認められる事項

5. 調査実施の方法

- ・調査は、岩手県立大学社会福祉学部宮寺良光研究室と連携して行うこととし、調査票については当財団が作成することとする。
- ・調査対象（協力依頼先）へは財団からの郵送とする。
- ・集計は専門機関へ依頼することとし、分析・報告書取りまとめは岩手県立大学社会福祉学部宮寺良光准教授に依頼する。

6. アンケートの配布数と回収数

配布数	回収数	回収率
1,500	794	52.9%

7. 結果の公表

調査結果は、報告書を作成のうえ財団ホームページで公表するとともに、県長寿社会課及び協力頂いた関係者へ提供することとし、今後の高齢者等施策にも反映させるものとする。

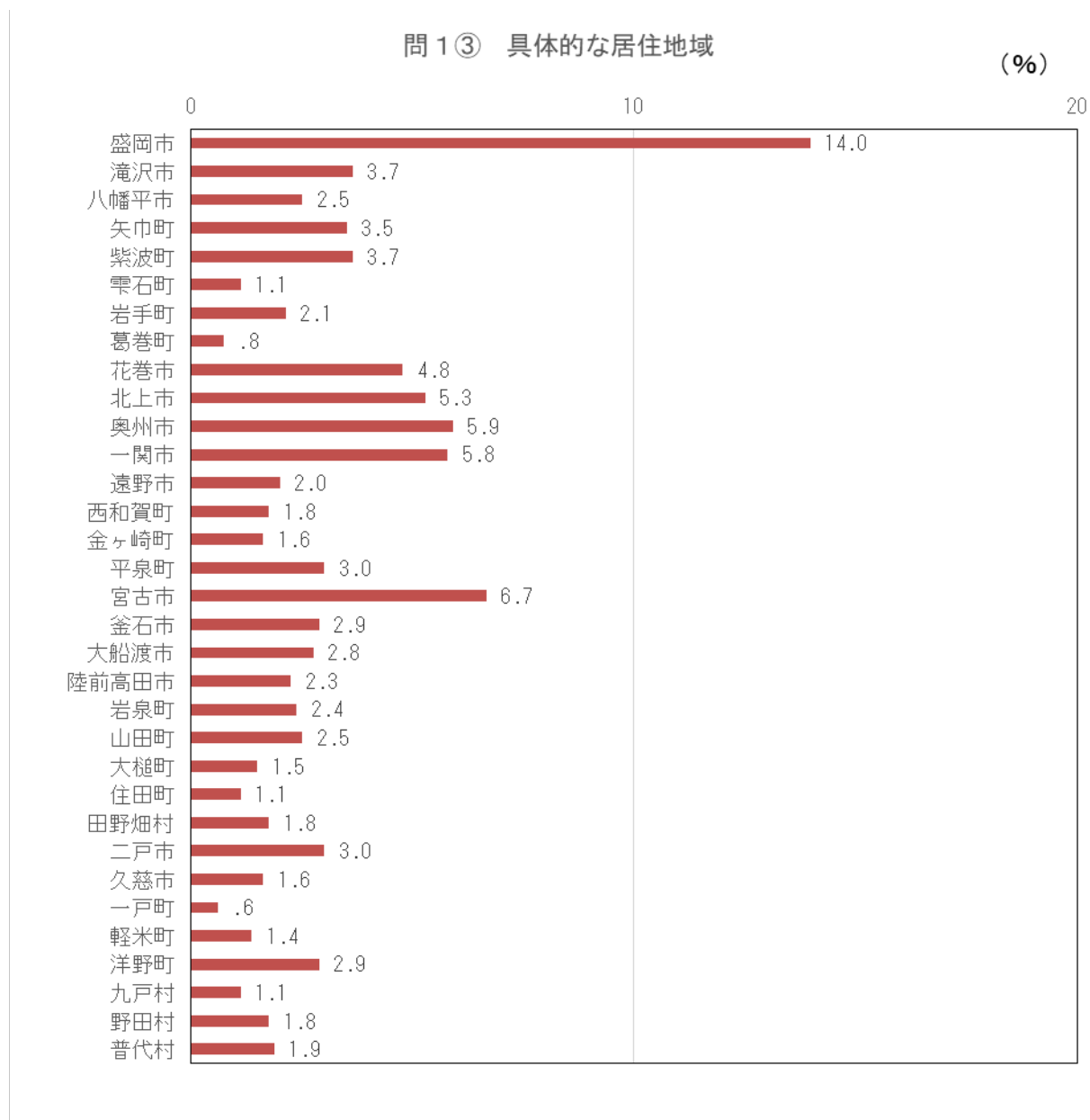
Ⅱ 単純集計結果

1. アンケート実施範囲と回答者属性（問1）

（1）市町村別

岩手県内の市町村の居住者対象に、「コロナ禍における高齢者の意識や行動等についてのアンケート調査」を紙面で実施した。市町村ごとの回答比率は下記のようなものである。

市町村の回答比率を比べると、「盛岡市」がもっとも高く、2番目には「宮古市」が高い。次に高いのは「奥州市」、「一関市」、「北上市」、「花巻市」の順である。



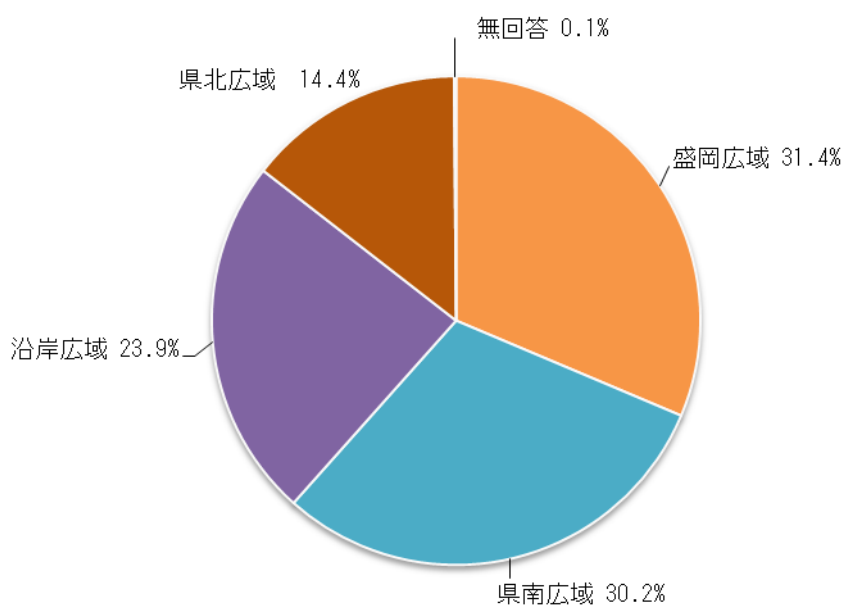
(2) 地域別

例年の調査と同じように、岩手県内を「盛岡広域」、「県南広域」、「沿岸広域」、「県北広域」の4地域に大きく分けて分析した。市町村の4地域分類は下記のとおりである。



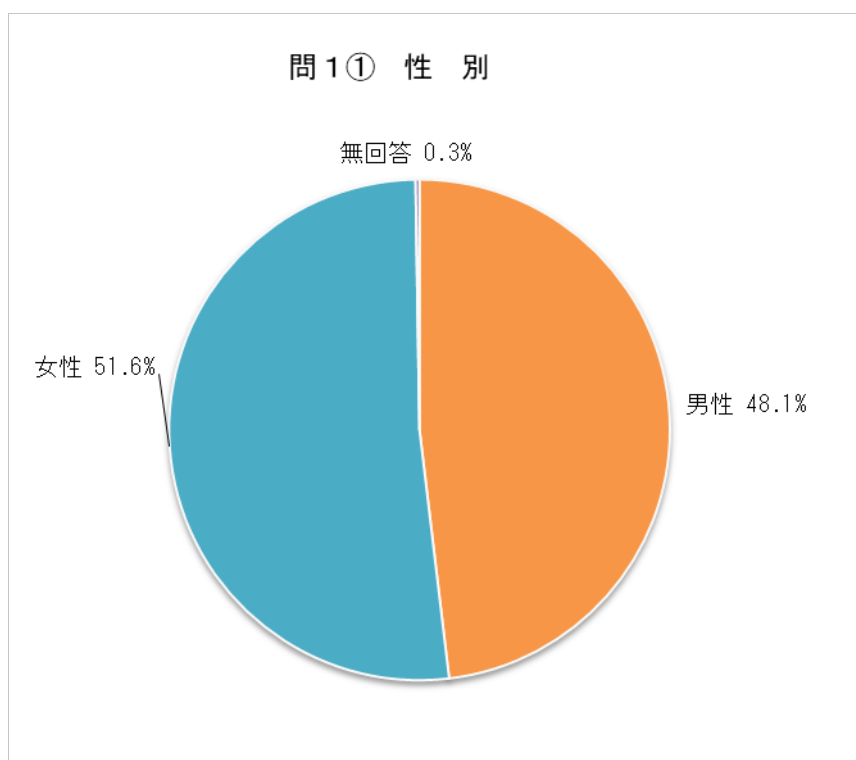
「コロナ禍における高齢者の意識や行動等についてのアンケート調査」に協力回答してくれた人は、794名である。前記に示した4地域の回答者を調べると、「盛岡広域」がもっとも多く31.4%を占め、次に多いのは「県南広域」の30.2%である。

問1③ 居住地域

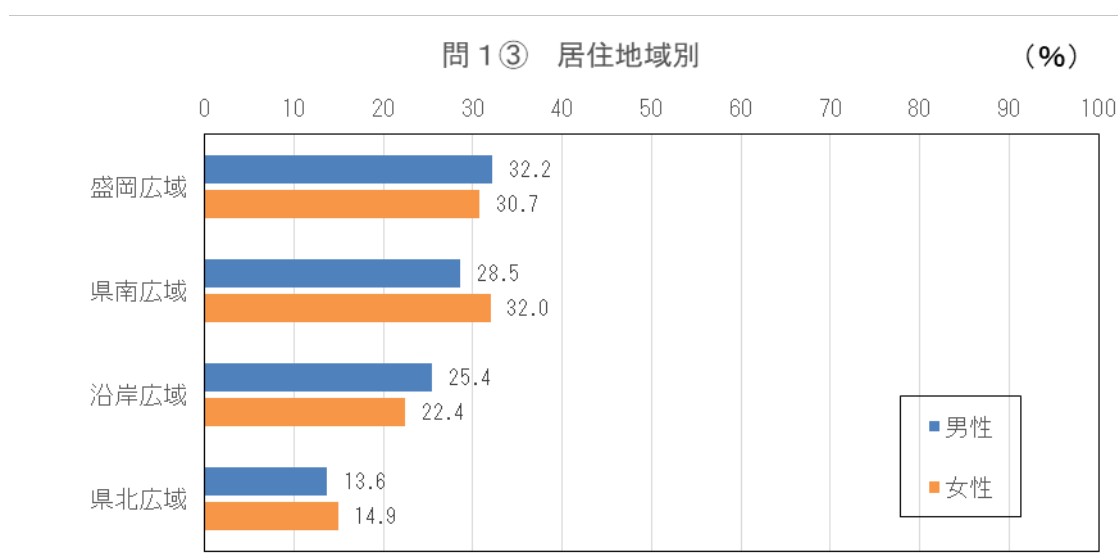


(3) 性別

回答者の男女比を比べると、「男性」48.1%、「女性」51.6%で、女性の比率がわずかに高いが、ほぼ男女半々の回答を得られた。

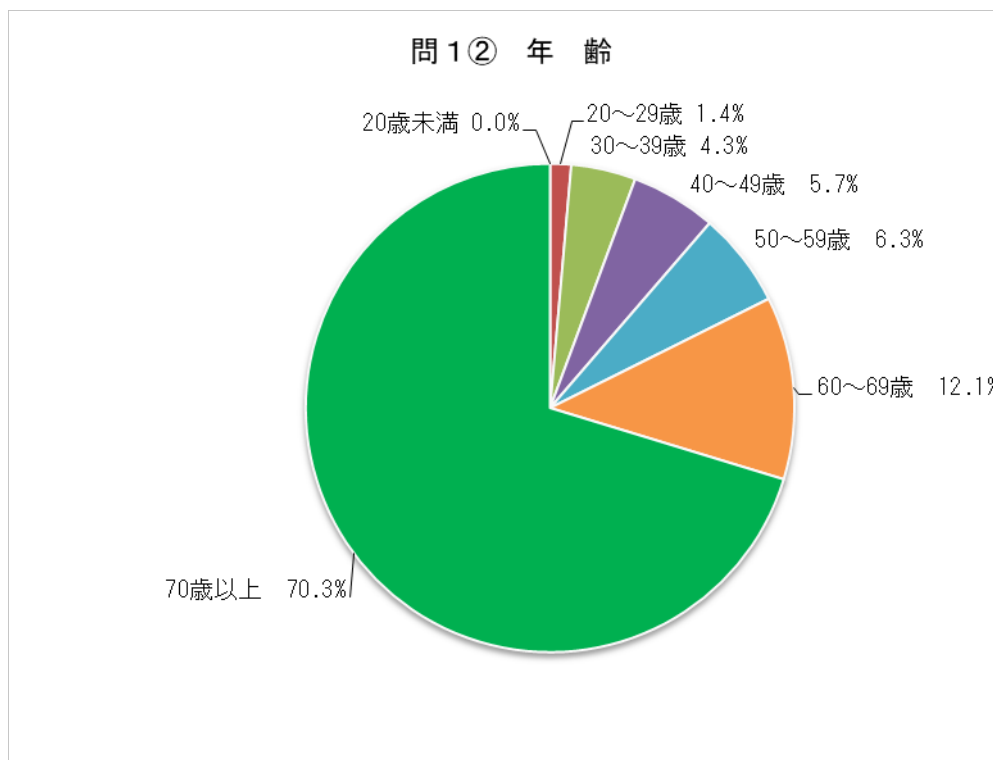


4地域の男女別の比率を比べると、大きな差はみられない。その中で「県南広域」、「県北広域」は女性の比率が若干高く、「盛岡広域」、「沿岸広域」は男性比率がわずかに高くなっている。

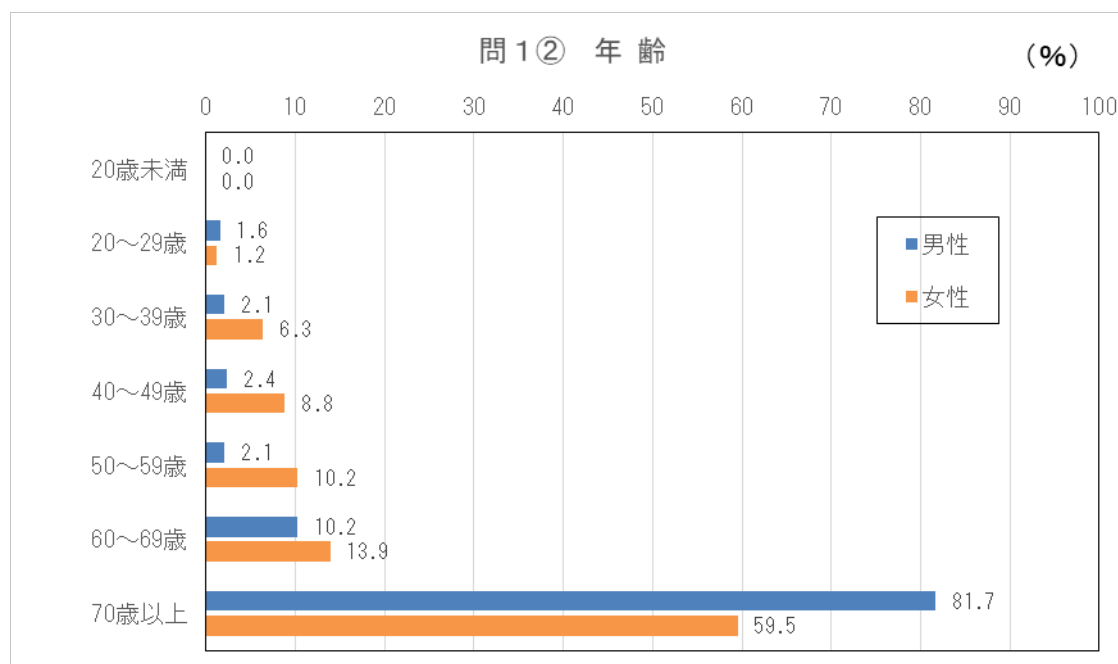


(4) 年齢階級別

回答者の年齢を調べると、「70 歳以上」が多く全体の 70.3%を占めている。次に多いのは「60～69 歳」12.1%である。

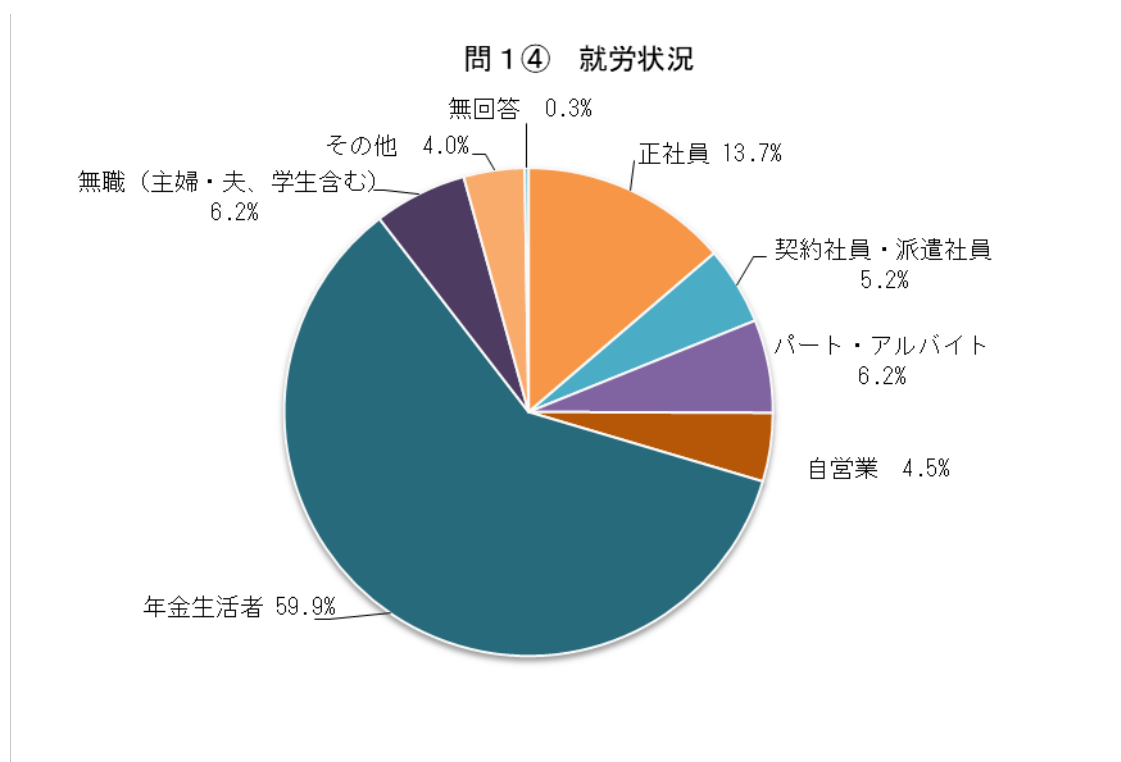


年齢構成を男女別にみると、回答者の多くを占める「70 歳以上」の比率は男性の比率が高く大きな差がみられる。他の年代では女性の比率が高い。

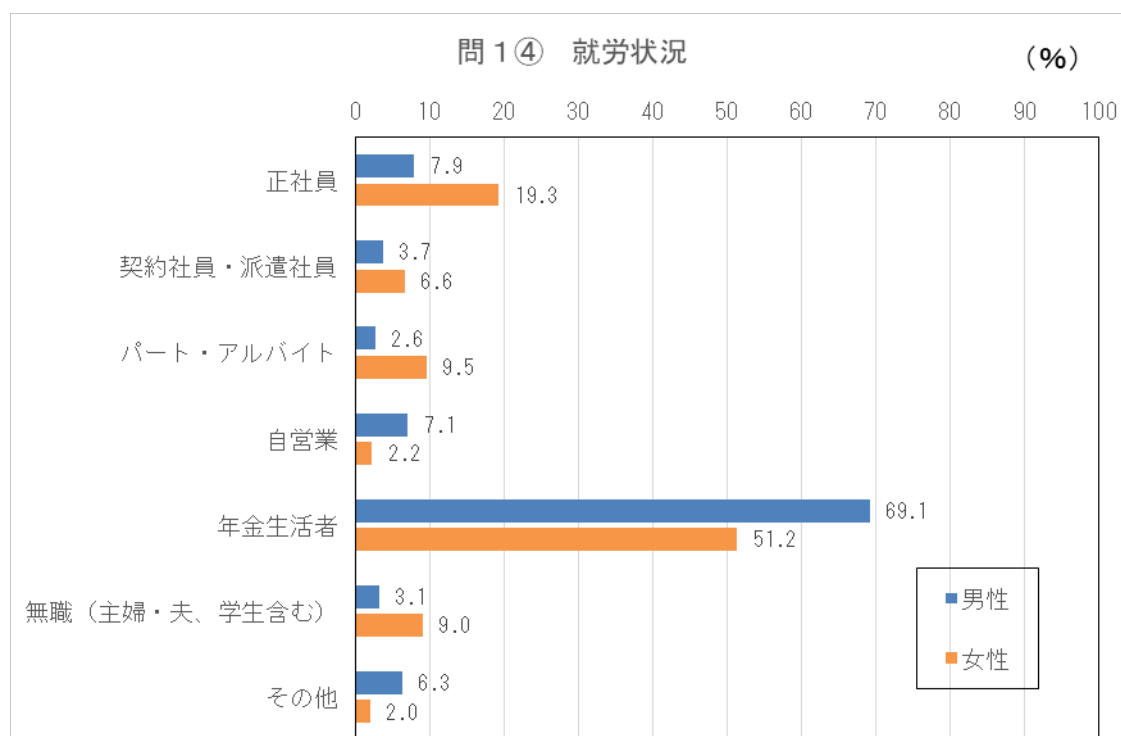


（５）就労状況別

回答者の就労状況をみると、６割が「年金生活者」である。次に多いのが「正社員」で 13.7%である。



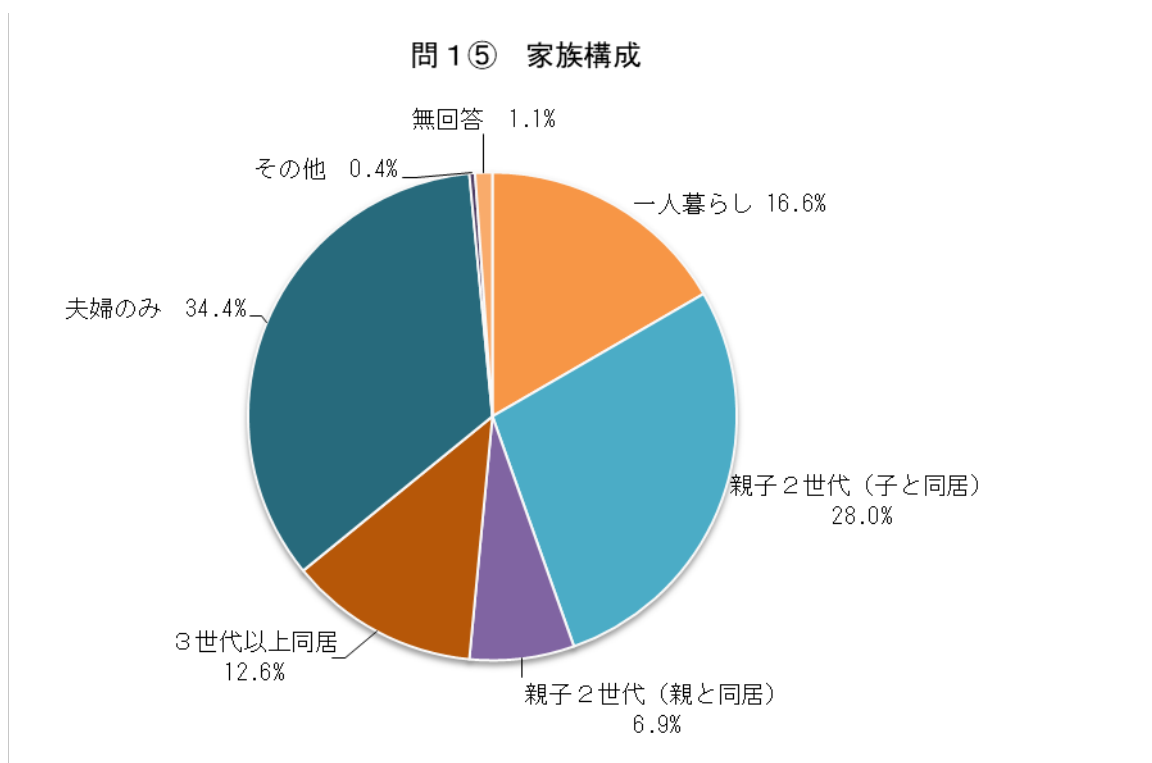
就労状況を男女別にみると、多くを占める「年金生活者」は男性のほうが高く、大きな差がみられる。「正社員」は女性のほうが高く、差がみられる。



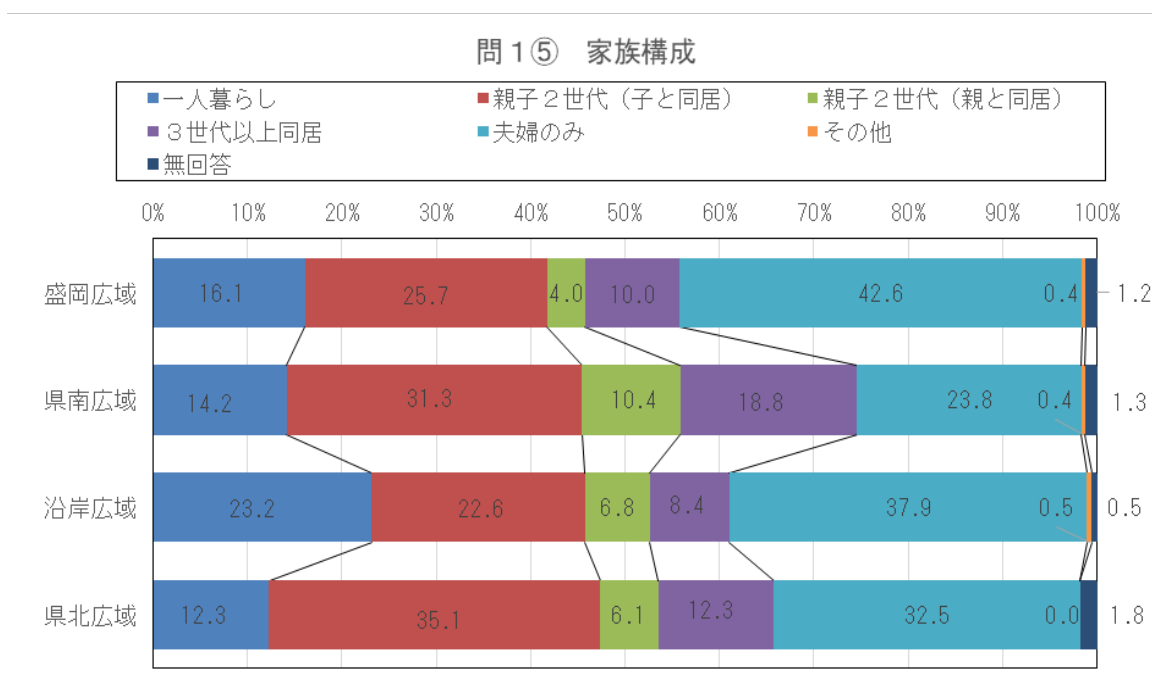
※「その他」の内訳は、「農家・農業・農漁業」が 16 件（うち、男性 13、女性 3）、「農業・漁業＋年金生活」が 4 件（うち、男性 4、女性 0）、ほか 10 件（男性が、臨時団体職員、生活保護、常勤嘱託職員、市議会議員、エキスパート社員、福祉団体の運営、河川漁協事務所。女性が、常勤職員、定年後再雇用 1 年契約、シルバー人材センター）である。

（６）家族構成別

家族構成をみると、「夫婦のみ」がもっとも高く、次に高いのは「親子２世代（子と同居）」である。



家族構成を４地域別に比べると、「夫婦のみ」については「盛岡広域」、「沿岸広域」の比率が他の地域より高い。「親子２世代（子と同居）」については「県北広域」、「県南広域」の率が他の地域より高くなっている。「一人暮らし」については「沿岸広域」の率が他の地域より高い傾向にある。

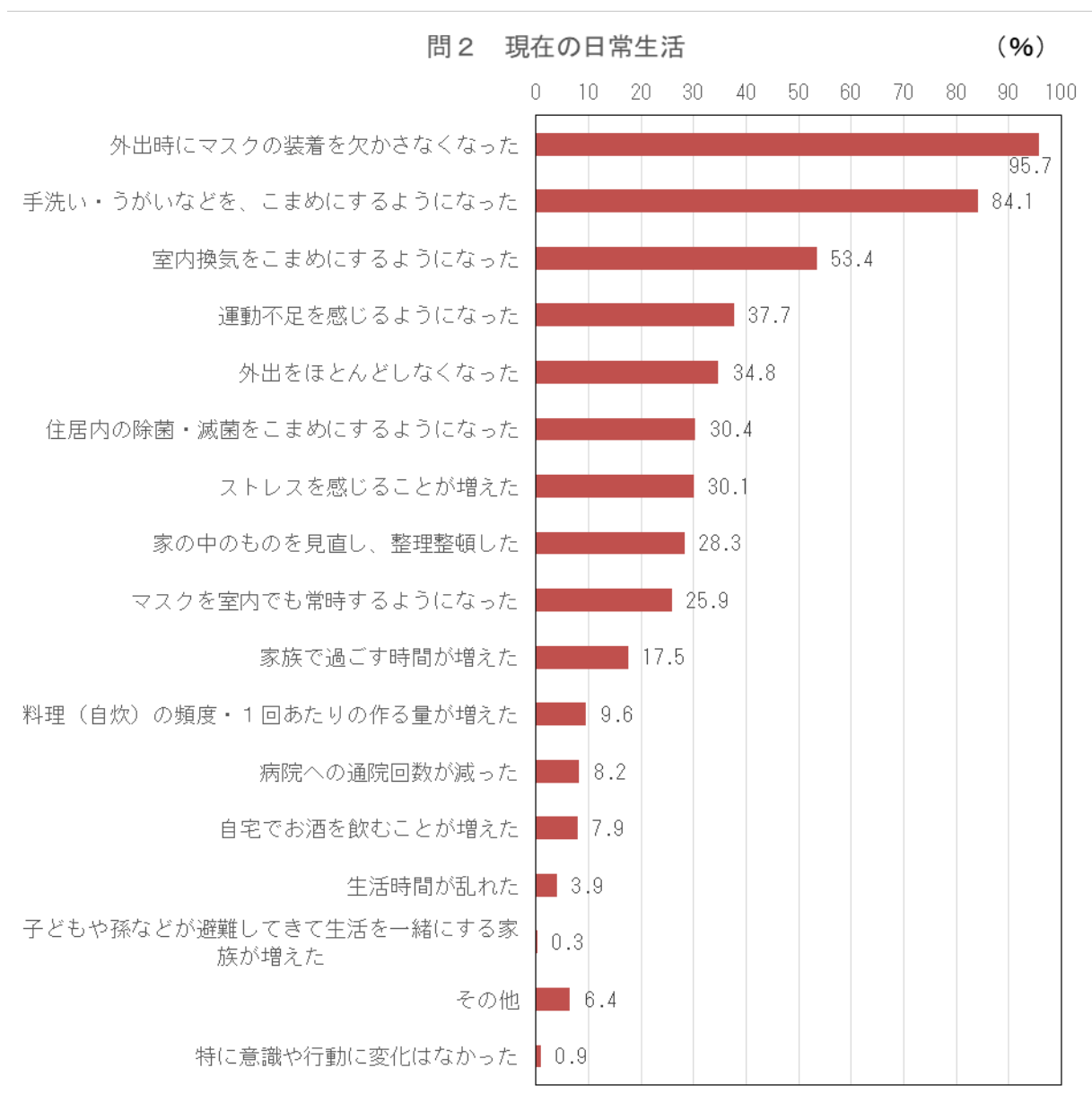


2. 現在の日常生活（問2）

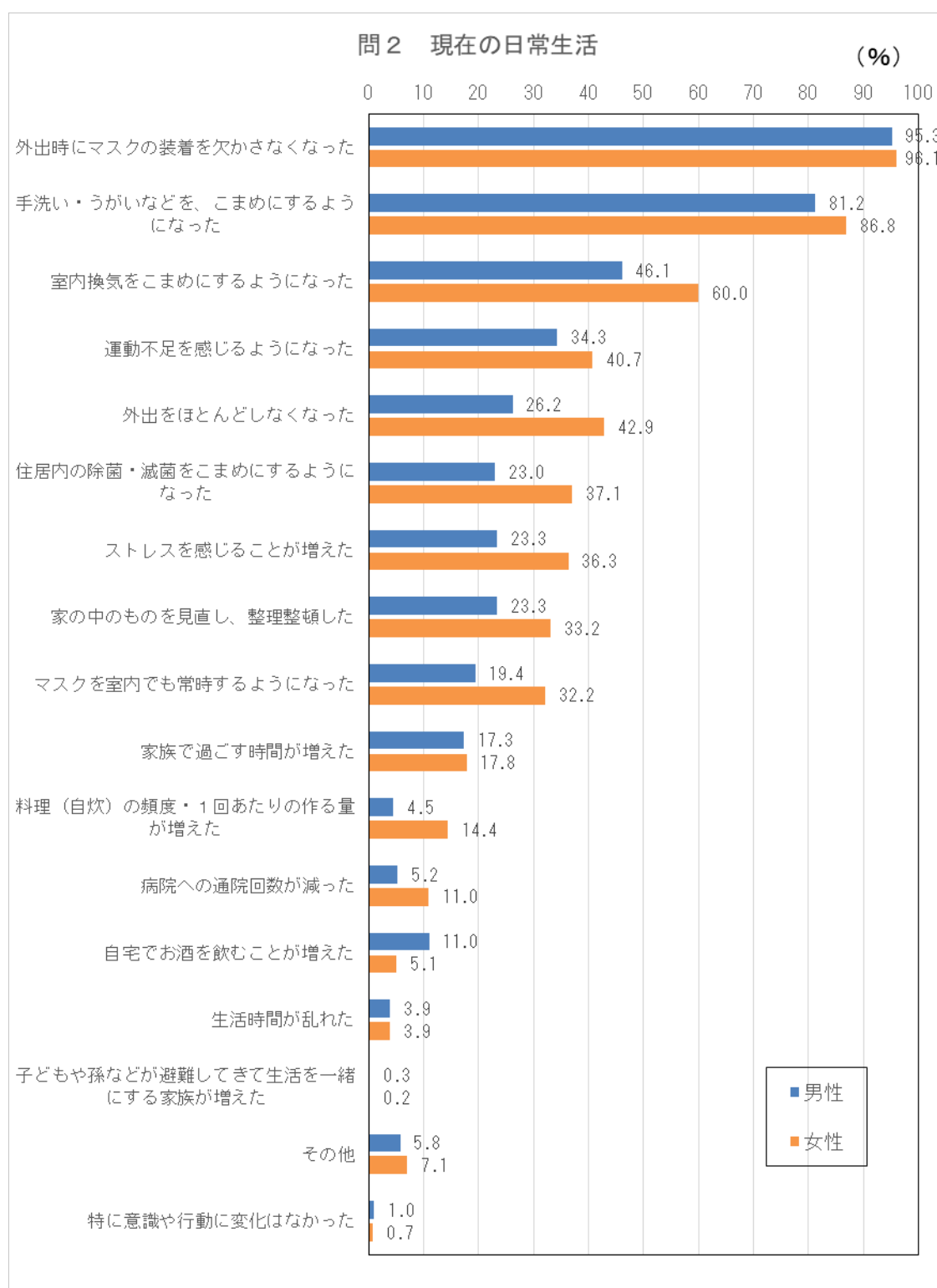
現在の日常生活において当てはまるものについて質問した。

もっとも高いのは「外出時にマスクの装着を欠かさなくなった」で、ほぼ全員の人があげている。次に高いのは「手洗い、うがいなどを、こまめにするようになった」で8割以上の人があげている。このほかに高いのは「室内換気をこまめにするようになった」で、半数以上の人があげている。上位3つは新型コロナウイルス対策のために奨励されていることである。

新型コロナウイルス対策のために行っている以外で高いのは、「運動不足を感じるようになった」、「外出をほとんどしなくなった」、「住居内の除菌・滅菌をこまめにするようになった」、「ストレスを感じるが増えた」で、3割を超えている。



現在の日常生活において当てはまるものを男女別にみると、全体で10%以上回答があった項目の中で「外出時にマスクの装着を欠かさなくなった」、「家族で過ごす時間が増えた」以外は、女性のほうが男性より率は高く大きな差がみられる。



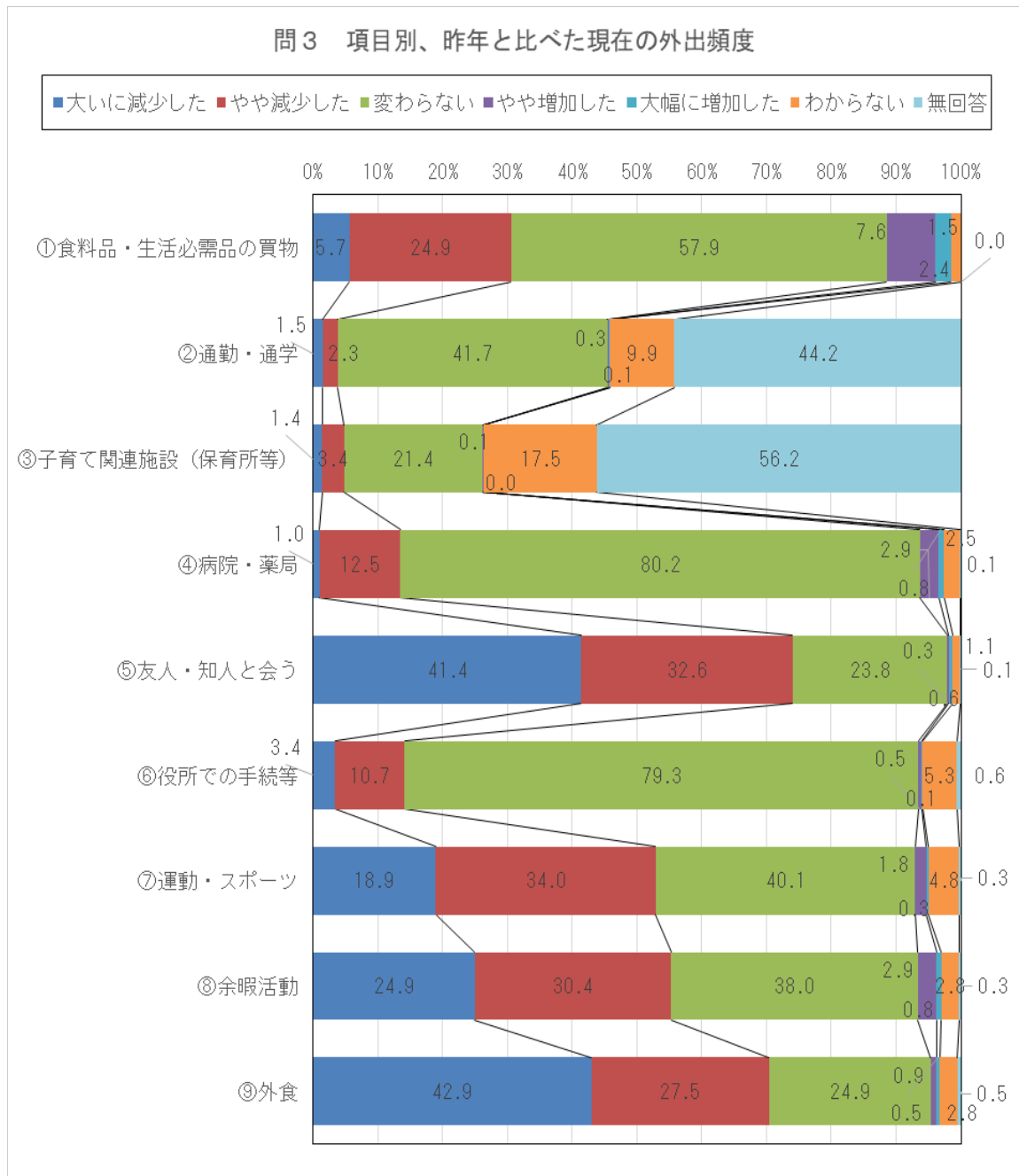
3. 昨年と比べた現在の外出頻度（問3）

9項目について昨年と比べた外出頻度を調べた。

「大いに減少した」率が高いのは、「⑨外食」、「⑤友人・知人と会う」である。次に高いのは「⑧余暇活動」、「⑦運動・スポーツ」である。

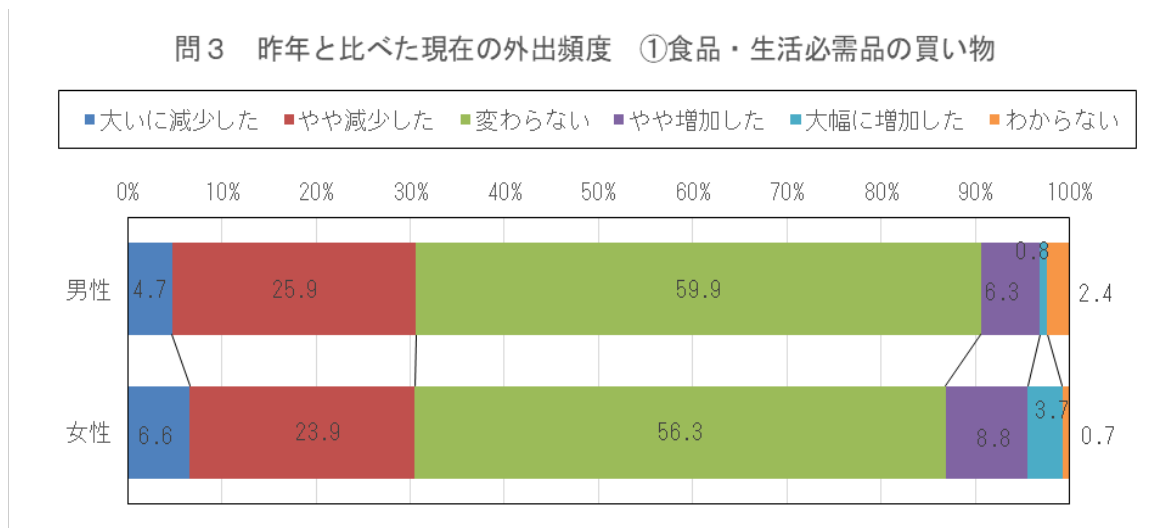
「大いに減少した＋やや減少した」の率を比較すると、やはり「⑤友人・知人と会う」、「⑨外食」が高い。率は「⑤友人・知人と会う」のほうが高い。

「変わらない」率が高いのは、「④病院・薬局」、「⑥役所での手続き等」で、8割の人があげている。

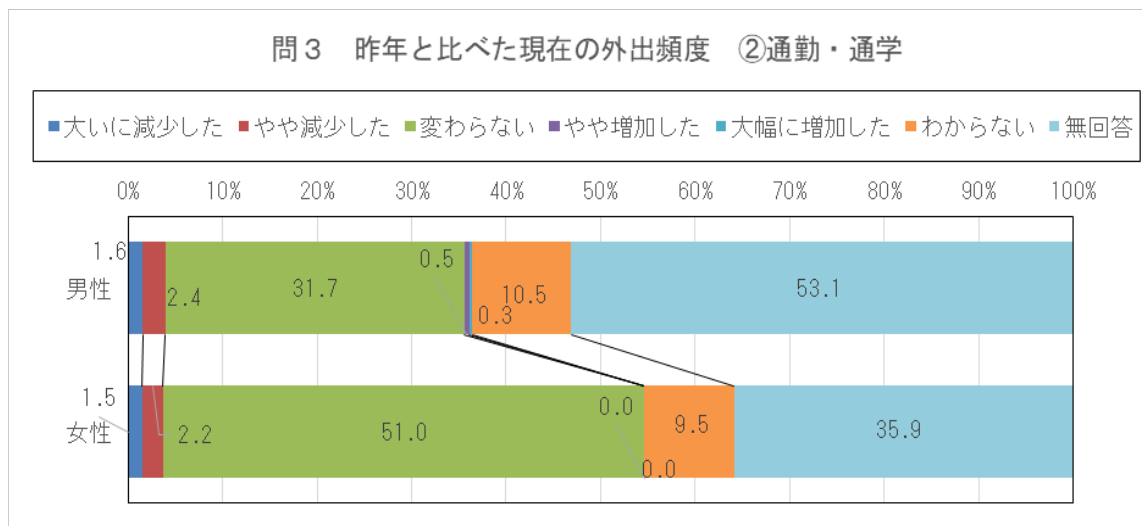


男女別に各項目を比較した。

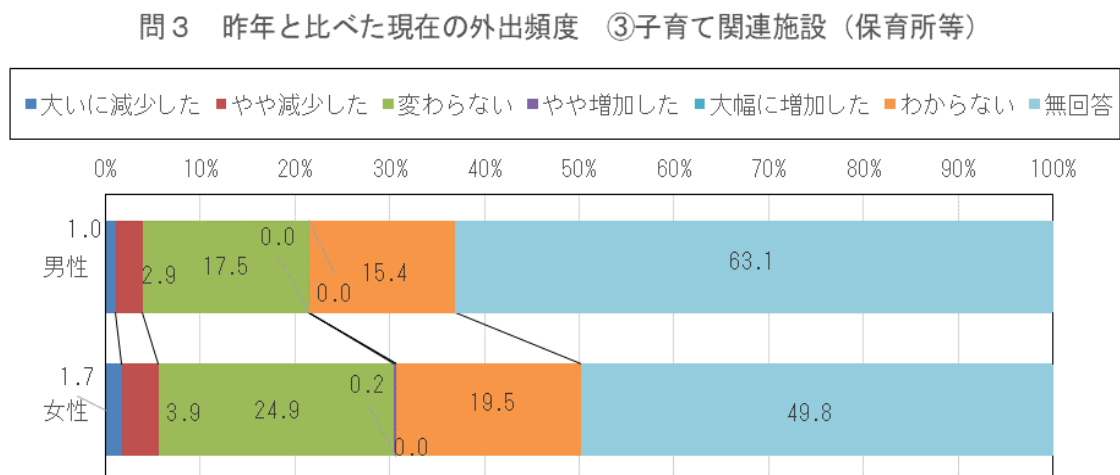
「①食品・生活必需品の買い物」の「大いに減少した＋やや減少した」率には男女差がない。「やや増加した＋大幅に増加した」率は若干女性のほうが高い。



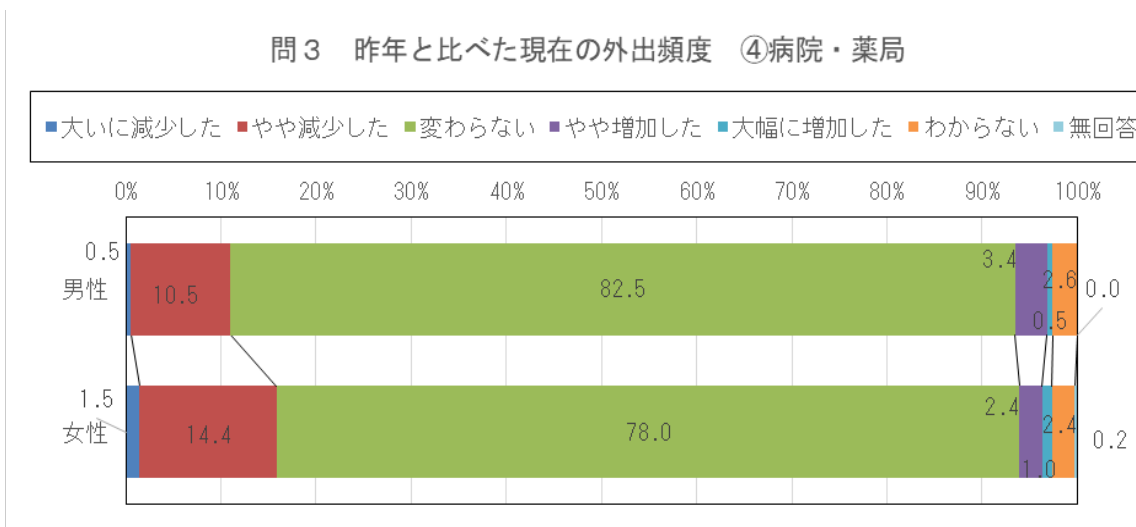
「②通勤・通学」については、回答者が「年金生活者」が多いため「無回答」の率が高い。その中で減った人、増えた人の率には差がない。女性の半数は「変わらない」と回答し、男性より率は高く差がみられる。



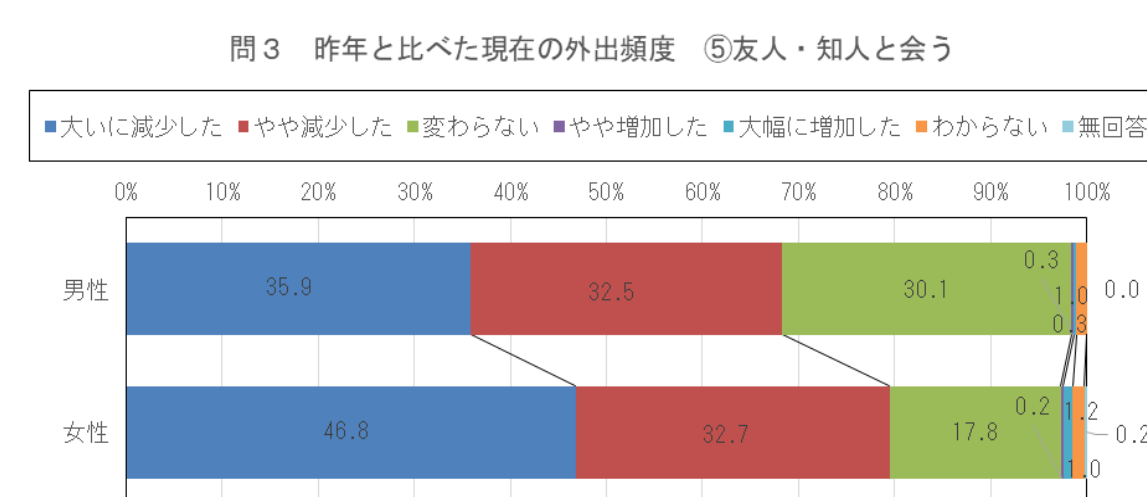
「③子育て関連施設（保育所等）」についても上記と同じ理由で「無回答」が多い。その中で「大いに減少した＋やや減少した」、「やや増加した＋大幅に増加した」率とも女性が高い。



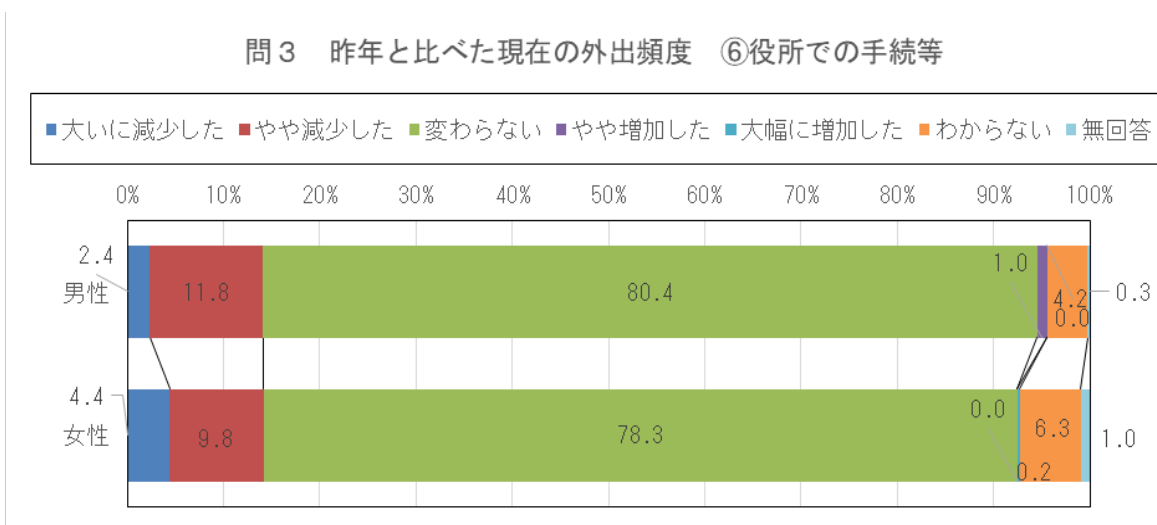
「④病院・薬局」については、「変わらない」率が高い。その中で「大いに減少した+やや減少した」率は女性のほうが若干高い。



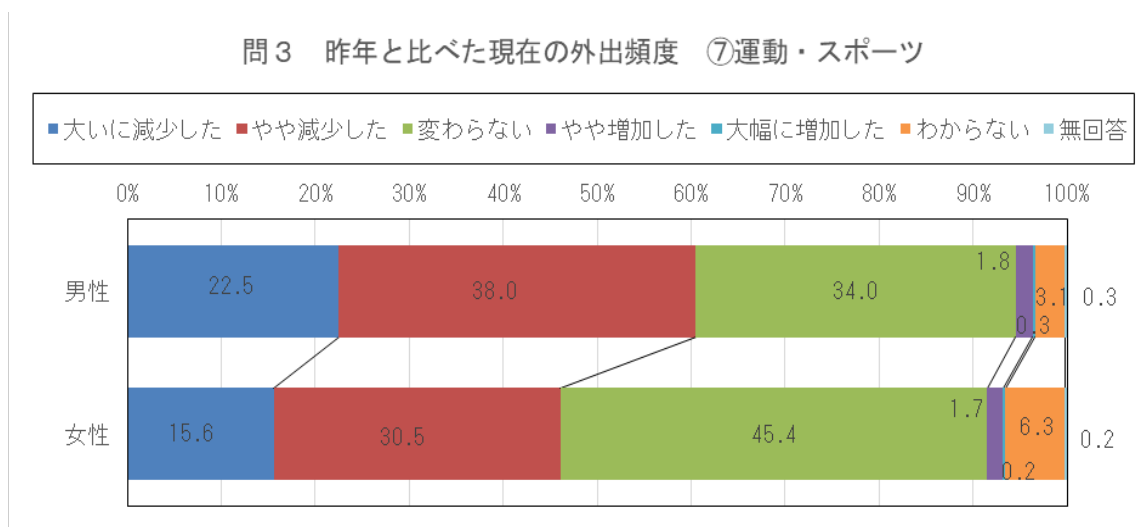
「⑤友人・知人と会う」については、「大いに減少した」率が女性のほうが非常に高く大きな差がみられる。



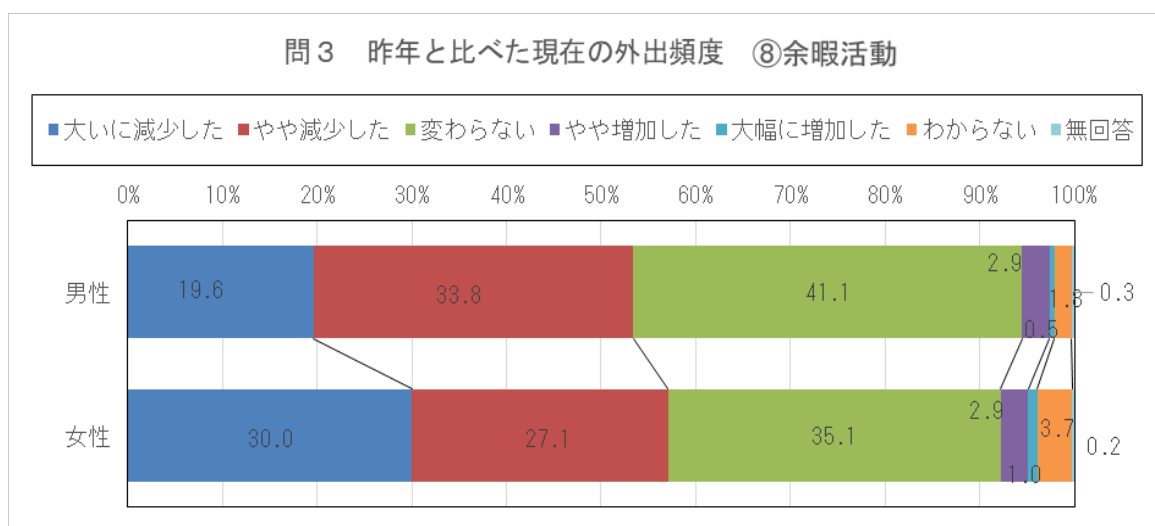
「⑥役所での手続き等」については、「変わらない」率が高い。その中で「大いに減少した+やや減少した」率には差がない。



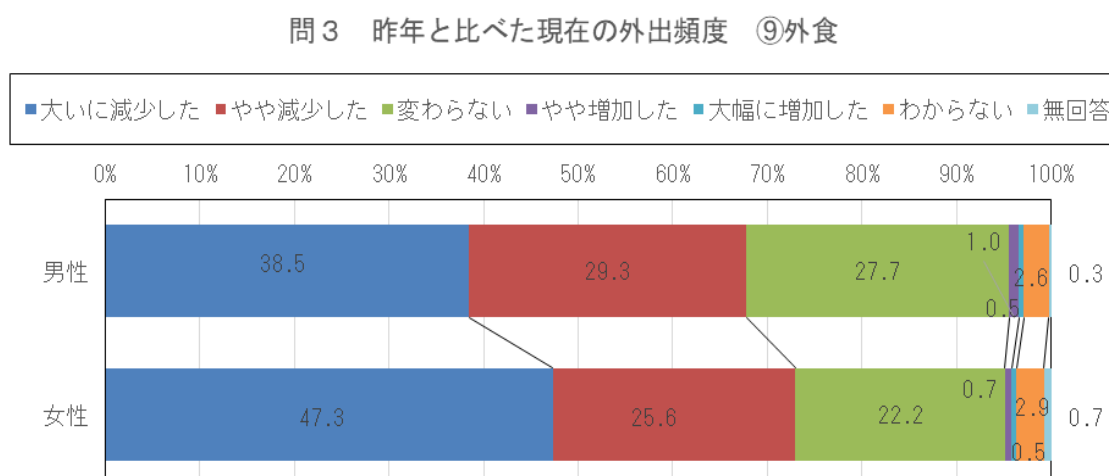
「⑦運動・スポーツ」について、「大いに減少した＋やや減少した」率は男性のほうが女性より高い。個々に「大いに減少した」、「やや減少した」率を比較しても男性のほうが高い。



「⑧余暇活動」について、「大いに減少した＋やや減少した」率は女性のほうが男性よりわずかに高い。個々に「大いに減少した」、「やや減少した」率を比較すると、「大いに減少した」率は女性のほうが高く、「やや減少した」率は男性のほうが高い。

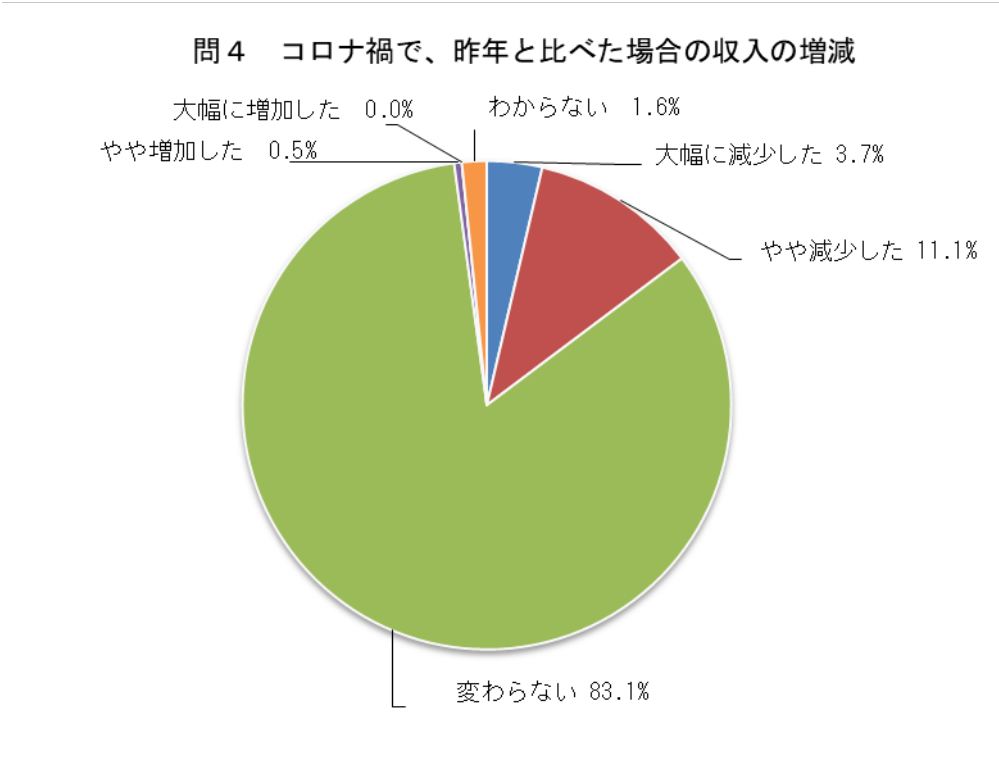


「⑨外食」について、「大いに減少した＋やや減少した」率は女性のほうが男性より若干高い。「大いに減少した」率が男性より女性のほうが高く、大きな差がみられる。

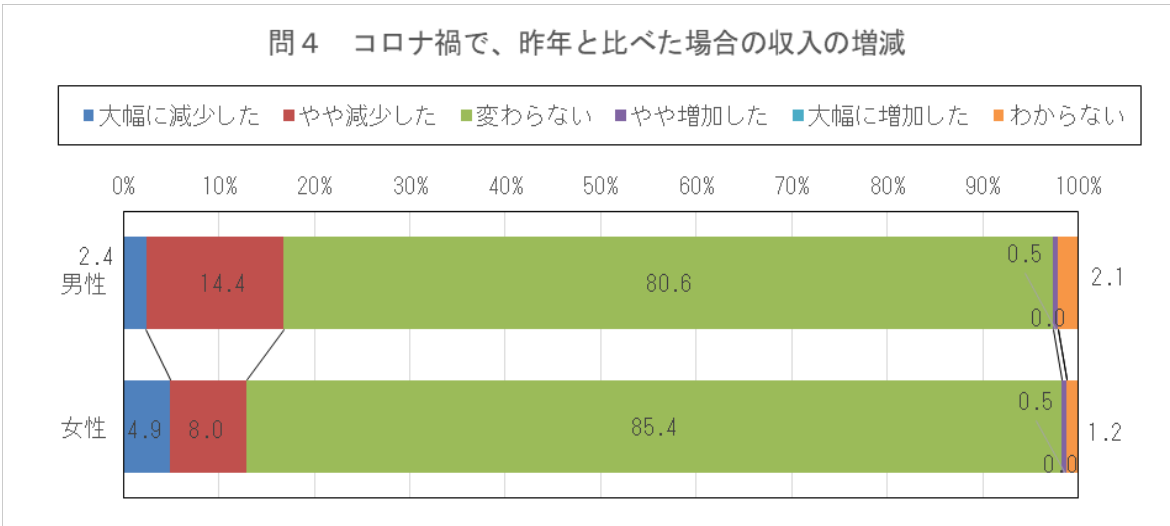


4. 昨年と比べた場合の収入の増減（問4）

昨年と比べた場合の収入の増減について調べると、8割強の人が「変わらない」と回答している。次に高いのは「やや減少した」率で、1割強の人があげている。

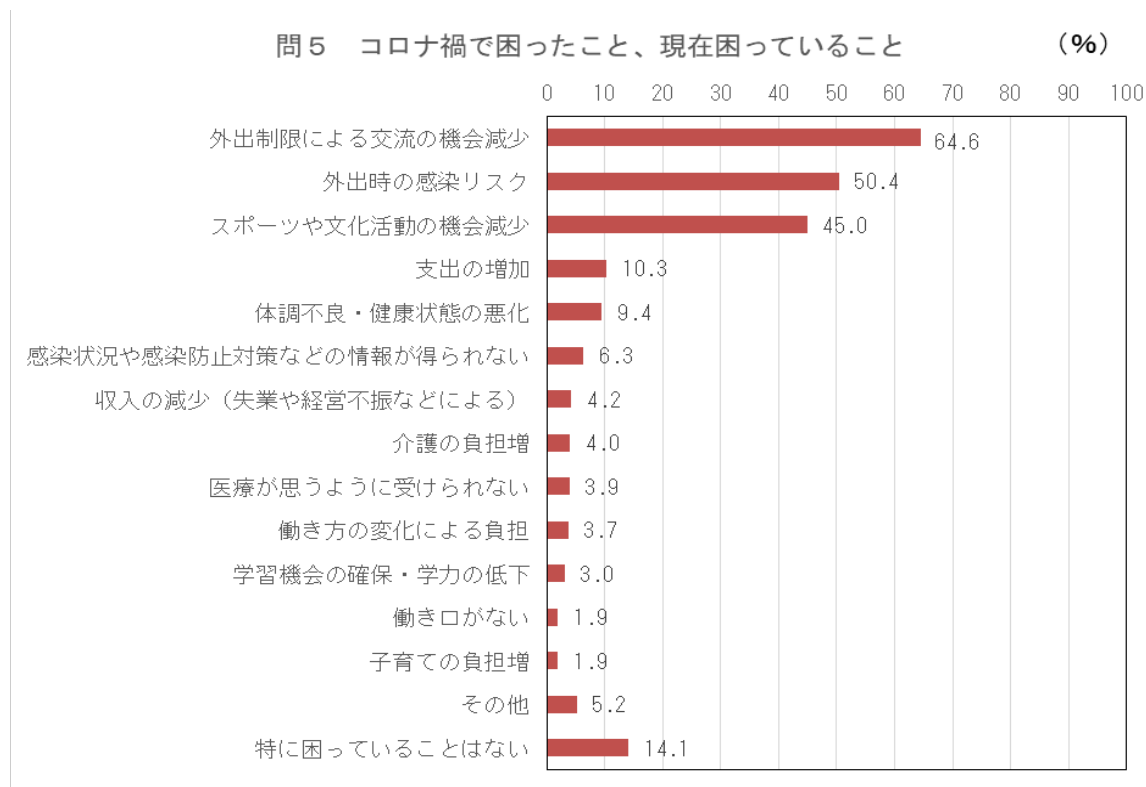


男女別にみると、「大幅に減少した+やや減少した」率は女性より男性のほうが高い。数値は小さいが「大幅に減少した」を比較すると、男性より女性のほうが高い。



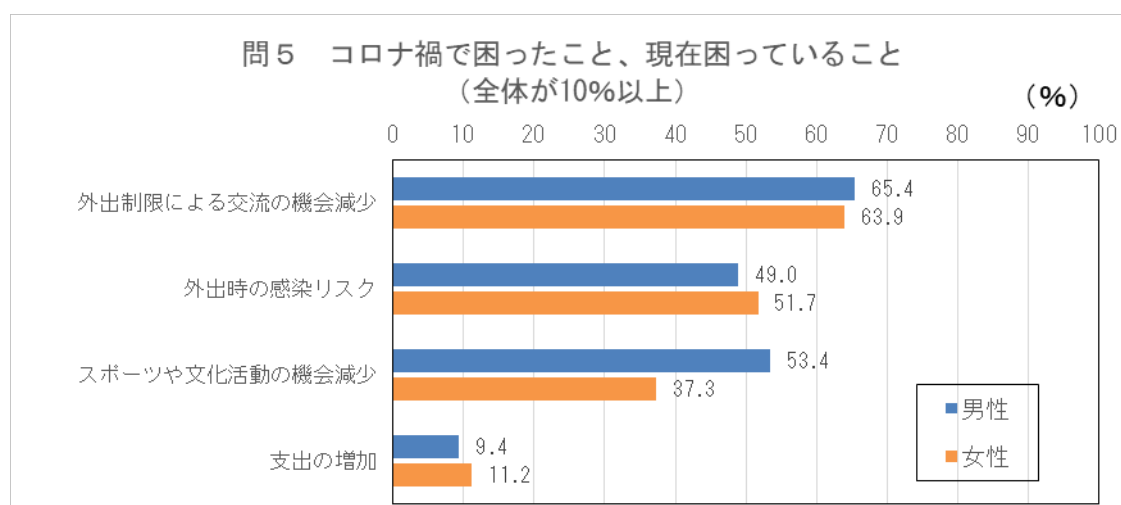
5. コロナ禍で困ったこと、現在困っていること（問5）

困っていることとして高くあげられたことは、「外出制限による交流の機会減少」、「外出時の感染リスク」、「スポーツや文化活動の機会減少」の3項目である。特に「外出制限による交流の機会減少」については約65%の人があげている。



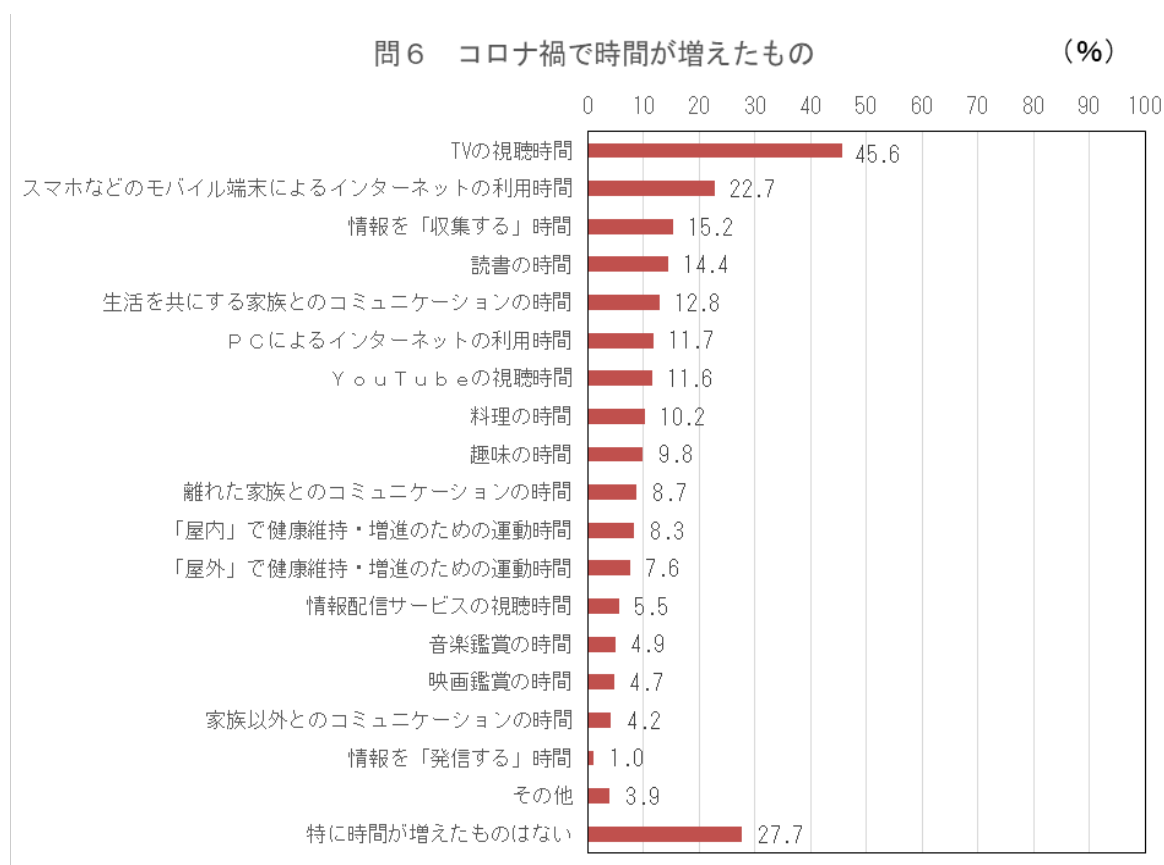
困っていることとして10%以上あげられた項目について、男女別に調べた。

大きな差がみられるのは「スポーツや文化活動の機会が減少」である。男性のほうが女性より高く、大きな差がみられる。



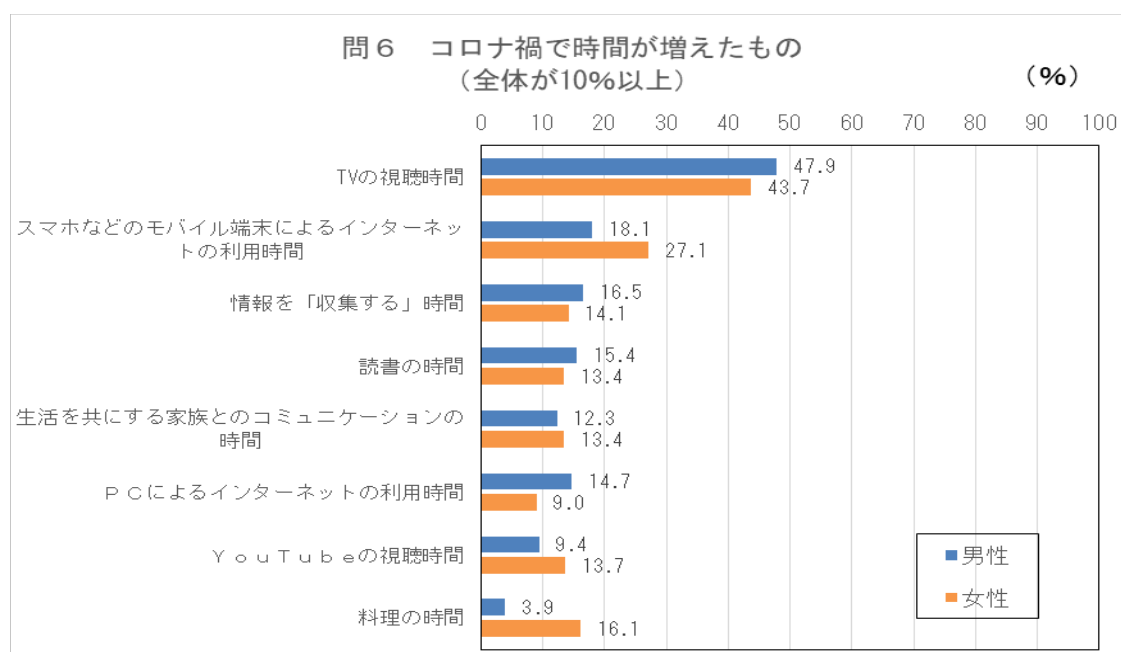
6. コロナ禍で時間が増えたもの（問6）

時間が増えたものは「TVの視聴時間」である。半数近くの人があげている。次に高いのは「スマホなどのモバイル端末によるインターネットの利用時間」である。



時間が増えたもので10%以上あげられた項目について、男女別に調べた。

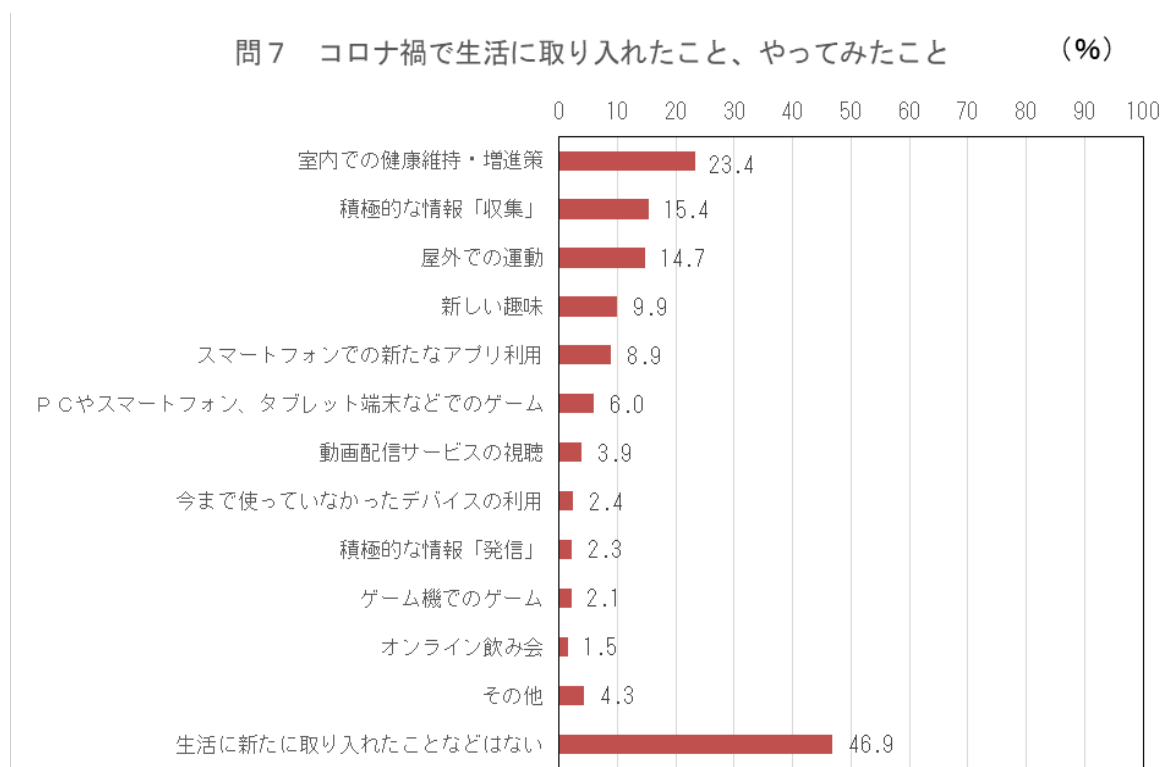
大きな差がみられるのは、「料理の時間」、「スマホなどのモバイル端末によるインターネットの利用時間」で、男性より女性のほうが高い。



7. コロナ禍で生活に取り入れたこと、やってみたこと（問7）

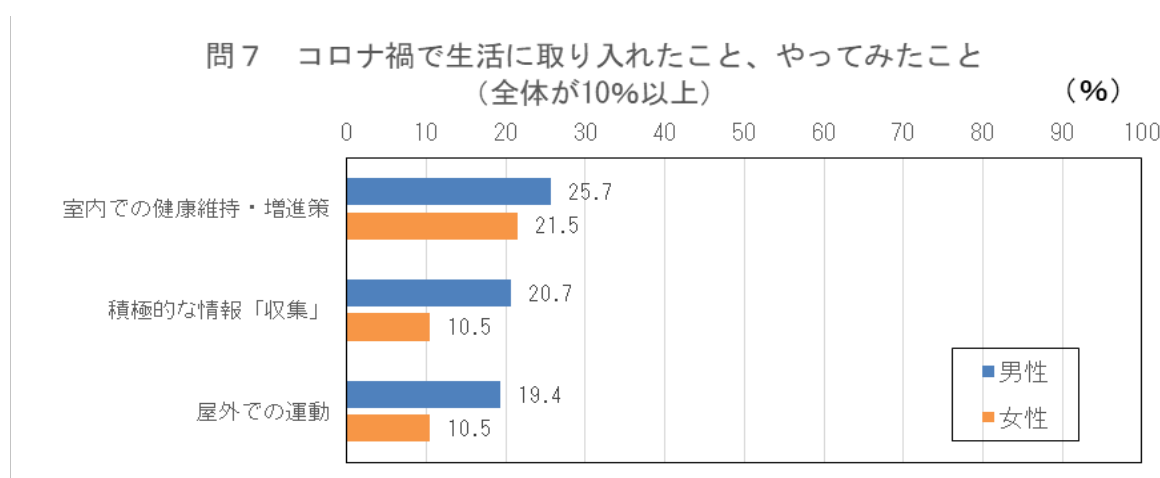
コロナ禍で生活に取り入れたこと、やってみたことについて調べると、コロナ禍だからと言って生活に新たに取り入れたことをあげた人は少なく、「取り入れたことはない」と回答した人が46.9%を占めた。

その中で、生活に取り入れたこととして上位にあげられたのは「室内での健康維持・増進策」、「積極的な情報「収集」、「屋外での運動」ある。10%以上の人があげている。



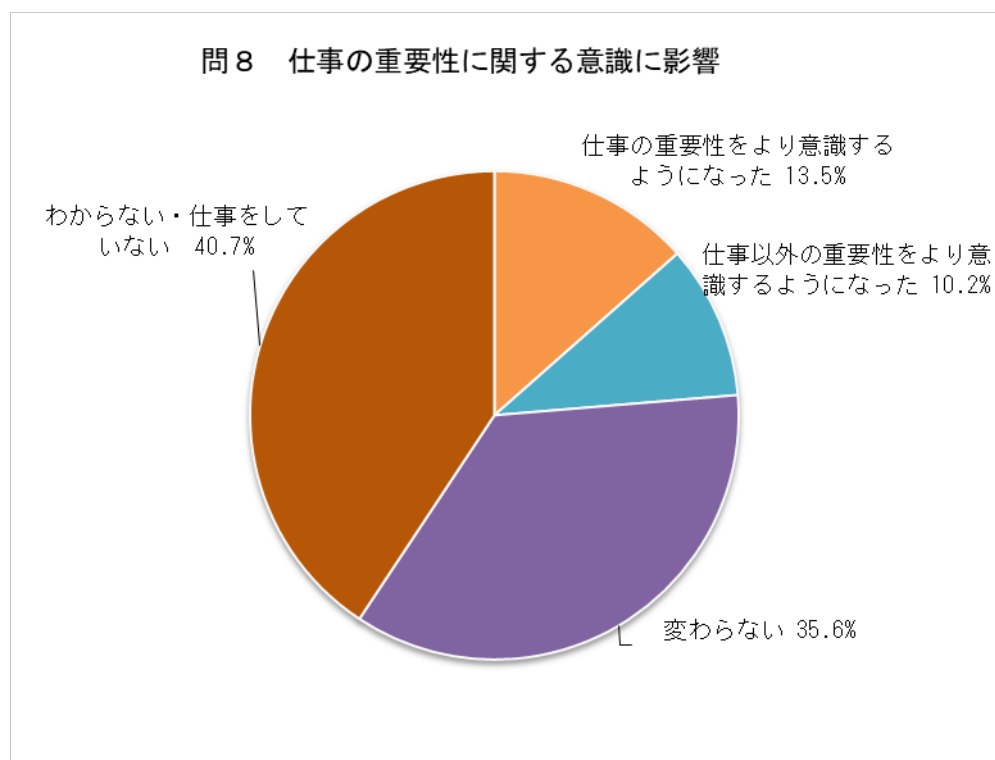
コロナ禍で生活に取り入れたこと、やってみたことで10%以上あげられた項目について、男女別に調べた。

大きな差がみられたのは「積極的な情報「収集」、「屋外での運動」である。女性より男性のほうが高く、2倍近くの差がみられる。

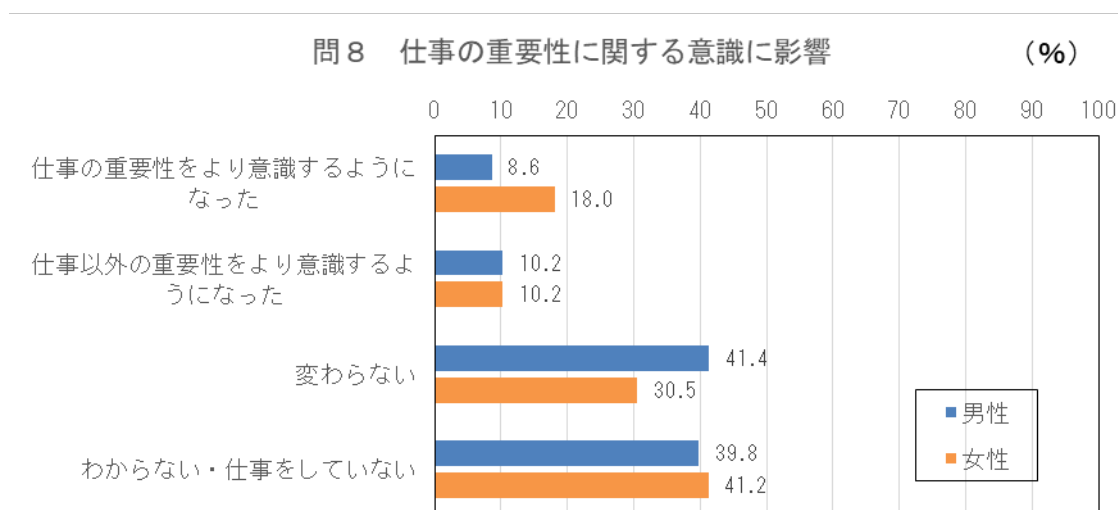


8. 仕事の重要性に関する意識の影響（問8）

仕事の重要性の意識について変化を調べると、「わからない・仕事をしていない」、「変わらない」と回答した人が多い。その中で「仕事の重要性をより意識するようになった」と回答した人は13.5%である。「仕事以外の重要性をより意識するようになった」と回答した人は10.2%で、仕事を意識した人と仕事以外を意識した人はほぼ半々に分かれた。

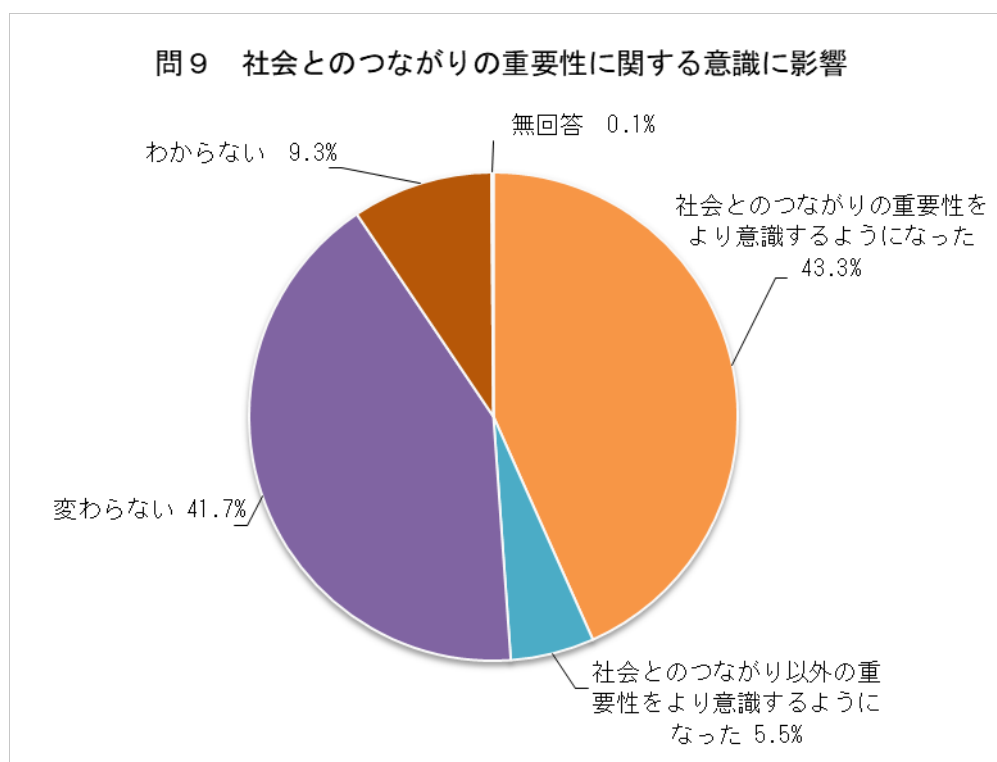


男女別にみると、大きな差がみられるのは、「変わらない」、「仕事の重要性をより意識するようになった」である。前者は男性のほうが女性より高く、後者は女性のほうが高い。

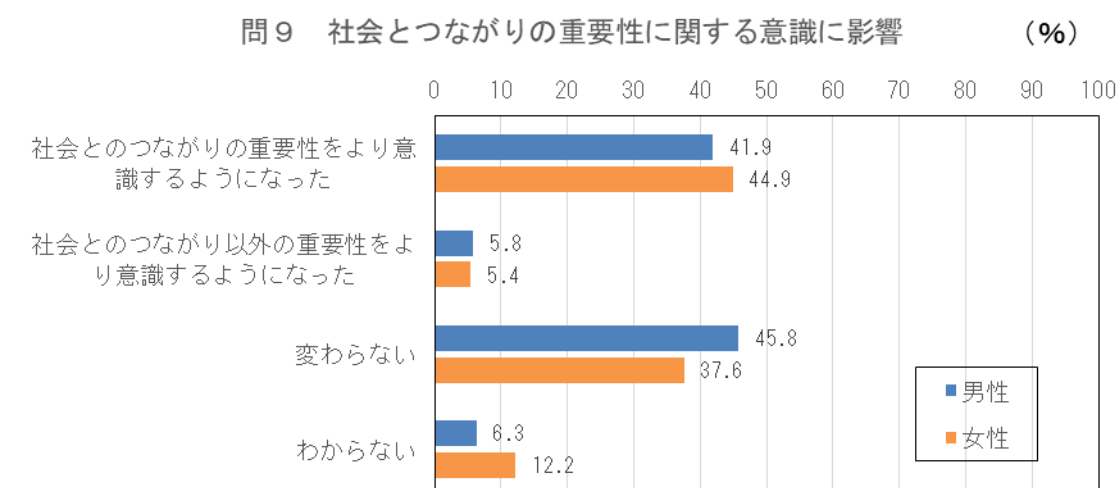


9. 社会とのつながりの重要性に関する意識の影響（問9）

社会とのつながりの重要性の意識について変化を調べると、「社会とのつながりの重要性をより意識するようになった」、「変わらない」と回答した人が多い。

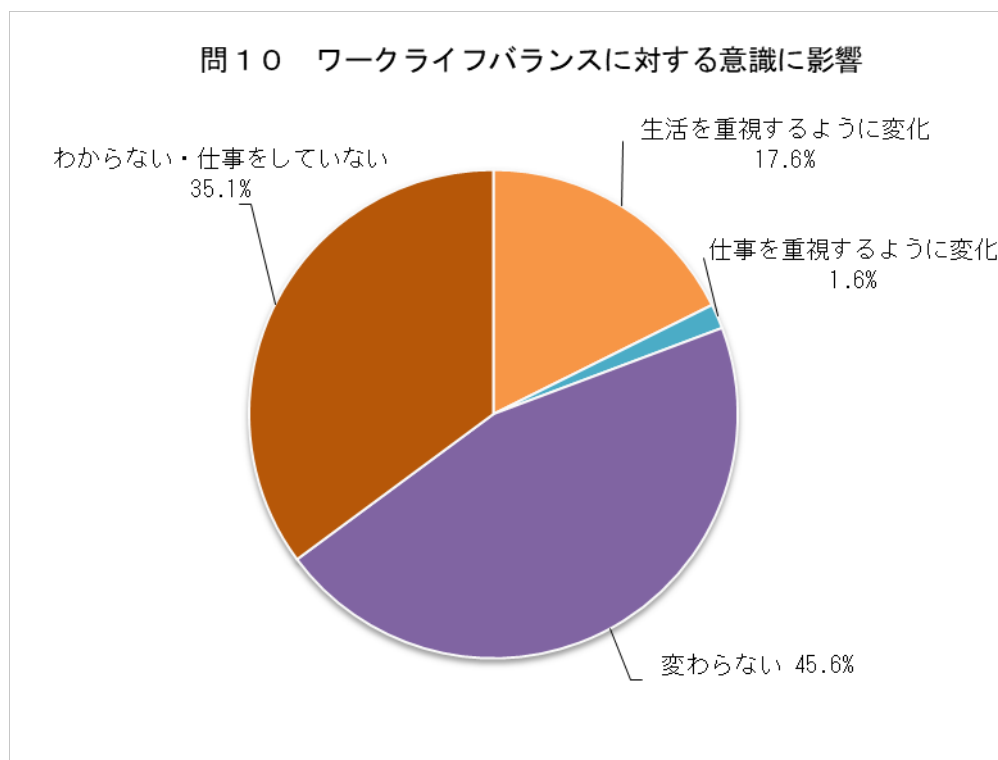


男女別にみると、「社会とのつながりの重要性をより意識するようになった」、「わからない」は、男性より女性のほうが若干高い。「変わらない」は女性より男性のほうが高く差がみられる。

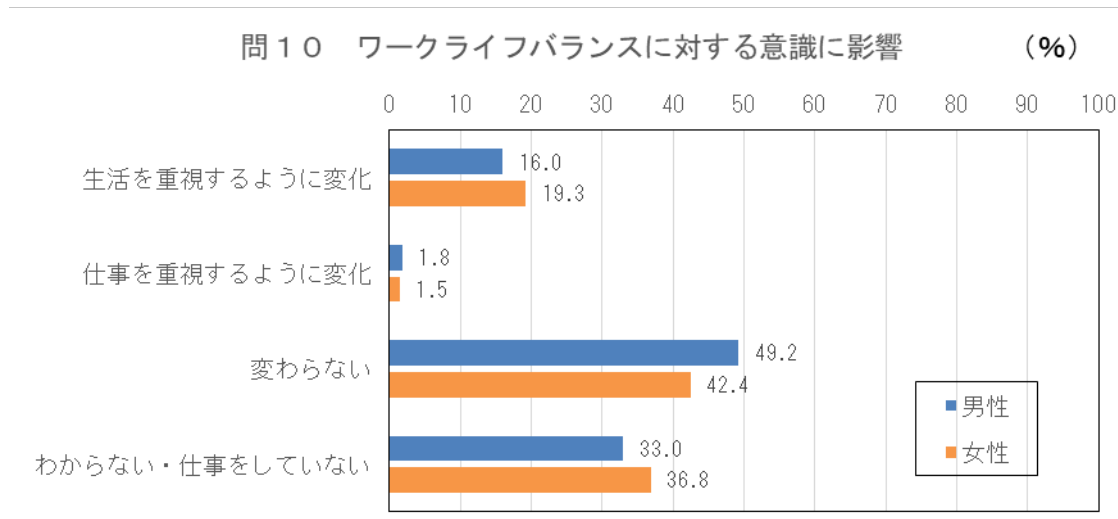


10. ワーク・ライフ・バランスに対する意識の影響（問10）

ワーク・ライフ・バランスに対する意識について変化を調べると、「変わらない」、「わからない・仕事をしていない」と回答した人が多い。「生活を重視するように変化」をあげた人は2割弱で、「仕事を重視するように変化」とした人は非常に少ない。



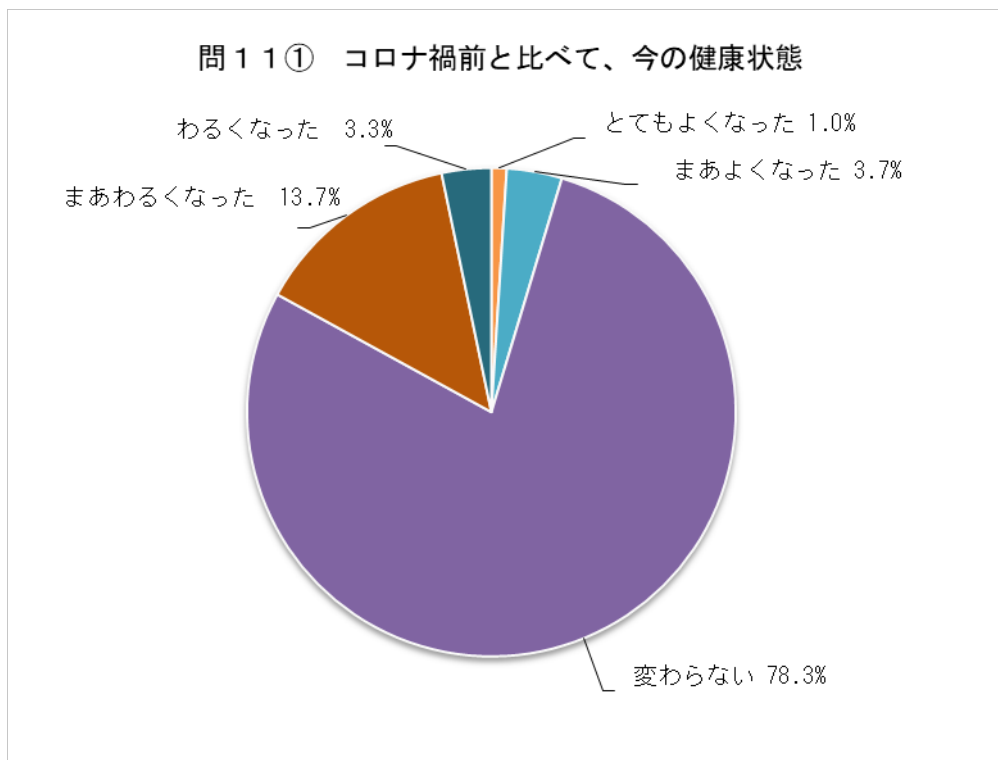
男女別に比較すると、「わからない・仕事をしていない」、「生活を重視するように変化」と回答した人は男性より女性のほうが若干高く、「変わらない」と回答した人は男性のほうが高い。



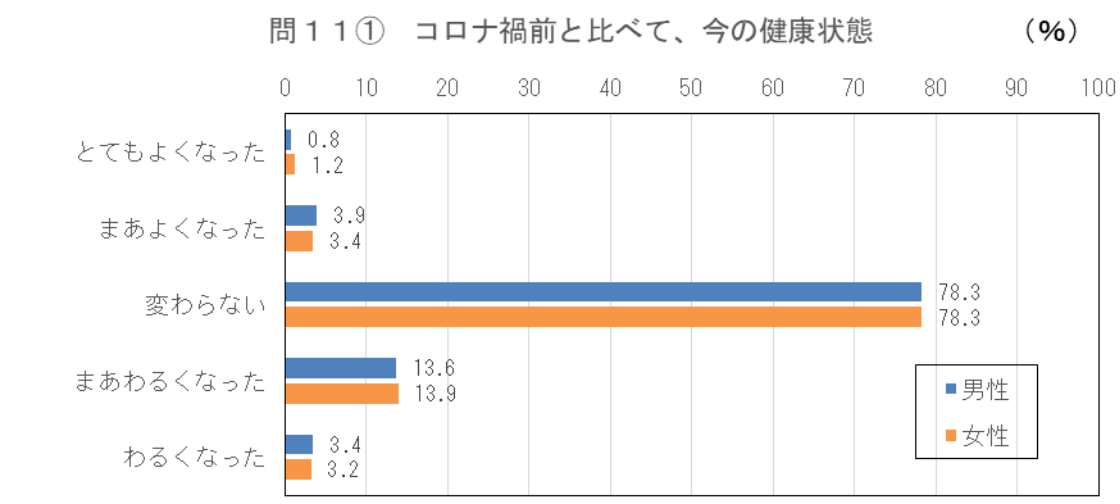
11. 現在の健康状態（問 11）

（１）今の健康状態

コロナ禍前と比べて今の健康状態について調べると、「変わらない」と回答した人が非常に多く、全体の 8 割弱の人があげている。次に多いのは「まあわるくなった」で 13.7% の人があげている



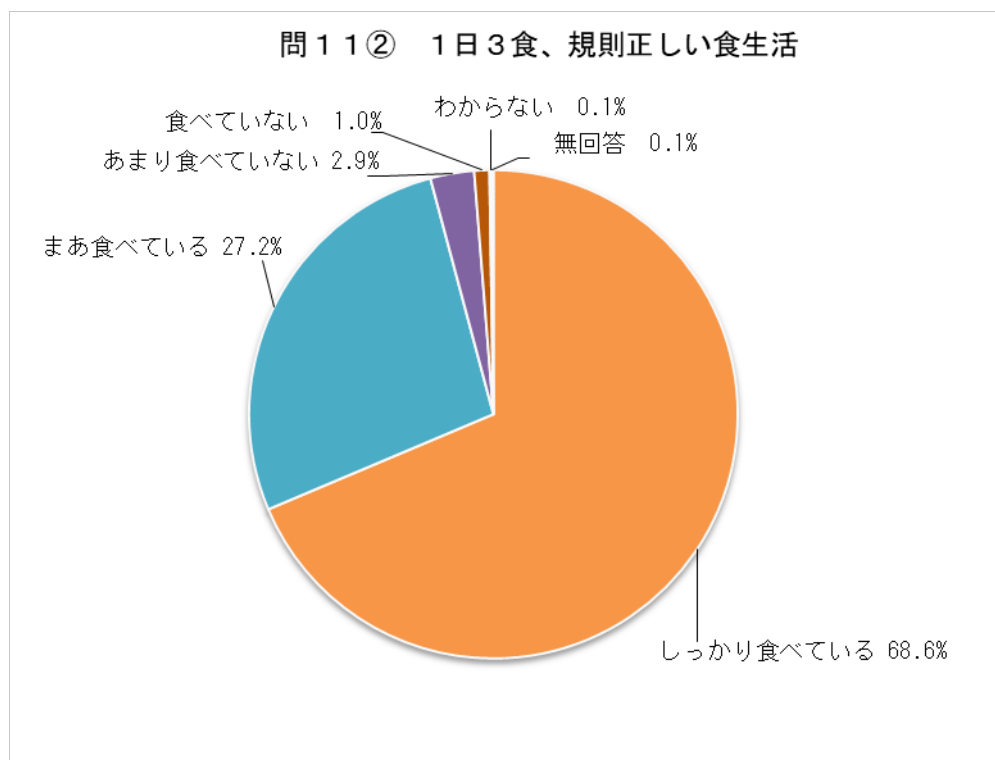
男女別にみると、差はない。



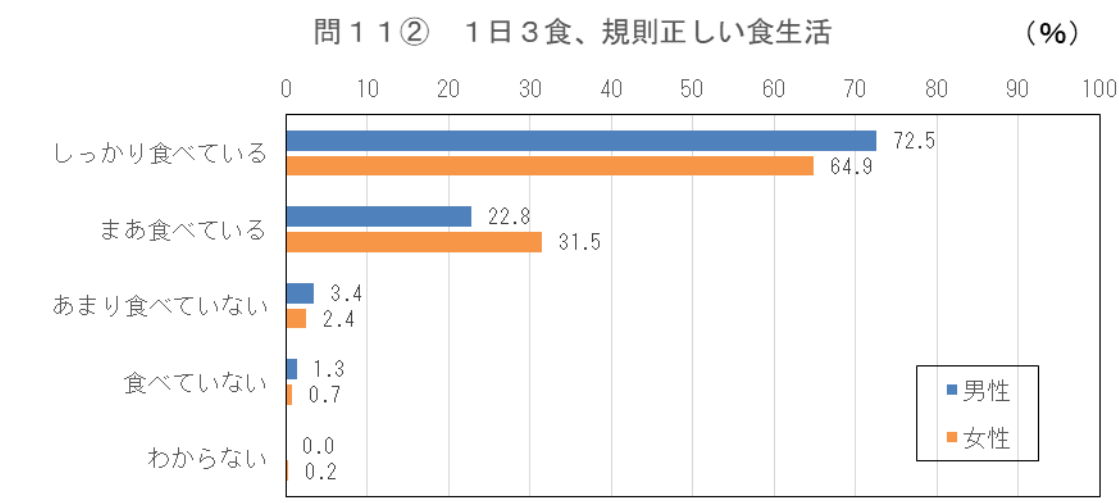
（２）規則正しい食生活について

「しっかり食べている」と回答した人は7割弱で、多くの人が1日3食の規則正しい食生活をしている。次に多いのは「まあ食べている」である。3割弱の人が回答している。

「食べていない」、「あまり食べていない」と回答した人は少ない。

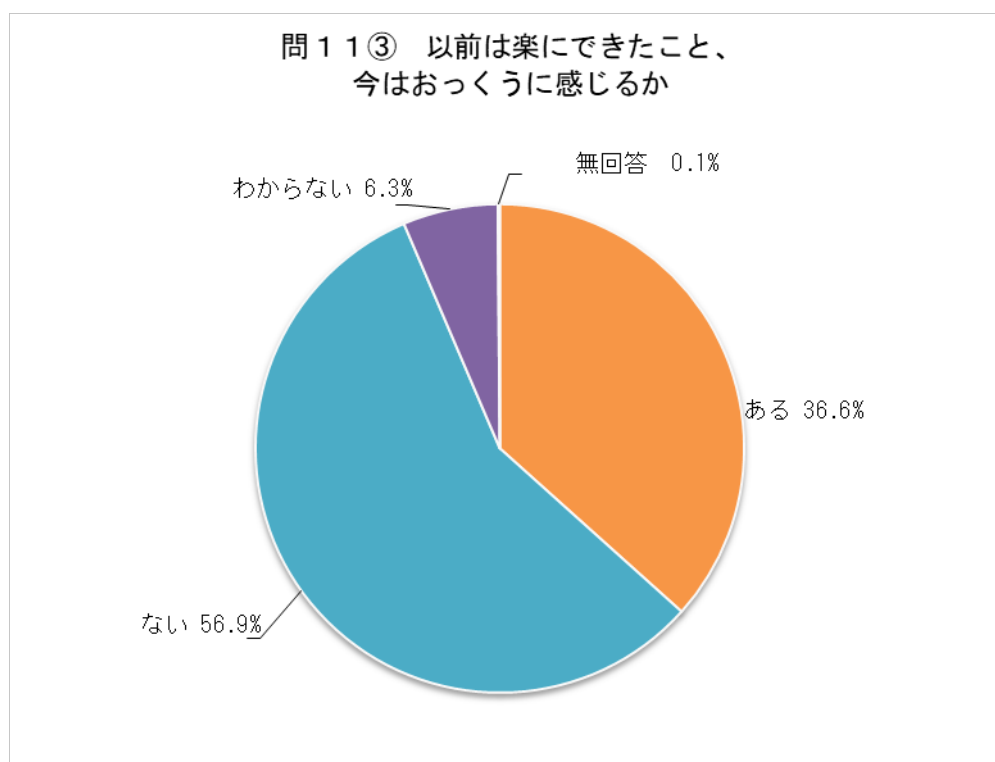


男女別にみると、「しっかり食べている」率は女性より男性のほうが高い。「まあ食べている」率は男性より女性のほうが高く差がみられる。

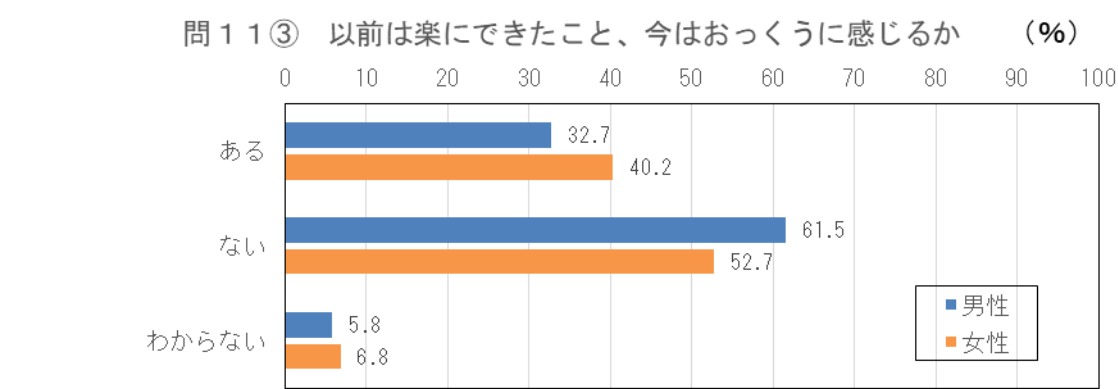


（３）以前は楽にできたこと、今はおっくうに感じるか

以前は楽にできたことで今はおっくうに感じる人が「ある」人は、４割弱である。おっくうに感じる人が「ない」人のほうが「ある」人より多く、６割の人は「ない」と回答している。



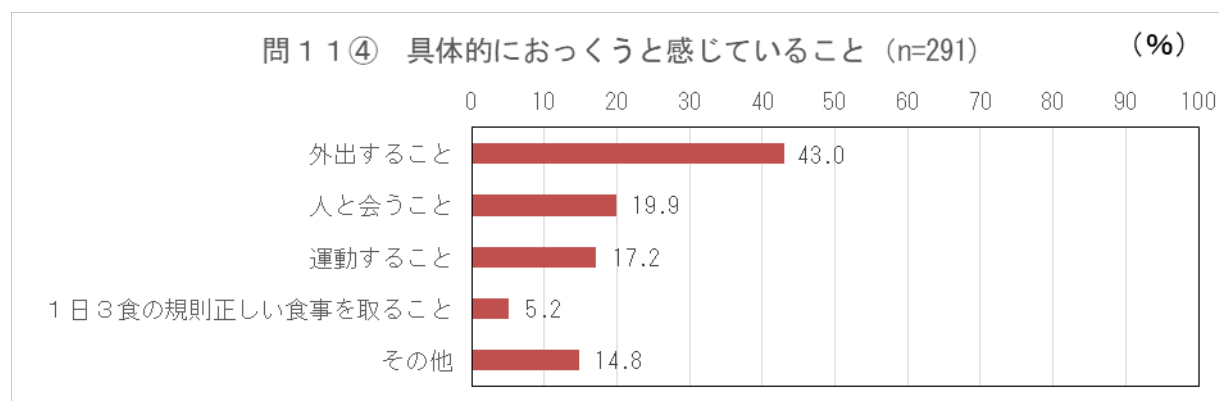
男女別にみると、おっくうに感じたことが「ある」と回答した人は、男性より女性のほうが高く大きな差がみられる。



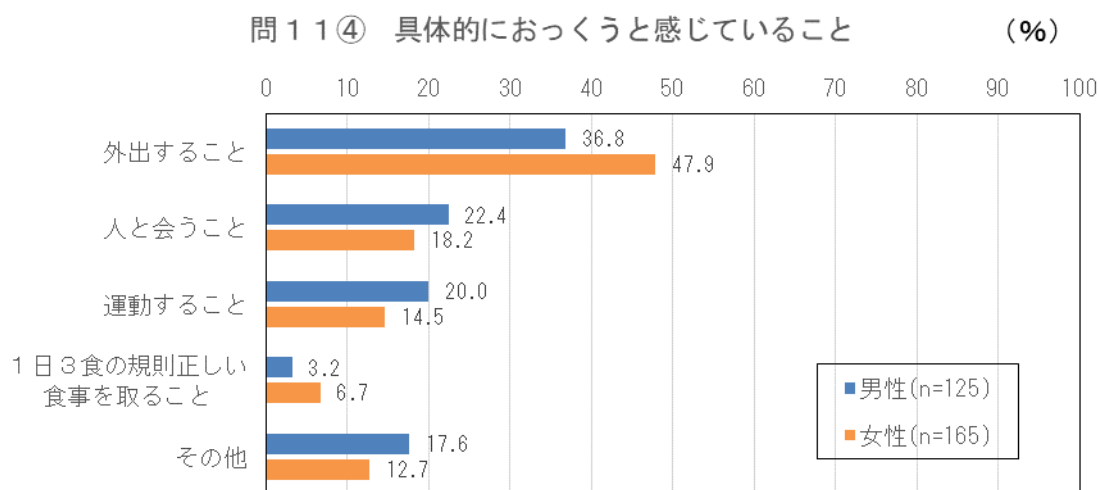
(4) 具体的におっくうと感じていること

以前は楽にできたことで今はおっくうに感じるものが「ある」人に、「おっくう」になった具体的なことについて調べた。

もっとも高いのは「外出すること」で、4割強の人があげている。

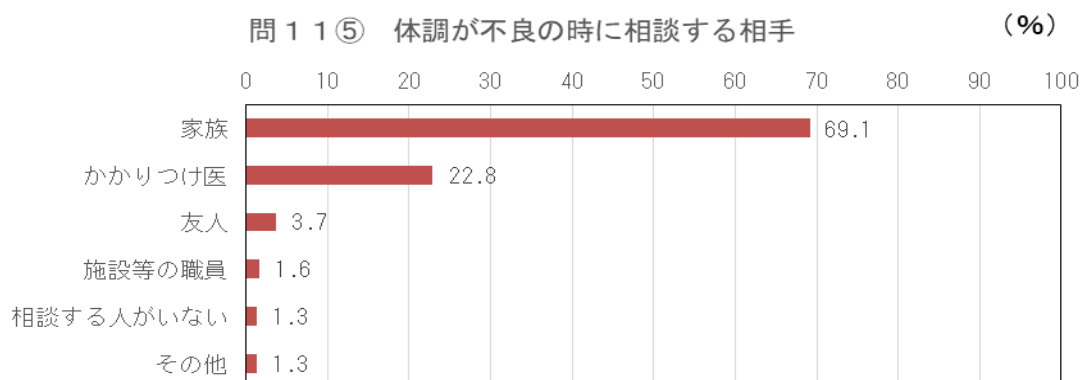


男女別にみると、「外出すること」は男性より女性のほうが高く、大きな差がみられる。「人と会うこと」、「運動すること」は女性より男性のほうが高い。

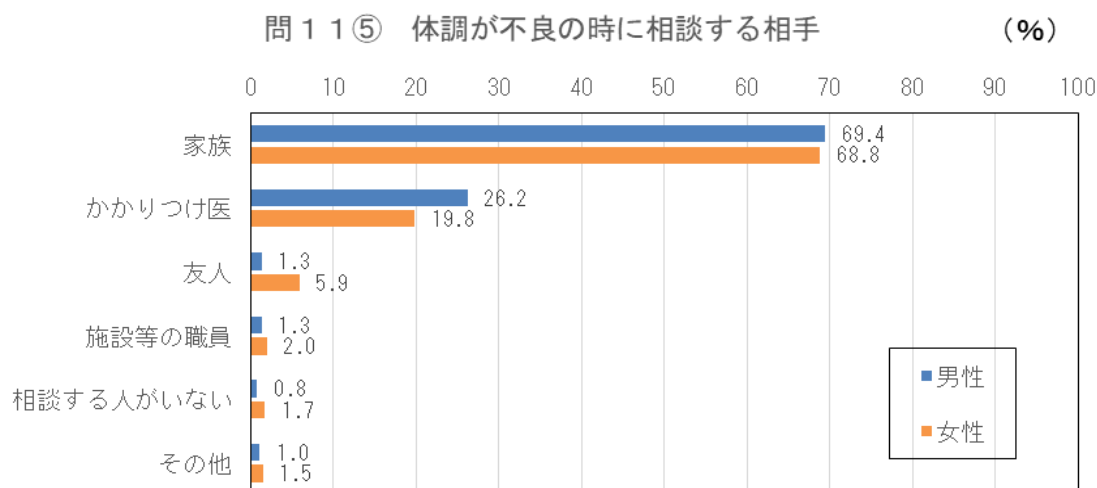


（５）体調が不良な時に相談する相手

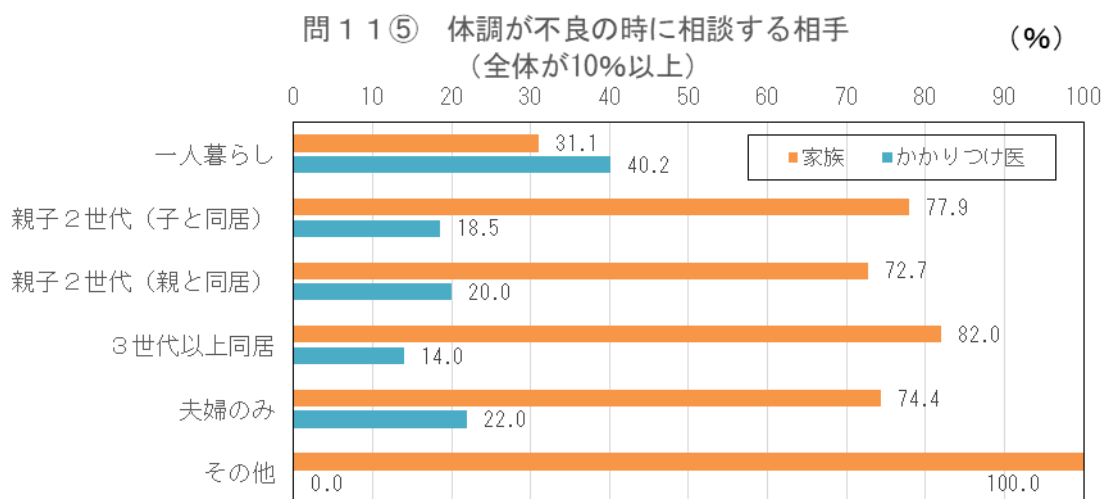
体調が不良な時に相談する相手としては「家族」が非常に高く、7割の人があげている。次に高いのは「かかりつけ医」である。



「家族」をあげた人には、男女差はない。「かかりつけ医」については、女性より男性のほうが高い。

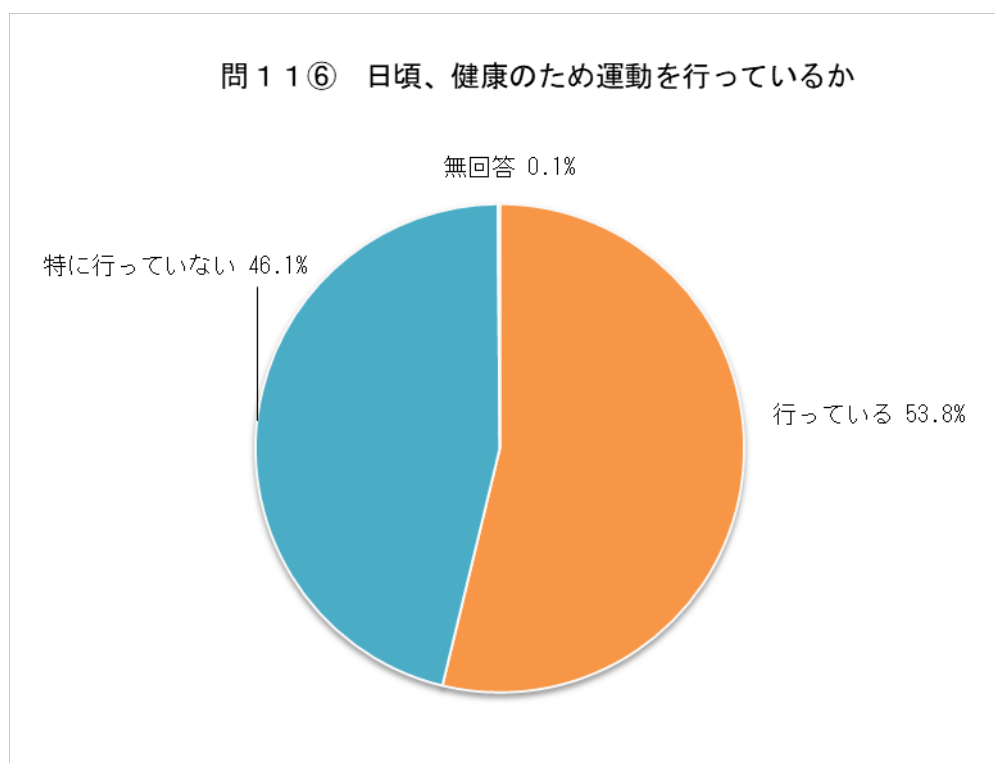


家族構成別に比べると、「一人暮らし」の人は「かかりつけ医」に相談する人が高く差がみられる。その他の家族構成の人は「家族」が高く大きな差がみられる。

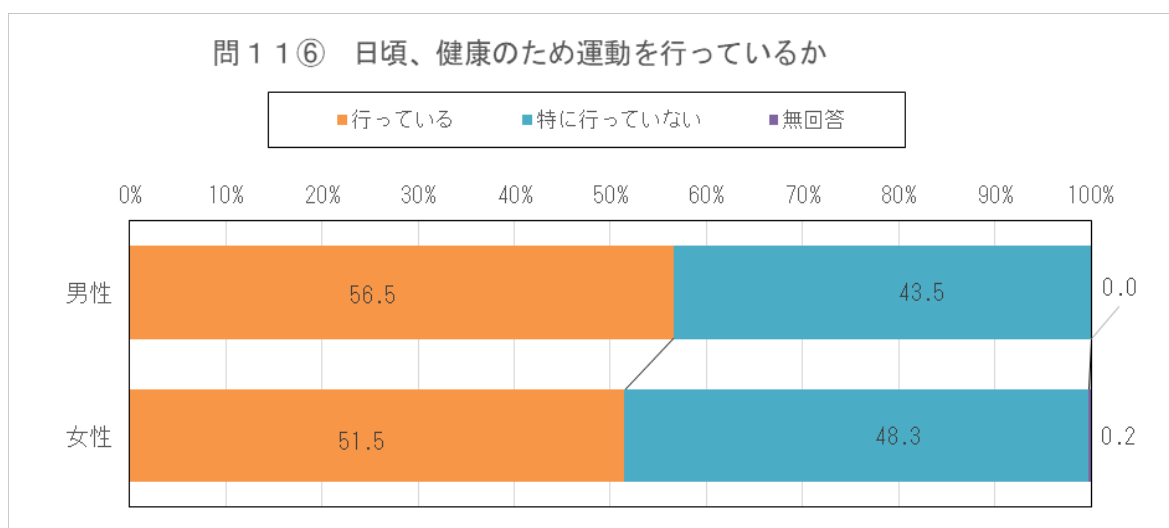


（６）日頃、健康のため運動を行っているか

日頃、健康のため運動を行っているかを調べると、「行っている」人が若干多い。



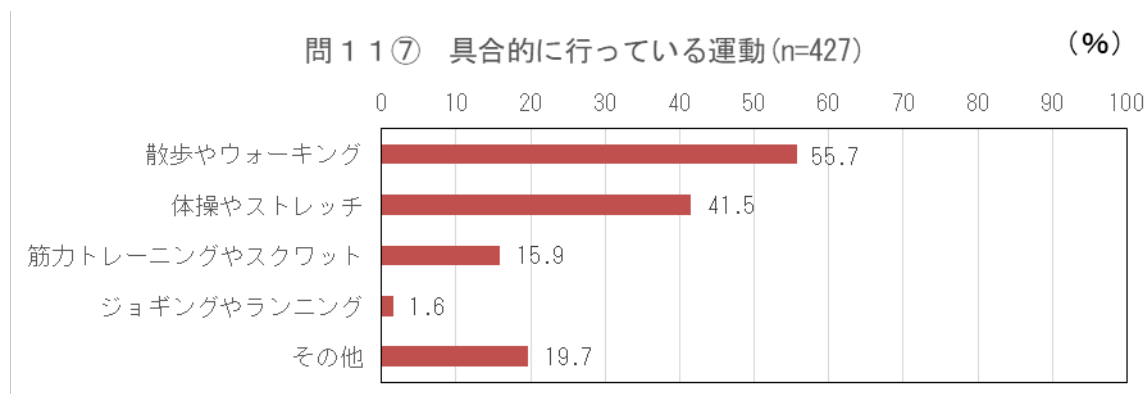
男女別にみると、日頃、健康のため運動を「行っている」人は、女性より男性のほうが高く、差がみられる。



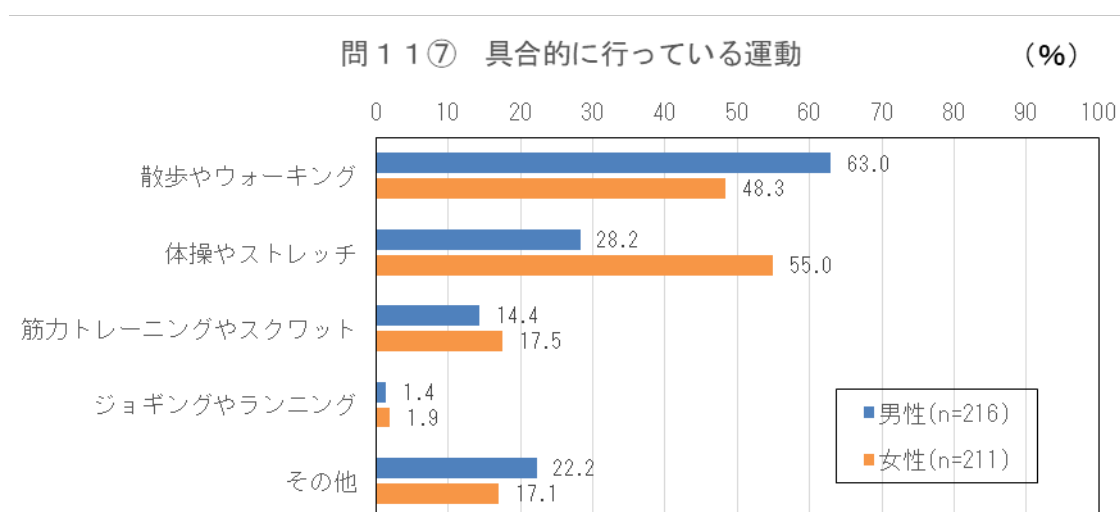
(7) 具体的に行っている運動

日頃、健康のため運動を「行っている」人に具体的な運動について調べた。

「散歩やウォーキング」がもっとも高く、55.7%の人が行っている。次に高いのは「体操やストレッチ」で、4割強の人が行っている。



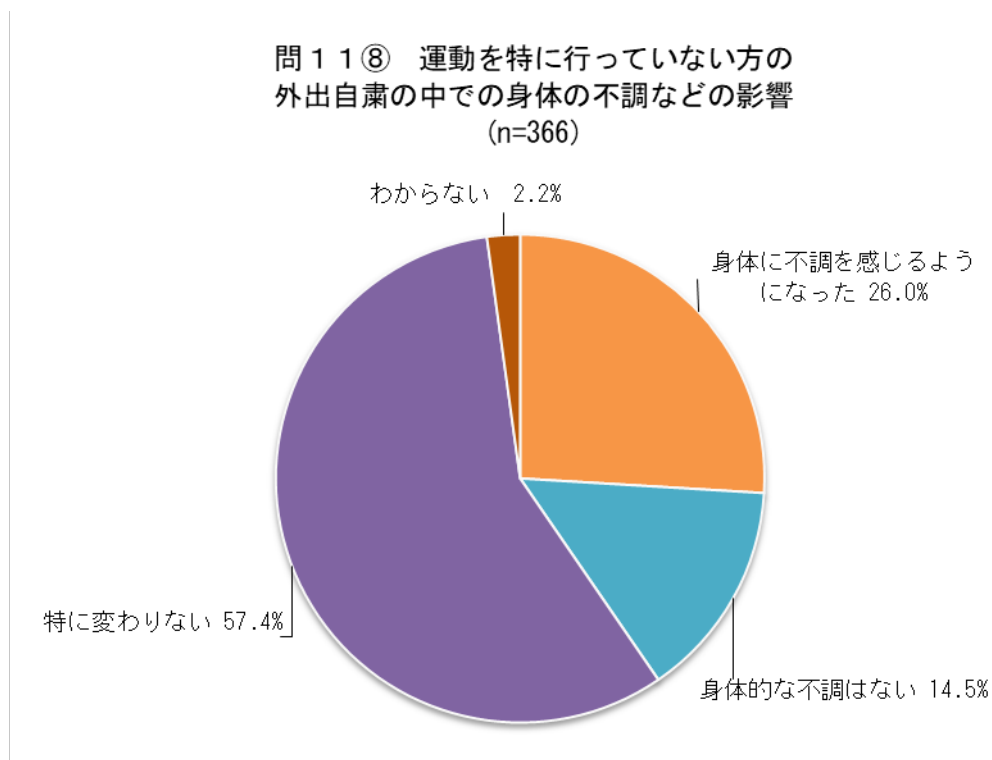
男女別にみると、「散歩やウォーキング」は女性より男性のほうが高く、大きな差がみられる。女性は「散歩やウォーキング」より「体操やストレッチ」をしている率が高い。また、「体操やストレッチ」については男性より女性のほうが高く、男性の2倍ほどの差になっている。



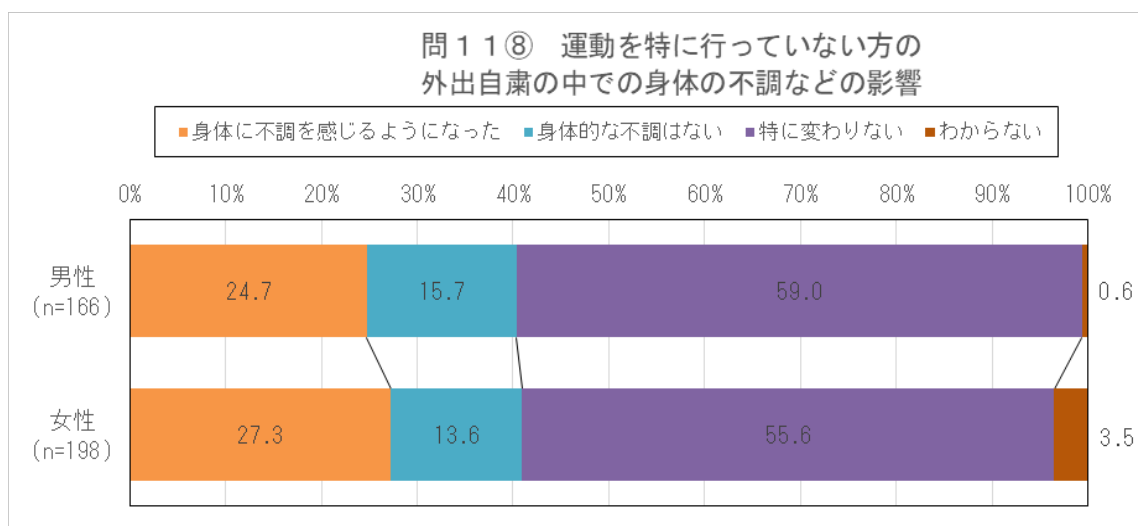
（８）外出自粛の中での身体の不調などの影響

運動を特に行っていない方の外出自粛の中での身体の不調などについて質問した。

「特に変わらない」と回答した人がもっとも多い。6割弱の人があげている。2番目に多いのは「身体に不調を感じるようになった」で、26.0%の人があげている。

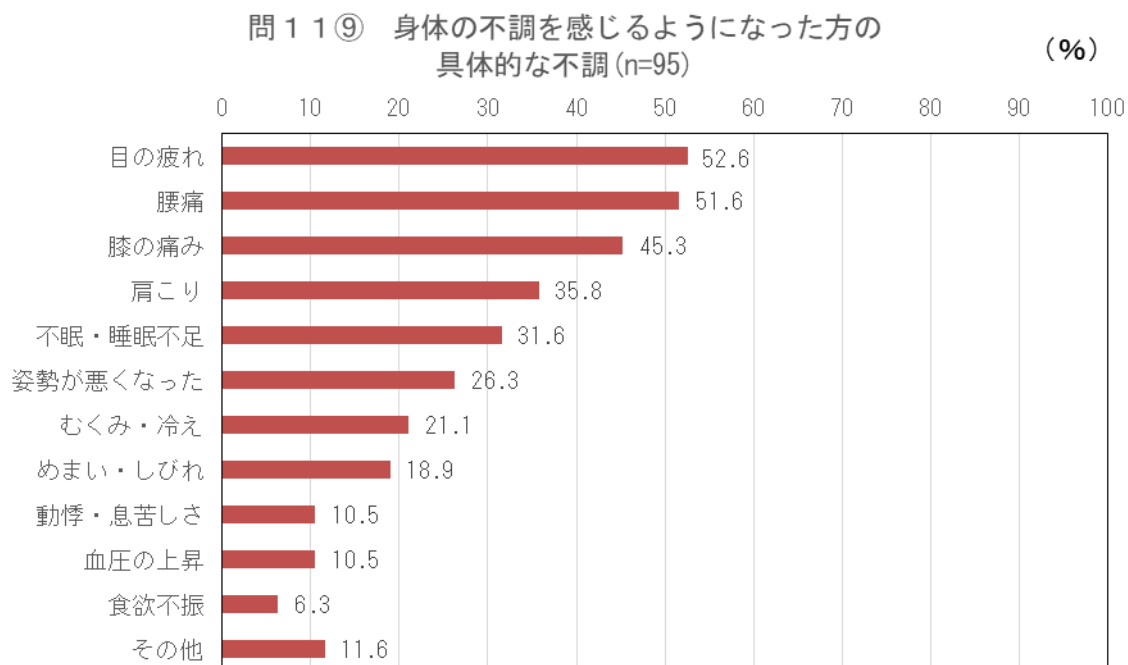


男女別にみると、「身体に不調を感じるようになった」率は、男性より女性のほうがわずかに高い。

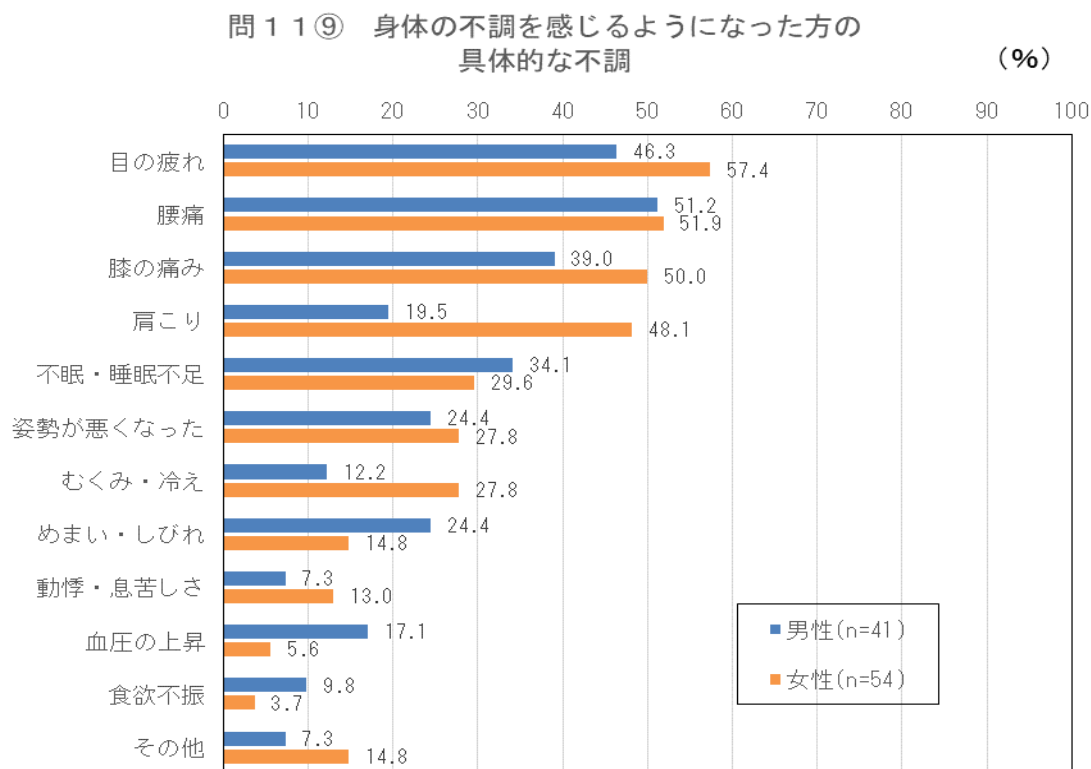


(9) 具体的な不調

身体に不調を感じるようになった方の具体的な不調については、「目の疲れ」、「腰痛」が高く、5割以上の人があげている。次は「膝の痛み」、「肩こり」、「不眠・睡眠不足」の順で高い。3割以上の人があげている。

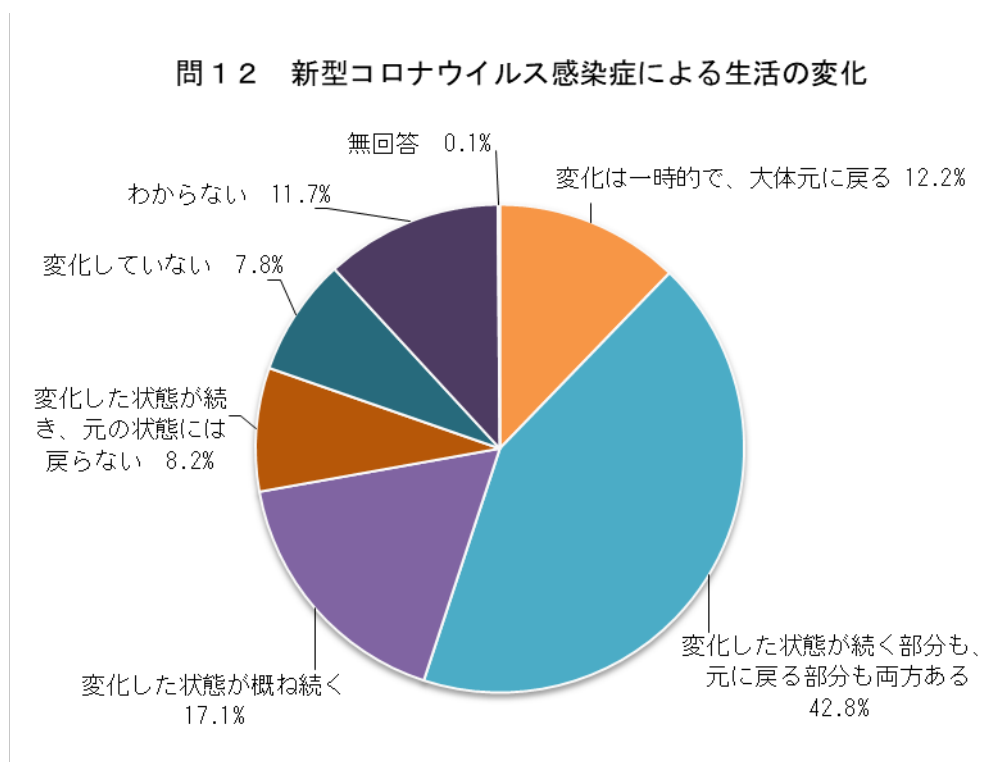


男女で大きな差がみられるのは、「肩こり」、「むくみ・冷え」、「膝の痛み」、「目の疲れ」である。

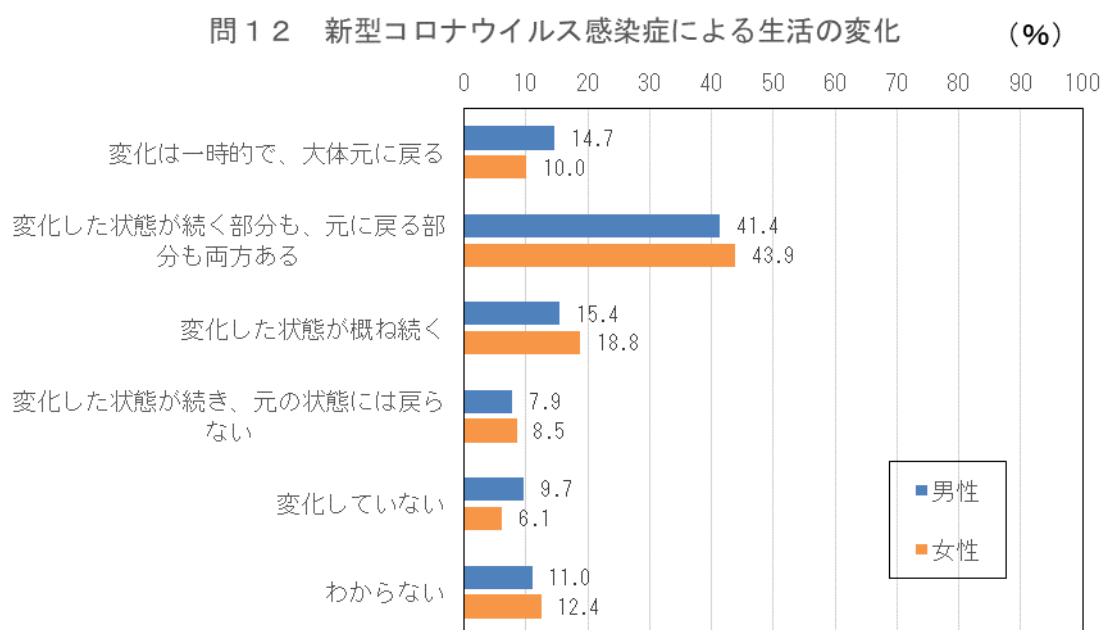


12. 新型コロナウイルス感染症による生活の変化（問 12）

もっとも多いのは「変化した状態が続く部分も、元に戻る部分も両方ある」で、42.8%の人があげている。次は「変化した状態が概ね続く」である。

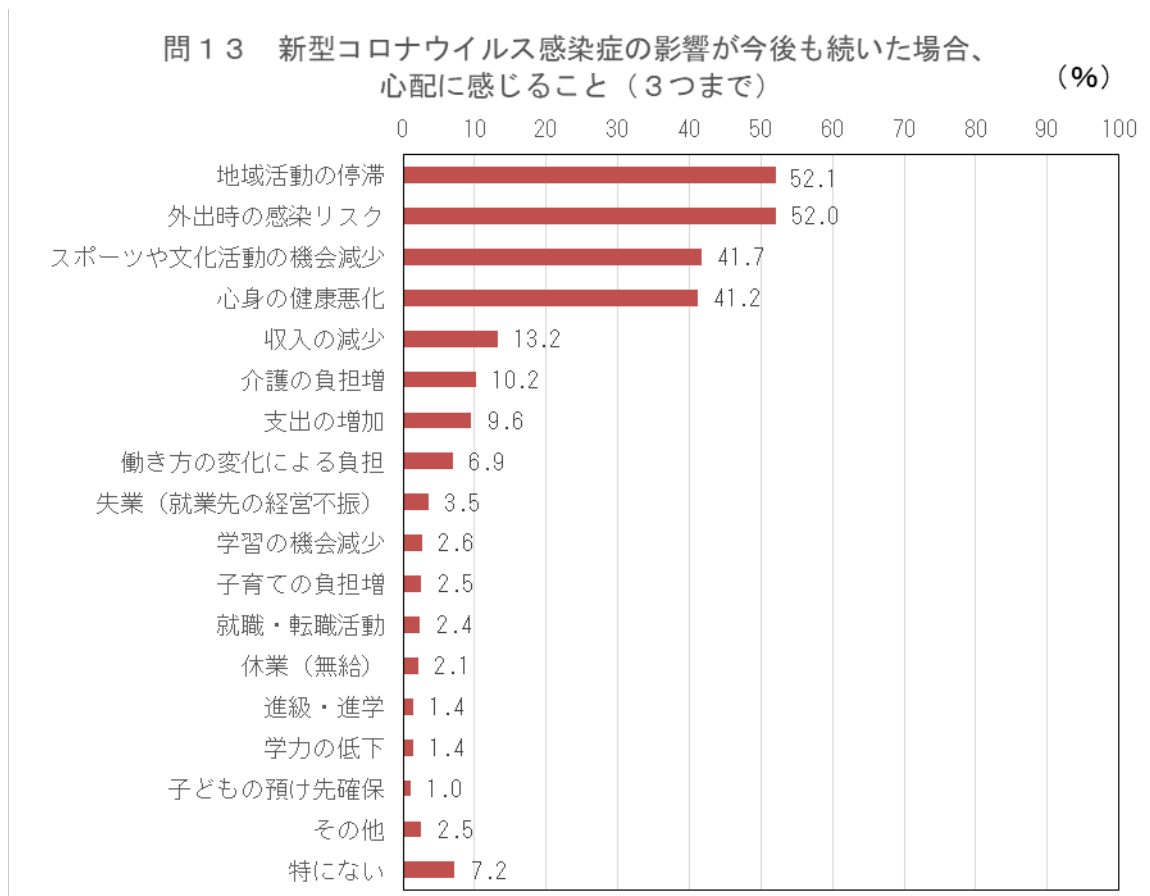


男女別にみると、「変化した状態が概ね続く」、「変化は一時的で、大体元に戻る」に若干の差がみられる。前者は男性より女性のほうが高く、後者は男性のほうが高い。

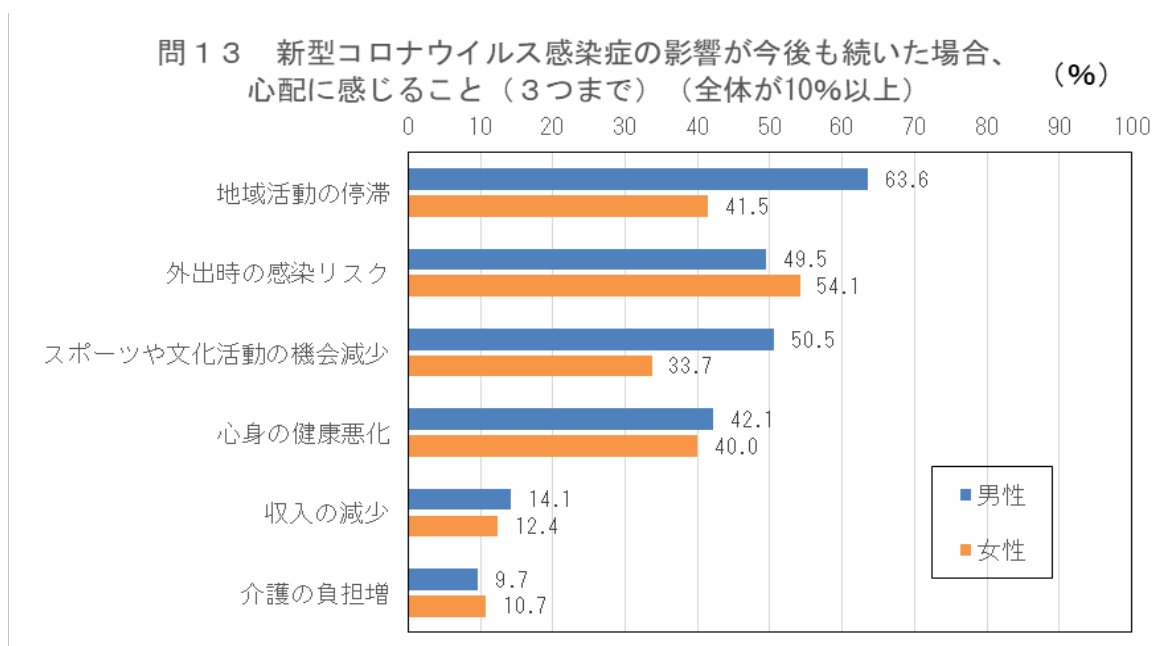


13. 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合、心配に感じること（問13）

心配に感じることで高いのは、「地域活動の停滞」、「外出時の感染リスク」で、5割強の人があげている。次に多いのは「スポーツや文化活動の機会減少」、「新進の健康悪化」で、4割の人があげている。

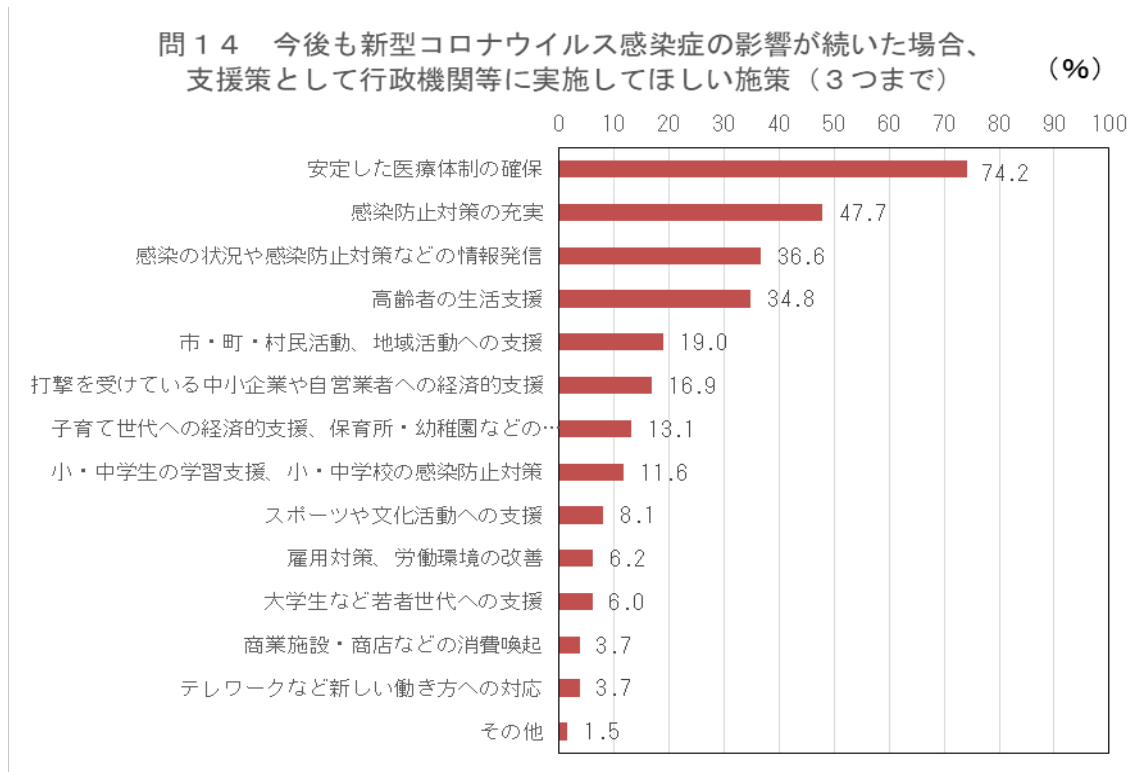


男女別に比べて、大きな差がみられるのは「地域活動の停滞」、「スポーツや文化活動の機会減少」である。2項目とも女性より男性のほうが高い。

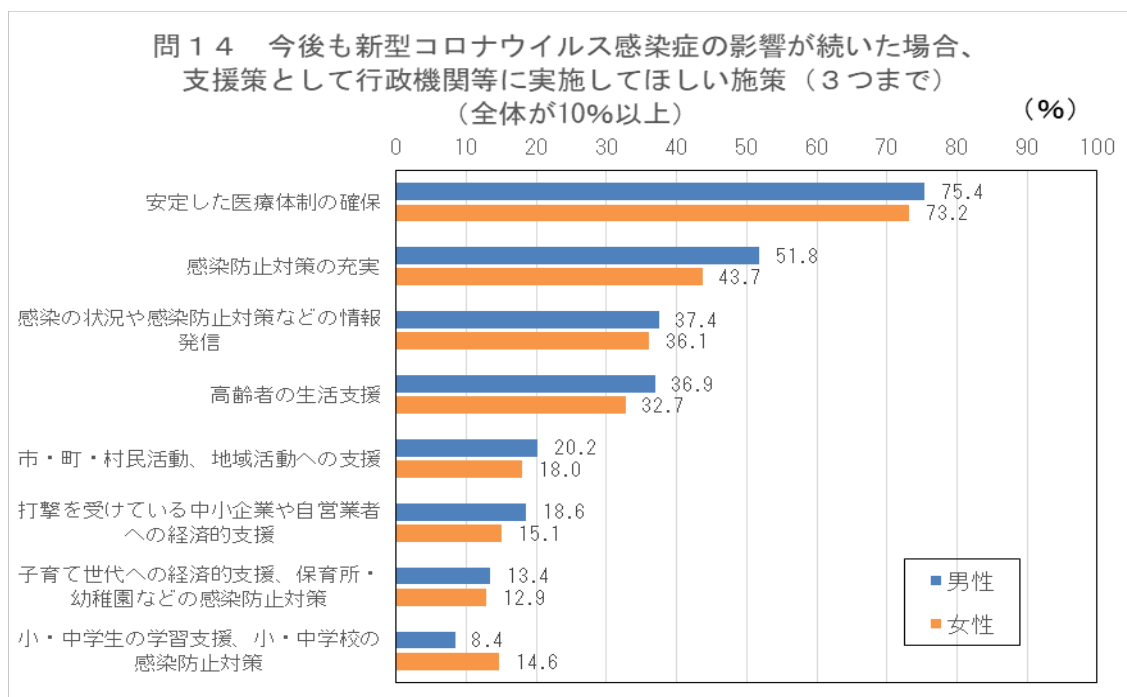


14. 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合、支援策として行政機関等を実施してほしい施策（問 14）

行政機関等を実施してほしい施策として高くあげられたのは、「安定した医療体制の確保」である。次は「感染防止対策の充実」、「感染の状況や感染防止対策などの情報発信」、「高齢者の生活支援」である。



男女別に比べて、大きな差があるのは「感染防止対策の充実」、「小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策」である。前者は女性より男性のほうが高く、後者は男性より女性のほうが高い。



15. 新型コロナウイルス感染症に関する意見（問 15）

新型コロナウイルス感染症に関する意見について、189 件の記入があった。記入率は 23.8%である。

記入内容については、様々な内容が書かれている。内容については自由回答をまとめた自由回答報告書を参照。

Ⅲ クロス集計結果

1. 分析に当たって

(1) 単数回答の項目について

単数回答の設問については、それぞれの選択肢の回答数（度数）を分子にし、回答者数を分母として割合（％）を算出すると、その割合を合計すると概ね 100％になる。クロス集計をした場合には、表側の独立変数が表頭の従属変数にどのような影響を与えているかを分析するため、横方向に合計して 100％になるように計算し、縦方向の割合（％）に違いがあるかを見ることになる。

本調査では、単数回答の設問で用いている選択肢が、「順序尺度」や「名義尺度」である。「順序尺度」は、並び順に意味がある尺度であるため、以下の表を例にすると、従属変数の a から d の順序が程度の違いを意味しているため、「a は大きく、d は小さい」といった順序があることで、その違いを分析する。また、「名義尺度」は、それぞれの選択肢に固有の意味があるため、並び順というよりも、個々の選択肢の間の違いを分析する。

なお、各表の下に示している「※有意差」については、「 χ^2 （カイ二乗）検定」のという検定結果を示したもので、独立変数が従属変数に与えた影響に有意な差が生じたかどうか（＝独立性）を確認するものである。また、「P」は有意確率を示したもので、数値が低くなるほど独立性が高いことを意味する。ただし、この結果は、本調査の回答者に限った結果であり、一般化できるものとはいえないことに留意が必要である。

表 3-1-1 単数回答の場合のクロス集計結果（ダミー）

			表頭(従属変数)				
			a	b	c	d	合計
表側(独立変数)	A	度数	80	60	40	20	200
		%	40%	30%	20%	10%	100.0%
	B	度数	50	50	50	50	200
		%	25%	25%	25%	25%	100.0%
	C	度数	20	40	60	80	200
		%	10%	20%	30%	40%	100.0%
	合計	度数	150	150	150	150	600
		%	25%	25%	25%	25%	100.0%

(2) 複数回答の項目について

複数回答の項目については、単数回答とは異なり、各選択肢の回答数が複数になる可能性があるため、それぞれの回答数（度数）の割合（％）をどのようにして計算するかは、分析方法によって異なる。本調査では、回答者総数を分母として、各選択肢の回答数（度数）を分子として割合（％）を計算することとする。クロス集計をした場合には、表側の独立変数が表頭の従属変数にどのような影響を与えているかを分析するが、横方向に合計して 100％にはならないため、縦方向の割合（％）に違いがあるかを見ることになる。その際、目安になるのが、表中の独立変数 A から C の間の割合（％）の違いだけでなく、A から C の間の割合（％）が「合計」の割合（％）とどれくらい乖離しているかを見ることも大切になる。

本調査では、複数回答の設問で用いている選択肢が、「名義尺度」となっている。以下の表を例にすると、従属変数の a から d のそれぞれの選択肢に固有の意味があるため、並び順というよりも、個々の選択肢の間の違いを分析する。上記のとおり、独立変数（A～C）の違いには着目せず、「合計」との乖離が 10.0 ポイント以上ある場合にマーク（網掛け）をすることとする。

表 3-1-2 複数回答の場合のクロス集計結果（ダミー）

			表頭（従属変数）				
			a	b	c	d	合計
表側 （独立変数）	A	度数	150	100	50	20	200
		%	75%	50%	25%	10%	-
	B	度数	100	50	150	40	200
		%	50%	25%	75%	20%	-
	C	度数	50	30	100	60	200
		%	25%	15%	50%	30%	-
	合計	度数	300	180	300	120	600
		%	50%	30%	50%	20%	-

(3) 「その他」や「無回答」などの扱いについて

「その他」については、回答数が少数であることや再分類が難しい場合が多いことから、クロス集計表に数値は掲載するものの、分析の対象から除外することとする。また、「無回答」については、クロス集計表には掲載するものの、分析の対象から除外することとする。

2. 現在の日常生活について（問2）

問2では、「現在の日常生活において、当てはまるものすべてに○を付けてください。」という設問を立て、17個の回答項目を設定した。問2の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問1）の項目を独立変数にして分析した結果が、表3-2-1から表3-2-3である。なお、表中の網掛けのうち、青（ ）は「肯定的」な乖離とし、赤（ ）は「否定的」な乖離とする。また、黄（ ）は「評価が難しい」乖離として扱うこととする。

(1) 「日常的な感染対策」について（表3-2-1）

- ①「①性別」については、「男性」と「女性」の間に10ポイント以上の差がある項目が複数あり、全般的にも「女性」の方が感染対策に対する意識が高いことがわかる。しかし、「合計」からの乖離が10ポイント以上になるものはなかったため、「性別による感染対策に差があった」とはいえない。
- ②「②年齢」については、「マスクを室内でも常時するようになった」において、59歳以下の年齢層で肯定的な乖離がみられることから、現役世代の人の方が他者と接触する機会が多いことが考えられ、マスクの着用による感染対策に常時取り組んでいることがうかがえる。また、「住居内の除菌・滅菌をこまめにするようになった」と「室内換気をこまめにするようになった」において、「20～29歳」で肯定的な乖離がみられ、「30～39歳」で否定的な乖離がみられた。
- ③「③広域地域」については、「室内換気をこまめにするようになった」において、「県北広域」で否定的な乖離がみられた。
- ④「④就労状況（職業）」については、「マスクを室内でも常時するようになった」において、「正社員」と「契約社員・派遣社員」で肯定的な乖離がみられた一方、「無職（主婦・夫、学生含む）」で否定的な乖離がみられた。また、「住居内の除菌・滅菌をこまめにするようになった」において「契約社員・派遣社員」で、「室内換気をこまめにするようになった」において「パート・アルバイト」で否定的な乖離がみられた。

表 3-2-1 基本属性と現在の日常生活について（日常的な感染対策）のクロス集計結果

		問2. 現在の日常生活について(日常的な感染対策)					合計
		手洗い・うがい などを、こまめ にするようにな った	マスクを室内で も常時するよう になった	外出時にマス クの装着を欠 かさなくなった	住居内の除 菌・滅菌をこま めにするようにな った	室内換気をこ まめにするよう になった	
合 計		668 84.1%	206 25.9%	760 95.7%	241 30.4%	424 53.4%	794 -
問 1 ① 性別	男性	310 81.2%	74 19.4%	364 95.3%	88 23.0%	176 46.1%	382 -
	女性	356 86.8%	132 32.2%	394 96.1%	152 37.1%	246 60.0%	410 -
	無回答	2 100.0%	0 .0%	2 100.0%	1 50.0%	2 100.0%	2 -
問 1 ② 年齢	20～29 歳	9 81.8%	6 54.5%	10 90.9%	5 45.5%	8 72.7%	11 -
	30～39 歳	22 64.7%	17 50.0%	32 94.1%	4 11.8%	13 38.2%	34 -
	40～49 歳	41 91.1%	28 62.2%	44 97.8%	14 31.1%	22 48.9%	45 -
	50～59 歳	44 88.0%	31 62.0%	47 94.0%	13 26.0%	29 58.0%	50 -
	60～69 歳	83 86.5%	25 26.0%	91 94.8%	23 24.0%	49 51.0%	96 -
	70 歳以上	469 84.1%	99 17.7%	536 96.1%	182 32.6%	303 54.3%	558 -
問 1 ③ 【広域地 域】	盛岡広域	208 83.5%	47 18.9%	236 94.8%	69 27.7%	135 54.2%	249 -
	県南広域	205 85.4%	71 29.6%	231 96.3%	71 29.6%	126 52.5%	240 -
	沿岸広域	156 82.1%	52 27.4%	182 95.8%	65 34.2%	113 59.5%	190 -
	県北広域	98 86.0%	35 30.7%	110 96.5%	35 30.7%	49 43.0%	114 -
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 -
問 1 ④ 就 労 状 況 (職 業)	正社員	92 84.4%	60 55.0%	105 96.3%	25 22.9%	58 53.2%	109 -
	契約社員・派遣 社員	38 92.7%	24 58.5%	40 97.6%	8 19.5%	18 43.9%	41 -
	パート・アルバ イト	41 83.7%	14 28.6%	47 95.9%	15 30.6%	19 38.8%	49 -
	自営業	31 86.1%	7 19.4%	33 91.7%	12 33.3%	19 52.8%	36 -
	年金生活者	397 83.4%	87 18.3%	459 96.4%	150 31.5%	267 56.1%	476 -
	無職(主婦・夫、 学生含む)	42 85.7%	7 14.3%	45 91.8%	17 34.7%	30 61.2%	49 -
	その他	25 78.1%	5 15.6%	29 90.6%	13 40.6%	12 37.5%	32 -
	無回答	2 100.0%	2 100.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 -
問 1 ⑤ 家 族 構 成	一人暮らし	105 79.5%	36 27.3%	125 94.7%	47 35.6%	80 60.6%	132 -
	親子2世代(子 と同居)	188 84.7%	64 28.8%	211 95.0%	67 30.2%	120 54.1%	222 -
	親子2世代(親 と同居)	43 78.2%	20 36.4%	52 94.5%	12 21.8%	24 43.6%	55 -
	3世代以上同居	81 81.0%	32 32.0%	97 97.0%	26 26.0%	45 45.0%	100 -
	夫婦のみ	239 87.5%	49 17.9%	263 96.3%	85 31.1%	146 53.5%	273 -
	その他	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%	3 100.0%	3 -
	無回答	9 100.0%	4 44.4%	9 100.0%	3 33.3%	6 66.7%	9 -

⑤「⑤家族構成（職業）」については、類型間に10ポイント以上の差があるものもあったが、「合計」からの乖離が10ポイント以上あるものがなかったため、「家族構成による感染対策に差があった」とはいえない。

(2)「日常生活上の弊害」について（表3-2-2）

- ①「①性別」については、「男性」と「女性」の間に10ポイント以上の差がある項目が複数あり、一般的に「女性」の方に「日常生活上の弊害」が生じている可能性があることがわかる。しかし、「合計」からの乖離が10ポイント以上になるものはなかったため、「性別による日常生活上の弊害に差があった」とはいえない。
- ②「②年齢」については、「外出をほとんどしなくなった」において、59歳以下の年齢層で否定的な乖離がみられることから、現役世代の人の方が他者との接触を避けるために、外出する機会を減らしていることがうかがえる。しかし、「運動不足を感じるようになった」において「20～29歳」で肯定的な乖離がみられるものの、「ストレスを感じるが増えた」において、「30～39歳」と「50～59歳」で否定的な乖離がみられ、働き盛りの世代に弊害が生じていることがうかがえる。
- ③「③広域地域」については、地域間での大きな差がみられないうえ、「合計」からの乖離が10ポイント以上になるものはなかったため、「地域による日常生活上の弊害に差があった」とはいえない。
- ④「④就労状況（職業）」については、「外出をほとんどしなくなった」と「ストレスを感じるが増えた」において、「正社員」で否定的な乖離がみられた。
- ⑤「⑤家族構成（職業）」については、「運動不足を感じるようになった」において「一人暮らし」で否定的な乖離がみられた。

(3)「生活スタイルの変化」について（表3-2-3）

- ①「①性別」については、「男性」と「女性」の間に一定以上のポイント差がある項目があるものの、一般的に「女性」の方に「生活スタイルの変化」がやや生じている可能性があることがわかる。しかし、「合計」からの乖離が10ポイント以上になるものはなかったため、「性別による生活スタイルの変化に差があった」とはいえない。
- ②「②年齢」については、「自宅でお酒を飲むが増えた」において、「30～39歳」で否定的な乖離（「40～49歳」でも10ポイント程度の乖離）がみられる。また、「料理（自炊）の頻度・1回あたりの作る量が増えた」において、「20～29歳」や「40～49歳」、「50～59歳」で上方への乖離がみられる。また、「家の中のものを見直し、整理整頓した」において、「20～29歳」で下方への乖離がみられる一方、「50～59歳」で上方に乖離がみられる。さらに、「家族で過ごす時間が増えた」において、「40～49歳」と「50～59歳」で上方への乖離がみられ、全般的に働き盛りの世代に「生活スタイルの変化」が生じていることがうかがえる。
- ③「③広域地域」については、地域間での大きな差がみられないうえ、「合計」からの乖離が10ポイント以上になるものはなかったため、「地域による生活スタイルの変化」とはいえない。
- ④「④就労状況（職業）」については、「家族で過ごす時間が増えた」において、「正社員」で上方への乖離がみられるものの、「正社員」以外では特徴的な結果は得られなかった。
- ⑤「⑤家族構成（職業）」については、「家族で過ごす時間が増えた」において「一人暮らし」で下方への乖離がみられたが、「一人暮らし」であるがゆえの結果であると考えられ、「一人暮らし」以外では特徴的な結果は得られなかった。

表 3-2-2 基本属性と現在の日常生活について（日常生活上の弊害）のクロス集計結果

		問2. 現在の日常生活について(日常生活上の弊害)					合計
		外出をほとんどしなくなった	病院への通院回数が減った	運動不足を感じるようになった	ストレスを感じることが増えた	生活時間が乱れた	
合 計		276 34.8%	65 8.2%	299 37.7%	239 30.1%	31 3.9%	794 -
問 1 ① 性別	男性	100 26.2%	20 5.2%	131 34.3%	89 23.3%	15 3.9%	382 -
	女性	176 42.9%	45 11.0%	167 40.7%	149 36.3%	16 3.9%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	2 -
問 1 ② 年齢	20～29 歳	6 54.5%	0 .0%	2 18.2%	3 27.3%	0 .0%	11 -
	30～39 歳	20 58.8%	6 17.6%	13 38.2%	22 64.7%	1 2.9%	34 -
	40～49 歳	23 51.1%	5 11.1%	19 42.2%	16 35.6%	3 6.7%	45 -
	50～59 歳	23 46.0%	4 8.0%	19 38.0%	21 42.0%	4 8.0%	50 -
	60～69 歳	31 32.3%	8 8.3%	32 33.3%	34 35.4%	2 2.1%	96 -
	70 歳以上	173 31.0%	42 7.5%	214 38.4%	143 25.6%	21 3.8%	558 -
問 1 ③ 【広域地域】	盛岡広域	87 34.9%	18 7.2%	92 36.9%	76 30.5%	8 3.2%	249 -
	県南広域	83 34.6%	20 8.3%	87 36.3%	77 32.1%	12 5.0%	240 -
	沿岸広域	66 34.7%	17 8.9%	81 42.6%	60 31.6%	7 3.7%	190 -
	県北広域	40 35.1%	9 7.9%	38 33.3%	25 21.9%	3 2.6%	114 -
	無回答	0 .0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 -
問 1 ④ 就 労 状 況（職 業）	正社員	57 52.3%	11 10.1%	35 32.1%	48 44.0%	2 1.8%	109 -
	契約社員・派遣社員	15 36.6%	4 9.8%	14 34.1%	14 34.1%	2 4.9%	41 -
	パート・アルバイト	19 38.8%	4 8.2%	17 34.7%	18 36.7%	4 8.2%	49 -
	自営業	12 33.3%	3 8.3%	10 27.8%	12 33.3%	0 .0%	36 -
	年金生活者	150 31.5%	39 8.2%	197 41.4%	120 25.2%	20 4.2%	476 -
	無職(主婦・夫、学生含む)	17 34.7%	2 4.1%	17 34.7%	16 32.7%	1 2.0%	49 -
	その他	6 18.8%	1 3.1%	9 28.1%	9 28.1%	2 6.3%	32 -
	無回答	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	2 -
問 1 ⑤ 家 族 構 成	一人暮らし	57 43.2%	10 7.6%	63 47.7%	47 35.6%	6 4.5%	132 -
	親子2世代(子と同居)	78 35.1%	22 9.9%	76 34.2%	69 31.1%	7 3.2%	222 -
	親子2世代(親と同居)	24 43.6%	2 3.6%	19 34.5%	17 30.9%	1 1.8%	55 -
	3世代以上同居	35 35.0%	9 9.0%	32 32.0%	34 34.0%	4 4.0%	100 -
	夫婦のみ	80 29.3%	20 7.3%	103 37.7%	65 23.8%	12 4.4%	273 -
	その他	0 .0%	0 .0%	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	3 -
	無回答	2 22.2%	2 22.2%	4 44.4%	7 77.8%	1 11.1%	9 -

表 3-2-3 基本属性と現在の日常生活について（生活スタイルの変化）のクロス集計結果

		問2. 現在の日常生活について(生活スタイルの変化)					合計
		自宅でお酒を飲むことが増えた	料理(自炊)の頻度・1回あたりの作量が増えた	家の中のものを直し、整理整頓した	子どもや孫などが避難してきて生活を一緒にする家族が増えた	家族で過ごす時間が増えた	
合計		63 7.9%	76 9.6%	225 28.3%	2 0.3%	139 17.5%	794 -
問1① 性別	男性	42 11.0%	17 4.5%	89 23.3%	1 .3%	66 17.3%	382 -
	女性	21 5.1%	59 14.4%	136 33.2%	1 .2%	73 17.8%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	1 9.1%	5 45.5%	1 9.1%	0 .0%	3 27.3%	11 -
	30～39 歳	8 23.5%	3 8.8%	8 23.5%	0 .0%	8 23.5%	34 -
	40～49 歳	8 17.8%	10 22.2%	10 22.2%	0 .0%	18 40.0%	45 -
	50～59 歳	3 6.0%	10 20.0%	22 44.0%	0 .0%	17 34.0%	50 -
	60～69 歳	9 9.4%	8 8.3%	22 22.9%	0 .0%	18 18.8%	96 -
	70 歳以上	34 6.1%	40 7.2%	162 29.0%	2 .4%	75 13.4%	558 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	16 6.4%	23 9.2%	79 31.7%	0 .0%	37 14.9%	249 -
	県南広域	26 10.8%	16 6.7%	70 29.2%	0 .0%	46 19.2%	240 -
	沿岸広域	9 4.7%	18 9.5%	53 27.9%	1 .5%	30 15.8%	190 -
	県北広域	11 9.6%	18 15.8%	22 19.3%	1 .9%	26 22.8%	114 -
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	1 -
問1④ 就労状況(職業)	正社員	17 15.6%	19 17.4%	27 24.8%	0 .0%	35 32.1%	109 -
	契約社員・派遣社員	6 14.6%	7 17.1%	15 36.6%	0 .0%	10 24.4%	41 -
	パート・アルバイト	2 4.1%	8 16.3%	10 20.4%	0 .0%	10 20.4%	49 -
	自営業	1 2.8%	3 8.3%	10 27.8%	0 .0%	9 25.0%	36 -
	年金生活者	34 7.1%	34 7.1%	137 28.8%	1 .2%	64 13.4%	476 -
	無職(主婦・夫、学生含む)	0 .0%	4 8.2%	17 34.7%	0 .0%	6 12.2%	49 -
	その他	3 9.4%	0 .0%	8 25.0%	1 3.1%	4 12.5%	32 -
	無回答	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	1 50.0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	5 3.8%	14 10.6%	40 30.3%	0 .0%	0 .0%	132 -
	親子2世代(子と同居)	12 5.4%	24 10.8%	69 31.1%	2 .9%	40 18.0%	222 -
	親子2世代(親と同居)	5 9.1%	6 10.9%	13 23.6%	0 .0%	13 23.6%	55 -
	3世代以上同居	8 8.0%	5 5.0%	25 25.0%	0 .0%	27 27.0%	100 -
	夫婦のみ	30 11.0%	25 9.2%	76 27.8%	0 .0%	57 20.9%	273 -
	その他	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	1 33.3%	3 -
	無回答	3 33.3%	2 22.2%	1 11.1%	0 .0%	1 11.1%	9 -

3. 昨年と比べた外出頻度について（問3）

（1）「性別」について（表3-3-1）

「性別」によるクロス集計では、「①食料品・生活必需品の買物」「⑤友人・知人と会う」「⑦運動・スポーツ」「⑧余暇活動」の4項目で男女に有意な差がみられた。

- ①「①食料品・生活必需品の買物」は、女性の増加傾向がやや高い。
- ②「⑤友人・知人と会う」は、全般的に減少傾向にあるが、女性の減少傾向がやや高い。
- ③「⑦運動・スポーツ」は、全般的に減少傾向にあるが、男性の減少傾向がやや高い。
- ④「⑧余暇活動」は、全般的に減少傾向にあるが、女性の減少傾向がやや高い。

表3-3-1 基本属性（性別）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果

問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ①食料品・生活必需品の買物							
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答
男性	18 4.7%	99 25.9%	229 59.9%	24 6.3%	3 .8%	9 2.4%	
女性	27 6.6%	98 23.9%	231 56.3%	36 8.8%	15 3.7%	3 .7%	
無回答	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	
合計	45 5.7%	198 24.9%	460 57.9%	60 7.6%	19 2.4%	12 1.5%	
合計							382 100.0%

※やや有意差(因果関係)あり(P<0.05)

問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ②通勤・通学							
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答
男性	6 1.6%	9 2.4%	121 31.7%	2 .5%	1 .3%	40 10.5%	203 53.1%
女性	6 1.5%	9 2.2%	209 51.0%	0 .0%	0 .0%	39 9.5%	147 35.9%
無回答	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%
合計	12 1.5%	18 2.3%	331 41.7%	2 .3%	1 .1%	79 9.9%	351 44.2%
合計							794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ③子育て関連施設(保育所等)							
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答
男性	4 1.0%	11 2.9%	67 17.5%	0 .0%	59 15.4%	241 63.1%	
女性	7 1.7%	16 3.9%	102 24.9%	1 .2%	80 19.5%	204 49.8%	
無回答	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	
合計	11 1.4%	27 3.4%	170 21.4%	1 .1%	139 17.5%	446 56.2%	
合計							794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ④病院・薬局							
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答
男性	2 .5%	40 10.5%	315 82.5%	13 3.4%	2 .5%	10 2.6%	0 .0%
女性	6 1.5%	59 14.4%	320 78.0%	10 2.4%	4 1.0%	10 2.4%	1 .2%
無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
合計	8 1.0%	99 12.5%	637 80.2%	23 2.9%	6 .8%	20 2.5%	1 .1%
合計							794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑤友人・知人と会う							
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答
男性	137 35.9%	124 32.5%	115 30.1%	1 .3%	1 .3%	4 1.0%	0 .0%
女性	192 46.8%	134 32.7%	73 17.8%	1 .2%	4 1.0%	5 1.2%	1 .2%
無回答	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%
合計	329 41.4%	259 32.6%	189 23.8%	2 .3%	5 .6%	9 1.1%	1 .1%
合計							794 100.0%

※有意差(因果関係)あり(P<0.01)

表 3-3-1 基本属性（性別）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果（つづき）

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑥役所での手続等							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
男性	9 2.4%	45 11.8%	307 80.4%	4 1.0%	0 .0%	16 4.2%	1 .3%	382 100.0%
女性	18 4.4%	40 9.8%	321 78.3%	0 .0%	1 .2%	26 6.3%	4 1.0%	410 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	27 3.4%	85 10.7%	630 79.3%	4 .5%	1 .1%	42 5.3%	5 .6%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑦運動・スポーツ							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
男性	86 22.5%	145 38.0%	130 34.0%	7 1.8%	1 .3%	12 3.1%	1 .3%	382 100.0%
女性	64 15.6%	125 30.5%	186 45.4%	7 1.7%	1 .2%	26 6.3%	1 .2%	410 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	150 18.9%	270 34.0%	318 40.1%	14 1.8%	2 .3%	38 4.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差(因果関係)あり(P<0.01)

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑧余暇活動							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
男性	75 19.6%	129 33.8%	157 41.1%	11 2.9%	2 .5%	7 1.8%	1 .3%	382 100.0%
女性	123 30.0%	111 27.1%	144 35.1%	12 2.9%	4 1.0%	15 3.7%	1 .2%	410 100.0%
無回答	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	198 24.9%	241 30.4%	302 38.0%	23 2.9%	6 .8%	22 2.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差(因果関係)あり(P<0.01)

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑨外食							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
男性	147 38.5%	112 29.3%	106 27.7%	4 1.0%	2 .5%	10 2.6%	1 .3%	382 100.0%
女性	194 47.3%	105 25.6%	91 22.2%	3 .7%	2 .5%	12 2.9%	3 .7%	410 100.0%
無回答	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	341 42.9%	218 27.5%	198 24.9%	7 .9%	4 .5%	22 2.8%	4 .5%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

(2)「年齢」について（表 3-3-2）

「年齢」によるクロス集計を行うにあたり、回答者の7割が「70歳以上」であることに鑑み、年齢区分を「49歳以下」「50～69歳」「70歳以上」の3区分にリカテゴリーした。「年齢」によるクロス集計では、「①食料品・生活必需品の買物」「②通勤・通学」「④病院・薬局」「⑤友人・知人と会う」「⑧余暇活動」「⑨外食」の6項目で世代間に有意な差がみられた。

- ①「①食料品・生活必需品の買物」は、年齢が低くなるほど減少傾向がやや高い。
- ②「②通勤・通学」は、年齢が低くなるほど変化のない傾向が高い。
- ③「④病院・薬局」は、年齢が低くなるほど減少傾向が高く、年齢が高くなるほど変化のない傾向が高い。
- ④「⑤友人・知人と会う」は、年齢が低くなるほど減少傾向が高く、年齢が高くなるほど変化のない傾向が高い。
- ⑤「⑧余暇活動」は、年齢が低くなるほど減少傾向が高く、年齢が高くなるほど変化のない傾向が高い。
- ⑥「⑨外食」は、年齢が低くなるほど減少傾向が高く、年齢が高くなるほど変化のない傾向が高い。

表 3-3-2 基本属性（年齢）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果

	問3. 昨年との比較による現在の外出頻度について ①食料品・生活必需品の買物							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
49歳以下	8 8.9%	22 24.4%	49 54.4%	4 4.4%	6 6.7%	1 1.1%		90 100.0%
50～69歳	6 4.1%	41 28.1%	73 50.0%	20 13.7%	5 3.4%	1 .7%		146 100.0%
70歳以上	31 5.6%	135 24.2%	338 60.6%	36 6.5%	8 1.4%	10 1.8%		558 100.0%
合計	45 5.7%	198 24.9%	460 57.9%	60 7.6%	19 2.4%	12 1.5%		794 100.0%

※有意差（因果関係）あり（ $P<0.01$ ）

	問3. 昨年との比較による現在の外出頻度について ②通勤・通学							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
49歳以下	0 0.0%	0 0.0%	87 96.7%	1 1.1%	0 0.0%	2 2.2%	0 0.0%	90 100.0%
50～69歳	2 1.4%	5 3.4%	112 76.7%	0 0.0%	0 0.0%	9 6.2%	18 12.3%	146 100.0%
70歳以上	10 1.8%	13 2.3%	132 23.7%	1 .2%	1 .2%	68 12.2%	333 59.7%	558 100.0%
合計	12 1.5%	18 2.3%	331 41.7%	2 .3%	1 .1%	79 9.9%	351 44.2%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり（ $P<0.01$ ）

	問3. 昨年との比較による現在の外出頻度について ③子育て関連施設（保育所等）							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
49歳以下	4 4.4%	14 15.6%	51 56.7%	0 0.0%		14 15.6%	7 7.8%	90 100.0%
50～69歳	4 2.7%	5 3.4%	49 33.6%	0 0.0%		40 27.4%	48 32.9%	146 100.0%
70歳以上	3 .5%	8 1.4%	70 12.5%	1 .2%		85 15.2%	391 70.1%	558 100.0%
合計	11 1.4%	27 3.4%	170 21.4%	1 .1%		139 17.5%	446 56.2%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

	問3. 昨年との比較による現在の外出頻度について ④病院・薬局							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
49歳以下	2 2.2%	20 22.2%	64 71.1%	1 1.1%	1 1.1%	2 2.2%	0 0.0%	90 100.0%
50～69歳	2 1.4%	22 15.1%	107 73.3%	7 4.8%	0 0.0%	8 5.5%	0 0.0%	146 100.0%
70歳以上	4 .7%	57 10.2%	466 83.5%	15 2.7%	5 .9%	10 1.8%	1 .2%	558 100.0%
合計	8 1.0%	99 12.5%	637 80.2%	23 2.9%	6 .8%	20 2.5%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）ややあり（ $P<0.05$ ）

	問3. 昨年との比較による現在の外出頻度について ⑤友人・知人と会う							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
49歳以下	55 61.1%	21 23.3%	12 13.3%	0 0.0%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	90 100.0%
50～69歳	80 54.8%	41 28.1%	21 14.4%	0 0.0%	2 1.4%	1 .7%	1 .7%	146 100.0%
70歳以上	194 34.8%	197 35.3%	156 28.0%	2 .4%	2 .4%	7 1.3%	0 0.0%	558 100.0%
合計	329 41.4%	259 32.6%	189 23.8%	2 .3%	5 .6%	9 1.1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり（ $P<0.01$ ）

	問3. 昨年との比較による現在の外出頻度について ⑥役所での手続等							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
49歳以下	4 4.4%	7 7.8%	73 81.1%	0 0.0%	1 1.1%	5 5.6%	0 0.0%	90 100.0%
50～69歳	6 4.1%	21 14.4%	114 78.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 3.4%	0 0.0%	146 100.0%
70歳以上	17 3.0%	57 10.2%	443 79.4%	4 .7%	0 0.0%	32 5.7%	5 .9%	558 100.0%
合計	27 3.4%	85 10.7%	630 79.3%	4 .5%	1 .1%	42 5.3%	5 .6%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

表 3-3-2 基本属性（年齢）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果（つづき）

	問 3. 昨年との比較による現在の外出頻度について ⑦運動・スポーツ							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
49 歳以下	16 17.8%	33 36.7%	32 35.6%	4 4.4%	1 1.1%	4 4.4%	0 0.0%	90 100.0%
50～69 歳	28 19.2%	46 31.5%	63 43.2%	3 2.1%	0 0.0%	6 4.1%	0 0.0%	146 100.0%
70 歳以上	106 19.0%	191 34.2%	223 40.0%	7 1.3%	1 .2%	28 5.0%	2 .4%	558 100.0%
合計	150 18.9%	270 34.0%	318 40.1%	14 1.8%	2 .3%	38 4.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

	問 3. 昨年との比較による現在の外出頻度について ⑧余暇活動							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
49 歳以下	41 45.6%	27 30.0%	14 15.6%	5 5.6%	1 1.1%	2 2.2%	0 0.0%	90 100.0%
50～69 歳	43 29.5%	44 30.1%	48 32.9%	5 3.4%	3 2.1%	2 1.4%	1 .7%	146 100.0%
70 歳以上	114 20.4%	170 30.5%	240 43.0%	13 2.3%	2 .4%	18 3.2%	1 .2%	558 100.0%
合計	198 24.9%	241 30.4%	302 38.0%	23 2.9%	6 .8%	22 2.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

	問 3. 昨年との比較による現在の外出頻度について ⑨外食							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
49 歳以下	42 46.7%	37 41.1%	10 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%	0 0.0%	90 100.0%
50～69 歳	79 54.1%	40 27.4%	21 14.4%	1 .7%	3 2.1%	2 1.4%	0 0.0%	146 100.0%
70 歳以上	220 39.4%	141 25.3%	167 29.9%	6 1.1%	1 .2%	19 3.4%	4 .7%	558 100.0%
合計	341 42.9%	218 27.5%	198 24.9%	7 .9%	4 .5%	22 2.8%	4 .5%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

(3) 「広域地域」について（表 3-3-3）

「広域地域」によるクロス集計では、すべての項目で有意な差がみられなかった。

表 3-3-3 基本属性（広域地域）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ①食料品・生活必需品の買物							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
盛岡広域	14 5.6%	57 22.9%	151 60.6%	19 7.6%	5 2.0%	3 1.2%		249 100.0%
県南広域	10 4.2%	57 23.8%	136 56.7%	26 10.8%	5 2.1%	6 2.5%		240 100.0%
沿岸広域	14 7.4%	58 30.5%	103 54.2%	8 4.2%	5 2.6%	2 1.1%		190 100.0%
県北広域	7 6.1%	25 21.9%	70 61.4%	7 6.1%	4 3.5%	1 .9%		114 100.0%
無回答	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		1 100.0%
合計	45 5.7%	198 24.9%	460 57.9%	60 7.6%	19 2.4%	12 1.5%		794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ②通勤・通学							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
盛岡広域	4 1.6%	3 1.2%	77 30.9%	1 .4%	0 .0%	32 12.9%	132 53.0%	249 100.0%
県南広域	0 .0%	7 2.9%	114 47.5%	0 .0%	1 .4%	20 8.3%	98 40.8%	240 100.0%
沿岸広域	8 4.2%	3 1.6%	74 38.9%	0 .0%	0 .0%	16 8.4%	89 46.8%	190 100.0%
県北広域	0 .0%	4 3.5%	66 57.9%	1 .9%	0 .0%	11 9.6%	32 28.1%	114 100.0%
無回答	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
合計	12 1.5%	18 2.3%	331 41.7%	2 .3%	1 .1%	79 9.9%	351 44.2%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ③子育て関連施設(保育所等)							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
盛岡広域	4 1.6%	4 1.6%	38 15.3%	0 .0%	48 19.3%	155 62.2%		249 100.0%
県南広域	6 2.5%	9 3.8%	53 22.1%	0 .0%	45 18.8%	127 52.9%		240 100.0%
沿岸広域	1 .5%	7 3.7%	39 20.5%	1 .5%	24 12.6%	118 62.1%		190 100.0%
県北広域	0 .0%	7 6.1%	40 35.1%	0 .0%	22 19.3%	45 39.5%		114 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%		1 100.0%
合計	11 1.4%	27 3.4%	170 21.4%	1 .1%	139 17.5%	446 56.2%		794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ④病院・薬局							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
盛岡広域	2 .8%	36 14.5%	195 78.3%	8 3.2%	1 .4%	6 2.4%	1 .4%	249 100.0%
県南広域	4 1.7%	30 12.5%	193 80.4%	7 2.9%	1 .4%	5 2.1%	0 .0%	240 100.0%
沿岸広域	2 1.1%	19 10.0%	153 80.5%	6 3.2%	4 2.1%	6 3.2%	0 .0%	190 100.0%
県北広域	0 .0%	14 12.3%	96 84.2%	1 .9%	0 .0%	3 2.6%	0 .0%	114 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
合計	8 1.0%	99 12.5%	637 80.2%	23 2.9%	6 .8%	20 2.5%	1 .1%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑤友人・知人とう							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
盛岡広域	113 45.4%	78 31.3%	53 21.3%	0 .0%	1 .4%	4 1.6%	0 .0%	249 100.0%
県南広域	103 42.9%	83 34.6%	46 19.2%	1 .4%	3 1.3%	3 1.3%	1 .4%	240 100.0%
沿岸広域	69 36.3%	64 33.7%	54 28.4%	1 .5%	0 .0%	2 1.1%	0 .0%	190 100.0%
県北広域	43 37.7%	34 29.8%	36 31.6%	0 .0%	1 .9%	0 .0%	0 .0%	114 100.0%
無回答	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
合計	329 41.4%	259 32.6%	189 23.8%	2 .3%	5 .6%	9 1.1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

表 3-3-3 基本属性（広域地域）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果（つづき）

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑥役所での手続等							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
盛岡広域	12 4.8%	26 10.4%	187 75.1%	0 .0%	0 .0%	23 9.2%	1 .4%	249 100.0%
県南広域	6 2.5%	22 9.2%	196 81.7%	2 .8%	0 .0%	11 4.6%	3 1.3%	240 100.0%
沿岸広域	5 2.6%	28 14.7%	147 77.4%	2 1.1%	0 .0%	7 3.7%	1 .5%	190 100.0%
県北広域	4 3.5%	8 7.0%	100 87.7%	0 .0%	1 .9%	1 .9%	0 .0%	114 100.0%
無回答	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
合計	27 3.4%	85 10.7%	630 79.3%	4 .5%	1 .1%	42 5.3%	5 .6%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑦運動・スポーツ							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
盛岡広域	55 22.1%	83 33.3%	93 37.3%	6 2.4%	0 .0%	11 4.4%	1 .4%	249 100.0%
県南広域	53 22.1%	83 34.6%	88 36.7%	3 1.3%	1 .4%	11 4.6%	1 .4%	240 100.0%
沿岸広域	29 15.3%	70 36.8%	72 37.9%	4 2.1%	1 .5%	14 7.4%	0 .0%	190 100.0%
県北広域	13 11.4%	34 29.8%	64 56.1%	1 .9%	0 .0%	2 1.8%	0 .0%	114 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
合計	150 18.9%	270 34.0%	318 40.1%	14 1.8%	2 .3%	38 4.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑧余暇活動							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
盛岡広域	62 24.9%	70 28.1%	101 40.6%	8 3.2%	1 .4%	6 2.4%	1 .4%	249 100.0%
県南広域	63 26.3%	79 32.9%	78 32.5%	10 4.2%	3 1.3%	7 2.9%	0 .0%	240 100.0%
沿岸広域	40 21.1%	57 30.0%	81 42.6%	2 1.1%	1 .5%	8 4.2%	1 .5%	190 100.0%
県北広域	32 28.1%	35 30.7%	42 36.8%	3 2.6%	1 .9%	1 .9%	0 .0%	114 100.0%
無回答	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
合計	198 24.9%	241 30.4%	302 38.0%	23 2.9%	6 .8%	22 2.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑨外食							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
盛岡広域	113 45.4%	59 23.7%	65 26.1%	2 .8%	2 .8%	5 2.0%	3 1.2%	249 100.0%
県南広域	105 43.8%	80 33.3%	45 18.8%	4 1.7%	1 .4%	5 2.1%	0 .0%	240 100.0%
沿岸広域	75 39.5%	46 24.2%	58 30.5%	1 .5%	1 .5%	8 4.2%	1 .5%	190 100.0%
県北広域	47 41.2%	33 28.9%	30 26.3%	0 .0%	0 .0%	4 3.5%	0 .0%	114 100.0%
無回答	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
合計	341 42.9%	218 27.5%	198 24.9%	7 .9%	4 .5%	22 2.8%	4 .5%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

(4)「就労状況」について（表 3-3-4）

「就労状況」によるクロス集計では、「④病院・薬局」「⑤友人・知人と会う」「⑧余暇活動」「⑨外食」の4項目で職業間に有意な差がみられた。主に、「労働者」か「労働者以外」の間で違いが出ている。

①「④病院・薬局」は、「労働者」よりも「労働者以外」の方が変化のない傾向が高い。

②「⑤友人・知人と会う」は、全般的に減少傾向が高いが、「労働者」よりも「労働者以外」の方が変化のない傾向が高い。

③「⑧余暇活動」は、全般的に減少傾向が高いが、「労働者」よりも「労働者以外」の方が変化のない傾向が高い。

④「⑨外食」は、全般的に減少傾向が高いが、「労働者」よりも「労働者以外」の方が変化のない傾向が高い。

表 3-3-4 基本属性（就労状況）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ①食料品・生活必需品の買物							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
正社員	8 7.3%	22 20.2%	61 56.0%	15 13.8%	3 2.8%	0 .0%		109 100.0%
契約社員・派遣社員	2 4.9%	8 19.5%	22 53.7%	7 17.1%	2 4.9%	0 .0%		41 100.0%
パート・アルバイト	2 4.1%	16 32.7%	24 49.0%	4 8.2%	2 4.1%	1 2.0%		49 100.0%
自営業	4 11.1%	3 8.3%	24 66.7%	3 8.3%	1 2.8%	1 2.8%		36 100.0%
年金生活者	24 5.0%	121 25.4%	285 59.9%	29 6.1%	8 1.7%	9 1.9%		476 100.0%
無職	2 4.1%	18 36.7%	26 53.1%	1 2.0%	1 2.0%	1 2.0%		49 100.0%
その他	3 9.4%	10 31.3%	16 50.0%	1 3.1%	2 6.3%	0 .0%		32 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		2 100.0%
合計	45 5.7%	198 24.9%	460 57.9%	60 7.6%	19 2.4%	12 1.5%		794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ②通勤・通学							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
正社員	0 .0%	2 1.8%	104 95.4%	1 .9%	0 .0%	1 .9%	1 .9%	109 100.0%
契約社員・派遣社員	0 .0%	1 2.4%	39 95.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.4%	41 100.0%
パート・アルバイト	2 4.1%	2 4.1%	39 79.6%	1 2.0%	0 .0%	2 4.1%	3 6.1%	49 100.0%
自営業	0 .0%	2 5.6%	8 22.2%	0 .0%	0 .0%	4 11.1%	22 61.1%	36 100.0%
年金生活者	7 1.5%	8 1.7%	110 23.1%	0 .0%	1 .2%	62 13.0%	288 60.5%	476 100.0%
無職	1 2.0%	0 .0%	18 36.7%	0 .0%	0 .0%	9 18.4%	21 42.9%	49 100.0%
その他	2 6.3%	3 9.4%	12 37.5%	0 .0%	0 .0%	1 3.1%	14 43.8%	32 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	2 100.0%
合計	12 1.5%	18 2.3%	331 41.7%	2 .3%	1 .1%	79 9.9%	351 44.2%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ③子育て関連施設(保育所等)							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
正社員	5 4.6%	11 10.1%	52 47.7%	0 .0%		24 22.0%	17 15.6%	109 100.0%
契約社員・派遣社員	0 .0%	2 4.9%	19 46.3%	0 .0%		10 24.4%	10 24.4%	41 100.0%
パート・アルバイト	1 2.0%	4 8.2%	12 24.5%	0 .0%		11 22.4%	21 42.9%	49 100.0%
自営業	2 5.6%	0 .0%	4 11.1%	0 .0%		5 13.9%	25 69.4%	36 100.0%
年金生活者	2 .4%	7 1.5%	66 13.9%	1 .2%		71 14.9%	329 69.1%	476 100.0%
無職	1 2.0%	1 2.0%	9 18.4%	0 .0%		13 26.5%	25 51.0%	49 100.0%
その他	0 .0%	2 6.3%	7 21.9%	0 .0%		5 15.6%	18 56.3%	32 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%		0 .0%	1 50.0%	2 100.0%
合計	11 1.4%	27 3.4%	170 21.4%	1 .1%		139 17.5%	446 56.2%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

表 3-3-4 基本属性（就労状況）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果（つづき）

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ④病院・薬局							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
正社員	3 2.8%	21 19.3%	80 73.4%	1 .9%	1 .9%	3 2.8%	0 .0%	109 100.0%
契約社員・派遣社員	0 .0%	7 17.1%	29 70.7%	2 4.9%	1 2.4%	2 4.9%	0 .0%	41 100.0%
パート・アルバイト	0 .0%	11 22.4%	32 65.3%	4 8.2%	1 2.0%	1 2.0%	0 .0%	49 100.0%
自営業	0 .0%	1 2.8%	35 97.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	36 100.0%
年金生活者	4 .8%	53 11.1%	391 82.1%	15 3.2%	3 .6%	9 1.9%	1 .2%	476 100.0%
無職	0 .0%	1 2.0%	43 87.8%	0 .0%	0 .0%	5 10.2%	0 .0%	49 100.0%
その他	1 3.1%	4 12.5%	26 81.3%	1 3.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	32 100.0%
無回答	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	8 1.0%	99 12.5%	637 80.2%	23 2.9%	6 .8%	20 2.5%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり（ $P<0.01$ ）

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑤友人・知人とう							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
正社員	65 59.6%	35 32.1%	8 7.3%	0 .0%	1 .9%	0 .0%	0 .0%	109 100.0%
契約社員・派遣社員	26 63.4%	7 17.1%	7 17.1%	0 .0%	1 2.4%	0 .0%	0 .0%	41 100.0%
パート・アルバイト	27 55.1%	12 24.5%	7 14.3%	0 .0%	1 2.0%	2 4.1%	0 .0%	49 100.0%
自営業	13 36.1%	12 33.3%	11 30.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	36 100.0%
年金生活者	165 34.7%	169 35.5%	135 28.4%	1 .2%	1 .2%	5 1.1%	0 .0%	476 100.0%
無職	19 38.8%	13 26.5%	12 24.5%	1 2.0%	1 2.0%	2 4.1%	1 2.0%	49 100.0%
その他	12 37.5%	11 34.4%	9 28.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	32 100.0%
無回答	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	329 41.4%	259 32.6%	189 23.8%	2 .3%	5 .6%	9 1.1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり（ $P<0.01$ ）

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑥役所での手続等							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
正社員	2 1.8%	12 11.0%	91 83.5%	0 .0%	0 .0%	4 3.7%	0 .0%	109 100.0%
契約社員・派遣社員	2 4.9%	3 7.3%	35 85.4%	1 2.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	41 100.0%
パート・アルバイト	4 8.2%	8 16.3%	36 73.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.0%	0 .0%	49 100.0%
自営業	1 2.8%	7 19.4%	25 69.4%	1 2.8%	0 .0%	2 5.6%	0 .0%	36 100.0%
年金生活者	14 2.9%	45 9.5%	381 80.0%	2 .4%	0 .0%	29 6.1%	5 1.1%	476 100.0%
無職	1 2.0%	4 8.2%	38 77.6%	0 .0%	0 .0%	6 12.2%	0 .0%	49 100.0%
その他	3 9.4%	6 18.8%	22 68.8%	0 .0%	1 3.1%	0 .0%	0 .0%	32 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	27 3.4%	85 10.7%	630 79.3%	4 .5%	1 .1%	42 5.3%	5 .6%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

表 3-3-4 基本属性（就労状況）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果（つづき）

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑦運動・スポーツ							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
正社員	19 17.4%	35 32.1%	47 43.1%	4 3.7%	1 .9%	3 2.8%	0 .0%	109 100.0%
契約社員・ 派遣社員	7 17.1%	19 46.3%	13 31.7%	1 2.4%	0 .0%	1 2.4%	0 .0%	41 100.0%
パート・ア ルバイト	7 14.3%	17 34.7%	22 44.9%	1 2.0%	0 .0%	2 4.1%	0 .0%	49 100.0%
自営業	11 30.6%	16 44.4%	8 22.2%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	0 .0%	36 100.0%
年金生活 者	92 19.3%	160 33.6%	191 40.1%	7 1.5%	0 .0%	25 5.3%	1 .2%	476 100.0%
無職	8 16.3%	9 18.4%	27 55.1%	0 .0%	0 .0%	4 8.2%	1 2.0%	49 100.0%
その他	5 15.6%	14 43.8%	9 28.1%	1 3.1%	1 3.1%	2 6.3%	0 .0%	32 100.0%
無回答	1 50.0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	150 18.9%	270 34.0%	318 40.1%	14 1.8%	2 .3%	38 4.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑧余暇活動							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
正社員	37 33.9%	41 37.6%	22 20.2%	6 5.5%	3 2.8%	0 .0%	0 .0%	109 100.0%
契約社員・ 派遣社員	14 34.1%	13 31.7%	9 22.0%	3 7.3%	1 2.4%	1 2.4%	0 .0%	41 100.0%
パート・ア ルバイト	23 46.9%	12 24.5%	13 26.5%	0 .0%	0 .0%	1 2.0%	0 .0%	49 100.0%
自営業	11 30.6%	7 19.4%	17 47.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	36 100.0%
年金生活 者	96 20.2%	150 31.5%	203 42.6%	10 2.1%	0 .0%	16 3.4%	1 .2%	476 100.0%
無職	10 20.4%	9 18.4%	26 53.1%	2 4.1%	0 .0%	2 4.1%	0 .0%	49 100.0%
その他	6 18.8%	9 28.1%	11 34.4%	2 6.3%	2 6.3%	2 6.3%	0 .0%	32 100.0%
無回答	1 50.0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	198 24.9%	241 30.4%	302 38.0%	23 2.9%	6 .8%	22 2.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑨外食							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
正社員	58 53.2%	39 35.8%	11 10.1%	0 .0%	1 .9%	0 .0%	0 .0%	109 100.0%
契約社員・ 派遣社員	18 43.9%	18 43.9%	4 9.8%	1 2.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	41 100.0%
パート・ア ルバイト	23 46.9%	16 32.7%	9 18.4%	0 .0%	0 .0%	1 2.0%	0 .0%	49 100.0%
自営業	14 38.9%	9 25.0%	12 33.3%	1 2.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	36 100.0%
年金生活 者	193 40.5%	114 23.9%	143 30.0%	4 .8%	2 .4%	16 3.4%	4 .8%	476 100.0%
無職	16 32.7%	14 28.6%	14 28.6%	1 2.0%	0 .0%	4 8.2%	0 .0%	49 100.0%
その他	17 53.1%	8 25.0%	5 15.6%	0 .0%	1 3.1%	1 3.1%	0 .0%	32 100.0%
無回答	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
合計	341 42.9%	218 27.5%	198 24.9%	7 .9%	4 .5%	22 2.8%	4 .5%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

(5)「家族構成」について（表 3-3-5）

「家族構成」によるクロス集計では、すべての項目で有意な差がみられなかった。

表 3-3-5 基本属性（家族構成）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果（つづき）

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ①食料品・生活必需品の買物							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
一人暮らし	6 4.5%	38 28.8%	78 59.1%	9 6.8%	1 .8%	0 .0%		132 100.0%
親子2世代 (子と同居)	13 5.9%	45 20.3%	137 61.7%	19 8.6%	4 1.8%	4 1.8%		222 100.0%
親子2世代 (親と同居)	4 7.3%	11 20.0%	34 61.8%	2 3.6%	4 7.3%	0 .0%		55 100.0%
3世代以上同居	3 3.0%	31 31.0%	51 51.0%	5 5.0%	5 5.0%	5 5.0%		100 100.0%
夫婦のみ	18 6.6%	72 26.4%	152 55.7%	24 8.8%	4 1.5%	3 1.1%		273 100.0%
その他	0 .0%	1 33.3%	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		3 100.0%
無回答	1 11.1%	0 .0%	6 66.7%	1 11.1%	1 11.1%	0 .0%		9 100.0%
合計	45 5.7%	198 24.9%	460 57.9%	60 7.6%	19 2.4%	12 1.5%		794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ②通勤・通学							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
一人暮らし	5 3.8%	3 2.3%	40 30.3%	0 .0%	0 .0%	14 10.6%	70 53.0%	132 100.0%
親子2世代 (子と同居)	4 1.8%	3 1.4%	112 50.5%	1 .5%	0 .0%	21 9.5%	81 36.5%	222 100.0%
親子2世代 (親と同居)	0 .0%	0 .0%	38 69.1%	0 .0%	0 .0%	3 5.5%	14 25.5%	55 100.0%
3世代以上同居	0 .0%	3 3.0%	63 63.0%	0 .0%	0 .0%	9 9.0%	25 25.0%	100 100.0%
夫婦のみ	3 1.1%	9 3.3%	73 26.7%	1 .4%	1 .4%	31 11.4%	155 56.8%	273 100.0%
その他	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 66.7%	3 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	4 44.4%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	4 44.4%	9 100.0%
合計	12 1.5%	18 2.3%	331 41.7%	2 .3%	1 .1%	79 9.9%	351 44.2%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ③子育て関連施設（保育所等）							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
一人暮らし	0 .0%	1 .8%	14 10.6%	0 .0%		23 17.4%	94 71.2%	132 100.0%
親子2世代 (子と同居)	7 3.2%	12 5.4%	61 27.5%	1 .5%		34 15.3%	107 48.2%	222 100.0%
親子2世代 (親と同居)	0 .0%	0 .0%	18 32.7%	0 .0%		14 25.5%	23 41.8%	55 100.0%
3世代以上同居	2 2.0%	8 8.0%	39 39.0%	0 .0%		22 22.0%	29 29.0%	100 100.0%
夫婦のみ	2 .7%	6 2.2%	37 13.6%	0 .0%		43 15.8%	185 67.8%	273 100.0%
その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%		1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	0 .0%		2 22.2%	6 66.7%	9 100.0%
合計	11 1.4%	27 3.4%	170 21.4%	1 .1%		139 17.5%	446 56.2%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

表 3-3-5 基本属性（家族構成）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果（つづき）

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ④病院・薬局							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
一人暮らし	0 .0%	14 10.6%	111 84.1%	4 3.0%	2 1.5%	1 .8%	0 .0%	132 100.0%
親子2世代 (子と同居)	3 1.4%	28 12.6%	179 80.6%	5 2.3%	2 .9%	5 2.3%	0 .0%	222 100.0%
親子2世代 (親と同居)	0 .0%	5 9.1%	45 81.8%	3 5.5%	0 .0%	2 3.6%	0 .0%	55 100.0%
3世代以上同居	1 1.0%	18 18.0%	75 75.0%	1 1.0%	1 1.0%	4 4.0%	0 .0%	100 100.0%
夫婦のみ	4 1.5%	32 11.7%	219 80.2%	9 3.3%	1 .4%	7 2.6%	1 .4%	273 100.0%
その他	0 .0%	0 .0%	3 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
無回答	0 .0%	2 22.2%	5 55.6%	1 11.1%	0 .0%	1 11.1%	0 .0%	9 100.0%
合計	8 1.0%	99 12.5%	637 80.2%	23 2.9%	6 .8%	20 2.5%	1 .1%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑤友人・知人と会う							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
一人暮らし	50 37.9%	44 33.3%	36 27.3%	1 .8%	1 .8%	0 .0%	0 .0%	132 100.0%
親子2世代 (子と同居)	92 41.4%	63 28.4%	63 28.4%	1 .5%	1 .5%	2 .9%	0 .0%	222 100.0%
親子2世代 (親と同居)	22 40.0%	20 36.4%	12 21.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	55 100.0%
3世代以上同居	51 51.0%	33 33.0%	14 14.0%	0 .0%	0 .0%	2 2.0%	0 .0%	100 100.0%
夫婦のみ	108 39.6%	97 35.5%	62 22.7%	0 .0%	2 .7%	4 1.5%	0 .0%	273 100.0%
その他	2 66.7%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
無回答	4 44.4%	1 11.1%	2 22.2%	0 .0%	1 11.1%	1 11.1%	0 .0%	9 100.0%
合計	329 41.4%	259 32.6%	189 23.8%	2 .3%	5 .6%	9 1.1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑥役所での手続等							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
一人暮らし	5 3.8%	12 9.1%	104 78.8%	2 1.5%	1 .8%	7 5.3%	1 .8%	132 100.0%
親子2世代 (子と同居)	7 3.2%	23 10.4%	178 80.2%	1 .5%	0 .0%	12 5.4%	1 .5%	222 100.0%
親子2世代 (親と同居)	2 3.6%	3 5.5%	47 85.5%	1 1.8%	0 .0%	2 3.6%	0 .0%	55 100.0%
3世代以上同居	5 5.0%	14 14.0%	76 76.0%	0 .0%	0 .0%	5 5.0%	0 .0%	100 100.0%
夫婦のみ	8 2.9%	32 11.7%	215 78.8%	0 .0%	0 .0%	15 5.5%	3 1.1%	273 100.0%
その他	0 .0%	0 .0%	3 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
無回答	0 .0%	1 11.1%	7 77.8%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	0 .0%	9 100.0%
合計	27 3.4%	85 10.7%	630 79.3%	4 .5%	1 .1%	42 5.3%	5 .6%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

表 3-3-5 基本属性（家族構成）と昨年と比べた外出の頻度についてのクロス集計結果（つづき）

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑦運動・スポーツ							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
一人暮らし	20 15.2%	39 29.5%	57 43.2%	2 1.5%	0 .0%	13 9.8%	1 .8%	132 100.0%
親子2世代 (子と同居)	44 19.8%	72 32.4%	95 42.8%	0 .0%	0 .0%	11 5.0%	0 .0%	222 100.0%
親子2世代 (親と同居)	5 9.1%	15 27.3%	30 54.5%	2 3.6%	1 1.8%	2 3.6%	0 .0%	55 100.0%
3世代以上同居	26 26.0%	31 31.0%	35 35.0%	3 3.0%	0 .0%	5 5.0%	0 .0%	100 100.0%
夫婦のみ	54 19.8%	108 39.6%	96 35.2%	7 2.6%	1 .4%	6 2.2%	1 .4%	273 100.0%
その他	0 .0%	2 66.7%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
無回答	1 11.1%	3 33.3%	4 44.4%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	0 .0%	9 100.0%
合計	150 18.9%	270 34.0%	318 40.1%	14 1.8%	2 .3%	38 4.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑧余暇活動							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
一人暮らし	27 20.5%	34 25.8%	55 41.7%	3 2.3%	1 .8%	11 8.3%	1 .8%	132 100.0%
親子2世代 (子と同居)	67 30.2%	59 26.6%	88 39.6%	4 1.8%	0 .0%	4 1.8%	0 .0%	222 100.0%
親子2世代 (親と同居)	16 29.1%	15 27.3%	21 38.2%	3 5.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	55 100.0%
3世代以上同居	29 29.0%	36 36.0%	27 27.0%	4 4.0%	3 3.0%	1 1.0%	0 .0%	100 100.0%
夫婦のみ	55 20.1%	93 34.1%	108 39.6%	9 3.3%	2 .7%	5 1.8%	1 .4%	273 100.0%
その他	1 33.3%	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
無回答	3 33.3%	2 22.2%	3 33.3%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	0 .0%	9 100.0%
合計	198 24.9%	241 30.4%	302 38.0%	23 2.9%	6 .8%	22 2.8%	2 .3%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑨外食							合計
	大いに減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	無回答	
一人暮らし	46 34.8%	27 20.5%	49 37.1%	1 .8%	1 .8%	6 4.5%	2 1.5%	132 100.0%
親子2世代 (子と同居)	100 45.0%	56 25.2%	54 24.3%	4 1.8%	2 .9%	5 2.3%	1 .5%	222 100.0%
親子2世代 (親と同居)	21 38.2%	22 40.0%	9 16.4%	1 1.8%	0 .0%	2 3.6%	0 .0%	55 100.0%
3世代以上同居	48 48.0%	30 30.0%	21 21.0%	0 .0%	0 .0%	1 1.0%	0 .0%	100 100.0%
夫婦のみ	121 44.3%	78 28.6%	63 23.1%	1 .4%	1 .4%	8 2.9%	1 .4%	273 100.0%
その他	2 66.7%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
無回答	3 33.3%	4 44.4%	2 22.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	9 100.0%
合計	341 42.9%	218 27.5%	198 24.9%	7 .9%	4 .5%	22 2.8%	4 .5%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

4. 生活面でのコロナの影響について（問4～問7）

（1）昨年と比べた場合の収入の増減（問4）（表3-4-1）

「昨年と比べた場合の収入の増減」を従属変数にしたクロス集計では、独立変数が「性別」「広域地域」「就労状況」の3項目で有意な差がみられた。

- ①「性別」では、「男性」よりも「女性」の方が「変わらない」と回答した割合がやや高く、「大幅に減少」と「やや減少」とを合わせた「減少」の割合が「女性」よりも「男性」の方でやや高くなっている。
- ②「広域地域」では、「盛岡広域」と「県北広域」よりも「県南広域」と「沿岸広域」の方が「変わらない」と回答した割合がやや高く、「大幅に減少」と「やや減少」とを合わせた「減少」の割合が「盛岡広域」と「県北広域」よりも「県南広域」と「沿岸広域」の方がやや高くなっている。
- ③「就労状況」では、「パート・アルバイト」「自営業」「無職」よりも「正社員」「契約社員・派遣社員」「年金生活者」の方が「変わらない」と回答した割合が高く、「大幅に減少」と「やや減少」とを合わせた「減少」の割合が「正社員」「契約社員・派遣社員」「年金生活者」よりも「パート・アルバイト」「自営業」「無職」の方で高くなっている。特に「自営業」の減少割合が高くなっている。

表3-4-1 基本属性（全般）と昨年と比べた場合の収入の増減についてのクロス集計結果

性別	問4.コロナ禍で、昨年と比べた場合の収入の増減						合計
	大幅に減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	
男性	9 2.4%	55 14.4%	308 80.6%	2 .5%		8 2.1%	382 100.0%
女性	20 4.9%	33 8.0%	350 85.4%	2 .5%		5 1.2%	410 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%		0 .0%	2 100.0%
合計	29 3.7%	88 11.1%	660 83.1%	4 .5%		13 1.6%	794 100.0%

※有意差（因果関係）ややあり（ $P<0.05$ ）

年齢	問4.コロナ禍で、昨年と比べた場合の収入の増減						合計
	大幅に減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	
20～29歳	1 9.1%	0 .0%	8 72.7%	0 .0%		2 18.2%	11 100.0%
30～39歳	0 .0%	1 2.9%	31 91.2%	1 2.9%		1 2.9%	34 100.0%
40～49歳	1 2.2%	1 2.2%	42 93.3%	1 2.2%		0 .0%	45 100.0%
50～59歳	2 4.0%	4 8.0%	43 86.0%	0 .0%		1 2.0%	50 100.0%
60～69歳	5 5.2%	18 18.8%	73 76.0%	0 .0%		0 .0%	96 100.0%
70歳以上	20 3.6%	64 11.5%	463 83.0%	2 .4%		9 1.6%	558 100.0%
合計	29 3.7%	88 11.1%	660 83.1%	4 .5%		13 1.6%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

広域地域	問4.コロナ禍で、昨年と比べた場合の収入の増減						合計
	大幅に減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	
盛岡広域	12 4.8%	22 8.8%	211 84.7%	1 .4%		3 1.2%	249 100.0%
県南広域	3 1.3%	36 15.0%	196 81.7%	0 .0%		5 2.1%	240 100.0%
沿岸広域	11 5.8%	22 11.6%	155 81.6%	1 .5%		1 .5%	190 100.0%
県北広域	3 2.6%	7 6.1%	98 86.0%	2 1.8%		4 3.5%	114 100.0%
無回答	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%		0 .0%	1 100.0%
合計	29 3.7%	88 11.1%	660 83.1%	4 .5%		13 1.6%	794 100.0%

※有意差（因果関係）ややあり（ $P<0.05$ ）

表 3-4-1 基本属性（全般）と昨年と比べた場合の収入の増減についてのクロス集計結果（つづき）

就労状況	問4.コロナ禍で、昨年と比べた場合の収入の増減						合計
	大幅に減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	
正社員	2 1.8%	5 4.6%	99 90.8%	2 1.8%		1 .9%	109 100.0%
契約社員・ 派遣社員	0 .0%	2 4.9%	38 92.7%	0 .0%		1 2.4%	41 100.0%
パート・ アルバイト	4 8.2%	7 14.3%	37 75.5%	1 2.0%		0 .0%	49 100.0%
自営業	5 13.9%	13 36.1%	17 47.2%	1 2.8%		0 .0%	36 100.0%
年金生活 者	12 2.5%	50 10.5%	406 85.3%	0 .0%		8 1.7%	476 100.0%
無職	3 6.1%	7 14.3%	37 75.5%	0 .0%		2 4.1%	49 100.0%
その他	3 9.4%	4 12.5%	24 75.0%	0 .0%		1 3.1%	32 100.0%
無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%		0 .0%	2 100.0%
合計	29 3.7%	88 11.1%	660 83.1%	4 .5%		13 1.6%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり（ $P<0.01$ ）

家族構成	問4.コロナ禍で、昨年と比べた場合の収入の増減						合計
	大幅に減少	やや減少	変わらない	やや増加	大幅に増加	わからない	
一人暮らし	7 5.3%	9 6.8%	113 85.6%	1 .8%		2 1.5%	132 100.0%
親子2世代 （子と同居）	9 4.1%	23 10.4%	185 83.3%	1 .5%		4 1.8%	222 100.0%
親子2世代 （親と同居）	3 5.5%	7 12.7%	43 78.2%	0 .0%		2 3.6%	55 100.0%
3世代以 上同居	3 3.0%	16 16.0%	78 78.0%	1 1.0%		2 2.0%	100 100.0%
夫婦のみ	6 2.2%	31 11.4%	232 85.0%	1 .4%		3 1.1%	273 100.0%
その他	0 .0%	0 .0%	3 100.0%	0 .0%		0 .0%	3 100.0%
無回答	1 11.1%	2 22.2%	6 66.7%	0 .0%		0 .0%	9 100.0%
合計	29 3.7%	88 11.1%	660 83.1%	4 .5%		13 1.6%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

(2) コロナ禍で困ったことや困っていること (問5) (表3-4-2)

問5では、「コロナ禍で困ったことや、現在、困っていることなどについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。」という設問を立て、15の回答項目を設定した。問5の項目を従属変数にし、回答者の基本属性(問1)の項目を独立変数にして分析した結果が、表3-4-2である。なお、表中の網掛けのうち、青(■)は「肯定的」な乖離とし、赤(■)は「否定的」な乖離とするが、設問が「困りごと」となっているため、赤(■)は「否定的」な乖離についてのみを取り上げる。

- ①「収入の減少(失業や経営不振などによる)」については、「問1④就労状況(職業)」において「自営業」が「合計」からの乖離が10ポイント以上となっており、強い影響を受けた可能性がうかがえる。
- ②「介護の負担増」については、「問1⑤家族構成」において「親子2世代(親と同居)」が「合計」からの乖離が10ポイント以上となっており、強い影響を受けた可能性がうかがえる。
- ③「子育ての負担増」については、「問1②年齢」において「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上となっており、強い影響を受けた可能性がうかがえる。
- ④「学習機会の確保・学力の低下」については、「問1②年齢」において「30～39歳」「40～49歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上となっており、強い影響を受けた可能性がうかがえる。
- ⑤「スポーツや文化活動の機会減少」については、「問1②年齢」において「50～59歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上となっており、強い影響を受けた可能性がうかがえる。
- ⑥「外出制限による交流の機会減少」については、「問1②年齢」において「20～29歳」「50～59歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上となっており、強い影響を受けた可能性がうかがえる。
- ⑦「外出時の感染リスク」については、「問1②年齢」において「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」が、「問1④就労状況(職業)」において「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」が、「問1⑤家族構成」において「親子2世代(親と同居)」「3世代以上同居」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上となっており、強い影響を受けた可能性がうかがえる。

表 3-4-2 基本属性（全般）とコロナ禍で困ったことや困っていることについてのクロス集計結果

		問5. コロナ禍で困ったことや、現在、困っていることなどについて					合計
		収入の減少(失業や経営不振などによる)	支出の増加	働き方の変化による負担	働き口がない	体調不良・健康状態の悪化	
合計		33 4.2%	82 10.3%	29 3.7%	15 1.9%	75 9.4%	794 -
問1① 性別	男性	17 4.5%	36 9.4%	14 3.7%	7 1.8%	34 8.9%	382 -
	女性	16 3.9%	46 11.2%	15 3.7%	8 2.0%	41 10.0%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	0 .0%	2 18.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	11 -
	30～39 歳	1 2.9%	3 8.8%	3 8.8%	0 .0%	2 5.9%	34 -
	40～49 歳	1 2.2%	4 8.9%	3 6.7%	1 2.2%	3 6.7%	45 -
	50～59 歳	2 4.0%	9 18.0%	4 8.0%	0 .0%	3 6.0%	50 -
	60～69 歳	4 4.2%	11 11.5%	7 7.3%	3 3.1%	5 5.2%	96 -
	70 歳以上	25 4.5%	53 9.5%	12 2.2%	11 2.0%	62 11.1%	558 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	11 4.4%	21 8.4%	11 4.4%	6 2.4%	21 8.4%	249 -
	県南広域	9 3.8%	29 12.1%	6 2.5%	2 .8%	26 10.8%	240 -
	沿岸広域	9 4.7%	21 11.1%	8 4.2%	5 2.6%	23 12.1%	190 -
	県北広域	3 2.6%	10 8.8%	3 2.6%	1 .9%	5 4.4%	114 -
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 .0%	1 -
問1④ 就労状況(職業)	正社員	2 1.8%	12 11.0%	7 6.4%	0 .0%	4 3.7%	109 -
	契約社員・派遣社員	0 .0%	5 12.2%	3 7.3%	1 2.4%	2 4.9%	41 -
	パート・アルバイト	4 8.2%	10 20.4%	2 4.1%	0 .0%	1 2.0%	49 -
	自営業	7 19.4%	5 13.9%	1 2.8%	0 .0%	2 5.6%	36 -
	年金生活者	15 3.2%	45 9.5%	10 2.1%	9 1.9%	57 12.0%	476 -
	無職(主婦・夫、学生含む)	2 4.1%	3 6.1%	2 4.1%	2 4.1%	6 12.2%	49 -
	その他	3 9.4%	2 6.3%	4 12.5%	3 9.4%	3 9.4%	32 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	6 4.5%	12 9.1%	5 3.8%	3 2.3%	13 9.8%	132 -
	親子2世代(子と同居)	9 4.1%	21 9.5%	6 2.7%	4 1.8%	20 9.0%	222 -
	親子2世代(親と同居)	4 7.3%	6 10.9%	1 1.8%	2 3.6%	4 7.3%	55 -
	3世代以上同居	4 4.0%	11 11.0%	7 7.0%	1 1.0%	10 10.0%	100 -
	夫婦のみ	8 2.9%	31 11.4%	10 3.7%	5 1.8%	26 9.5%	273 -
	その他	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	3 -
	無回答	2 22.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	9 -

表 3-4-2 基本属性（全般）とコロナ禍で困ったことや困っていることについてのクロス集計結果（つづき）

		問5. コロナ禍で困ったことや、現在、困っていることなどについて					合計
		医療が思うように受けられない	感染状況や感染防止対策などの情報が得られない	介護の負担増	子育ての負担増	学習機会の確保・学力の低下	
合計		31 3.9%	50 6.3%	32 4.0%	15 1.9%	24 3.0%	794 -
問1① 性別	男性	15 3.9%	31 8.1%	18 4.7%	6 1.6%	10 2.6%	382 -
	女性	16 3.9%	19 4.6%	14 3.4%	9 2.2%	14 3.4%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	2 18.2%	0 .0%	11 -
	30～39 歳	4 11.8%	2 5.9%	2 5.9%	4 11.8%	5 14.7%	34 -
	40～49 歳	2 4.4%	1 2.2%	1 2.2%	6 13.3%	7 15.6%	45 -
	50～59 歳	2 4.0%	3 6.0%	3 6.0%	2 4.0%	1 2.0%	50 -
	60～69 歳	2 2.1%	3 3.1%	6 6.3%	0 .0%	4 4.2%	96 -
	70 歳以上	21 3.8%	40 7.2%	20 3.6%	1 .2%	7 1.3%	558 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	6 2.4%	19 7.6%	5 2.0%	2 .8%	6 2.4%	249 -
	県南広域	5 2.1%	14 5.8%	15 6.3%	6 2.5%	10 4.2%	240 -
	沿岸広域	13 6.8%	9 4.7%	9 4.7%	3 1.6%	5 2.6%	190 -
	県北広域	6 5.3%	7 6.1%	2 1.8%	4 3.5%	3 2.6%	114 -
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	1 -
問1④ 就労状況（職業）	正社員	4 3.7%	5 4.6%	3 2.8%	11 10.1%	10 9.2%	109 -
	契約社員・派遣社員	2 4.9%	1 2.4%	1 2.4%	1 2.4%	3 7.3%	41 -
	パート・アルバイト	2 4.1%	2 4.1%	3 6.1%	2 4.1%	2 4.1%	49 -
	自営業	0 .0%	1 2.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	36 -
	年金生活者	19 4.0%	37 7.8%	19 4.0%	1 .2%	8 1.7%	476 -
	無職（主婦・夫、学生含む）	1 2.0%	2 4.1%	3 6.1%	0 .0%	1 2.0%	49 -
	その他	3 9.4%	2 6.3%	3 9.4%	0 .0%	0 .0%	32 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	5 3.8%	8 6.1%	0 .0%	0 .0%	1 .8%	132 -
	親子2世代（子と同居）	10 4.5%	9 4.1%	7 3.2%	8 3.6%	14 6.3%	222 -
	親子2世代（親と同居）	3 5.5%	5 9.1%	7 12.7%	1 1.8%	0 .0%	55 -
	3世代以上同居	3 3.0%	4 4.0%	8 8.0%	5 5.0%	6 6.0%	100 -
	夫婦のみ	10 3.7%	24 8.8%	10 3.7%	0 .0%	3 1.1%	273 -
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	0 .0%	9 -

表 3-4-2 基本属性（全般）とコロナ禍で困ったことや困っていることについてのクロス集計結果（つづき）

		問5. コロナ禍で困ったことや、現在、困っていることなどについて					合計
		スポーツや文化活動の機会減少	外出制限による交流の機会減少	外出時の感染リスク	その他	特に困っていることはない	
合計		357 45.0%	513 64.6%	400 50.4%	41 5.2%	112 14.1%	794 -
問1① 性別	男性	204 53.4%	250 65.4%	187 49.0%	18 4.7%	46 12.0%	382 -
	女性	153 37.3%	262 63.9%	212 51.7%	23 5.6%	65 15.9%	410 -
	無回答	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	1 50.0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	5 45.5%	10 90.9%	6 54.5%	1 9.1%	1 9.1%	11 -
	30～39 歳	14 41.2%	23 67.6%	26 76.5%	4 11.8%	2 5.9%	34 -
	40～49 歳	19 42.2%	32 71.1%	30 66.7%	4 8.9%	2 4.4%	45 -
	50～59 歳	28 56.0%	41 82.0%	34 68.0%	2 4.0%	2 4.0%	50 -
	60～69 歳	29 30.2%	69 71.9%	64 66.7%	5 5.2%	8 8.3%	96 -
	70 歳以上	262 47.0%	338 60.6%	240 43.0%	25 4.5%	97 17.4%	558 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	113 45.4%	168 67.5%	117 47.0%	9 3.6%	40 16.1%	249 -
	県南広域	115 47.9%	166 69.2%	125 52.1%	11 4.6%	24 10.0%	240 -
	沿岸広域	72 37.9%	107 56.3%	94 49.5%	13 6.8%	29 15.3%	190 -
	県北広域	56 49.1%	71 62.3%	64 56.1%	8 7.0%	19 16.7%	114 -
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 -
問1④ 就労状況（職業）	正社員	45 41.3%	80 73.4%	75 68.8%	12 11.0%	6 5.5%	109 -
	契約社員・派遣社員	21 51.2%	36 87.8%	26 63.4%	2 4.9%	1 2.4%	41 -
	パート・アルバイト	22 44.9%	39 79.6%	30 61.2%	1 2.0%	5 10.2%	49 -
	自営業	16 44.4%	23 63.9%	14 38.9%	4 11.1%	6 16.7%	36 -
	年金生活者	225 47.3%	285 59.9%	208 43.7%	20 4.2%	82 17.2%	476 -
	無職（主婦・夫、学生含む）	9 18.4%	27 55.1%	27 55.1%	2 4.1%	10 20.4%	49 -
	その他	18 56.3%	22 68.8%	19 59.4%	0 .0%	1 3.1%	32 -
	無回答	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	1 50.0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	48 36.4%	71 53.8%	49 37.1%	6 4.5%	25 18.9%	132 -
	親子2世代（子と同居）	115 51.8%	136 61.3%	114 51.4%	14 6.3%	33 14.9%	222 -
	親子2世代（親と同居）	16 29.1%	38 69.1%	35 63.6%	3 5.5%	5 9.1%	55 -
	3世代以上同居	42 42.0%	76 76.0%	63 63.0%	2 2.0%	9 9.0%	100 -
	夫婦のみ	131 48.0%	185 67.8%	132 48.4%	15 5.5%	39 14.3%	273 -
	その他	1 33.3%	3 100.0%	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	3 -
	無回答	4 44.4%	4 44.4%	5 55.6%	1 11.1%	1 11.1%	9 -

(3) コロナ禍で時間が増えたもの（問6）（表3-4-3）

問6では、「コロナ禍で時間が増えたものについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。」という設問を立て、19の回答項目を設定した。問6の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問1）の項目を独立変数にして分析した結果が、表3-4-3である。なお、表中の網掛けのうち、青（■）は「マイナス（低い）」な乖離とし、赤（■）は「プラス（高い）」な乖離とする。

- ①「PCによるインターネットの利用時間」については、「問1②年齢」において「20～29歳」「40～49歳」「50～59歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「正社員」「契約社員・派遣社員」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「PCによるインターネットの利用時間」が伸長したことがうかがえる。
- ②「スマホなどのモバイル端末によるインターネットの利用時間」については、「問1②年齢」において「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」「60～69歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」が、「問1⑤家族構成」において「親子2世代（親と同居）」「3世代以上同居」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「スマホなどのモバイル端末によるインターネットの利用時間」が伸長したことがうかがえる。
- ③「情報を『収集する』時間」については、「問1②年齢」において「20～29歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「正社員」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「情報を『収集する』時間」が伸長したことがうかがえる。
- ④「YouTubeの視聴時間」については、「問1②年齢」において「20～29歳」「40～49歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「YouTubeの視聴時間」が伸長したことがうかがえる。
- ⑤「情報配信サービスの視聴時間」については、「問1②年齢」において「40～49歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「情報配信サービスの視聴時間」が伸長したことがうかがえる。
- ⑥「映画鑑賞の時間」については、「問1②年齢」において「20～29歳」「30～39歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「映画鑑賞の時間」が伸長したことがうかがえる。
- ⑦「料理の時間」については、「問1②年齢」において「20～29歳」「40～49歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「契約社員・派遣社員」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「料理の時間」が伸長したことがうかがえる。
- ⑧「生活を共にする家族とのコミュニケーションの時間」については、「問1②年齢」において「30～39歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「契約社員・派遣社員」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「生活を共にする家族とのコミュニケーションの時間」が伸長したことがうかがえる。
- ⑨「特に時間が増えたものはない」については、「問1②年齢」において「30～39歳」「40～49歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「正社員」「契約社員・派遣社員」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の低い割合となっており、生活時間の変化が多かったことがうかがえる。逆に、「問1④就労状況（職業）」において「自営業」が「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、生活時間の変化が少なかったことがうかがえる。

表 3-4-3 基本属性（全般）とコロナ禍で時間が増えたものについてのクロス集計結果

		問6. コロナ禍で時間が増えたものについて					合計
		TV の視聴時間	PCによるインターネットの利用時間	スマホなどのモバイル端末によるインターネットの利用時間	情報を「発信する」時間	情報を「収集する」時間	
合計		362 45.6%	93 11.7%	180 22.7%	8 1.0%	121 15.2%	794 -
問1① 性別	男性	183 47.9%	56 14.7%	69 18.1%	5 1.3%	63 16.5%	382 -
	女性	179 43.7%	37 9.0%	111 27.1%	3 .7%	58 14.1%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	6 54.5%	3 27.3%	8 72.7%	0 .0%	3 27.3%	11 -
	30～39 歳	14 41.2%	7 20.6%	23 67.6%	0 .0%	7 20.6%	34 -
	40～49 歳	16 35.6%	14 31.1%	27 60.0%	1 2.2%	15 33.3%	45 -
	50～59 歳	20 40.0%	12 24.0%	29 58.0%	0 .0%	12 24.0%	50 -
	60～69 歳	43 44.8%	18 18.8%	34 35.4%	0 .0%	21 21.9%	96 -
	70 歳以上	263 47.1%	39 7.0%	59 10.6%	7 1.3%	63 11.3%	558 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	129 51.8%	31 12.4%	53 21.3%	4 1.6%	29 11.6%	249 -
	県南広域	116 48.3%	36 15.0%	67 27.9%	2 .8%	46 19.2%	240 -
	沿岸広域	72 37.9%	14 7.4%	34 17.9%	1 .5%	27 14.2%	190 -
	県北広域	44 38.6%	11 9.6%	26 22.8%	1 .9%	19 16.7%	114 -
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 -
問1④ 就労状況（職業）	正社員	45 41.3%	27 24.8%	61 56.0%	0 .0%	32 29.4%	109 -
	契約社員・派遣社員	20 48.8%	12 29.3%	26 63.4%	1 2.4%	10 24.4%	41 -
	パート・アルバイト	18 36.7%	7 14.3%	21 42.9%	0 .0%	10 20.4%	49 -
	自営業	16 44.4%	4 11.1%	5 13.9%	1 2.8%	4 11.1%	36 -
	年金生活者	226 47.5%	36 7.6%	53 11.1%	5 1.1%	55 11.6%	476 -
	無職（主婦・夫、学生含む）	26 53.1%	2 4.1%	8 16.3%	0 .0%	6 12.2%	49 -
	その他	10 31.3%	5 15.6%	6 18.8%	1 3.1%	4 12.5%	32 -
	無回答	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	56 42.4%	9 6.8%	20 15.2%	1 .8%	12 9.1%	132 -
	親子2世代（子と同居）	93 41.9%	21 9.5%	54 24.3%	1 .5%	34 15.3%	222 -
	親子2世代（親と同居）	22 40.0%	11 20.0%	19 34.5%	0 .0%	12 21.8%	55 -
	3世代以上同居	45 45.0%	19 19.0%	35 35.0%	2 2.0%	15 15.0%	100 -
	夫婦のみ	137 50.2%	32 11.7%	50 18.3%	4 1.5%	45 16.5%	273 -
	その他	3 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 66.7%	3 -
	無回答	6 66.7%	1 11.1%	2 22.2%	0 .0%	1 11.1%	9 -

表 3-4-3 基本属性（全般）とコロナ禍で時間が増えたものについてのクロス集計結果（つづき）

		問6. コロナ禍で時間が増えたものについて					合計
		YouTubeの視聴時間	情報配信サービスの視聴時間	映画鑑賞の時間	音楽鑑賞の時間	読書の時間	
合計		92 11.6%	44 5.5%	37 4.7%	39 4.9%	114 14.4%	794 -
問1① 性別	男性	36 9.4%	19 5.0%	20 5.2%	20 5.2%	59 15.4%	382 -
	女性	56 13.7%	25 6.1%	17 4.1%	19 4.6%	55 13.4%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	6 54.5%	0 .0%	2 18.2%	1 9.1%	0 .0%	11 -
	30～39 歳	18 52.9%	5 14.7%	5 14.7%	3 8.8%	2 5.9%	34 -
	40～49 歳	17 37.8%	9 20.0%	1 2.2%	3 6.7%	0 .0%	45 -
	50～59 歳	11 22.0%	4 8.0%	5 10.0%	3 6.0%	7 14.0%	50 -
	60～69 歳	20 20.8%	6 6.3%	5 5.2%	3 3.1%	14 14.6%	96 -
	70 歳以上	20 3.6%	20 3.6%	19 3.4%	26 4.7%	91 16.3%	558 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	28 11.2%	12 4.8%	12 4.8%	13 5.2%	48 19.3%	249 -
	県南広域	29 12.1%	16 6.7%	16 6.7%	14 5.8%	27 11.3%	240 -
	沿岸広域	18 9.5%	9 4.7%	3 1.6%	6 3.2%	23 12.1%	190 -
	県北広域	17 14.9%	7 6.1%	5 4.4%	5 4.4%	15 13.2%	114 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 -
問1④ 就労状況（職業）	正社員	34 31.2%	9 8.3%	13 11.9%	5 4.6%	10 9.2%	109 -
	契約社員・派遣社員	14 34.1%	5 12.2%	1 2.4%	3 7.3%	6 14.6%	41 -
	パート・アルバイト	11 22.4%	4 8.2%	2 4.1%	3 6.1%	3 6.1%	49 -
	自営業	1 2.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	6 16.7%	36 -
	年金生活者	22 4.6%	21 4.4%	17 3.6%	23 4.8%	80 16.8%	476 -
	無職（主婦・夫、学生含む）	5 10.2%	3 6.1%	2 4.1%	1 2.0%	6 12.2%	49 -
	その他	5 15.6%	2 6.3%	2 6.3%	3 9.4%	3 9.4%	32 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	12 9.1%	7 5.3%	6 4.5%	8 6.1%	25 18.9%	132 -
	親子2世代（子と同居）	28 12.6%	11 5.0%	13 5.9%	12 5.4%	28 12.6%	222 -
	親子2世代（親と同居）	11 20.0%	5 9.1%	2 3.6%	1 1.8%	8 14.5%	55 -
	3世代以上同居	20 20.0%	5 5.0%	5 5.0%	5 5.0%	10 10.0%	100 -
	夫婦のみ	19 7.0%	16 5.9%	10 3.7%	12 4.4%	43 15.8%	273 -
	その他	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 -
	無回答	1 11.1%	0 .0%	1 11.1%	1 11.1%	0 .0%	9 -

表 3-4-3 基本属性（全般）とコロナ禍で時間が増えたものについてのクロス集計結果（つづき）

		問6. コロナ禍で時間が増えたものについて					合計
		「屋内」で健康維持・増進のための運動時間	「屋外」で健康維持・増進のための運動時間	料理の時間	趣味の時間	生活を共にする家族とのコミュニケーションの時間	
合計		66 8.3%	60 7.6%	81 10.2%	78 9.8%	102 12.8%	794 -
問1① 性別	男性	38 9.9%	37 9.7%	15 3.9%	32 8.4%	47 12.3%	382 -
	女性	28 6.8%	23 5.6%	66 16.1%	46 11.2%	55 13.4%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	1 9.1%	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	2 18.2%	11 -
	30～39 歳	1 2.9%	2 5.9%	4 11.8%	3 8.8%	8 23.5%	34 -
	40～49 歳	2 4.4%	3 6.7%	11 24.4%	8 17.8%	10 22.2%	45 -
	50～59 歳	4 8.0%	1 2.0%	8 16.0%	2 4.0%	10 20.0%	50 -
	60～69 歳	3 3.1%	3 3.1%	13 13.5%	9 9.4%	13 13.5%	96 -
	70 歳以上	55 9.9%	50 9.0%	42 7.5%	55 9.9%	59 10.6%	558 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	23 9.2%	21 8.4%	26 10.4%	25 10.0%	37 14.9%	249 -
	県南広域	19 7.9%	16 6.7%	23 9.6%	23 9.6%	31 12.9%	240 -
	沿岸広域	15 7.9%	13 6.8%	19 10.0%	21 11.1%	22 11.6%	190 -
	県北広域	9 7.9%	9 7.9%	12 10.5%	8 7.0%	11 9.6%	114 -
	無回答	0 .0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 -
問1④ 就労状況（職業）	正社員	4 3.7%	5 4.6%	18 16.5%	5 4.6%	21 19.3%	109 -
	契約社員・派遣社員	5 12.2%	1 2.4%	9 22.0%	8 19.5%	10 24.4%	41 -
	パート・アルバイト	3 6.1%	3 6.1%	6 12.2%	5 10.2%	8 16.3%	49 -
	自営業	3 8.3%	4 11.1%	1 2.8%	3 8.3%	4 11.1%	36 -
	年金生活者	49 10.3%	40 8.4%	40 8.4%	46 9.7%	48 10.1%	476 -
	無職（主婦・夫、学生含む）	0 .0%	3 6.1%	6 12.2%	5 10.2%	5 10.2%	49 -
	その他	2 6.3%	4 12.5%	1 3.1%	5 15.6%	5 15.6%	32 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	13 9.8%	13 9.8%	12 9.1%	11 8.3%	0 .0%	132 -
	親子2世代（子と同居）	21 9.5%	13 5.9%	27 12.2%	14 6.3%	33 14.9%	222 -
	親子2世代（親と同居）	2 3.6%	1 1.8%	8 14.5%	5 9.1%	6 10.9%	55 -
	3世代以上同居	8 8.0%	14 14.0%	7 7.0%	12 12.0%	14 14.0%	100 -
	夫婦のみ	21 7.7%	18 6.6%	27 9.9%	34 12.5%	48 17.6%	273 -
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	3 -
	無回答	1 11.1%	1 11.1%	0 .0%	1 11.1%	1 11.1%	9 -



表 3-4-3 基本属性（全般）とコロナ禍で時間が増えたものについてのクロス集計結果（つづき）

		問6. コロナ禍で時間が増えたものについて					合計
		「屋内」で健康維持・増進のための運動時間	「屋外」で健康維持・増進のための運動時間	料理の時間	趣味の時間	生活を共にする家族とのコミュニケーションの時間	
合計		66 8.3%	60 7.6%	81 10.2%	78 9.8%	102 12.8%	794 -
問1① 性別	男性	38 9.9%	37 9.7%	15 3.9%	32 8.4%	47 12.3%	382 -
	女性	28 6.8%	23 5.6%	66 16.1%	46 11.2%	55 13.4%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	1 9.1%	1 9.1%	3 27.3%	1 9.1%	2 18.2%	11 -
	30～39 歳	1 2.9%	2 5.9%	4 11.8%	3 8.8%	8 23.5%	34 -
	40～49 歳	2 4.4%	3 6.7%	11 24.4%	8 17.8%	10 22.2%	45 -
	50～59 歳	4 8.0%	1 2.0%	8 16.0%	2 4.0%	10 20.0%	50 -
	60～69 歳	3 3.1%	3 3.1%	13 13.5%	9 9.4%	13 13.5%	96 -
	70 歳以上	55 9.9%	50 9.0%	42 7.5%	55 9.9%	59 10.6%	558 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	23 9.2%	21 8.4%	26 10.4%	25 10.0%	37 14.9%	249 -
	県南広域	19 7.9%	16 6.7%	23 9.6%	23 9.6%	31 12.9%	240 -
	沿岸広域	15 7.9%	13 6.8%	19 10.0%	21 11.1%	22 11.6%	190 -
	県北広域	9 7.9%	9 7.9%	12 10.5%	8 7.0%	11 9.6%	114 -
	無回答	0 .0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 -
問1④ 就労状況（職業）	正社員	4 3.7%	5 4.6%	18 16.5%	5 4.6%	21 19.3%	109 -
	契約社員・派遣社員	5 12.2%	1 2.4%	9 22.0%	8 19.5%	10 24.4%	41 -
	パート・アルバイト	3 6.1%	3 6.1%	6 12.2%	5 10.2%	8 16.3%	49 -
	自営業	3 8.3%	4 11.1%	1 2.8%	3 8.3%	4 11.1%	36 -
	年金生活者	49 10.3%	40 8.4%	40 8.4%	46 9.7%	48 10.1%	476 -
	無職（主婦・夫、学生含む）	0 .0%	3 6.1%	6 12.2%	5 10.2%	5 10.2%	49 -
	その他	2 6.3%	4 12.5%	1 3.1%	5 15.6%	5 15.6%	32 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	13 9.8%	13 9.8%	12 9.1%	11 8.3%	0 .0%	132 -
	親子2世代（子と同居）	21 9.5%	13 5.9%	27 12.2%	14 6.3%	33 14.9%	222 -
	親子2世代（親と同居）	2 3.6%	1 1.8%	8 14.5%	5 9.1%	6 10.9%	55 -
	3世代以上同居	8 8.0%	14 14.0%	7 7.0%	12 12.0%	14 14.0%	100 -
	夫婦のみ	21 7.7%	18 6.6%	27 9.9%	34 12.5%	48 17.6%	273 -
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	3 -
	無回答	1 11.1%	1 11.1%	0 .0%	1 11.1%	1 11.1%	9 -

表 3-4-3 基本属性（全般）とコロナ禍で時間が増えたものについてのクロス集計結果（つづき）

		問6. コロナ禍で時間が増えたものについて				合計
		離れた家族とのコミュニケーションの時間	家族以外とのコミュニケーションの時間	その他	特に時間が増えたものはない	
合計		69 8.7%	33 4.2%	31 3.9%	220 27.7%	794 -
問1① 性別	男性	34 8.9%	18 4.7%	13 3.4%	103 27.0%	382 -
	女性	35 8.5%	15 3.7%	18 4.4%	115 28.0%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	0 .0%	0 .0%	1 9.1%	0 .0%	11 -
	30～39 歳	3 8.8%	1 2.9%	0 .0%	5 14.7%	34 -
	40～49 歳	1 2.2%	1 2.2%	1 2.2%	5 11.1%	45 -
	50～59 歳	4 8.0%	0 .0%	3 6.0%	9 18.0%	50 -
	60～69 歳	7 7.3%	1 1.0%	1 1.0%	25 26.0%	96 -
	70 歳以上	54 9.7%	30 5.4%	25 4.5%	176 31.5%	558 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	21 8.4%	8 3.2%	6 2.4%	61 24.5%	249 -
	県南広域	20 8.3%	11 4.6%	14 5.8%	56 23.3%	240 -
	沿岸広域	21 11.1%	11 5.8%	6 3.2%	65 34.2%	190 -
	県北広域	6 5.3%	2 1.8%	5 4.4%	38 33.3%	114 -
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	1 -
問1④ 就労状況（職業）	正社員	5 4.6%	2 1.8%	3 2.8%	19 17.4%	109 -
	契約社員・派遣社員	5 12.2%	0 .0%	0 .0%	1 2.4%	41 -
	パート・アルバイト	3 6.1%	0 .0%	2 4.1%	11 22.4%	49 -
	自営業	0 .0%	1 2.8%	0 .0%	15 41.7%	36 -
	年金生活者	51 10.7%	28 5.9%	22 4.6%	146 30.7%	476 -
	無職（主婦・夫、学生含む）	4 8.2%	1 2.0%	2 4.1%	15 30.6%	49 -
	その他	1 3.1%	1 3.1%	2 6.3%	13 40.6%	32 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	18 13.6%	7 5.3%	7 5.3%	37 28.0%	132 -
	親子2世代（子と同居）	9 4.1%	8 3.6%	8 3.6%	61 27.5%	222 -
	親子2世代（親と同居）	4 7.3%	0 .0%	2 3.6%	14 25.5%	55 -
	3世代以上同居	7 7.0%	7 7.0%	4 4.0%	32 32.0%	100 -
	夫婦のみ	30 11.0%	10 3.7%	10 3.7%	74 27.1%	273 -
	その他	1 33.3%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	3 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 22.2%	9 -

(4) コロナ禍で新たに生活に取り入れたことややってみたこと（問7）（表3-4-4）

問7では、「コロナ禍で新たに生活に取り入れたこと、やってみたことについて、当てはまるものを3つまで選んで○をつけてください。」という設問を立て、13の回答項目を設定した。問7の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問1）の項目を独立変数にして分析した結果が、表3-4-4である。なお、表中の網掛けのうち、青（) は「マイナス（低い）」な乖離とし、赤（) は「プラス（高い）」な乖離とする。

- ①「屋外での運動」については、「問1②年齢」において「60～69歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「パート・アルバイト」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の低い割合となっており、「屋外での運動」に積極的でなかったことがうかがえる。
- ②「スマートフォンでの新たなアプリ利用」については、「問1②年齢」において「40～49歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「スマートフォンでの新たなアプリ利用」に積極的であったことがうかがえる。
- ③「PCやスマートフォン、タブレット端末などでのゲーム」については、「問1②年齢」において「20～29歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「PCやスマートフォン、タブレット端末などでのゲーム」に積極的であったことがうかがえる。
- ④「ゲーム機でのゲーム」については、「問1②年齢」において「20～29歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「ゲーム機でのゲーム」に積極的であったことがうかがえる。
- ⑤「動画配信サービスの視聴」については、「問1②年齢」において「20～29歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「契約社員・派遣社員」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「動画配信サービスの視聴」に積極的であったことがうかがえる。
- ⑥「新しい趣味」については、「問1②年齢」において「50～59歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「新しい趣味」に積極的であったことがうかがえる。
- ⑦「オンライン飲み会」については、「問1②年齢」において「20～29歳」が「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、「オンライン飲み会」に積極的であったことがうかがえる。
- ⑧「生活に新たに取入れたことなどはない」については、「問1②年齢」において「20～29歳」「30～39歳」「40～49歳」「50～59歳」が、「問1④就労状況（職業）」において「正社員」「パート・アルバイト」が、「合計」からの乖離が10ポイント以上の低い割合となっており、積極的に「コロナ禍で新たに生活に取り入れたことややってみたこと」が多かったことがうかがえる。逆に、「問1④就労状況（職業）」において「無職（主婦・夫、学生含む）」が「合計」からの乖離が10ポイント以上の高い割合となっており、積極的に「コロナ禍で新たに生活に取り入れたことややってみたこと」が少なかったことがうかがえる。

表 3-4-4 基本属性（全般）とコロナ禍で新たに生活に取り入れたこと・やってみたいことの
クロス集計結果

		問7. コロナ禍で新たに生活に取り入れたこと、やってみたいことについて					合計
		室内での健康 維持・増進策	屋外での運動	スマートフォン での新たな アプリ利用	積極的な情報 「発信」	積極的な情報 「収集」	
合計		186 23.4%	117 14.7%	71 8.9%	18 2.3%	122 15.4%	794 -
問1① 性別	男性	98 25.7%	74 19.4%	32 8.4%	15 3.9%	79 20.7%	382 -
	女性	88 21.5%	43 10.5%	39 9.5%	3 .7%	43 10.5%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	0 .0%	2 18.2%	11 -
	30～39 歳	6 17.6%	2 5.9%	6 17.6%	1 2.9%	6 17.6%	34 -
	40～49 歳	10 22.2%	5 11.1%	12 26.7%	0 .0%	5 11.1%	45 -
	50～59 歳	14 28.0%	6 12.0%	8 16.0%	0 .0%	8 16.0%	50 -
	60～69 歳	14 14.6%	4 4.2%	9 9.4%	1 1.0%	21 21.9%	96 -
	70 歳以上	140 25.1%	98 17.6%	34 6.1%	16 2.9%	80 14.3%	558 -
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	62 24.9%	34 13.7%	20 8.0%	6 2.4%	37 14.9%	249 -
	県南広域	57 23.8%	38 15.8%	28 11.7%	4 1.7%	50 20.8%	240 -
	沿岸広域	45 23.7%	28 14.7%	13 6.8%	5 2.6%	22 11.6%	190 -
	県北広域	21 18.4%	17 14.9%	10 8.8%	2 1.8%	12 10.5%	114 -
	無回答	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	1 100.0%	1 -
問1④ 就労状 況（職 業）	正社員	24 22.0%	12 11.0%	15 13.8%	1 .9%	18 16.5%	109 -
	契約社員・ 派遣社員	9 22.0%	3 7.3%	12 29.3%	0 .0%	7 17.1%	41 -
	パート・ アルバイト	6 12.2%	1 2.0%	11 22.4%	0 .0%	11 22.4%	49 -
	自営業	6 16.7%	5 13.9%	1 2.8%	1 2.8%	7 19.4%	36 -
	年金生活者	122 25.6%	85 17.9%	26 5.5%	14 2.9%	72 15.1%	476 -
	無職（主婦・夫、 学生含む）	10 20.4%	7 14.3%	3 6.1%	1 2.0%	1 2.0%	49 -
	その他	9 28.1%	4 12.5%	3 9.4%	1 3.1%	6 18.8%	32 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	35 26.5%	18 13.6%	9 6.8%	3 2.3%	17 12.9%	132 -
	親子2世代 （子と同居）	42 18.9%	31 14.0%	16 7.2%	3 1.4%	31 14.0%	222 -
	親子2世代 （親と同居）	11 20.0%	5 9.1%	7 12.7%	1 1.8%	10 18.2%	55 -
	3世代以上同居	25 25.0%	17 17.0%	11 11.0%	3 3.0%	18 18.0%	100 -
	夫婦のみ	70 25.6%	44 16.1%	28 10.3%	8 2.9%	45 16.5%	273 -
	その他	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 -
	無回答	2 22.2%	2 22.2%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	9 -

表 3-4-4 基本属性（全般）とコロナ禍で新たに生活に取り入れたこと・やってみたいことの
クロス集計結果（つづき）

		問7. コロナ禍で新たに生活に取り入れたこと、やってみたいことについて					合計
		今まで使ってい なかったデバイ スの利用	PCやスマート フォン、タブレ ット端末などの ゲーム	ゲーム機での ゲーム	動画配信サー ビスの視聴	新しい趣味	
合計		19 2.4%	48 6.0%	17 2.1%	31 3.9%	79 9.9%	794 -
問1① 性別	男性	11 2.9%	21 5.5%	4 1.0%	16 4.2%	39 10.2%	382 -
	女性	8 2.0%	27 6.6%	13 3.2%	15 3.7%	40 9.8%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	11 -
	30～39 歳	3 8.8%	5 14.7%	3 8.8%	6 17.6%	3 8.8%	34 -
	40～49 歳	3 6.7%	2 4.4%	3 6.7%	3 6.7%	7 15.6%	45 -
	50～59 歳	4 8.0%	3 6.0%	1 2.0%	4 8.0%	12 24.0%	50 -
	60～69 歳	2 2.1%	8 8.3%	0 .0%	7 7.3%	11 11.5%	96 -
	70 歳以上	6 1.1%	28 5.0%	8 1.4%	9 1.6%	45 8.1%	558 -
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	6 2.4%	13 5.2%	6 2.4%	11 4.4%	24 9.6%	249 -
	県南広域	6 2.5%	16 6.7%	3 1.3%	10 4.2%	26 10.8%	240 -
	沿岸広域	1 .5%	13 6.8%	4 2.1%	7 3.7%	19 10.0%	190 -
	県北広域	6 5.3%	6 5.3%	4 3.5%	3 2.6%	10 8.8%	114 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 -
問1④ 就労状 況（職 業）	正社員	10 9.2%	10 9.2%	5 4.6%	9 8.3%	17 15.6%	109 -
	契約社員・ 派遣社員	2 4.9%	3 7.3%	3 7.3%	8 19.5%	5 12.2%	41 -
	パート・ アルバイト	1 2.0%	4 8.2%	1 2.0%	3 6.1%	8 16.3%	49 -
	自営業	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	0 .0%	4 11.1%	36 -
	年金生活者	5 1.1%	29 6.1%	4 .8%	8 1.7%	39 8.2%	476 -
	無職（主婦・夫、 学生含む）	0 .0%	1 2.0%	0 .0%	0 .0%	3 6.1%	49 -
	その他	1 3.1%	1 3.1%	3 9.4%	3 9.4%	3 9.4%	32 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	1 .8%	6 4.5%	3 2.3%	3 2.3%	8 6.1%	132 -
	親子2世代 （子と同居）	9 4.1%	15 6.8%	4 1.8%	8 3.6%	15 6.8%	222 -
	親子2世代 （親と同居）	2 3.6%	4 7.3%	1 1.8%	4 7.3%	6 10.9%	55 -
	3世代以上同居	3 3.0%	6 6.0%	3 3.0%	3 3.0%	18 18.0%	100 -
	夫婦のみ	4 1.5%	16 5.9%	6 2.2%	12 4.4%	30 11.0%	273 -
	その他	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 11.1%	2 22.2%	9 -

表 3-4-4 基本属性（全般）とコロナ禍で新たに生活に取り入れたこと・やってみたいことの
クロス集計結果（つづき）

		問7. コロナ禍で新たに生活に取り入れたこと、やってみたいことについて				合計
		オンライン飲み会	その他	生活に新たに 取り入れたことなど はない	無回答	
合計		12 1.5%	34 4.3%	372 46.9%	1 0.1%	794 -
問1① 性別	男性	3 .8%	13 3.4%	167 43.7%	0 .0%	382 -
	女性	9 2.2%	21 5.1%	203 49.5%	1 .2%	410 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	2 -
問1② 年齢	20～29 歳	3 27.3%	0 .0%	2 18.2%	0 .0%	11 -
	30～39 歳	2 5.9%	1 2.9%	11 32.4%	0 .0%	34 -
	40～49 歳	3 6.7%	1 2.2%	16 35.6%	0 .0%	45 -
	50～59 歳	2 4.0%	2 4.0%	16 32.0%	0 .0%	50 -
	60～69 歳	0 .0%	4 4.2%	48 50.0%	0 .0%	96 -
	70 歳以上	2 .4%	26 4.7%	279 50.0%	1 .2%	558 -
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	3 1.2%	6 2.4%	123 49.4%	1 .4%	249 -
	県南広域	6 2.5%	13 5.4%	98 40.8%	0 .0%	240 -
	沿岸広域	1 .5%	13 6.8%	84 44.2%	0 .0%	190 -
	県北広域	2 1.8%	2 1.8%	67 58.8%	0 .0%	114 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 -
問1④ 就労状 況（職 業）	正社員	9 8.3%	4 3.7%	37 33.9%	0 .0%	109 -
	契約社員・ 派遣社員	1 2.4%	0 .0%	16 39.0%	0 .0%	41 -
	パート・ アルバイト	0 .0%	2 4.1%	18 36.7%	0 .0%	49 -
	自営業	0 .0%	0 .0%	20 55.6%	0 .0%	36 -
	年金生活者	2 .4%	25 5.3%	235 49.4%	0 .0%	476 -
	無職（主婦・夫、 学生含む）	0 .0%	1 2.0%	31 63.3%	1 2.0%	49 -
	その他	0 .0%	2 6.3%	13 40.6%	0 .0%	32 -
	無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	5 3.8%	3 2.3%	65 49.2%	0 .0%	132 -
	親子2世代 （子と同居）	3 1.4%	9 4.1%	108 48.6%	1 .5%	222 -
	親子2世代 （親と同居）	0 .0%	2 3.6%	30 54.5%	0 .0%	55 -
	3世代以上同居	2 2.0%	5 5.0%	41 41.0%	0 .0%	100 -
	夫婦のみ	2 .7%	13 4.8%	122 44.7%	0 .0%	273 -
	その他	0 .0%	1 33.3%	1 33.3%	0 .0%	3 -
	無回答	0 .0%	1 11.1%	5 55.6%	0 .0%	9 -

5. 意識面でのコロナの影響について（問8～問10）

（1）仕事の重要性に関する意識への影響について（問8）（表3-5-1）

問8では、「仕事の重要性に関する意識に影響はありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。」という設問を立て、4つの選択項目を設定した。問8の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問1～5）の項目を独立変数にして分析した結果、独立変数が「性別」「年齢」「就労状況」「家族構成」の4項目で有意な差（因果関係）がみられた（表3-5-1）。

- ①「性別」では、「女性」よりも「男性」の方が「変わらない」と回答した割合が高く、「仕事の重要性をより意識するようになった」の割合が「男性」よりも「女性」の方でやや高くなっている。
- ②「年齢」では、「60～69歳」から「70歳以上」よりも「20～29歳」から「50～59歳」の方が「変わらない」と回答した割合がやや高く、「20～29歳」から「50～59歳」よりも「60～69歳」から「70歳以上」の方が「わからない・仕事をしていない」の割合が高くなっている。年齢が高くなるにつれて就業者が減少しており、就業の有無によって違いが生じている可能性がうかがえる。
- ③「就労状況」では、「年金生活者」「無職」よりも「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」「自営業」の方が「変わらない」と回答した割合が高く、「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」「自営業」よりも「年金生活者」「無職」の方が「わからない・仕事をしていない」の割合が高くなっている。「年齢」と同様に、就業の有無によって違いが生じている可能性がうかがえる。
- ④「家族構成」では、「一人暮らし」や「夫婦のみ」のような他世代との同居がないと考えられる世帯（以下、「単一世代世帯」）よりも「親子2世代（子と同居）」「親子2世代（親と同居）」「3世代以上同居」のような他世代との同居のあると考えられる世帯（以下、「複数世代世帯」）の方が「変わらない」と回答した割合が高い一方、「単一世代世帯」よりも「複数世代世帯」の方が「仕事の重要性をより意識するようになった」の割合が高くなっており、「複数世代世帯」よりも「単一世代世帯」の方が「わからない・仕事をしていない」の割合が高くなっている。

表3-5-1 基本属性（全般）と仕事の重要性に関する意識への影響とのクロス集計結果

		問8.仕事の重要性に関する意識に影響はありましたか。				合計
		仕事の重要性をより意識するようになった	仕事以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない・仕事をしていない	
問1① 性別	男性	33 8.6%	39 10.2%	158 41.4%	152 39.8%	382 100.0%
	女性	74 18.0%	42 10.2%	125 30.5%	169 41.2%	410 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	2 100.0%
	合計	107 13.5%	81 10.2%	283 35.6%	323 40.7%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

		問8.仕事の重要性に関する意識に影響はありましたか。				合計
		仕事の重要性をより意識するようになった	仕事以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない・仕事をしていない	
問1② 年齢	20～29歳	3 27.3%	2 18.2%	6 54.5%	0 .0%	11 100.0%
	30～39歳	9 26.5%	7 20.6%	16 47.1%	2 5.9%	34 100.0%
	40～49歳	10 22.2%	6 13.3%	28 62.2%	1 2.2%	45 100.0%
	50～59歳	19 38.0%	8 16.0%	20 40.0%	3 6.0%	50 100.0%
	60～69歳	24 25.0%	13 13.5%	30 31.3%	29 30.2%	96 100.0%
	70歳以上	42 7.5%	45 8.1%	183 32.8%	288 51.6%	558 100.0%
	合計	107 13.5%	81 10.2%	283 35.6%	323 40.7%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

表 3-5-1 基本属性（全般）と仕事の重要性に関する意識への影響とのクロス集計結果（つづき）

		問8.仕事の重要性に関する意識に影響はありましたか。				合計
		仕事の重要性をより意識するようになった	仕事以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない・仕事をしていない	
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	26 10.4%	20 8.0%	87 34.9%	116 46.6%	249 100.0%
	県南広域	32 13.3%	30 12.5%	95 39.6%	83 34.6%	240 100.0%
	沿岸広域	27 14.2%	18 9.5%	64 33.7%	81 42.6%	190 100.0%
	県北広域	22 19.3%	13 11.4%	36 31.6%	43 37.7%	114 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	107 13.5%	81 10.2%	283 35.6%	323 40.7%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問8.仕事の重要性に関する意識に影響はありましたか。				合計
		仕事の重要性をより意識するようになった	仕事以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない・仕事をしていない	
問1④ 就労状況（職業）	正社員	34 31.2%	25 22.9%	50 45.9%	0 .0%	109 100.0%
	契約社員・派遣社員	13 31.7%	6 14.6%	22 53.7%	0 .0%	41 100.0%
	パート・アルバイト	22 44.9%	3 6.1%	22 44.9%	2 4.1%	49 100.0%
	自営業	4 11.1%	5 13.9%	24 66.7%	3 8.3%	36 100.0%
	年金生活者	23 4.8%	33 6.9%	134 28.2%	286 60.1%	476 100.0%
	無職（主婦・夫、学生含む）	5 10.2%	2 4.1%	13 26.5%	29 59.2%	49 100.0%
	その他	5 15.6%	7 21.9%	17 53.1%	3 9.4%	32 100.0%
	無回答	1 50.0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	107 13.5%	81 10.2%	283 35.6%	323 40.7%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

		問8.仕事の重要性に関する意識に影響はありましたか。				合計
		仕事の重要性をより意識するようになった	仕事以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない・仕事をしていない	
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	9 6.8%	10 7.6%	33 25.0%	80 60.6%	132 100.0%
	親子2世代（子と同居）	36 16.2%	27 12.2%	71 32.0%	88 39.6%	222 100.0%
	親子2世代（親と同居）	11 20.0%	3 5.5%	30 54.5%	11 20.0%	55 100.0%
	3世代以上同居	19 19.0%	18 18.0%	35 35.0%	28 28.0%	100 100.0%
	夫婦のみ	30 11.0%	23 8.4%	108 39.6%	112 41.0%	273 100.0%
	その他	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%
	無回答	2 22.2%	0 .0%	5 55.6%	2 22.2%	9 100.0%
	合計	107 13.5%	81 10.2%	283 35.6%	323 40.7%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

(2) 社会とのつながりの重要性に関する意識への影響について (問9) (表 3-5-2)

問9では、「社会とのつながりの重要性に関する意識に影響はありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。」という設問を立て、4つの選択項目を設定した。問9の項目を従属変数にし、回答者の基本属性(問1～5)の項目を独立変数にして分析した結果、独立変数が「性別」「年齢」「就労状況」「家族構成」の4項目で有意な差(因果関係)がみられた(表 3-5-2)。

- ①「性別」では、「女性」よりも「男性」の方が「変わらない」と回答した割合がやや高く、「社会とのつながりの重要性をより意識するようになった」と「わからない」の割合が「男性」よりも「女性」の方でやや高くなっている。
- ②「年齢」では、「変わらない」と回答した割合が「20～29歳」から「60～69歳」にかけて徐々に低下し、「70歳以上」ではやや上昇している。一方で、「社会とのつながりの重要性をより意識するようになった」の割合が「20～29歳」から「60～69歳」にかけて徐々に上昇し、「70歳以上」の割合が低下しており、「わからない・仕事をしていない」の割合が「20～29歳」から「60～69歳」にかけて徐々に低下し、「70歳以上」でやや上昇している。
- ③「就労状況」では、「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」を「労働者」として一括りにし、「年金生活者」「無職」を「非就業者」としてみた場合、「変わらない」と回答した割合が「労働者」「自営業」「非就業者」の順に徐々に上昇している。一方で、「社会とのつながりの重要性をより意識するようになった」の割合が「労働者」「自営業」「非就業者」の順に徐々に低下している。
- ④「家族構成」では、「親子2世代(子と同居)」「親子2世代(親と同居)」「3世代以上同居」「夫婦のみ」を「複数人世帯」と一括りにしてみた場合、「変わらない」と回答した割合が「一人暮らし」よりも「複数人世帯」で高くなっており、「わからない」と回答した割合が「複数人世帯」よりも「一人暮らし」の方が高くなっている。

表 3-5-2 基本属性(全般)と社会とのつながりの重要性に関する意識への影響とのクロス集計結果

		問9.社会とのつながりの重要性に関する意識に影響はありましたか。					合計
		社会とのつながりの重要性をより意識するようになった	社会とのつながり以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない	無回答	
問1① 性別	男性	160 41.9%	22 5.8%	175 45.8%	24 6.3%	1 .3%	382 100.0%
	女性	184 44.9%	22 5.4%	154 37.6%	50 12.2%	0 .0%	410 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	344 43.3%	44 5.5%	331 41.7%	74 9.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差(因果関係)ややあり(P<0.05)

		問9.社会とのつながりの重要性に関する意識に影響はありましたか。					合計
		社会とのつながりの重要性をより意識するようになった	社会とのつながり以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない	無回答	
問1② 年齢	20～29歳	4 36.4%	0 .0%	5 45.5%	2 18.2%	0 .0%	11 100.0%
	30～39歳	14 41.2%	3 8.8%	12 35.3%	5 14.7%	0 .0%	34 100.0%
	40～49歳	19 42.2%	0 .0%	24 53.3%	2 4.4%	0 .0%	45 100.0%
	50～59歳	29 58.0%	4 8.0%	15 30.0%	2 4.0%	0 .0%	50 100.0%
	60～69歳	61 63.5%	1 1.0%	30 31.3%	4 4.2%	0 .0%	96 100.0%
	70歳以上	217 38.9%	36 6.5%	245 43.9%	59 10.6%	1 .2%	558 100.0%
	合計	344 43.3%	44 5.5%	331 41.7%	74 9.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差(因果関係)あり(P<0.01)

表 3-5-2 基本属性（全般）と社会とのつながりの重要性に関する意識への影響とのクロス集計結果（つづき）

		問9.社会とのつながりの重要性に関する意識に影響はありましたか。					合計
		社会とのつながりの重要性をより意識するようになった	社会とのつながり以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない	無回答	
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	98 39.4%	16 6.4%	111 44.6%	24 9.6%	0 .0%	249 100.0%
	県南広域	110 45.8%	11 4.6%	99 41.3%	19 7.9%	1 .4%	240 100.0%
	沿岸広域	87 45.8%	12 6.3%	70 36.8%	21 11.1%	0 .0%	190 100.0%
	県北広域	49 43.0%	5 4.4%	50 43.9%	10 8.8%	0 .0%	114 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	344 43.3%	44 5.5%	331 41.7%	74 9.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問9.社会とのつながりの重要性に関する意識に影響はありましたか。					合計
		社会とのつながりの重要性をより意識するようになった	社会とのつながり以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない	無回答	
問1④ 就労状況（職業）	正社員	58 53.2%	5 4.6%	40 36.7%	6 5.5%	0 .0%	109 100.0%
	契約社員・派遣社員	24 58.5%	3 7.3%	14 34.1%	0 .0%	0 .0%	41 100.0%
	パート・アルバイト	27 55.1%	2 4.1%	18 36.7%	2 4.1%	0 .0%	49 100.0%
	自営業	15 41.7%	3 8.3%	17 47.2%	1 2.8%	0 .0%	36 100.0%
	年金生活者	187 39.3%	27 5.7%	205 43.1%	56 11.8%	1 .2%	476 100.0%
	無職（主婦・夫、学生含む）	16 32.7%	2 4.1%	26 53.1%	5 10.2%	0 .0%	49 100.0%
	その他	16 50.0%	2 6.3%	10 31.3%	4 12.5%	0 .0%	32 100.0%
	無回答	1 50.0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	344 43.3%	44 5.5%	331 41.7%	74 9.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）ややあり（ $P<0.05$ ）

		問9.社会とのつながりの重要性に関する意識に影響はありましたか。					合計
		社会とのつながりの重要性をより意識するようになった	社会とのつながり以外の重要性をより意識するようになった	変わらない	わからない	無回答	
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	45 34.1%	11 8.3%	50 37.9%	26 19.7%	0 .0%	132 100.0%
	親子2世代（子と同居）	100 45.0%	12 5.4%	90 40.5%	20 9.0%	0 .0%	222 100.0%
	親子2世代（親と同居）	23 41.8%	5 9.1%	27 49.1%	0 .0%	0 .0%	55 100.0%
	3世代以上同居	45 45.0%	6 6.0%	44 44.0%	5 5.0%	0 .0%	100 100.0%
	夫婦のみ	127 46.5%	9 3.3%	114 41.8%	22 8.1%	1 .4%	273 100.0%
	その他	2 66.7%	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
	無回答	2 22.2%	1 11.1%	5 55.6%	1 11.1%	0 .0%	9 100.0%
	合計	344 43.3%	44 5.5%	331 41.7%	74 9.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり（ $P<0.01$ ）

(3) ワーク・ライフ・バランスに対する意識への影響について (問 10) (表 3-5-3)

問 10 では、「ワーク・ライフ・バランスに対する意識に影響はありましたか。当てはまるもの 1 つに○をつけてください。」という設問を立て、4つの選択項目を設定した。問 10 の項目を従属変数にし、回答者の基本属性 (問 1～5) の項目を独立変数にして分析した結果、独立変数が「年齢」「就労状況」「家族構成」の 3 項目で有意な差 (因果関係) がみられた (表 3-5-3)。

- ①「年齢」では、「変わらない」と回答した割合が「20～29 歳」から「40～49 歳」にかけて徐々に上昇し、「50～59 歳」から「70 歳以上」にかけて徐々に低下している。一方で、「生活を重視するように変化」の割合が「20～29 歳」から「50～59 歳」の「現役世代」から「60～69 歳」「70 歳以上」にかけて徐々に低下しており、「わからない・仕事をしていない」の割合が「20～29 歳」から「40～49 歳」にかけて徐々に低下し、「50～59 歳」から「70 歳以上」で徐々に上昇している。
- ②「就労状況」では、「正社員」を「安定就業者」、「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」「自営業」を「不安定就業者」、「年金生活者」「無職」を「非就業者」として一括りにしてみた場合、「変わらない」と回答した割合が「安定就業者」から「不安定就業者」にかけて上昇し、「不安定就業者」から「非就業者」にかけて低下している。一方で、「生活を重視するように変化」と回答した割合が「安定就業者」「不安定就業者」「非就業者」の順に徐々に低下しており、「わからない・仕事をしていない」と回答した割合が「安定就業者」「不安定就業者」「非就業者」の順に徐々に上昇している。
- ③「家族構成」では、「一人暮らし」や「夫婦のみ」のような他世代との同居がないと考えられる世帯 (単一世代世帯) よりも「親子 2 世代 (子と同居)」「親子 2 世代 (親と同居)」「3 世代以上同居」のような他世代との同居のあると考えられる世帯 (複数世代世帯) の方が「変わらない」と回答した割合が高くなっている。また、「生活を重視するように変化」と回答した割合が「単一世代世帯」よりも「複数世代世帯」の方が高くなっている一方、わからない・仕事をしていない」と回答した割合は「複数世代世帯」よりも「単一世代世帯」の方が高くなっている。

表 3-5-3 基本属性 (全般) とワーク・ライフ・バランスに対する意識への影響とのクロス集計結果

		問 10.ワーク・ライフ・バランスに対する意識に影響はありましたか。				合計
		生活を重視するよう に変化	仕事を重視するよう に変化	変わらない	わからない・仕事を していない	
問 1① 性別	男性	61 16.0%	7 1.8%	188 49.2%	126 33.0%	382 100.0%
	女性	79 19.3%	6 1.5%	174 42.4%	151 36.8%	410 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	2 100.0%
	合計	140 17.6%	13 1.6%	362 45.6%	279 35.1%	794 100.0%

※有意差 (因果関係) なし

		問 10.ワーク・ライフ・バランスに対する意識に影響はありましたか。				合計
		生活を重視するよう に変化	仕事を重視するよう に変化	変わらない	わからない・仕事を していない	
問 1② 年齢	20～29 歳	4 36.4%	0 .0%	6 54.5%	1 9.1%	11 100.0%
	30～39 歳	14 41.2%	1 2.9%	17 50.0%	2 5.9%	34 100.0%
	40～49 歳	15 33.3%	0 .0%	30 66.7%	0 .0%	45 100.0%
	50～59 歳	19 38.0%	0 .0%	28 56.0%	3 6.0%	50 100.0%
	60～69 歳	21 21.9%	4 4.2%	50 52.1%	21 21.9%	96 100.0%
	70 歳以上	67 12.0%	8 1.4%	231 41.4%	252 45.2%	558 100.0%
	合計	140 17.6%	13 1.6%	362 45.6%	279 35.1%	794 100.0%

※有意差 (因果関係) あり ($P<0.01$)

表 3-5-3 基本属性（全般）とワーク・ライフ・バランスに対する意識への影響とのクロス集計結果（つづき）

		問 10.ワーク・ライフ・バランスに対する意識に影響はありましたか。				合計
		生活を重視するよう に変化	仕事を重視するよう に変化	変わらない	わからない・仕事を していない	
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	39 15.7%	5 2.0%	100 40.2%	105 42.2%	249 100.0%
	県南広域	45 18.8%	5 2.1%	120 50.0%	70 29.2%	240 100.0%
	沿岸広域	38 20.0%	3 1.6%	79 41.6%	70 36.8%	190 100.0%
	県北広域	18 15.8%	0 .0%	62 54.4%	34 29.8%	114 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	140 17.6%	13 1.6%	362 45.6%	279 35.1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 10.ワーク・ライフ・バランスに対する意識に影響はありましたか。				合計
		生活を重視するよう に変化	仕事を重視するよう に変化	変わらない	わからない・仕事を していない	
問1④ 就労状 況（職 業）	正社員	45 41.3%	1 .9%	61 56.0%	2 1.8%	109 100.0%
	契約社員・派遣 社員	9 22.0%	3 7.3%	29 70.7%	0 .0%	41 100.0%
	パート・アルバ イト	11 22.4%	1 2.0%	35 71.4%	2 4.1%	49 100.0%
	自営業	8 22.2%	1 2.8%	24 66.7%	3 8.3%	36 100.0%
	年金生活者	54 11.3%	3 .6%	173 36.3%	246 51.7%	476 100.0%
	無職（主婦・夫、 学生含む）	7 14.3%	1 2.0%	20 40.8%	21 42.9%	49 100.0%
	その他	6 18.8%	2 6.3%	19 59.4%	5 15.6%	32 100.0%
	無回答	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	140 17.6%	13 1.6%	362 45.6%	279 35.1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

		問 10.ワーク・ライフ・バランスに対する意識に影響はありましたか。				合計
		生活を重視するよう に変化	仕事を重視するよう に変化	変わらない	わからない・仕事を していない	
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	17 12.9%	2 1.5%	45 34.1%	68 51.5%	132 100.0%
	親子2世代（子 と同居）	43 19.4%	4 1.8%	102 45.9%	73 32.9%	222 100.0%
	親子2世代（親 と同居）	12 21.8%	1 1.8%	31 56.4%	11 20.0%	55 100.0%
	3世代以上同居	22 22.0%	2 2.0%	53 53.0%	23 23.0%	100 100.0%
	夫婦のみ	44 16.1%	4 1.5%	123 45.1%	102 37.4%	273 100.0%
	その他	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%
	無回答	2 22.2%	0 .0%	7 77.8%	0 .0%	9 100.0%
	合計	140 17.6%	13 1.6%	362 45.6%	279 35.1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

6. 健康面でのコロナの影響について（問 11）

（１）コロナ禍前と比べた現在の健康状態について（問 11①）（表 3-6-1）

問 11①では、「コロナ禍前と比べてみて、今の健康状態はどうですか。」という設問を立て、5つの選択項目を設定した。問 11①の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問 1～5）の項目を独立変数にして分析した結果、有意な差（因果関係）がみられるものはなかった（表 3-6-1）。

表 3-6-1 基本属性（全般）とコロナ禍前と比べた現在の健康状態とのクロス集計結果

		問 11.現在の健康状態について ①コロナ禍前と比べてみて、今の健康状態はどうですか。					合計
		とてもよくなった	まあよくなった	変わらない	まあわるくなった	わるくなった	
問 1① 性別	男性	3 .8%	15 3.9%	299 78.3%	52 13.6%	13 3.4%	382 100.0%
	女性	5 1.2%	14 3.4%	321 78.3%	57 13.9%	13 3.2%	410 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	8 1.0%	29 3.7%	622 78.3%	109 13.7%	26 3.3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ①コロナ禍前と比べてみて、今の健康状態はどうですか。					合計
		とてもよくなった	まあよくなった	変わらない	まあわるくなった	わるくなった	
問 1② 年齢	20～29 歳	0 .0%	0 .0%	10 90.9%	1 9.1%	0 .0%	11 100.0%
	30～39 歳	1 2.9%	1 2.9%	26 76.5%	4 11.8%	2 5.9%	34 100.0%
	40～49 歳	1 2.2%	2 4.4%	37 82.2%	5 11.1%	0 .0%	45 100.0%
	50～59 歳	1 2.0%	2 4.0%	40 80.0%	7 14.0%	0 .0%	50 100.0%
	60～69 歳	1 1.0%	4 4.2%	76 79.2%	13 13.5%	2 2.1%	96 100.0%
	70 歳以上	4 .7%	20 3.6%	433 77.6%	79 14.2%	22 3.9%	558 100.0%
	合計	8 1.0%	29 3.7%	622 78.3%	109 13.7%	26 3.3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ①コロナ禍前と比べてみて、今の健康状態はどうですか。					合計
		とてもよくなった	まあよくなった	変わらない	まあわるくなった	わるくなった	
問 1③ 【広域地域】	盛岡広域	2 .8%	7 2.8%	194 77.9%	39 15.7%	7 2.8%	249 100.0%
	県南広域	2 .8%	7 2.9%	188 78.3%	33 13.8%	10 4.2%	240 100.0%
	沿岸広域	4 2.1%	9 4.7%	143 75.3%	27 14.2%	7 3.7%	190 100.0%
	県北広域	0 .0%	5 4.4%	97 85.1%	10 8.8%	2 1.8%	114 100.0%
	無回答	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	8 1.0%	29 3.7%	622 78.3%	109 13.7%	26 3.3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

表 3-6-1 基本属性（全般）とコロナ禍前と比べた現在の健康状態とのクロス集計結果（つづき）

		問 11.現在の健康状態について ①コロナ禍前と比べてみて、今の健康状態はどうですか。					合計
		とても よくなった	まあよくなった	変わらない	まあ わるくなった	わるくなった	
問1④ 就労状 況(職 業)	正社員	3 2.8%	4 3.7%	88 80.7%	12 11.0%	2 1.8%	109 100.0%
	契約社員・ 派遣社員	0 .0%	2 4.9%	33 80.5%	6 14.6%	0 .0%	41 100.0%
	パート・ アルバイト	0 .0%	1 2.0%	40 81.6%	8 16.3%	0 .0%	49 100.0%
	自営業	2 5.6%	0 .0%	29 80.6%	5 13.9%	0 .0%	36 100.0%
	年金生活者	1 .2%	15 3.2%	371 77.9%	68 14.3%	21 4.4%	476 100.0%
	無職(主婦・夫、 学生含む)	1 2.0%	1 2.0%	38 77.6%	7 14.3%	2 4.1%	49 100.0%
	その他	1 3.1%	6 18.8%	22 68.8%	2 6.3%	1 3.1%	32 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	8 1.0%	29 3.7%	622 78.3%	109 13.7%	26 3.3%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

		問 11.現在の健康状態について ①コロナ禍前と比べてみて、今の健康状態はどうですか。					合計
		とても よくなった	まあよくなった	変わらない	まあ わるくなった	わるくなった	
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	2 1.5%	5 3.8%	104 78.8%	17 12.9%	4 3.0%	132 100.0%
	親子2世代 (子と同居)	0 .0%	6 2.7%	183 82.4%	28 12.6%	5 2.3%	222 100.0%
	親子2世代 (親と同居)	1 1.8%	1 1.8%	43 78.2%	9 16.4%	1 1.8%	55 100.0%
	3世代以上同居	2 2.0%	7 7.0%	72 72.0%	15 15.0%	4 4.0%	100 100.0%
	夫婦のみ	3 1.1%	10 3.7%	213 78.0%	36 13.2%	11 4.0%	273 100.0%
	その他	0 .0%	0 .0%	2 66.7%	1 33.3%	0 .0%	3 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	5 55.6%	3 33.3%	1 11.1%	9 100.0%
	合計	8 1.0%	29 3.7%	622 78.3%	109 13.7%	26 3.3%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

(2) 規則正しい食生活ができているか(問 11②)(表 3-6-2)

問 11②では、「食生活では1日3食、規則正しく食べていますか。」という設問を立て、5つの選択項目を設定した。問 11②の項目を従属変数にし、回答者の基本属性(問 1～5)の項目を独立変数にして分析した結果、独立変数が「年齢」「就労状況」の2項目で有意な差(因果関係)がみられた(表 3-6-2)。

①「年齢」では、「しっかり食べている」と回答した割合が「20～29歳」から「70歳以上」にかけて徐々に上昇している。また、「まあ食べている」と回答した割合が「20～29歳」から「40～49歳」にかけて徐々に上昇し、「50～59歳」から「70歳以上」にかけて徐々に低下している。一方で、「あまり食べていない」と「食べていない」と回答した割合が「20～29歳」から「70歳以上」にかけて徐々に概ね低下しており、年齢が高くなるほど、規則正しい食生活を送っていることがうかがえる。

②「就労状況」では、「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」を「労働者」、「年金生活者」「無職」を「非就業者」として一括りにしてみた場合、「しっかり食べている」と回答した割合は「自

営業」がもっとも高く、次いで「非就業者」「労働者」の順に低くなっている。一方で、「あまり食べていない」と「食べていない」と回答した割合は「労働者」がもっとも高く、次いで「非就業者」「自営業」の順に低くなっている。

表 3-6-2 基本属性（全般）と規則正しい食生活ができているかとのクロス集計結果

		問 11.現在の健康状態について ②食生活では1日3食、規則正しく食べていますか。						合計
		しっかり 食べている	まあ 食べている	あまり 食べていない	食べて いない	わからない	無回答	
問1① 性別	男性	277 72.5%	87 22.8%	13 3.4%	5 1.3%	0 .0%	0 .0%	382 100.0%
	女性	266 64.9%	129 31.5%	10 2.4%	3 .7%	1 .2%	1 .2%	410 100.0%
	無回答	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	545 68.6%	216 27.2%	23 2.9%	8 1.0%	1 .1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ②食生活では1日3食、規則正しく食べていますか。						合計
		しっかり 食べている	まあ 食べている	あまり 食べていない	食べて いない	わからない	無回答	
問1② 年齢	20～29 歳	4 36.4%	4 36.4%	1 9.1%	2 18.2%	0 .0%	0 .0%	11 100.0%
	30～39 歳	15 44.1%	15 44.1%	2 5.9%	2 5.9%	0 .0%	0 .0%	34 100.0%
	40～49 歳	17 37.8%	23 51.1%	3 6.7%	2 4.4%	0 .0%	0 .0%	45 100.0%
	50～59 歳	27 54.0%	21 42.0%	2 4.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	50 100.0%
	60～69 歳	63 65.6%	30 31.3%	2 2.1%	0 .0%	0 .0%	1 1.0%	96 100.0%
	70 歳以上	419 75.1%	123 22.0%	13 2.3%	2 .4%	1 .2%	0 .0%	558 100.0%
	合計	545 68.6%	216 27.2%	23 2.9%	8 1.0%	1 .1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

		問 11.現在の健康状態について ②食生活では1日3食、規則正しく食べていますか。						合計
		しっかり 食べている	まあ 食べている	あまり 食べていない	食べて いない	わからない	無回答	
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	176 70.7%	64 25.7%	5 2.0%	4 1.6%	0 .0%	0 .0%	249 100.0%
	県南広域	161 67.1%	68 28.3%	9 3.8%	1 .4%	1 .4%	0 .0%	240 100.0%
	沿岸広域	132 69.5%	49 25.8%	7 3.7%	1 .5%	0 .0%	1 .5%	190 100.0%
	県北広域	76 66.7%	35 30.7%	1 .9%	2 1.8%	0 .0%	0 .0%	114 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	545 68.6%	216 27.2%	23 2.9%	8 1.0%	1 .1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

表 3-6-2 基本属性（全般）と規則正しい食生活ができているかとのクロス集計結果（つづき）

		問 11.現在の健康状態について ②食生活では1日3食、規則正しく食べていますか。						合計
		しっかり 食べている	まあ 食べている	あまり 食べていない	食べて いない	わからない	無回答	
問1④ 就労状況（職業）	正社員	56 51.4%	45 41.3%	4 3.7%	4 3.7%	0 .0%	0 .0%	109 100.0%
	契約社員・ 派遣社員	20 48.8%	16 39.0%	5 12.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	41 100.0%
	パート・ アルバイト	28 57.1%	19 38.8%	0 .0%	1 2.0%	0 .0%	1 2.0%	49 100.0%
	自営業	29 80.6%	7 19.4%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	36 100.0%
	年金生活者	350 73.5%	110 23.1%	13 2.7%	2 .4%	1 .2%	0 .0%	476 100.0%
	無職（主婦・夫、 学生含む）	32 65.3%	16 32.7%	1 2.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	49 100.0%
	その他	29 90.6%	2 6.3%	0 .0%	1 3.1%	0 .0%	0 .0%	32 100.0%
	無回答	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	545 68.6%	216 27.2%	23 2.9%	8 1.0%	1 .1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり（ $P<0.01$ ）

		問 11.現在の健康状態について ②食生活では1日3食、規則正しく食べていますか。						合計
		しっかり 食べている	まあ 食べている	あまり 食べていない	食べて いない	わからない	無回答	
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	84 63.6%	40 30.3%	6 4.5%	2 1.5%	0 .0%	0 .0%	132 100.0%
	親子2世代 （子と同居）	146 65.8%	68 30.6%	7 3.2%	1 .5%	0 .0%	0 .0%	222 100.0%
	親子2世代 （親と同居）	37 67.3%	15 27.3%	2 3.6%	1 1.8%	0 .0%	0 .0%	55 100.0%
	3世代以上同居	69 69.0%	28 28.0%	0 .0%	1 1.0%	1 1.0%	1 1.0%	100 100.0%
	夫婦のみ	202 74.0%	62 22.7%	6 2.2%	3 1.1%	0 .0%	0 .0%	273 100.0%
	その他	2 66.7%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
	無回答	5 55.6%	2 22.2%	2 22.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	9 100.0%
	合計	545 68.6%	216 27.2%	23 2.9%	8 1.0%	1 .1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

（3）以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じているか（問 11③）（表 3-6-3）

問 11③では、「以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じることがありますか。」という設問を立て、3つの選択項目を設定した。問 11③の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問 1～5）の項目を独立変数にして分析した結果、独立変数が「年齢」「就労状況」の2項目で有意な差（因果関係）がみられた（表 3-6-3）。

①「年齢」では、「20～29 歳」から「50～59 歳」までを一括りにして「現役世代」とした場合、「ある」と回答した割合は「現役世代」（27.1%）から「70 歳以上」にかけて徐々に上昇している。一方で、「ない」と回答した割合は「現役世代」（60.7%）に比べると「60～69 歳」や「70 歳以上」がやや低くなっており、「わからない」も「ない」とみなして比較すると、年齢が高くなるほど、おっくうに感じている割合が高くなっていることがうかがえる。

②「就労状況」では、「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」を「労働者」、「年金生活者」「無職」を「非就業者」として一括りにしてみた場合、「ある」と回答した割合は「労働者」（31.2%）に比べると「自営業」と「非就業者」（38.9%）の割合がやや高くなっている。一方で、「ない」と回答した割合は「労働者」（59.3%）がもっとも高く、次いで「自営業」「非就業者」（55.4%）の順に低く

なっている。

表 3-6-3 基本属性（全般）とおっくうに感じているかどうかとのクロス集計結果

		問 11.現在の健康状態について ③以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じることがありますか。				合計
		ある	ない	わからない	無回答	
問1① 性別	男性	125 32.7%	235 61.5%	22 5.8%	0 .0%	382 100.0%
	女性	165 40.2%	216 52.7%	28 6.8%	1 .2%	410 100.0%
	無回答	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	291 36.6%	452 56.9%	50 6.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ③以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じることがありますか。				合計
		ある	ない	わからない	無回答	
問1② 年齢	20～29 歳	4 36.4%	4 36.4%	3 27.3%	0 .0%	11 100.0%
	30～39 歳	10 29.4%	20 58.8%	4 11.8%	0 .0%	34 100.0%
	40～49 歳	12 26.7%	26 57.8%	7 15.6%	0 .0%	45 100.0%
	50～59 歳	12 24.0%	35 70.0%	3 6.0%	0 .0%	50 100.0%
	60～69 歳	37 38.5%	55 57.3%	3 3.1%	1 1.0%	96 100.0%
	70 歳以上	216 38.7%	312 55.9%	30 5.4%	0 .0%	558 100.0%
	合計	291 36.6%	452 56.9%	50 6.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

		問 11.現在の健康状態について ③以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じることがありますか。				合計
		ある	ない	わからない	無回答	
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	93 37.3%	138 55.4%	18 7.2%	0 .0%	249 100.0%
	県南広域	90 37.5%	133 55.4%	17 7.1%	0 .0%	240 100.0%
	沿岸広域	71 37.4%	110 57.9%	8 4.2%	1 .5%	190 100.0%
	県北広域	37 32.5%	70 61.4%	7 6.1%	0 .0%	114 100.0%
	無回答	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	291 36.6%	452 56.9%	50 6.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ③以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じることがありますか。				合計
		ある	ない	わからない	無回答	
問1④ 就労状 況（職 業）	正社員	26 23.9%	68 62.4%	15 13.8%	0 .0%	109 100.0%
	契約社員・ 派遣社員	15 36.6%	24 58.5%	2 4.9%	0 .0%	41 100.0%
	パート・ アルバイト	21 42.9%	26 53.1%	1 2.0%	1 2.0%	49 100.0%
	自営業	14 38.9%	21 58.3%	1 2.8%	0 .0%	36 100.0%
	年金生活者	187 39.3%	261 54.8%	28 5.9%	0 .0%	476 100.0%
	無職（主婦・夫、 学生含む）	17 34.7%	30 61.2%	2 4.1%	0 .0%	49 100.0%
	その他	11 34.4%	20 62.5%	1 3.1%	0 .0%	32 100.0%
	無回答	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	291 36.6%	452 56.9%	50 6.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

表 3-6-3 基本属性（全般）とおっくうに感じているかどうかとのクロス集計結果（つづき）

		問 11.現在の健康状態について ③以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じることがありますか。				合計
		ある	ない	わからない	無回答	
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	56 42.4%	67 50.8%	9 6.8%	0 .0%	132 100.0%
	親子2世代（子 と同居）	89 40.1%	117 52.7%	16 7.2%	0 .0%	222 100.0%
	親子2世代（親 と同居）	19 34.5%	32 58.2%	4 7.3%	0 .0%	55 100.0%
	3世代以上同居	32 32.0%	60 60.0%	7 7.0%	1 1.0%	100 100.0%
	夫婦のみ	91 33.3%	169 61.9%	13 4.8%	0 .0%	273 100.0%
	その他	1 33.3%	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
	無回答	3 33.3%	5 55.6%	1 11.1%	0 .0%	9 100.0%
	合計	291 36.6%	452 56.9%	50 6.3%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

（4）具体的に「おっくうに感じている」ことについて（問 11④）（表 3-6-4）

問 11④では、③で「1. ある」と回答した方に「具体的にはどういことがおっくうに感じていますか。」という設問を立て、5つの選択項目を設定した。問 11④の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問 1～5）の項目を独立変数にして分析した結果、有意な差（因果関係）がみられるものはなかった（表 3-6-4）。

表 3-6-4 基本属性（全般）とおっくうに感じていることとのクロス集計結果

		問 11.現在の健康状態について ④具体的にはどういことがおっくうに感じていますか。					合計
		1日3食の規則正しい食事を取る	外出すること	人と会うこと	運動すること	その他	
問1① 性別	男性	4 3.2%	46 36.8%	28 22.4%	25 20.0%	22 17.6%	125 100.0%
	女性	11 6.7%	79 47.9%	30 18.2%	24 14.5%	21 12.7%	165 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	15 5.2%	125 43.0%	58 19.9%	50 17.2%	43 14.8%	291 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ④具体的にはどういことがおっくうに感じていますか。					合計
		1日3食の規則正しい食事を取る	外出すること	人と会うこと	運動すること	その他	
問1② 年齢	20～29 歳	0 .0%	4 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 100.0%
	30～39 歳	1 10.0%	4 40.0%	1 10.0%	4 40.0%	0 .0%	10 100.0%
	40～49 歳	0 .0%	8 66.7%	3 25.0%	1 8.3%	0 .0%	12 100.0%
	50～59 歳	2 16.7%	3 25.0%	6 50.0%	0 .0%	1 8.3%	12 100.0%
	60～69 歳	1 2.7%	14 37.8%	9 24.3%	5 13.5%	8 21.6%	37 100.0%
	70 歳以上	11 5.1%	92 42.6%	39 18.1%	40 18.5%	34 15.7%	216 100.0%
	合計	15 5.2%	125 43.0%	58 19.9%	50 17.2%	43 14.8%	291 100.0%

※有意差（因果関係）なし

表 3-6-4 基本属性（全般）とおっくうに感じていることとのクロス集計結果（つづき）

		問 11.現在の健康状態について ④具体的にはどういことがおっくうに感じていますか。					合計
		1日3食の規則正しい食事を取る	外出すること	人と会うこと	運動すること	その他	
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	4 4.3%	46 49.5%	19 20.4%	13 14.0%	11 11.8%	93 100.0%
	県南広域	5 5.6%	32 35.6%	22 24.4%	14 15.6%	17 18.9%	90 100.0%
	沿岸広域	5 7.0%	34 47.9%	11 15.5%	11 15.5%	10 14.1%	71 100.0%
	県北広域	1 2.7%	13 35.1%	6 16.2%	12 32.4%	5 13.5%	37 100.0%
	合計	15 5.2%	125 43.0%	58 19.9%	50 17.2%	43 14.8%	291 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ④具体的にはどういことがおっくうに感じていますか。					合計
		1日3食の規則正しい食事を取る	外出すること	人と会うこと	運動すること	その他	
問1④ 就労状況（職業）	正社員	1 3.8%	14 53.8%	7 26.9%	3 11.5%	1 3.8%	26 100.0%
	契約社員・派遣社員	0 .0%	6 40.0%	4 26.7%	3 20.0%	2 13.3%	15 100.0%
	パート・アルバイト	2 9.5%	11 52.4%	2 9.5%	4 19.0%	2 9.5%	21 100.0%
	自営業	1 7.1%	8 57.1%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	14 100.0%
	年金生活者	10 5.3%	77 41.2%	39 20.9%	32 17.1%	29 15.5%	187 100.0%
	無職（主婦・夫、学生含む）	1 5.9%	7 41.2%	2 11.8%	4 23.5%	3 17.6%	17 100.0%
	その他	0 .0%	2 18.2%	2 18.2%	3 27.3%	4 36.4%	11 100.0%
	合計	15 5.2%	125 43.0%	58 19.9%	50 17.2%	43 14.8%	291 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ④具体的にはどういことがおっくうに感じていますか。					合計
		1日3食の規則正しい食事を取る	外出すること	人と会うこと	運動すること	その他	
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	6 10.7%	21 37.5%	6 10.7%	13 23.2%	10 17.9%	56 100.0%
	親子2世代（子と同居）	3 3.4%	38 42.7%	19 21.3%	11 12.4%	18 20.2%	89 100.0%
	親子2世代（親と同居）	0 .0%	11 57.9%	5 26.3%	1 5.3%	2 10.5%	19 100.0%
	3世代以上同居	2 6.3%	14 43.8%	6 18.8%	7 21.9%	3 9.4%	32 100.0%
	夫婦のみ	3 3.3%	40 44.0%	21 23.1%	17 18.7%	10 11.0%	91 100.0%
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	1 100.0%
	無回答	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
	合計	15 5.2%	125 43.0%	58 19.9%	50 17.2%	43 14.8%	291 100.0%

※有意差（因果関係）なし

（５）体調不良時に相談する相手がいるか（問 11⑤）（表 3-6-5）

問 11⑤では、「体調が不良の時に相談する相手はいますか。」という設問を立て、6つの選択項目を設定した。問 11⑤の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問 1～5）の項目を独立変数にして分析した結果、独立変数が「性別」の1項目で有意な差（因果関係）がみられた（表 3-6-5）。

- ①「性別」では、「家族」と回答した割合は男女ともにもっとも高いうえ、同程度であったが、「かかりつけ医」と回答した割合は「女性」よりも「男性」の方が高い一方で、「友人」と回答した割合は「男性」よりも「女性」の方が高くなっている。

表 3-6-5 基本属性（全般）と体調不良時に相談する相手とのクロス集計結果

		問 11.現在の健康状態について ⑤体調が不良の時に相談する相手はいますか。							合計
		家族	かかりつけ医	友人	施設等の職員	相談する人がいない	その他	無回答	
問1① 性別	男性	265 69.4%	100 26.2%	5 1.3%	5 1.3%	3 .8%	4 1.0%	0 .0%	382 100.0%
	女性	282 68.8%	81 19.8%	24 5.9%	8 2.0%	7 1.7%	6 1.5%	2 .5%	410 100.0%
	無回答	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	549 69.1%	181 22.8%	29 3.7%	13 1.6%	10 1.3%	10 1.3%	2 .3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

		問 11.現在の健康状態について ⑤体調が不良の時に相談する相手はいますか。							合計
		家族	かかりつけ医	友人	施設等の職員	相談する人がいない	その他	無回答	
問1② 年齢	20～29 歳	9 81.8%	1 9.1%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	11 100.0%
	30～39 歳	29 85.3%	2 5.9%	1 2.9%	0 .0%	1 2.9%	1 2.9%	0 .0%	34 100.0%
	40～49 歳	41 91.1%	2 4.4%	1 2.2%	1 2.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	45 100.0%
	50～59 歳	38 76.0%	6 12.0%	4 8.0%	0 .0%	1 2.0%	1 2.0%	0 .0%	50 100.0%
	60～69 歳	68 70.8%	20 20.8%	5 5.2%	0 .0%	0 .0%	2 2.1%	1 1.0%	96 100.0%
	70 歳以上	364 65.2%	150 26.9%	17 3.0%	12 2.2%	8 1.4%	6 1.1%	1 .2%	558 100.0%
	合計	549 69.1%	181 22.8%	29 3.7%	13 1.6%	10 1.3%	10 1.3%	2 .3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ⑤体調が不良の時に相談する相手はいますか。							合計
		家族	かかりつけ医	友人	施設等の職員	相談する人がいない	その他	無回答	
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	156 62.7%	73 29.3%	8 3.2%	5 2.0%	5 2.0%	2 .8%	0 .0%	249 100.0%
	県南広域	176 73.3%	45 18.8%	10 4.2%	2 .8%	3 1.3%	4 1.7%	0 .0%	240 100.0%
	沿岸広域	125 65.8%	47 24.7%	6 3.2%	4 2.1%	2 1.1%	4 2.1%	2 1.1%	190 100.0%
	県北広域	92 80.7%	15 13.2%	5 4.4%	2 1.8%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	114 100.0%
	無回答	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	549 69.1%	181 22.8%	29 3.7%	13 1.6%	10 1.3%	10 1.3%	2 .3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ⑤体調が不良の時に相談する相手はいますか。							合計
		家族	かかりつけ医	友人	施設等の職員	相談する人がいない	その他	無回答	
問1④ 就労状況(職業)	正社員	93 85.3%	9 8.3%	3 2.8%	1 .9%	1 .9%	2 1.8%	0 .0%	109 100.0%
	契約社員・派遣社員	35 85.4%	4 9.8%	2 4.9%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	41 100.0%
	パート・アルバイト	39 79.6%	6 12.2%	2 4.1%	0 .0%	0 .0%	1 2.0%	1 2.0%	49 100.0%
	自営業	24 66.7%	10 27.8%	1 2.8%	0 .0%	0 .0%	1 2.8%	0 .0%	36 100.0%
	年金生活者	302 63.4%	134 28.2%	17 3.6%	9 1.9%	8 1.7%	5 1.1%	1 .2%	476 100.0%
	無職(主婦・夫、学生含む)	34 69.4%	10 20.4%	1 2.0%	2 4.1%	1 2.0%	1 2.0%	0 .0%	49 100.0%
	その他	20 62.5%	8 25.0%	3 9.4%	1 3.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	32 100.0%
	無回答	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	549 69.1%	181 22.8%	29 3.7%	13 1.6%	10 1.3%	10 1.3%	2 .3%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

表 3-6-5 基本属性（全般）と体調不良時に相談する相手とのクロス集計結果（つづき）

		問 11.現在の健康状態について ⑤体調が不良の時に相談する相手はいますか。							合計
		家族	かかりつけ医	友人	施設等の職員	相談する人がいない	その他	無回答	
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	41 31.1%	53 40.2%	17 12.9%	8 6.1%	6 4.5%	6 4.5%	1 .8%	132 100.0%
	親子2世代（子と同居）	173 77.9%	41 18.5%	3 1.4%	3 1.4%	1 .5%	1 .5%	0 .0%	222 100.0%
	親子2世代（親と同居）	40 72.7%	11 20.0%	3 5.5%	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	0 .0%	55 100.0%
	3世代以上同居	82 82.0%	14 14.0%	2 2.0%	0 .0%	1 1.0%	0 .0%	1 1.0%	100 100.0%
	夫婦のみ	203 74.4%	60 22.0%	4 1.5%	2 .7%	2 .7%	2 .7%	0 .0%	273 100.0%
	その他	3 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 100.0%
	無回答	7 77.8%	2 22.2%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	9 100.0%
	合計	549 69.1%	181 22.8%	29 3.7%	13 1.6%	10 1.3%	10 1.3%	2 .3%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

(6) 健康のために運動を行っているか（問 11⑥）（表 3-6-6）

問 11⑥では、「日頃、健康のため運動を行っていますか。」という設問を立て、2つの選択項目を設定した。問 11⑥の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問 1～5）の項目を独立変数にして分析した結果、独立変数が「年齢」「就労状況」の2項目で有意な差（因果関係）がみられた（表 3-6-6）。

①「年齢」では、「20～29 歳」から「50～59 歳」までを一括りにして「現役世代」とした場合、「行っている」と回答した割合は「現役世代」（34.3%）から「70 歳以上」にかけて徐々に上昇している。一方で、「特に行っていない」と回答した割合は「現役世代」（65.7%）から「70 歳以上」にかけて徐々に低下している。年齢が高くなるほど、健康のために運動を行っていることがうかがえる。

②「就労状況」では、「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」を「労働者」、「年金生活者」「無職」を「非就業者」として一括りにしてみた場合、「行っている」と回答した割合は「労働者」（39.7%）がもっとも低く、次いで「自営業」（50.0%）「非就業者」（58.7%）の順に高くなっている。一方で、「特に行っていない」と回答した割合は「労働者」（59.8%）がもっとも高く、次いで「自営業」（50.0%）「非就業者」（41.3%）の順に低くなっている。

表 3-6-6 基本属性（全般）と健康のために運動を行っているかとのクロス集計結果

		問 11.現在の健康状態について ⑥日頃、健康のため運動を行っていますか。			合計
		行っている	特に行っていない	無回答	
問1① 性別	男性	216 56.5%	166 43.5%	0 .0%	382 100.0%
	女性	211 51.5%	198 48.3%	1 .2%	410 100.0%
	無回答	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	427 53.8%	366 46.1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差(因果関係)なし

表 3-6-6 基本属性（全般）と健康のために運動を行っているかとのクロス集計結果（つづき）

		問 11.現在の健康状態について ⑥日頃、健康のため運動を行っていますか。			合計
		行っている	特に行っていない	無回答	
問1② 年齢	20～29 歳	4 36.4%	7 63.6%	0 .0%	11 100.0%
	30～39 歳	10 29.4%	24 70.6%	0 .0%	34 100.0%
	40～49 歳	14 31.1%	31 68.9%	0 .0%	45 100.0%
	50～59 歳	20 40.0%	30 60.0%	0 .0%	50 100.0%
	60～69 歳	46 47.9%	49 51.0%	1 1.0%	96 100.0%
	70 歳以上	333 59.7%	225 40.3%	0 .0%	558 100.0%
	合計	427 53.8%	366 46.1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

		問 11.現在の健康状態について ⑥日頃、健康のため運動を行っていますか。			合計
		行っている	特に行っていない	無回答	
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	142 57.0%	107 43.0%	0 .0%	249 100.0%
	県南広域	120 50.0%	120 50.0%	0 .0%	240 100.0%
	沿岸広域	113 59.5%	76 40.0%	1 .5%	190 100.0%
	県北広域	52 45.6%	62 54.4%	0 .0%	114 100.0%
	無回答	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	427 53.8%	366 46.1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 11.現在の健康状態について ⑥日頃、健康のため運動を行っていますか。			合計
		行っている	特に行っていない	無回答	
問1④ 就労状 況（職 業）	正社員	33 30.3%	76 69.7%	0 .0%	109 100.0%
	契約社員・ 派遣社員	22 53.7%	19 46.3%	0 .0%	41 100.0%
	パート・ アルバイト	24 49.0%	24 49.0%	1 2.0%	49 100.0%
	自営業	18 50.0%	18 50.0%	0 .0%	36 100.0%
	年金生活者	284 59.7%	192 40.3%	0 .0%	476 100.0%
	無職（主婦・夫、 学生含む）	24 49.0%	25 51.0%	0 .0%	49 100.0%
	その他	20 62.5%	12 37.5%	0 .0%	32 100.0%
	無回答	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	427 53.8%	366 46.1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

		問 11.現在の健康状態について ⑥日頃、健康のため運動を行っていますか。			合計
		行っている	特に行っていない	無回答	
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	77 58.3%	55 41.7%	0 .0%	132 100.0%
	親子2世代 （子と同居）	119 53.6%	103 46.4%	0 .0%	222 100.0%
	親子2世代 （親と同居）	24 43.6%	31 56.4%	0 .0%	55 100.0%
	3世代以上同居	42 42.0%	57 57.0%	1 1.0%	100 100.0%
	夫婦のみ	158 57.9%	115 42.1%	0 .0%	273 100.0%
	その他	1 33.3%	2 66.7%	0 .0%	3 100.0%
	無回答	6 66.7%	3 33.3%	0 .0%	9 100.0%
	合計	427 53.8%	366 46.1%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

(7) 具体的に「健康のために行っている運動」について（問 11⑦）（表 3-6-7）

問 11⑦では、問 11⑥で「行っている」と回答した方に「具体的にはどういう運動を行っていますか。（複数回答可）」という設問を立て、5つの回答項目を設定した。問 11⑦の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問 1）の項目を独立変数にして分析した結果が、表 3-6-7 である。なお、表中の網掛けのうち、青（■）は「合計」から 10 ポイント以上の「マイナス（低い）」な乖離とし、赤（■）は「合計」から 10 ポイント以上の「プラス（高い）」な乖離とする。

- ①「散歩やウォーキング」については、「問 1 ②年齢」において「40～49 歳」が高い割合になっており、「60～69 歳」が低い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況（職業）」において「正社員」と「パート・アルバイト」が低い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「親子 2 世代（親と同居）」が低い割合となっている。
- ②「体操やストレッチ」については、「問 1 ①性別」において「男性」が低い割合であったのに対して「女性」が高い割合になっている。また、「問 1 ②年齢」において「30～39 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況（職業）」において「パート・アルバイト」が高い割合になっており、「自営業」が低い割合になっている。
- ③「筋力トレーニングやスクワット」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」「30～39 歳」「40～49 歳」「60～69 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況（職業）」において「正社員」と「派遣社員・契約社員」が高い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「親子 2 世代（親と同居）」が高い割合となっている。
- ④「ジョギングやランニング」については、全般的に割合が低く、有意な差がみられなかった。

表 3-6-7 基本属性（全般）と健康のために行っている運動の内容とのクロス集計結果

		問 11. 現在の健康状態について ⑦具体的にはどういう運動を行っていますか。					合計
		散歩や ウォーキング	体操や ストレッチ	筋力トレーニング やスクワット	ジョギングや ランニング	その他	
合計		238 55.7%	177 41.5%	68 15.9%	7 1.6%	84 19.7%	427 -
問 1① 性別	男性	136 63.0%	61 28.2%	31 14.4%	3 1.4%	48 22.2%	216 -
	女性	102 48.3%	116 55.0%	37 17.5%	4 1.9%	36 17.1%	211 -
問 1② 年齢	20～29 歳	2 50.0%	0 .0%	3 75.0%	0 .0%	2 50.0%	4 -
	30～39 歳	5 50.0%	6 60.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 .0%	10 -
	40～49 歳	10 71.4%	7 50.0%	4 28.6%	0 .0%	2 14.3%	14 -
	50～59 歳	11 55.0%	10 50.0%	5 25.0%	0 .0%	0 .0%	20 -
	60～69 歳	20 43.5%	21 45.7%	12 26.1%	2 4.3%	2 4.3%	46 -
	70 歳以上	190 57.1%	133 39.9%	40 12.0%	4 1.2%	78 23.4%	333 -
問 1③ 【広域地 域】	盛岡広域	71 50.0%	59 41.5%	23 16.2%	4 2.8%	33 23.2%	142 -
	県南広域	66 55.0%	56 46.7%	19 15.8%	3 2.5%	19 15.8%	120 -
	沿岸広域	67 59.3%	43 38.1%	12 10.6%	0 .0%	24 21.2%	113 -
	県北広域	34 65.4%	19 36.5%	14 26.9%	0 .0%	8 15.4%	52 -

表 3-6-7 基本属性（全般）と健康のために行っている運動の内容とのクロス集計結果（つづき）

		問 11. 現在の健康状態について ⑦具体的にはどのような運動を行っていますか。					合計
		散歩や ウォーキング	体操や ストレッチ	筋力トレーニング やスクワット	ジョギングや ランニング	その他	
合計		238 55.7%	177 41.5%	68 15.9%	7 1.6%	84 19.7%	427 -
問1④ 就労状況(職業)	正社員	15 45.5%	14 42.4%	13 39.4%	1 3.0%	4 12.1%	33 -
	契約社員・ 派遣社員	14 63.6%	9 40.9%	7 31.8%	1 4.5%	1 4.5%	22 -
	パート・アルバイト	10 41.7%	14 58.3%	4 16.7%	1 4.2%	2 8.3%	24 -
	自営業	11 61.1%	3 16.7%	2 11.1%	0 .0%	6 33.3%	18 -
	年金生活者	165 58.1%	116 40.8%	35 12.3%	2 .7%	64 22.5%	284 -
	無職(主婦・夫、 学生含む)	11 45.8%	11 45.8%	4 16.7%	2 8.3%	2 8.3%	24 -
	その他	10 50.0%	9 45.0%	3 15.0%	0 .0%	5 25.0%	20 -
	無回答	2 100.0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	41 53.2%	34 44.2%	14 18.2%	3 3.9%	13 16.9%	77 -
	親子2世代 (子と同居)	68 57.1%	49 41.2%	15 12.6%	0 .0%	18 15.1%	119 -
	親子2世代 (親と同居)	9 37.5%	10 41.7%	9 37.5%	0 .0%	3 12.5%	24 -
	3世代以上同居	27 64.3%	19 45.2%	4 9.5%	0 .0%	5 11.9%	42 -
	夫婦のみ	89 56.3%	62 39.2%	24 15.2%	3 1.9%	43 27.2%	158 -
	その他	1 100.0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	1 -
	無回答	3 50.0%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	6 -

(8)「健康のための運動をしていない」理由について(問11⑧)(表3-6-8)

問11⑧では、問11⑥で「2. 特に行っていない」と回答した方に対して「外出自粛などがある中で、身体の不調などの影響はありますか。」という設問を立て、4つの選択項目を設定した。問11⑧の項目を従属変数にし、回答者の基本属性(問1～5)の項目を独立変数にして分析した結果、有意な差(因果関係)がみられるものはなかった(表3-6-8)。

表 3-6-8 基本属性（全般）と健康のための運動をしていない理由とのクロス集計結果

		問11現在の健康状態について ⑧外出自粛などがある中で、身体の不調などの影響はありますか。				合計
		身体に不調を 感じるようになった	身体的な 不調はない	特に変わらない	わからない	
問1①性別	男性	41 24.7%	26 15.7%	98 59.0%	1 .6%	166 100.0%
	女性	54 27.3%	27 13.6%	110 55.6%	7 3.5%	198 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	95 26.0%	53 14.5%	210 57.4%	8 2.2%	366 100.0%

※有意差(因果関係)なし

表 3-6-8 基本属性（全般）と健康のための運動をしていない理由とのクロス集計結果（つづき）

		問11現在の健康状態について⑧外出自粛などがある中で、身体の不調などの影響はありますか。				合計
		身体に不調を感じるようになった	身体的な不調はない	特に変わらない	わからない	
問1②年齢	20～29 歳	1 14.3%	1 14.3%	5 71.4%	0 .0%	7 100.0%
	30～39 歳	4 16.7%	4 16.7%	14 58.3%	2 8.3%	24 100.0%
	40～49 歳	6 19.4%	8 25.8%	17 54.8%	0 .0%	31 100.0%
	50～59 歳	5 16.7%	5 16.7%	19 63.3%	1 3.3%	30 100.0%
	60～69 歳	10 20.4%	7 14.3%	31 63.3%	1 2.0%	49 100.0%
	70 歳以上	69 30.7%	28 12.4%	124 55.1%	4 1.8%	225 100.0%
	合計	95 26.0%	53 14.5%	210 57.4%	8 2.2%	366 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問11現在の健康状態について⑧外出自粛などがある中で、身体の不調などの影響はありますか。				合計
		身体に不調を感じるようになった	身体的な不調はない	特に変わらない	わからない	
問1③【広域地域】	盛岡広域	32 29.9%	13 12.1%	59 55.1%	3 2.8%	107 100.0%
	県南広域	34 28.3%	18 15.0%	67 55.8%	1 .8%	120 100.0%
	沿岸広域	21 27.6%	7 9.2%	45 59.2%	3 3.9%	76 100.0%
	県北広域	8 12.9%	15 24.2%	38 61.3%	1 1.6%	62 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	95 26.0%	53 14.5%	210 57.4%	8 2.2%	366 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問11現在の健康状態について⑧外出自粛などがある中で、身体の不調などの影響はありますか。				合計
		身体に不調を感じるようになった	身体的な不調はない	特に変わらない	わからない	
問1④就労状況（職業）	正社員	10 13.2%	16 21.1%	47 61.8%	3 3.9%	76 100.0%
	契約社員・派遣社員	4 21.1%	4 21.1%	10 52.6%	1 5.3%	19 100.0%
	パート・アルバイト	7 29.2%	3 12.5%	14 58.3%	0 .0%	24 100.0%
	自営業	3 16.7%	2 11.1%	13 72.2%	0 .0%	18 100.0%
	年金生活者	65 33.9%	23 12.0%	101 52.6%	3 1.6%	192 100.0%
	無職（主婦・夫、学生含む）	4 16.0%	2 8.0%	18 72.0%	1 4.0%	25 100.0%
	その他	2 16.7%	3 25.0%	7 58.3%	0 .0%	12 100.0%
	合計	95 26.0%	53 14.5%	210 57.4%	8 2.2%	366 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問11現在の健康状態について⑧外出自粛などがある中で、身体の不調などの影響はありますか。				合計
		身体に不調を感じるようになった	身体的な不調はない	特に変わらない	わからない	
問1⑤家族構成	一人暮らし	17 30.9%	2 3.6%	33 60.0%	3 5.5%	55 100.0%
	親子2世代（子と同居）	26 25.2%	20 19.4%	54 52.4%	3 2.9%	103 100.0%
	親子2世代（親と同居）	4 12.9%	8 25.8%	19 61.3%	0 .0%	31 100.0%
	3世代以上同居	8 14.0%	10 17.5%	38 66.7%	1 1.8%	57 100.0%
	夫婦のみ	38 33.0%	13 11.3%	63 54.8%	1 .9%	115 100.0%
	その他	1 50.0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	2 100.0%
	無回答	1 33.3%	0 .0%	2 66.7%	0 .0%	3 100.0%
	合計	95 26.0%	53 14.5%	210 57.4%	8 2.2%	366 100.0%

※有意差（因果関係）なし

(9)「健康のための運動をしていない」理由が「身体の不調」の場合の具体的な不調について(問 11⑨)
(表 3-6-9)

問 11⑨では、問 11⑧で「1. 身体に不調を感じるようになった」と回答した方に対して「**具体的にはどのような不調を感じるようになりましたか。(複数回答可)**」という設問を立て、12 個の選択項目を設定した。問 11⑨の項目を従属変数にし、回答者の基本属性(問 1～5)の項目を独立変数にして分析した結果が表 3-6-9 である。なお、表中の網掛けのうち、「合計」からの乖離が 10 ポイント以上あるもので、青(■)は「低い」乖離とし、赤(■)は「高い」乖離とするが、ネガティブな設問であるため、赤(■)の「高い」乖離についてのみ取り上げる。

- ①「膝の痛み」については、「問 1 ②年齢」において「40～49 歳」と「50～59 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ③【広域地域】」において「県北地域」が高い割合になっている。
- ②「腰痛」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」と「40～49 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況(職業)」において「パート・アルバイト」「自営業」「無職」が高い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「親子 2 世代(親と同居)」と「3 世代以上同居」が高い割合になっている。
- ③「目の疲れ」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」「30～39 歳」「40～49 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ③【広域地域】」において「盛岡地域」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況(職業)」において「派遣社員・契約社員」と「自営業」が高い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「親子 2 世代(親と同居)」が高い割合になっている。
- ④「肩こり」については、「問 1 ①性別」において「女性」が高い割合になっている。また、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」「30～39 歳」「60～69 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ③【広域地域】」において「盛岡地域」と「県北地域」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況(職業)」において「正社員」「パート・アルバイト」「派遣社員・契約社員」「自営業」「無職」が高い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「親子 2 世代(親と同居)」が高い割合になっている。
- ⑤「不眠・睡眠不足」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」「30～39 歳」「50～59 歳」「60～69 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況(職業)」において「無職」が高い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「親子 2 世代(親と同居)」が高い割合になっている。
- ⑥「姿勢が悪くなった」については、「問 1 ②年齢」において「50～59 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ③【広域地域】」において「沿岸地域」が高い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「一人暮らし」「3 世代以上同居」が高い割合になっている。
- ⑦「むくみ・冷え」については、「問 1 ②年齢」において「50～59 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ③【広域地域】」において「盛岡地域」が高い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「一人暮らし」が高い割合になっている。
- ⑧「めまい・しびれ」については、「問 1 ④就労状況(職業)」において「派遣社員・契約社員」「自営業」が高い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「3 世代以上同居」が高い割合になっている。
- ⑨「動悸・息苦しさ」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況(職業)」において「自営業」が高い割合になっている。また、「問 1 ⑤家族構成」において「3 世代以上同居」が高い割合になっている。
- ⑩「血圧の上昇」については、高い割合になっているものはなかった。
- ⑪「食欲不振」については、「問 1 ③【広域地域】」において「盛岡地域」が高い割合になっている。

表 3-6-9 基本属性（全般）と健康のための運動をしていない理由としての体調不良内容とのクロス集計結果

		問 11. 現在の健康状態について ⑨具体的にはどういう不調を感じるようになりました						合計
		膝の痛み	腰痛	目の疲れ	肩こり	不眠・睡眠不足	姿勢が悪くなった	
合計		43 45.3%	49 51.6%	50 52.6%	34 35.8%	30 31.6%	25 26.3%	95 -
問1① 性別	男性	16 39.0%	21 51.2%	19 46.3%	8 19.5%	14 34.1%	10 24.4%	41 -
	女性	27 50.0%	28 51.9%	31 57.4%	26 48.1%	16 29.6%	15 27.8%	54 -
問1② 年齢	20～29 歳	0 .0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 .0%	1 -
	30～39 歳	0 .0%	0 .0%	3 75.0%	3 75.0%	2 50.0%	1 25.0%	4 -
	40～49 歳	4 66.7%	5 83.3%	4 66.7%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	6 -
	50～59 歳	3 60.0%	2 40.0%	3 60.0%	2 40.0%	3 60.0%	2 40.0%	5 -
	60～69 歳	4 40.0%	6 60.0%	5 50.0%	6 60.0%	6 60.0%	3 30.0%	10 -
	70 歳以上	32 46.4%	35 50.7%	34 49.3%	20 29.0%	17 24.6%	18 26.1%	69 -
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	14 43.8%	16 50.0%	21 65.6%	15 46.9%	12 37.5%	10 31.3%	32 -
	県南広域	14 41.2%	17 50.0%	16 47.1%	8 23.5%	14 41.2%	6 17.6%	34 -
	沿岸広域	9 42.9%	12 57.1%	8 38.1%	6 28.6%	2 9.5%	8 38.1%	21 -
	県北広域	6 75.0%	4 50.0%	5 62.5%	5 62.5%	2 25.0%	1 12.5%	8 -
問1④ 就労状 況（職 業）	正社員	5 50.0%	5 50.0%	6 60.0%	5 50.0%	4 40.0%	3 30.0%	10 -
	契約社員・ 派遣社員	0 .0%	2 50.0%	4 100.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 .0%	4 -
	パート・ アルバイト	3 42.9%	5 71.4%	3 42.9%	3 42.9%	3 42.9%	2 28.6%	7 -
	自営業	1 33.3%	2 66.7%	3 100.0%	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	3 -
	年金生活者	31 47.7%	31 47.7%	32 49.2%	20 30.8%	18 27.7%	18 27.7%	65 -
	無職（主婦・夫、 学生含む）	2 50.0%	3 75.0%	1 25.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	4 -
	その他	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	7 41.2%	7 41.2%	7 41.2%	5 29.4%	7 41.2%	7 41.2%	17 -
	親子2世代 （子と同居）	11 42.3%	14 53.8%	16 61.5%	9 34.6%	6 23.1%	4 15.4%	26 -
	親子2世代 （親と同居）	2 50.0%	3 75.0%	3 75.0%	2 50.0%	3 75.0%	0 .0%	4 -
	3世代以上同居	4 50.0%	6 75.0%	5 62.5%	3 37.5%	3 37.5%	4 50.0%	8 -
	夫婦のみ	17 44.7%	18 47.4%	18 47.4%	15 39.5%	11 28.9%	10 26.3%	38 -
	その他	1 100.0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 -
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 -

表 3-6-9 基本属性（全般）と健康のための運動をしていない理由としての体調不良内容とのクロス集計結果（つづき）

		問 11. 現在の健康状態について ⑨具体的にはどういう不調を感じるようになりました						合計
		むくみ・冷え	めまい・しびれ	動悸・息苦しさ	血圧の上昇	食欲不振	その他	
合計		20 21.1%	18 18.9%	10 10.5%	10 10.5%	6 6.3%	11 11.6%	95 -
問1① 性別	男性	5 12.2%	10 24.4%	3 7.3%	7 17.1%	4 9.8%	3 7.3%	41 -
	女性	15 27.8%	8 14.8%	7 13.0%	3 5.6%	2 3.7%	8 14.8%	54 -
問1② 年齢	20～29 歳	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 -
	30～39 歳	1 25.0%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 -
	40～49 歳	1 16.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 33.3%	6 -
	50～59 歳	2 40.0%	1 20.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	5 -
	60～69 歳	1 10.0%	2 20.0%	0 .0%	2 20.0%	0 .0%	0 .0%	10 -
	70 歳以上	15 21.7%	14 20.3%	9 13.0%	8 11.6%	6 8.7%	9 13.0%	69 -
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	11 34.4%	8 25.0%	4 12.5%	2 6.3%	6 18.8%	4 12.5%	32 -
	県南広域	6 17.6%	8 23.5%	2 5.9%	6 17.6%	0 .0%	4 11.8%	34 -
	沿岸広域	3 14.3%	1 4.8%	4 19.0%	2 9.5%	0 .0%	3 14.3%	21 -
	県北広域	0 .0%	1 12.5%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	8 -
問1④ 就労状況（職業）	正社員	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 .0%	0 .0%	1 10.0%	10 -
	契約社員・派遣社員	0 .0%	2 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 -
	パート・アルバイト	1 14.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 14.3%	7 -
	自営業	0 .0%	2 66.7%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3 -
	年金生活者	16 24.6%	11 16.9%	8 12.3%	10 15.4%	6 9.2%	9 13.8%	65 -
	無職（主婦・夫、学生含む）	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 -
	その他	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 -
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	6 35.3%	3 17.6%	3 17.6%	2 11.8%	2 11.8%	2 11.8%	17 -
	親子2世代（子と同居）	4 15.4%	6 23.1%	1 3.8%	2 7.7%	1 3.8%	4 15.4%	26 -
	親子2世代（親と同居）	0 .0%	0 .0%	1 25.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	4 -
	3世代以上同居	2 25.0%	4 50.0%	0 .0%	1 12.5%	0 .0%	0 .0%	8 -
	夫婦のみ	7 18.4%	5 13.2%	5 13.2%	5 13.2%	2 5.3%	5 13.2%	38 -
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 -
	無回答	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	1 -

7. コロナ禍における今後の日常生活について（問 12～問 13）

（1）新型コロナウイルス感染症による生活の変化がどの程度残るかについて（問 12）（表 3-7-1）

問 12 では、「新型コロナウイルス感染症による生活の変化は、どの程度残ると考えますか。」という設問を立て、6 個の選択項目を設定した。問 12 の項目を従属変数にし、回答者の基本属性（問 1～5）の項目を独立変数にして分析した結果、独立変数が「年齢」「就労状況」「家族構成」の 3 項目で有意な差（因果関係）がみられた（表 3-7-1）。

- ①「年齢」では、「20～29 歳」から「50～59 歳」までを一括りにして「現役世代」とした場合、「変化は一時的で、大体元に戻る」と回答した割合は「現役世代」（4.3%）から「70 歳以上」にかけて徐々に上昇しており、年齢が高くなるについて楽観的になっていることがうかがえる。一方で、「変化した状態が続く部分も、元に戻る部分も両方ある」と回答した割合は「現役世代」（55.7%）から「70 歳以上」にかけて徐々に低下しており、「変化した状態が概ね続く」と回答した割合も「現役世代」（26.4%）から「70 歳以上」にかけて徐々に低下していることから、若い世代の方がやや悲観的になっていることがうかがえる。
- ②「就労状況」では、「正社員」「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」を「労働者」、「年金生活者」「無職」を「非就業者」として一括りにしてみた場合、「変化は一時的で、大体元に戻る」と回答した割合は「労働者」（5.5%）がもっとも低く、次いで「自営業」（13.9%）「非就業者」（14.1%）の順に高くなっている。一方で、「変化した状態が続く部分も、元に戻る部分も両方ある」と回答した割合は「労働者」（56.8%）がもっとも高く、次いで「自営業」（41.7%）「非就業者」（37.9%）の順に低くなっており、「変化した状態が概ね続く」と回答した割合も「労働者」（25.1%）がもっとも高く、次いで「自営業」（13.9%）「非就業者」（13.9%）の順に低くなっていることから、「労働者」のように雇われている人の方が悲観的で、雇われていない人の方が楽観的であることがうかがえる。

表 3-7-1 基本属性（全般）と新型コロナウイルス感染症による生活の変化の残存意識とのクロス集計結果

		問 12.新型コロナウイルス感染症による生活の変化は、どの程度残ると考えますか。							合計
		変化は一時的で、大体元に戻る	変化した状態が続く部分も、元に戻る部分も両方ある	変化した状態が概ね続く	変化した状態が続き、元の状態には戻らない	変化していない	わからない	無回答	
問 1① 性別	男性	56 14.7%	158 41.4%	59 15.4%	30 7.9%	37 9.7%	42 11.0%	0 .0%	382 100.0%
	女性	41 10.0%	180 43.9%	77 18.8%	35 8.5%	25 6.1%	51 12.4%	1 .2%	410 100.0%
	無回答	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	97 12.2%	340 42.8%	136 17.1%	65 8.2%	62 7.8%	93 11.7%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 12.新型コロナウイルス感染症による生活の変化は、どの程度残ると考えますか。							合計
		変化は一時的で、大体元に戻る	変化した状態が続く部分も、元に戻る部分も両方ある	変化した状態が概ね続く	変化した状態が続き、元の状態には戻らない	変化していない	わからない	無回答	
問 1② 年齢	20～29 歳	1 9.1%	8 72.7%	1 9.1%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	11 100.0%
	30～39 歳	2 5.9%	19 55.9%	8 23.5%	2 5.9%	1 2.9%	2 5.9%	0 .0%	34 100.0%
	40～49 歳	2 4.4%	23 51.1%	14 31.1%	5 11.1%	1 2.2%	0 .0%	0 .0%	45 100.0%
	50～59 歳	1 2.0%	28 56.0%	14 28.0%	6 12.0%	0 .0%	1 2.0%	0 .0%	50 100.0%
	60～69 歳	6 6.3%	49 51.0%	25 26.0%	6 6.3%	3 3.1%	6 6.3%	1 1.0%	96 100.0%
	70 歳以上	85 15.2%	213 38.2%	74 13.3%	45 8.1%	57 10.2%	84 15.1%	0 .0%	558 100.0%
	合計	97 12.2%	340 42.8%	136 17.1%	65 8.2%	62 7.8%	93 11.7%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり(P<0.01)

③「家族構成」では、同居世代数で分け、「一人暮らし」と「夫婦のみ」を「1世代」、「親子2世代（子と同居）」と「親子2世代（親と同居）」を「2世代」、「3世代以上同居」を「3世代」とした場合、「変化は一時的で、大体元に戻る」と回答した割合は「1世代」（16.7%）がもっとも高く、次いで「2世代」（10.9%）、「3世代」（10.0%）の順に低くなっている。

表3-7-1 基本属性（全般）と新型コロナウイルス感染症による生活の変化の残存意識とのクロス集計結果（つづき）

		問 12.新型コロナウイルス感染症による生活の変化は、どの程度残ると考えますか。							合計
		変化は一時的で、大体元に戻る	変化した状態が継続部分も、元に戻る部分も両方ある	変化した状態が概ね続く	変化した状態が続き、元の状態には戻らない	変化していない	わからない	無回答	
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	30 12.0%	96 38.6%	47 18.9%	23 9.2%	24 9.6%	29 11.6%	0 .0%	249 100.0%
	県南広域	28 11.7%	119 49.6%	32 13.3%	19 7.9%	20 8.3%	22 9.2%	0 .0%	240 100.0%
	沿岸広域	29 15.3%	71 37.4%	36 18.9%	17 8.9%	10 5.3%	26 13.7%	1 .5%	190 100.0%
	県北広域	10 8.8%	54 47.4%	21 18.4%	6 5.3%	8 7.0%	15 13.2%	0 .0%	114 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	1 100.0%
	合計	97 12.2%	340 42.8%	136 17.1%	65 8.2%	62 7.8%	93 11.7%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）なし

		問 12.新型コロナウイルス感染症による生活の変化は、どの程度残ると考えますか。							合計
		変化は一時的で、大体元に戻る	変化した状態が継続部分も、元に戻る部分も両方ある	変化した状態が概ね続く	変化した状態が続き、元の状態には戻らない	変化していない	わからない	無回答	
問1④ 就労状況（職業）	正社員	3 2.8%	62 56.9%	31 28.4%	11 10.1%	1 .9%	1 .9%	0 .0%	109 100.0%
	契約社員・派遣社員	1 2.4%	27 65.9%	10 24.4%	2 4.9%	1 2.4%	0 .0%	0 .0%	41 100.0%
	パート・アルバイト	7 14.3%	24 49.0%	9 18.4%	5 10.2%	2 4.1%	1 2.0%	1 2.0%	49 100.0%
	自営業	5 13.9%	15 41.7%	5 13.9%	2 5.6%	6 16.7%	3 8.3%	0 .0%	36 100.0%
	年金生活者	66 13.9%	189 39.7%	65 13.7%	40 8.4%	44 9.2%	72 15.1%	0 .0%	476 100.0%
	無職（主婦・夫、学生含む）	8 16.3%	10 20.4%	8 16.3%	3 6.1%	7 14.3%	13 26.5%	0 .0%	49 100.0%
	その他	7 21.9%	13 40.6%	7 21.9%	2 6.3%	1 3.1%	2 6.3%	0 .0%	32 100.0%
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	2 100.0%
	合計	97 12.2%	340 42.8%	136 17.1%	65 8.2%	62 7.8%	93 11.7%	1 .1%	794 100.0%

※有意差（因果関係）あり（ $P<0.01$ ）

		問 12.新型コロナウイルス感染症による生活の変化は、どの程度残ると考えますか。							合計
		変化は一時的で、大体元に戻る	変化した状態が継続部分も、元に戻る部分も両方ある	変化した状態が概ね続く	変化した状態が続き、元の状態には戻らない	変化していない	わからない	無回答	
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	13 9.8%	55 41.7%	18 13.6%	17 12.9%	10 7.6%	19 14.4%	0 .0%	132 100.0%
	夫婦のみ	45 16.5%	97 35.5%	52 19.0%	20 7.3%	21 7.7%	38 13.9%	0 .0%	273 100.0%
	親子2世代（子と同居）	21 9.5%	104 46.8%	35 15.8%	15 6.8%	20 9.0%	27 12.2%	0 .0%	222 100.0%
	親子2世代（親と同居）	6 10.9%	33 60.0%	7 12.7%	3 5.5%	3 5.5%	3 5.5%	0 .0%	55 100.0%
	3世代以上同居	10 10.0%	48 48.0%	23 23.0%	9 9.0%	5 5.0%	4 4.0%	1 1.0%	100 100.0%
	その他	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	1 33.3%	0 .0%	3 100.0%
	無回答	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	0 .0%	9 100.0%
	合計	97 12.2%	340 42.8%	136 17.1%	65 8.2%	62 7.8%	93 11.7%	1 .1%	794 100.0%

※やや有意差（因果関係）あり（ $P<0.05$ ）

(2) 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合に「心配と感ずること」について(問13)
(表3-7-2)

問13では、「**新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合、「心配と感ずること」を3つまで選んで○をつけてください。**」という設問を立て、18個の選択項目を設定した。問13の項目を従属変数にし、回答者の基本属性(問1～5)の項目を独立変数にして分析した結果が表3-7-2である。なお、回答率が一般的に低かったこととネガティブな設問であるため、表中の網掛けは、「合計」からの乖離が10ポイント以上「高い」乖離がある赤(■)についてのみ取り上げる。

- ①「収入の減少」については、「問1④就労状況(職業)」において「契約社員・派遣社員」「パート・アルバイト」「自営業」「無職」が高い割合になっている。また、「問1⑤家族構成」において「親子2世代(親と同居)」が高い割合になっている。
- ②「支出の増加」については、高い割合になっているものはなかった。
- ③「失業(就業先の経営不振)」については、高い割合になっているものはなかった。
- ④「休業(無給)」については、高い割合になっているものはなかった。
- ⑤「働き方の変化による負担」については、「問1②年齢」において「40～49歳」「50～59歳」が高い割合になっている。また、「問1④就労状況(職業)」において「契約社員・派遣社員」が高い割合になっている。
- ⑥「就職・転職活動」については、「問1②年齢」において「20～29歳」が高い割合になっている。
- ⑦「心身の健康悪化」については、高い割合になっているものはなかった。
- ⑧「進級・進学」については、「問1②年齢」において「40～49歳」が高い割合になっている。
- ⑨「学習の機会減少」については、高い割合になっているものはなかった。
- ⑩「学力の低下」については、高い割合になっているものはなかった。
- ⑪「子どもの預け先確保」については、「問1②年齢」において「20～29歳」が高い割合になっている。
- ⑫「子育ての負担増」については、「問1②年齢」において「20～29歳」と「30～39歳」が高い割合になっている。
- ⑬「介護の負担増」については、「問1⑤家族構成」において「親子2世代(親と同居)」が高い割合になっている。
- ⑭「地域活動の停滞」については、「問1①性別」において「男性」が高い割合になっている。
- ⑮「スポーツや文化活動の機会減少」については、高い割合になっているものはなかった。
- ⑯「外出時の感染リスク」については、高い割合になっているものはなかった。
- ⑰「その他」については、「コミュニティ活動の停滞」「福祉団体の組織力の低下。」「福祉団体の活動低下と組織の停滞。」「介護事業所の休みが増える」「年金の減額」「先の事はどうかかわからない」「別居家族・親類、友人との交流減」「日本全体の経済悪化による多方面への悪影響」「経済の低迷」「県外に住む家族との交流が制限される。冠婚葬祭の制限。」「親族との交流」「子供の就活」「遠方にいる家族に会えない」「子供が県外在住、2年以上会っていない。又、大病を患い治療中なので心配」「子や孫との往来、友人とのコミュニケーション不足」「自分は年金暮らし、孫の心配です。」「遠くに住む家族や親せきとの交流」「ボランティアをやっていることで、自分自身の元気があって思っている」「家族が帰って来られないこと」「遠方の家族と会えない状況が続く」などの回答があった。
- ⑱「特になし」については、高い割合になっているものはなかった。

表 3-7-2 基本属性（全般）と新型コロナウイルス感染症が今後も続いた場合に「心配と感ずること」
とのクロス集計結果

		問 13. 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合、「心配と感ずること」					合計
		収入の減少	支出の増加	失業(就業先の経営不振)	休業(無給)	働き方の変化による負担	
合計		105 13.2%	76 9.6%	28 3.5%	17 2.1%	55 6.9%	794 -
問1① 性別	男性	54 14.1%	42 11.0%	13 3.4%	5 1.3%	26 6.8%	382
	女性	51 12.4%	34 8.3%	15 3.7%	12 2.9%	29 7.1%	410
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2
問1② 年齢	20～29 歳	1 9.1%	1 9.1%	0 .0%	0 .0%	1 9.1%	11
	30～39 歳	7 20.6%	3 8.8%	1 2.9%	3 8.8%	4 11.8%	34
	40～49 歳	7 15.6%	5 11.1%	2 4.4%	2 4.4%	10 22.2%	45
	50～59 歳	11 22.0%	5 10.0%	5 10.0%	2 4.0%	10 20.0%	50
	60～69 歳	16 16.7%	10 10.4%	6 6.3%	3 3.1%	8 8.3%	96
	70 歳以上	63 11.3%	52 9.3%	14 2.5%	7 1.3%	22 3.9%	558
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	30 12.0%	21 8.4%	7 2.8%	4 1.6%	17 6.8%	249
	県南広域	32 13.3%	26 10.8%	7 2.9%	5 2.1%	17 7.1%	240
	沿岸広域	24 12.6%	17 8.9%	9 4.7%	6 3.2%	12 6.3%	190
	県北広域	18 15.8%	12 10.5%	5 4.4%	2 1.8%	9 7.9%	114
	無回答	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1
問1④ 就労状況(職業)	正社員	15 13.8%	10 9.2%	7 6.4%	2 1.8%	18 16.5%	109
	契約社員・派遣社員	10 24.4%	8 19.5%	2 4.9%	3 7.3%	7 17.1%	41
	パート・アルバイト	12 24.5%	4 8.2%	2 4.1%	4 8.2%	3 6.1%	49
	自営業	16 44.4%	5 13.9%	1 2.8%	0 .0%	4 11.1%	36
	年金生活者	39 8.2%	42 8.8%	9 1.9%	7 1.5%	16 3.4%	476
	無職(主婦・夫、学生含む)	6 12.2%	2 4.1%	2 4.1%	1 2.0%	2 4.1%	49
	その他	7 21.9%	4 12.5%	5 15.6%	0 .0%	5 15.6%	32
	無回答	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	11 8.3%	8 6.1%	6 4.5%	3 2.3%	6 4.5%	132
	親子2世代(子と同居)	33 14.9%	28 12.6%	7 3.2%	3 1.4%	20 9.0%	222
	親子2世代(親と同居)	14 25.5%	4 7.3%	3 5.5%	3 5.5%	2 3.6%	55
	3世代以上同居	19 19.0%	9 9.0%	6 6.0%	4 4.0%	10 10.0%	100
	夫婦のみ	26 9.5%	26 9.5%	6 2.2%	3 1.1%	16 5.9%	273
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3
	無回答	2 22.2%	1 11.1%	0 .0%	1 11.1%	1 11.1%	9

表 3-7-2 基本属性（全般）と新型コロナウイルス感染症が今後も続いた場合に「心配と感ずること」
とのクロス集計結果（つづき）

		問 13. 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合、「心配と感ずること」					合計
		就職・ 転職活動	心身の 健康悪化	進級・進学	学習の 機会減少	学力の低下	
合計		19 2.4%	327 41.2%	11 1.4%	21 2.6%	11 1.4%	794 -
問1① 性別	男性	6 1.6%	161 42.1%	1 .3%	9 2.4%	3 .8%	382
	女性	13 3.2%	164 40.0%	10 2.4%	12 2.9%	8 2.0%	410
	無回答	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2
問1② 年齢	20～29 歳	2 18.2%	2 18.2%	0 .0%	0 .0%	1 9.1%	11
	30～39 歳	1 2.9%	17 50.0%	2 5.9%	4 11.8%	2 5.9%	34
	40～49 歳	3 6.7%	13 28.9%	6 13.3%	4 8.9%	5 11.1%	45
	50～59 歳	5 10.0%	18 36.0%	3 6.0%	0 .0%	0 .0%	50
	60～69 歳	3 3.1%	41 42.7%	0 .0%	4 4.2%	0 .0%	96
	70 歳以上	5 .9%	236 42.3%	0 .0%	9 1.6%	3 .5%	558
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	5 2.0%	97 39.0%	1 .4%	6 2.4%	2 .8%	249
	県南広域	9 3.8%	103 42.9%	6 2.5%	8 3.3%	4 1.7%	240
	沿岸広域	3 1.6%	83 43.7%	1 .5%	5 2.6%	0 .0%	190
	県北広域	2 1.8%	44 38.6%	3 2.6%	2 1.8%	5 4.4%	114
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1
問1④ 就労状 況(職 業)	正社員	11 10.1%	38 34.9%	7 6.4%	7 6.4%	7 6.4%	109
	契約社員・ 派遣社員	2 4.9%	14 34.1%	3 7.3%	3 7.3%	1 2.4%	41
	パート・ アルバイト	0 .0%	23 46.9%	0 .0%	2 4.1%	0 .0%	49
	自営業	0 .0%	11 30.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	36
	年金生活者	4 .8%	212 44.5%	0 .0%	9 1.9%	3 .6%	476
	無職(主婦・夫、 学生含む)	1 2.0%	19 38.8%	1 2.0%	0 .0%	0 .0%	49
	その他	1 3.1%	10 31.3%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	32
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	4 3.0%	64 48.5%	0 .0%	1 .8%	0 .0%	132
	親子2世代 (子と同居)	8 3.6%	89 40.1%	8 3.6%	8 3.6%	5 2.3%	222
	親子2世代 (親と同居)	1 1.8%	20 36.4%	0 .0%	0 .0%	1 1.8%	55
	3世代以上同居	2 2.0%	41 41.0%	3 3.0%	5 5.0%	2 2.0%	100
	夫婦のみ	4 1.5%	106 38.8%	0 .0%	7 2.6%	3 1.1%	273
	その他	0 .0%	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3
	無回答	0 .0%	5 55.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	9

表 3-7-2 基本属性（全般）と新型コロナウイルス感染症が今後も続いた場合に「心配と感ずること」
とのクロス集計結果（つづき）


		問 13. 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合、「心配と感ずること」					合計
		子どもの 預け先確保	子育ての 負担増	介護の負担増	地域活動の 停滞	スポーツや 文化活動の 機会減少	
合計		8 1.0%	20 2.5%	81 10.2%	414 52.1%	331 41.7%	794 -
問1① 性別	男性	2 .5%	8 2.1%	37 9.7%	243 63.6%	193 50.5%	382
	女性	6 1.5%	12 2.9%	44 10.7%	170 41.5%	138 33.7%	410
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	2
問1② 年齢	20～29 歳	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	2 18.2%	5 45.5%	11
	30～39 歳	3 8.8%	7 20.6%	1 2.9%	9 26.5%	17 50.0%	34
	40～49 歳	2 4.4%	4 8.9%	2 4.4%	14 31.1%	17 37.8%	45
	50～59 歳	1 2.0%	1 2.0%	4 8.0%	14 28.0%	18 36.0%	50
	60～69 歳	0 .0%	1 1.0%	11 11.5%	49 51.0%	27 28.1%	96
	70 歳以上	0 .0%	5 .9%	62 11.1%	326 58.4%	247 44.3%	558
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	2 .8%	5 2.0%	23 9.2%	136 54.6%	106 42.6%	249
	県南広域	2 .8%	4 1.7%	27 11.3%	119 49.6%	103 42.9%	240
	沿岸広域	2 1.1%	5 2.6%	17 8.9%	98 51.6%	77 40.5%	190
	県北広域	2 1.8%	6 5.3%	14 12.3%	61 53.5%	45 39.5%	114
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1
問1④ 就労状 況（職 業）	正社員	8 7.3%	10 9.2%	3 2.8%	36 33.0%	43 39.4%	109
	契約社員・ 派遣社員	0 .0%	3 7.3%	4 9.8%	19 46.3%	13 31.7%	41
	パート・ アルバイト	0 .0%	3 6.1%	5 10.2%	20 40.8%	17 34.7%	49
	自営業	0 .0%	0 .0%	3 8.3%	21 58.3%	14 38.9%	36
	年金生活者	0 .0%	3 .6%	54 11.3%	280 58.8%	212 44.5%	476
	無職（主婦・夫、 学生含む）	0 .0%	0 .0%	9 18.4%	18 36.7%	17 34.7%	49
	その他	0 .0%	1 3.1%	3 9.4%	18 56.3%	15 46.9%	32
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	2
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	0 .0%	2 1.5%	12 9.1%	58 43.9%	46 34.8%	132
	親子2世代 （子と同居）	5 2.3%	9 4.1%	20 9.0%	110 49.5%	91 41.0%	222
	親子2世代 （親と同居）	0 .0%	2 3.6%	15 27.3%	26 47.3%	15 27.3%	55
	3世代以上同居	3 3.0%	5 5.0%	12 12.0%	55 55.0%	38 38.0%	100
	夫婦のみ	0 .0%	1 .4%	22 8.1%	160 58.6%	138 50.5%	273
	その他	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2 66.7%	1 33.3%	3
	無回答	0 .0%	1 11.1%	0 .0%	3 33.3%	2 22.2%	9

表 3-7-2 基本属性（全般）と新型コロナウイルス感染症が今後も続いた場合に「心配と感ずること」
とのクロス集計結果（つづき）

		問 13. 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合、「心配と感ずること」				合計
		外出時の感染リスク	その他	特にない	無回答	
合計		413 52.0%	20 2.5%	57 7.2%	1 0.1%	794 -
問1① 性別	男性	189 49.5%	6 1.6%	20 5.2%	0 .0%	382
	女性	222 54.1%	14 3.4%	37 9.0%	1 .2%	410
	無回答	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2
問1② 年齢	20～29 歳	7 63.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	11
	30～39 歳	11 32.4%	1 2.9%	1 2.9%	0 .0%	34
	40～49 歳	24 53.3%	0 .0%	1 2.2%	0 .0%	45
	50～59 歳	30 60.0%	6 12.0%	1 2.0%	0 .0%	50
	60～69 歳	57 59.4%	1 1.0%	3 3.1%	1 1.0%	96
	70 歳以上	284 50.9%	12 2.2%	51 9.1%	0 .0%	558
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	132 53.0%	2 .8%	24 9.6%	0 .0%	249
	県南広域	117 48.8%	8 3.3%	12 5.0%	0 .0%	240
	沿岸広域	103 54.2%	5 2.6%	16 8.4%	1 .5%	190
	県北広域	61 53.5%	5 4.4%	5 4.4%	0 .0%	114
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1
問1④ 就労状 況(職 業)	正社員	63 57.8%	5 4.6%	2 1.8%	0 .0%	109
	契約社員・ 派遣社員	21 51.2%	1 2.4%	0 .0%	0 .0%	41
	パート・ アルバイト	26 53.1%	2 4.1%	0 .0%	1 2.0%	49
	自営業	13 36.1%	0 .0%	4 11.1%	0 .0%	36
	年金生活者	241 50.6%	11 2.3%	46 9.7%	0 .0%	476
	無職(主婦・夫、 学生含む)	29 59.2%	0 .0%	5 10.2%	0 .0%	49
	その他	18 56.3%	1 3.1%	0 .0%	0 .0%	32
	無回答	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	63 47.7%	5 3.8%	17 12.9%	0 .0%	132
	親子2世代 (子と同居)	111 50.0%	4 1.8%	15 6.8%	0 .0%	222
	親子2世代 (親と同居)	31 56.4%	1 1.8%	3 5.5%	0 .0%	55
	3世代以上同居	54 54.0%	1 1.0%	3 3.0%	1 1.0%	100
	夫婦のみ	147 53.8%	9 3.3%	19 7.0%	0 .0%	273
	その他	2 66.7%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	3
	無回答	5 55.6%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	9

8. 行政機関等に望む対策・取り組みなどについて（問 14～15）

（1）支援策として行政機関等において実施してほしいと考える施策（問 14）（表 3-8-1）

問 14 では、「今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、支援策として行政機関等において実施してほしいと考える施策を 3つまで選んで○をつけてください。」という設問を立て、14 個の回答項目を設定した。問 14 の結果を従属変数にし、回答者の基本属性（問 1）の項目を独立変数にして分析した結果が、表 3-8-1 である。なお、ネガティブな設問であるため、表中の網掛けは、「合計」からの乖離が 10 ポイント以上「高い」乖離がある赤（) についてのみ取り上げる。

- ①「安定した医療体制の確保」については、「問 1 ②年齢」において「60～69 歳」が高い割合になっている。
- ②「感染防止対策の充実」については、高い割合になっているものはなかった。
- ③「感染の状況や感染防止対策などの情報発信」については、高い割合になっているものはなかった。
- ④「打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援」については、「問 1 ④就労状況（職業）」において「自営業」が高い割合になっている。
- ⑤「小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」と「30～39 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況（職業）」において「正社員」が高い割合になっている。
- ⑥「子育て世代への経済的支援、保育所・幼稚園などの感染防止対策」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」と「30～39 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況（職業）」において「派遣社員・契約社員」と「パート・アルバイト」が高い割合になっている。
- ⑦「商業施設・商店などの消費喚起」については、高い割合になっているものはなかった。
- ⑧「大学生など若者世代への支援」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」と「50～59 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況（職業）」において「正社員」が高い割合になっている。
- ⑨「高齢者の生活支援」については、「問 1 ⑤家族構成」において「一人暮らし」が高い割合になっている。
- ⑩「雇用対策、労働環境の改善」については、「問 1 ②年齢」において「40～49 歳」と「50～59 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況（職業）」において「正社員」と「派遣社員・契約社員」が高い割合になっている。
- ⑪「テレワークなど新しい働き方への対応」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」「30～39 歳」「50～59 歳」が高い割合になっている。また、「問 1 ④就労状況（職業）」において「正社員」と「派遣社員・契約社員」が高い割合になっている。
- ⑫「スポーツや文化活動への支援」については、「問 1 ②年齢」において「20～29 歳」が高い割合になっている。
- ⑬「市・町・村民活動、地域活動への支援」については、高い割合になっているものはなかった。
- ⑭「その他」については、「ワクチン、薬等の確保」「福祉団体の活動支援」「少子高齢化の進展に対応する日本の医学研究、医療に携わる人員の養成、私立病院にたよる医療体制など日本政府のお粗末をなんとかしてほしい。」「高齢者への経済的支援」「特に家族代行支援のようなサービスの拡充と、それを利用しやすいようハードルをさげるとか。」「ワクチン接種を予約なし又は、1 日の接種人数を増やして欲しいです。（家族が予約とれていないです）」「IT 化の推進 オンライン」「社会的弱者や生活困窮者への迅速できめ細かな支援」「高齢者や一人暮らしにいち早い情報発信があれば助かります」「介護に関してきめこまかい策を。健康維持のため散歩ウォーキングしても途中休めるイスやトイレがない。」などの回答があった。

表 3-8-1 基本属性（全般）と新型コロナウイルス感染症が今後も続いた場合に、
支援策として行政機関に実施してほしいこととのクロス集計結果

		問 14. 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、支援策として行政機関に実施してほしいこと					合計
		安定した医療体制の確保	感染防止対策の充実	感染の状況や感染防止対策などの情報発信	打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援	小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策	
合計		589 74.2%	379 47.7%	291 36.6%	134 16.9%	92 11.6%	794 —
問1① 性別	男性	288 75.4%	198 51.8%	143 37.4%	71 18.6%	32 8.4%	382
	女性	300 73.2%	179 43.7%	148 36.1%	62 15.1%	60 14.6%	410
	無回答	1 50.0%	2 100.0%	0 .0%	1 50.0%	0 .0%	2
問1② 年齢	20～29 歳	5 45.5%	3 27.3%	4 36.4%	2 18.2%	0 .0%	11
	30～39 歳	24 70.6%	8 23.5%	11 32.4%	5 14.7%	8 23.5%	34
	40～49 歳	31 68.9%	16 35.6%	15 33.3%	9 20.0%	18 40.0%	45
	50～59 歳	38 76.0%	21 42.0%	15 30.0%	9 18.0%	9 18.0%	50
	60～69 歳	82 85.4%	44 45.8%	38 39.6%	21 21.9%	8 8.3%	96
	70 歳以上	409 73.3%	287 51.4%	208 37.3%	88 15.8%	49 8.8%	558
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	182 73.1%	123 49.4%	97 39.0%	45 18.1%	22 8.8%	249
	県南広域	171 71.3%	112 46.7%	81 33.8%	35 14.6%	29 12.1%	240
	沿岸広域	146 76.8%	95 50.0%	70 36.8%	33 17.4%	23 12.1%	190
	県北広域	89 78.1%	49 43.0%	42 36.8%	21 18.4%	18 15.8%	114
	無回答	1 100.0%	0 .0%	1 100.0%	0 .0%	0 .0%	1
問1④ 就労状況（職業）	正社員	81 74.3%	35 32.1%	37 33.9%	21 19.3%	24 22.0%	109
	契約社員・派遣社員	30 73.2%	14 34.1%	12 29.3%	10 24.4%	7 17.1%	41
	パート・アルバイト	40 81.6%	23 46.9%	20 40.8%	6 12.2%	7 14.3%	49
	自営業	27 75.0%	19 52.8%	10 27.8%	15 41.7%	2 5.6%	36
	年金生活者	353 74.2%	246 51.7%	182 38.2%	71 14.9%	41 8.6%	476
	無職（主婦・夫、学生含む）	34 69.4%	26 53.1%	19 38.8%	4 8.2%	7 14.3%	49
	その他	23 71.9%	16 50.0%	11 34.4%	7 21.9%	4 12.5%	32
	無回答	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	96 72.7%	59 44.7%	47 35.6%	17 12.9%	11 8.3%	132
	親子2世代（子と同居）	171 77.0%	95 42.8%	75 33.8%	37 16.7%	32 14.4%	222
	親子2世代（親と同居）	42 76.4%	30 54.5%	25 45.5%	10 18.2%	4 7.3%	55
	3世代以上同居	71 71.0%	45 45.0%	33 33.0%	19 19.0%	19 19.0%	100
	夫婦のみ	200 73.3%	144 52.7%	106 38.8%	50 18.3%	26 9.5%	273
	その他	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 .0%	3
	無回答	7 77.8%	5 55.6%	4 44.4%	0 .0%	0 .0%	9

表 3-8-1 基本属性（全般）と新型コロナウイルス感染症が今後も続いた場合に、支援策として行政機関に実施してほしいこととのクロス集計結果（つづき）

		問14. 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、支援策として行政機関に実施してほしいこと					合計
		子育て世代への経済的支援、保育所・幼稚園などの感染防止対策	商業施設・商店などの消費喚起	大学生など若者世代への支援	高齢者の生活支援	雇用対策、労働環境の改善	
合計		104 13.1%	29 3.7%	48 6.0%	276 34.8%	49 6.2%	794 —
問1① 性別	男性	51 13.4%	16 4.2%	16 4.2%	141 36.9%	17 4.5%	382
	女性	53 12.9%	13 3.2%	31 7.6%	134 32.7%	32 7.8%	410
	無回答	0 .0%	0 .0%	1 50.0%	1 50.0%	0 .0%	2
問1② 年齢	20～29 歳	3 27.3%	1 9.1%	2 18.2%	0 .0%	1 9.1%	11
	30～39 歳	15 44.1%	2 5.9%	1 2.9%	5 14.7%	2 5.9%	34
	40～49 歳	9 20.0%	4 8.9%	6 13.3%	4 8.9%	8 17.8%	45
	50～59 歳	6 12.0%	2 4.0%	12 24.0%	5 10.0%	11 22.0%	50
	60～69 歳	16 16.7%	2 2.1%	5 5.2%	23 24.0%	12 12.5%	96
	70 歳以上	55 9.9%	18 3.2%	22 3.9%	239 42.8%	15 2.7%	558
問1③ 【広域地域】	盛岡広域	30 12.0%	8 3.2%	17 6.8%	88 35.3%	15 6.0%	249
	県南広域	33 13.8%	10 4.2%	15 6.3%	85 35.4%	17 7.1%	240
	沿岸広域	23 12.1%	5 2.6%	5 2.6%	66 34.7%	11 5.8%	190
	県北広域	18 15.8%	6 5.3%	11 9.6%	37 32.5%	6 5.3%	114
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1
問1④ 就労状況（職業）	正社員	22 20.2%	9 8.3%	19 17.4%	12 11.0%	19 17.4%	109
	契約社員・派遣社員	10 24.4%	1 2.4%	3 7.3%	4 9.8%	9 22.0%	41
	パート・アルバイト	12 24.5%	3 6.1%	1 2.0%	12 24.5%	2 4.1%	49
	自営業	3 8.3%	2 5.6%	1 2.8%	13 36.1%	0 .0%	36
	年金生活者	47 9.9%	12 2.5%	22 4.6%	206 43.3%	15 3.2%	476
	無職（主婦・夫、学生含む）	6 12.2%	1 2.0%	2 4.1%	16 32.7%	3 6.1%	49
	その他	3 9.4%	1 3.1%	0 .0%	13 40.6%	1 3.1%	32
	無回答	1 50.0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2
問1⑤ 家族構成	一人暮らし	14 10.6%	5 3.8%	6 4.5%	60 45.5%	6 4.5%	132
	親子2世代（子と同居）	36 16.2%	12 5.4%	13 5.9%	69 31.1%	17 7.7%	222
	親子2世代（親と同居）	6 10.9%	1 1.8%	1 1.8%	11 20.0%	8 14.5%	55
	3世代以上同居	19 19.0%	4 4.0%	7 7.0%	27 27.0%	5 5.0%	100
	夫婦のみ	28 10.3%	7 2.6%	20 7.3%	105 38.5%	12 4.4%	273
	その他	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	2 66.7%	0 .0%	3
	無回答	1 11.1%	0 .0%	0 .0%	2 22.2%	1 11.1%	9

表 3-8-1 基本属性（全般）と新型コロナウイルス感染症が今後も続いた場合に、支援策として行政機関に実施してほしいこととのクロス集計結果（つづき）

		問14. 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、支援策として行政機関に実施してほしいこと					合計
		テレワークなど新しい働き方への対応	スポーツや文化活動への支援	市・町・村民活動、地域活動への支援	その他	無回答	
合計		29 3.7%	64 8.1%	151 19.0%	12 1.5%	1 0.1%	794 —
問1① 性別	男性	7 1.8%	34 8.9%	77 20.2%	5 1.3%	0 .0%	382
	女性	22 5.4%	30 7.3%	74 18.0%	7 1.7%	1 .2%	410
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	2
問1② 年齢	20～29 歳	3 27.3%	2 18.2%	3 27.3%	0 .0%	0 .0%	11
	30～39 歳	8 23.5%	5 14.7%	3 8.8%	1 2.9%	0 .0%	34
	40～49 歳	3 6.7%	4 8.9%	1 2.2%	0 .0%	0 .0%	45
	50～59 歳	8 16.0%	3 6.0%	3 6.0%	3 6.0%	0 .0%	50
	60～69 歳	3 3.1%	7 7.3%	13 13.5%	2 2.1%	0 .0%	96
	70 歳以上	4 .7%	43 7.7%	128 22.9%	6 1.1%	1 .2%	558
問1③ 【広域地 域】	盛岡広域	8 3.2%	19 7.6%	52 20.9%	4 1.6%	0 .0%	249
	県南広域	11 4.6%	25 10.4%	47 19.6%	5 2.1%	1 .4%	240
	沿岸広域	4 2.1%	14 7.4%	36 18.9%	3 1.6%	0 .0%	190
	県北広域	6 5.3%	6 5.3%	16 14.0%	0 .0%	0 .0%	114
	無回答	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	0 .0%	1
問1④ 就労状 況（職 業）	正社員	16 14.7%	9 8.3%	5 4.6%	3 2.8%	0 .0%	109
	契約社員・派遣社員	7 17.1%	5 12.2%	8 19.5%	1 2.4%	0 .0%	41
	パート・アルバイト	1 2.0%	5 10.2%	7 14.3%	0 .0%	0 .0%	49
	自営業	0 .0%	1 2.8%	8 22.2%	0 .0%	0 .0%	36
	年金生活者	3 .6%	40 8.4%	108 22.7%	6 1.3%	0 .0%	476
	無職（主婦・夫、学生含む）	2 4.1%	2 4.1%	8 16.3%	1 2.0%	1 2.0%	49
	その他	0 .0%	2 6.3%	5 15.6%	1 3.1%	0 .0%	32
	無回答	0 .0%	0 .0%	2 100.0%	0 .0%	0 .0%	2
問1⑤ 家族構 成	一人暮らし	3 2.3%	5 3.8%	24 18.2%	2 1.5%	1 .8%	132
	親子2世代（子と同居）	10 4.5%	17 7.7%	43 19.4%	4 1.8%	0 .0%	222
	親子2世代（親と同居）	5 9.1%	6 10.9%	6 10.9%	2 3.6%	0 .0%	55
	3世代以上同居	7 7.0%	7 7.0%	20 20.0%	1 1.0%	0 .0%	100
	夫婦のみ	4 1.5%	28 10.3%	55 20.1%	3 1.1%	0 .0%	273
	その他	0 .0%	0 .0%	1 33.3%	0 .0%	0 .0%	3
	無回答	0 .0%	1 11.1%	2 22.2%	0 .0%	0 .0%	9

(2) 支援策として行政機関等において実施してほしいと考える施策 (問 15) (表 3-8-2a～c)

問 15 では、「そのほか、新型コロナウイルス感染症に関するご意見などがありましたなら、お聞かせください。(200字程度まで)」という設問を立てたところ、189 件の回答があった。このうち、今回の調査で設問や選択肢に含まれていなかった言葉を抽出し、その頻度が高かった 3 つの領域の回答を例示する。

なお、回答者のなかには、たくさんのコメントを書いている方もいるが、以下の抽出した言葉と関係のないコメントについては削除している。また、1 名の回答者が複数の領域にまたがって回答されている場合には、回答内容を分けて示している。さらに、回答内容が個人や団体などを特定できてしまう場合もあり、そのことが不利益を生じられる懸念がある場合には、削除または意図を変えない範囲で修正を加えているが、誤植等については回答のまま修正せずに掲載している。

①「ワクチンや治療薬など」に関する言葉が 50 件あった。

表 3-8-2a 新型コロナウイルス感染症に関する意見 (ワクチンや治療薬など)

Q15	性別	年代	広域4区分
ワクチン接種を済ませた人を飲食店等で受け入れできる体制や、コロナ禍でも子供たちが楽しめるイベントや行事はできる範囲で開催してほしいです。	男性	30 代	盛岡広域
・ワクチン確保のおくれを国のせいにはしないこと。	男性	30 代	盛岡広域
《3回目の予防接種》自治体、医療機関等従来のほか、献血の様に、移動車両等を利用の上、大型ショッピングセンター(施設)の様な人が集まる(往来する)所において幅広い年齢層に対し接種できることを望みます！	男性	60 代	盛岡広域
国内でワクチンが製造され、もっと早くワクチン接種できるようになれば良い。	男性	60 代	県南広域
・変異株による免疫力の低下やブレークスルー感染が多くあるように報道されていますが、3回目の予防接種の必要性和安全性はどうなっているのでしょうか？	男性	60 代	県南広域
国内の製薬メーカーにより予防効果の高いワクチンと治療薬の開発を期待します。	男性	60 代	沿岸広域
集団感染リスクの大きい職場での対策を機敏に行って欲しい(教育機関でのワクチン接種など)	男性	70 代以上	盛岡広域
新型コロナウイルス感染症に効く一発注射で直るワクチンを望む。	男性	70 代以上	県南広域
今後もしばらく感染症は続くと思われます。よって医療体制の確保は無論のこと防止対策をもう数年続けることが大事だと思います。3回目までワクチン接種を続行して欲しい	男性	70 代以上	県南広域
規制や施策の面で、市・町・村に差が出ないように進めてほしい。今回のワクチン接種でも接種率の高い所と低いところがあるとTVで知った。県の主導で動いた方が良いのでは？	男性	70 代以上	県南広域
ワクチン等の安定供給	男性	70 代以上	県南広域
今後のためにも、出来るだけ早急に全国民がワクチンを接種できるように、他国に頼るのではなく自国でも対応できるように体制の確立をしてほしい。	男性	70 代以上	沿岸広域
感染して自宅療養では家族に迷惑をかける。入院体制をしっかりしてほしい。コロナワクチンをスピーディに若者に早く接種してほしい。	男性	70 代以上	沿岸広域
ワクチン注射を急ぐ必要があります。	男性	70 代以上	沿岸広域
コロナもやっと減少傾向に推移しております。でも、まだまだ油断が出来ません。特に私たち高齢者にはこれからの寒い時期を迎え一層の注意が必要です。又、ワクチン接種(2回)済みだからと安心はできません。次回接種は来年とか？行政には早め早めの対策をお願いしたい。私たちも感染対策には万全を期して安全、健康に努めていきたいと思います。	男性	70 代以上	沿岸広域
コロナウイルス感染の出現により、国民の命を守るための、環境整備が非常に脆弱としか言えない状況が如実に現れた。第一に保健所の全国的な一律削減、医療大国と言われながらも、ワクチンの研究製造に取り組んでいないこと、これ等の基礎研究分野への政府の投資支援が諸外国にくらべ充実していない。ワクチン接種は第一に、医療従事者、基礎疾患のある人、幼保、小、中、高、大の教員、地方公務員、国家公務員、事業所等の接客部門であり、高齢者は次順位であると思う。	男性	70 代以上	沿岸広域

表 3-8-2 a 新型コロナウイルス感染症に関する意見（ワクチンや治療薬など）（つづき）

Q15	性別	年代	広域4区分
◎ある程度、回復には時間がかかるだろうが、ワクチンでも実施に地域差が大きすぎる。(あり得ない)◎感染症は、これからも次々と発生するでしょう。これを契機にキチンとした体制を構築すべき。	男性	70 代以上	沿岸広域
身近にある保健、医療、施設(機能)の充実を願います。コロナ禍で医療の大切さを改めて感じました。医療施設の統廃合はやめていただきたいと思ひますし、薬品研究への体制も国内にしっかりと育てていくべきだとも痛感しました。	男性	70 代以上	県北広域
若者のワクチン接種率が低いのでなくコールセンターがつかないのです。打たないわけではありません。予約埋まったなら「こみあってる」でなく「受付終了」のアナウンスにしてほしい	女性	30 代	県南広域
ワクチンにしても薬にしても日本は遅い！！	女性	30 代	県南広域
妊娠中のワクチン接種だったので、最初主治医から「お勧めしない」と言われていたが、間もなく接種するよう勧められたり…と悩みが付きなかった。産後、子どもにどう影響するかも、ずっと心配。	女性	30 代	沿岸広域
ワクチン接種 全国でもワーストとききました。他県のいいやり方をどんどん取り入れて安心できるように取り組んで頂きたい。	女性	40 代	盛岡広域
基礎疾患を持つ子供へのワクチン接種について。効果よりも、副反応が心配。新しいワクチンなので、打った子が将来的にどうなるか分からないという長期的な不安がある。状況的に打った方がよいことはなんとなく理解しているが、これまでの予防接種とは違い、安全性についてかなり不安です。命にかかわるような重篤な症状であっても関係が認められないというのが現実ですので…	女性	40 代	県南広域
ワクチンだけでなく、治療薬が早くできればと、願っています。	女性	50 代	盛岡広域
国産ワクチン、治療薬が早期に開発されると良い。	女性	50 代	県南広域
ワクチン対策をもっとスムーズにできるようにして欲しい。	女性	50 代	県北広域
これから先も新型コロナの完全消滅はないと想像するのでインフルエンザのようにワクチン接種により重とくにならない程度になれば良いにではと思います。	女性	60 代	盛岡広域
コロナワクチンが全国民に早く行き渡る事と、自己防衛にて1日も早くコロナウイルスに収束を願ってます。	女性	60 代	県南広域
インフルエンザのようにかかっても症状の悪化を防ぐ薬の開発を急いでほしいです。	女性	60 代	県南広域
ワクチン予約の方法を再検討してほしい。今年のやり方は早いもの勝ちのような状態で、なかなか予約できなかった。特に高齢者世帯は電話に頼るしかなく、一日中電話したがつながらなかったということも聞いた。もっと確実に予約できる方法(たとえば、住田町方式)を考えてほしい。	女性	60 代	沿岸広域
ワクチン接種が希望する人すべてに一日でも早く届くようお願いしたいです。	女性	60 代	沿岸広域
高令者から先に予防注射を行った。今後、若い世代への取組を重視し、働く世代等へ優先的に行う事で改善へ繋がるのでは？高令者を支える世代が減る様であれば新しい未来も望めない。	女性	60 代	県北広域
盛岡市、ワクチンが足りず、受けられない人もいる。みんなが受けられるような体制にしてほしい。3回目のワクチン... 不足にならないよう、確保してほしいです。	女性	70 代以上	盛岡広域
若い人達へのワクチン接種も早くおわり、飲薬がでくればと思っています。	女性	70 代以上	盛岡広域
紫波町は予防注射も早く受けられましたし、会議、集会など気をつけているせいか、いっさい何もなく、家で過ごす日が多くなりました。	女性	70 代以上	盛岡広域
国産ワクチンそして治療薬が出来、何の心配も無い暮らしが来ますように、賢い日本人なら”ソロソロできそう”国の全力を注いで下さい。期待してます。	女性	70 代以上	盛岡広域
感染した時に安心して診てもらえる医療体制が整えられる事を願うばかりです。コロナはなくならない様な気がします。それ故に、医療体制の確立、薬剤の開発を一日でも早くと願います。	女性	70 代以上	盛岡広域
岩手県はコロナの予防接種が遅くとても心配しています。若い人達にも早く接種出来る様願っています。	女性	70 代以上	盛岡広域
岩手県のワクチン接種は、なぜ遅いのか？岩手県民全体の人口把握と、それにあったワクチンの確保を、はじめに全体像として、取り組めば、遅くて、あたふたすることはないと思う、これは国にも同じことがいえると思います	女性	70 代以上	盛岡広域
ワクチン接種が行き渡ってもウイズコロナの生活は続く。変異株が次々と出てくる可能性もある。が、しかし来年もマスク生活が続くのはうんざり。	女性	70 代以上	盛岡広域
ワクチン接種がスムーズに行われなかった様に感じています。地区によって違った様です。	女性	70 代以上	盛岡広域

表 3-8-2 a 新型コロナウイルス感染症に関する意見（ワクチンや治療薬など）（つづき）

Q15	性別	年代	広域4区分
ワクチンは若い人を中心に行ってほしかった。若い人が早くしていたらこんなにひろがらなかったと思う	女性	70 代以上	盛岡広域
ワクチンの早期接種を望みます。	女性	70 代以上	盛岡広域
もう少し早くワクチンの準備してほしかった。申し込みにすごく大変でした。	女性	70 代以上	盛岡広域
コロナワクチン接種を高齢者優先していただいたことは大変ありがたいと思う反面、接種の順番が違うのでは？との思いもありました。医療従事者、福祉施設職員、学校関係者を最優先するのは良かったとして、次は実質世の中を動かしている現役世代（20代～60代）を優先にするべきだったのではと。若い人達が感染して亡くなったり、生活困窮のニュースを見るにつけ、心が痛みます。年金生活者や高齢者は外出自粛と言われれば、とりあえずその通りに出来るし…と私は思いました。とにかく働き盛りの人達の生命と生活を守って、経済を回すことが大事ではないかと思います。	女性	70 代以上	盛岡広域
治療薬を早く作って下さる様に願います。	女性	70 代以上	沿岸広域
最近は皆さん（スマホ）の生活ですが90才にもなるとスマホも持っていないし使い方もわからず（接種の予約）に大変苦労しました。	女性	70 代以上	沿岸広域
医療関係者、保健所、各役所関係者の各職員の皆様、日頃大変御苦労に感謝しております。各自生活習慣に緊急事態宣言解除後更にも気を引き締めてやっていきましょう。3回目のコロナ予防接種は高齢者は簡単に出来る様に宜しくお願い致します。	女性	70 代以上	沿岸広域
ぜん息持ちなので、かかる（コロナ禍）と大変。早く終息するのを待つのみです。予防接種は受けたのでまず安心。若い人々達の予防接種が完全に終るのを願うのみです。	女性	70 代以上	沿岸広域
・接種会場まで行くのに大変。地域コミュニティで（予防）接種できるといいです。（公民館等）※田舎なので地域毎にまとめて公民館等で予防接種や予防方法（実施）と予防雑貨の紹介（販売もOK）があればいいです。	女性	70 代以上	県北広域

②「感染状況などの情報」に関する言葉が 22 件あった。

表 3-8-2 b 新型コロナウイルス感染症に関する意見（感染状況などの情報）

Q15	性別	年代	広域4区分
コロナの発生状況がもう少しわかりやすく、重傷者の報告で死亡したのかどうかよりわかりやすく報告してもらいたい。	男性	60 代	県南広域
・メディアの報道が常に感染者数のみのケースが多く、ベットの数の状況、医療従事者の確保、治療薬の進捗状況、ワクチン接種の状況と、集団免疫との関係、全体の死者数とコロナ死者数との関係、指定感染症での現在の状況をかえることの意味など。又コロナ後遺症がどの程度あるのかなど、様々な観点からの報道をしてほしい。	男性	60 代	県南広域
個人情報の問題もあるかもしれないが発症情報は、保健所エリアでの発表でなく、やはり市町村毎にしないと危機感がなく、発症をおさえずらいと思う。	男性	70 代以上	盛岡広域
感染拡大防止策として、感染状況を発表する時に、非公表は基本なくしてほしい。個人が判る「大字・字」名は非公表でもいいが、各市町村名は公表してもらいたい、移動する際の参考になる	男性	70 代以上	盛岡広域
感染の状況や感染防止対策の情報発信をしてほしい。	男性	70 代以上	盛岡広域
コロナ禍の中医療体制は大変な事と思いますが、私共高齢者は情報を得るすべはテレビ、新聞だけです。詳しい情報はわかりやすく迅速に伝えて頂きたいとします。早期の終息を願っております。	男性	70 代以上	盛岡広域
コロナの感染状況の市町村発表は非公表はなしでしてほしい。自分の所が良くわからない。	男性	70 代以上	盛岡広域
1. 感染地域発表、保健所でなく市町村名で発表すべき2. クラスターも人数だけでなく店、企業名まで発表すべき	男性	70 代以上	盛岡広域
新型コロナ感染者対策や状況等の発信は充実しているが、肝心の個人の症状等への発信が乏しい。例えば、感染症になったと感ずるのは、何がどうした時かなどである。体調がこうなった時とか、意識がこうなった時とか個人レベルの変化の詳報がほしい。又、そのための予防方策などの情報の発信もほしい。要するに、人々一般を考えるのではなく、年代別・性別・属性別に個人が対策を講ずるべき情報がほしい。それが欠けていると感ずる。	男性	70 代以上	県南広域

表 3-8-2b 新型コロナウイルス感染症に関する意見（感染状況などの情報）（つづき）

Q15	性別	年代	広域4区分
新型コロナウイルスの感染者の地域や飲食店等の公表があった方がよい。注意が増し拡大が少なくなると思う。たとえば、飲食店（感染者あり）が知らなくて広がっているのが現状ではないか。	男性	70 代以上	県南広域
市町村別感染状況の統一発表。	男性	70 代以上	県南広域
個人情報に配慮は必要ですが、「コロナ」の発生個所、原因については出来るだけ詳細に発表願いたい。中部保険所管内だけでは個人としての対策がむずかしい。	男性	70 代以上	県南広域
感染者の誹謗中傷は厳禁ですが、感染拡大防止の為に公表が必要と思う。	男性	70 代以上	沿岸広域
感染者について、個人情報で開示できないと思うが、〇〇市、〇〇町くらい公表できないものか？。（注意力が上がると思います）	男性	70 代以上	沿岸広域
二戸市内での感染者が2021. 10. 2付岩手日報誌上で2020年7月から今年9月末までに34人と公表されましたが、10月7日現在「ゼロ」になっており他市町村との不公平さを感じます。感染症対応の意識にも悪影響を与えているので正しい報道に至急直すべきです。	男性	70 代以上	県北広域
感染者の保健所管内でなく市町村の公表「保健所管内」にする意図が不明。	女性	30 代	県南広域
・正しい情報の提共と、データを収集して、今後への生活にやく立ててほしい、Withコロナを目指してほしい。コロナのために、人間らしい生活を失ってほしくない。	女性	50 代	盛岡広域
感染状況（クラスター）について、具体的に公表してほしい。	女性	50 代	県北広域
感染者の発表は、保健所管内ではなく居住する自治体名にしてほしい。感染症に関する正しい情報を日常的に発信しておく。	女性	60 代	盛岡広域
感染者の居住市町村を非公表とするのは、個人情報を重視してと思われるが、感染拡大防止する意味ではいかなる考えでしょう。身近に感染者がいると個人個人の注意喚起の仕方が違ってくるのではないかと思います	女性	70 代以上	盛岡広域
今までのように小さな事例でも情報の発信をお願いします。	女性	70 代以上	県南広域
行政機関、各保健所において、感染症者数の正確な数字の掲載を望む。	女性	70 代以上	県北広域

③「コロナ禍での誹謗中傷、差別やいじめなど」に関する言葉が9件あった。

表 3-8-2c 新型コロナウイルス感染症に関する意見（感染状況などの情報）

Q15	性別	年代	広域4区分
感染防止対策は、もちろんですが感染した人達に対する誹謗中傷は絶対に許してはならないと強く感じます。	男性	60 代	盛岡広域
他人への批判ばかり多く、自分の反省点を見つめる精神力が欠如している。	男性	60 代	県南広域
マスコミや一部政党の批判の為に批判が目立ちすぎる。このような時こそ、協力し合って希望の持てる情報を発信してほしい。	男性	60 代	県北広域
感染者、それを受け入れる医療機関とその従事者や家族に対する誹謗中傷、更には児童生徒のいじめ等…。これらの事象はコロナ以上に大問題を感じる。他人を思いやれない人の多いことに心が痛む！	男性	70 代以上	県南広域
ライブ、コンサート、フェス、舞台観劇などに自由に行けないのがとてもつらい。田舎の方がより外出やイベント参加への偏見が多くあるように感じる。	女性	20 代	県南広域
学生の中でも、大学生には支援（10万円）があるが、専門学生は保障されない。（学校法人ではない専門学校）ひとり親としてはそのような差に心を痛める。平等であってほしい。未来を担う子には変わりないはず。	女性	50 代	県南広域
感染した人が誹謗中傷され、自殺者まで出る社会構造や、意識の改革が必要だと思う。この感染症の一番悪いところは、人の心を傷つけ、人の心を蝕むことで、将来にわたる人との交流を寸断することです。県外に行かなければクラスターがおきなかったのに、あの人のせい、他の業種は制限受けないのに飲食店だけ…そして倒産。コロナウィルス感染症が沈静化したあとの、人々の心の痛みも心配します。	女性	50 代	沿岸広域
法令や条例等で、感染者やその家族への差別・中傷を許さないという体制を作る必要がある。	女性	60 代	盛岡広域
病気そのものよりも、差別や偏見により傷つくことがつらいと思います。ひとりひとりが自分が感染していたら！という気持ちになって生活できればと思います。	女性	60 代	県南広域

IV まとめ（総合的考察）

1. クロス集計等の分析結果を踏まえた小括

（1）小括に当たって

これまでのクロス集計結果からの分析を踏まえて、全体的な傾向についてまとめてみるが、以下の表は、その際の評価基準とする。なお、複数回答の「その他」は分析対象から除外している。

	◎	○	△	×
単数回答 (複数問)	概ね3分の2以上の表で因果関係がみられた	概ね半数程度(1/3～2/3)の表で因果関係がみられた	概ね3分の1を満たさない表で因果関係がみられた	1つも因果関係がみられなかった
単数回答 (単数問)	—	因果関係あり (有意確率1.0%未満)	因果関係あり (有意確率5.0%未満)	因果関係なし
複数回答	「合計」割合から10%以上乖離のある項目（網掛け）が1つ以上ある選択肢の数が概ね75%超であった	「合計」割合から10%以上乖離のある項目（網掛け）が1つ以上ある選択肢の数が概ね50%超～75%以下であった	「合計」割合から10%以上乖離のある項目（網掛け）が1つ以上ある選択肢の数が概ね25%超～50%以下であった	「合計」割合から10%以上乖離のある項目（網掛け）が1つ以上ある選択肢の数が概ね25%以下であった

（2）クロス集計の全体的な評価

上記の基準に基づいて評価したものが表4-1-1であるが、表の最下段にあるスコアをみると、本調査において顕著な「違い」があらわれたのが、「年齢」と「就労状況」においてであり、次いで「家族構成」と「性別」においてやや「違い」がみられ、「広域地域」においてはほとんど「違い」がみられなかった。このことから、コロナ禍による生活への影響が左右されたのは、「年齢」であるものの、「年齢」と「就労状況」は密接に絡んでいることから、どちらもほぼ「同義」と考えて問題がない。つまり、働き盛りの「現役世代」とリタイアして非就業者となった「高齢者」との間に、コロナ禍の影響の差異が生じたものとする。

以下は、気になる点を中心に個別の領域について整理してみたい。

表 4-1-1 クロス集計の分析結果に関する評価（スコア）

問	注記	性別	年齢	広域地域	就労状況	家族構成
問2 現在の日常生活	複数回答 選択肢 15	× (0/15)	○ (10/15)	× (1/15)	△ (6/15)	△ (2/15)
問3 外出の頻度	単数回答 クロス表 9	○ (4/9)	◎ (6/9)	× (0/10)	○ (4/9)	× (0/10)
問4 収入の増減	単数回答 クロス表 1	○	×	△	○	×
問5 困りごと	複数回答 選択肢 14	× (0/14)	△ (5/14)	× (0/14)	× (3/14)	× (3/14)
問6 時間が増えたもの	複数回答 選択肢 18	× (0/18)	△ (9/18)	× (0/18)	△ (7/18)	× (1/18)
問7 新たに生活に取り入れたこと	複数回答 選択肢 11	× (0/11)	○ (8/11)	× (0/11)	△ (4/11)	× (0/11)
問8 仕事の重要性に関する意識への影響	単数回答 クロス表 1	○	○	×	○	○
問9 社会とのつながりに関する意識への影響	単数回答 クロス表 1	○	○	×	△	○
問 10 ワーク・ライフ・バランスに関する意識への影響	単数回答 クロス表 1	×	○	×	○	○
問 11 健康面でのコロナの影響	単数回答 クロス表 7	△ (1/7)	△ (2/7)	×	○ (3/7)	×
	⑦複数回答 選択肢 4	×	△ (3/4)	×	○ (3/4)	△ (2/4)
	⑨複数回答 選択肢 11	×	◎ (10/11)	◎ (10/11)	◎ (10/11)	◎ (9/11)
問 12 コロナによる生活の変化の残存意識	単数回答 クロス表 1	×	○	×	○	△
問 13 コロナが続いた場合の心配ごと	複数回答 選択肢 17	×	△ (6/17)	×	×	×
問 14 行政機関に実施してほしい支援策	複数回答 選択肢 13	×	△ (6/13)	×	△ (6/13)	×
スコア		◎:0/15 ○:4/15 △:1/15 ×:10/15	◎:2/15 ○:6/15 △:6/15 ×:1/15	◎:1/15 ○:0/15 △:1/15 ×:13/15	◎:1/15 ○:7/15 △:5/15 ×:2/15	◎:1/15 ○:3/15 △:3/15 ×:8/15

2. クロス集計の分析結果を踏まえた小括

(1) 「生活様式への影響」：「高齢者」の多くは健康維持のために現状維持、「現役世代」は自粛傾向

「問2 現在の日常生活」(表3-2-2)では、コロナ禍で生じた「生活の変化」について問うているが、変化を余儀なくされているのは「現役世代」の方であり、「高齢者」の変化も決して少なくはないが、「高齢者」の方がそれ以前の生活様式を維持している傾向がみられた。このような結果は、「高齢者」の方が「健康を維持しなければならない」という意識が強く働いていることが想像され、できる限り「これまでの日常を維持しよう」と努めていることのあらわれであると考ええる。

このような傾向は「外出の頻度(問3)」でもみられる。表3-3-2をみると、「①食料品・生活必需品の買い物」「④病院・薬局」「⑤友人・知人と会う」「⑧余暇活動」「⑨外食」において「現役世代」の方が減少と回答している割合が高く、「高齢者」の方が低くなっている。

しかしながら、「減少」と回答している「高齢者」の割合が「現役世代」と比べて低いというだけで、一定数の回答があったことを見過ごせない。

(2) 「生活への経済的な影響」：「男性」、「不安定就業者」と「被扶養者」、「県南」と「沿岸」に影響か？

「問4 収入の増減」(表3-4-1)では、「コロナ禍で、前年と比べた場合」の状況について問うているが、全体としては、「大幅に減少した」が3.7%、「やや減少した」が11.1%となっており、影響を受けた人が決して多くないことがわかる。これには、回答者の約6割(476人、59.9%)が「年金生活者」であるため、本調査の結果からは「収入の減少」という影響を受けた人が少なかったと考えられるが、その少数である「収入が減少した」人の傾向を整理してみる。

「性別」では「男性」の方が「女性」よりも「減少」と回答した割合が高く、「就労状況」では、「パート・アルバイト」「自営業」「無職」がその他と比べると「減少」と回答した割合が高い。また、「広域地域」では「県南地域」と「沿岸地域」が他の地域と比べると「減少」と回答した割合が高い。このことから、就業者の中でも収入が成果(パート・アルバイトは時給であるため労働時間、自営業者は売上高)によって左右される働き方をしている人ほど、景気後退の影響を受けやすいことが示唆される結果となった。また、「無職」についても同居親族等による扶養で生活しているのであれば、扶養する同居親族等の収入の増減の影響を受けることになる。

以上の結果については、もう少し詳細な分析が必要であると考ええる。

(3) 「コロナ禍での困りごと」：「現役世代」でやや多い傾向があるが、階層性が影響しているか？

「問5 困りごと」については、単純集計結果でも示されたとおり、「外出制限による交流の機会減少」が64.6%、「外出時の感染リスク」が50.4%、「スポーツや文化活動の機会減少」が45.0%で、これら以外の項目は10%以下の回答率であった。これらのクロス集計結果(表3-4-2)をみると、「年齢」において「50～59歳」前後の世代で回答率が高くなる傾向を示している。その他の項目でも「年齢」で「違い」が出ている場合があるが、このことが決定的な要因になっているとは考えにくい。

以上の結果から、もう少し詳細な分析が必要であると考ええる。

(4) 「健康悪化の懸念」：「高齢者」が「おっくうになっている」傾向が高くなっている

「問11③ おっくうに感じる」については、「以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じる」とあるかを問うているが、クロス集計結果(表3-6-3)において「年齢」と「就労状況」において「違い」がはっきりとあらわれているように、「ある」の回答が「高齢者」や「年金生活者」で高くなっている。し

かし、このような結果が加齢にともなって生じている可能性はあるものの、コロナ禍で行動を制限せざるを得ない状況が影響している可能性もある。

以上の結果から、もう少し詳細な分析が必要であると考ええる。

(5) 「行政機関に望む支援策」：「現役世代」は子育て・教育や雇用環境を、「高齢者」は多くを望まず

「問 14 行政機関に実施してほしい支援策」については、「今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、支援策として行政機関等において実施してほしいと考える施策」を問うているが、クロス集計結果（表 3-8-1）において「年齢」と「就労状況」においてやや「違い」がみられる。しかし、「合計」の割合から 10%以上「高い」乖離がみられたのは「現役世代」がほとんどで、「高齢者」からの要望は決して高くない結果となった。

これまでの分析結果からもわかるように、コロナ禍においては、若い人の方が変化に対応せざるを得ない状況に置かれており、仕事や子育てなど、生活を維持していくうえで一定の行動を家庭の内外で取らなければならない生活環境がそうさせているものと考えられる。新型コロナの感染拡大は、既に「第 6 波」を数えているように、感染の波は新型コロナウイルスの変異によるところも大きいという、「緊急事態宣言」などが発出されると経済活動が停滞し、その影響が生活に直結しやすい「現役世代」の不安が強く出ている結果であると考えられる。

3. 追加的な分析

(1) 分析に用いる用語等の説明

①「階層」について

「階層（クラスター）」とは、「塊（かたまり）」や「集団」などの意味に当たるが、以下の分析に用いる「階層」は、「性別」を「男」と「女」の 2 グループ、「年齢」を「59 歳以下」「60～69 歳」「70 歳以上」の 3 グループ、「就労状況」を「労働者」「自営業」「非就業者」の 3 グループ、「家族構成」を「独居」「複数世代」「夫婦」の 3 グループに分け、これらを組合せて 54 の「階層」を構成した。表 4-3-1 に示したように、実際に調査対象者の中で実存する「階層」は 42 種類となり、12 の「階層」は非該当となり、「分類不能」なケースが 17 件となった。

この実存する「階層」の中には、「26」や「27」のように多数のケースがある一方で、少数ケースの「階層」も多数出現する結果となった。以下で、「コレスポネンデンス分析」を行う際には、このケースの偏りが結果に影響しないとはいいきれないものの、少数ケースの「階層」についても、ある程度、現実社会を反映する要素を有しているものと考え、分析からは除外しなかった。それは、コレスポネンデンス分析の性質が数量の多少に影響を受けないからである。

②「コレスポネンデンス分析」について

この分析は、1 つの属性が有する複数の要素（この調査の場合には、各「階層」がそれぞれの設問の選択肢に回答した数）のバランス（対応関係）を属性どうしで相対化して比較するものであり、その要素と属性を二次元の平面上に描画するという特徴がある。以下の分析では、設問の「選択肢」と「階層」とのバランスをみることで、どの「階層」がどのような特徴を示すかを視覚で確認することができる。

表 4-3-1 階層の構成要素

	要素	図中の表記	度数	%
1	男・現役・被雇用・独居	男・現・労・独居	1	.1
2	男・現役・被雇用・複数	男・現・労・複合	25	3.1
3	男・現役・被雇用・夫婦	男・現・労・夫婦	3	.4
4	男・現役・自営業・独居	男・現・自・複合	1	.1
5	男・現役・自営業・複数	-	-	-
6	男・現役・自営業・夫婦	-	-	-
7	男・現役・非就業・独居	-	-	-
8	男・現役・非就業・複数	男・現・無・複合	1	.1
9	男・現役・非就業・夫婦	男・60・労・複合	10	1.3
10	男・60代・被雇用・独居	-	-	-
11	男・60代・被雇用・複数	-	-	-
12	男・60代・被雇用・夫婦	男・60・労・夫婦	8	1.0
13	男・60代・自営業・独居	-	-	-
14	男・60代・自営業・複数	男・60・自・複合	1	.1
15	男・60代・自営業・夫婦	男・60・自・夫婦	1	.1
16	男・60代・非就業・独居	男・60・無・独居	3	.4
17	男・60代・非就業・複数	男・60・無・複合	11	1.4
18	男・60代・非就業・夫婦	男・60・無・夫婦	4	.5
19	男・70超・被雇用・独居	男・70・労・独居	2	.3
20	男・70超・被雇用・複数	男・70・労・複合	4	.5
21	男・70超・被雇用・夫婦	男・70・労・夫婦	5	.6
22	男・70超・自営業・独居	男・70・自・独居	2	.3
23	男・70超・自営業・複数	男・70・自・複合	19	2.4
24	男・70超・自営業・夫婦	男・70・自・夫婦	17	2.1
25	男・70超・非就業・独居	男・70・無・独居	26	3.3
26	男・70超・非就業・複数	男・70・無・複合	100	12.6
27	男・70超・非就業・夫婦	男・70・無・夫婦	133	16.8
28	女・現役・被雇用・独居	女・現・労・独居	11	1.4
29	女・現役・被雇用・複数	女・現・労・複合	75	9.4
30	女・現役・被雇用・夫婦	女・現・労・夫婦	15	1.9
31	女・現役・自営業・独居	-	-	-
32	女・現役・自営業・複数	-	-	-
33	女・現役・自営業・夫婦	-	-	-
34	女・現役・非就業・独居	-	-	-
35	女・現役・非就業・複数	女・現・無・複合	4	.5
36	女・現役・非就業・夫婦	女・現・無・夫婦	1	.1
37	女・60代・被雇用・独居	女・60・労・独居	1	.1
38	女・60代・被雇用・複数	女・60・労・複合	23	2.9
39	女・60代・被雇用・夫婦	女・60・労・夫婦	9	1.1
40	女・60代・自営業・独居	女・60・自・複合	2	.3
41	女・60代・自営業・複数	-	-	-
42	女・60代・自営業・夫婦	-	-	-
43	女・60代・非就業・独居	女・60・無・独居	3	.4
44	女・60代・非就業・複数	女・60・無・複合	13	1.6
45	女・60代・非就業・夫婦	女・60・無・夫婦	5	.6
46	女・70超・被雇用・独居	女・70・労・独居	3	.4
47	女・70超・被雇用・複数	女・70・労・複合	3	.4
48	女・70超・被雇用・夫婦	女・70・労・夫婦	5	.6
49	女・70超・自営業・独居	女・70・自・独居	2	.3
50	女・70超・自営業・複数	女・70・自・複合	6	.8
51	女・70超・自営業・夫婦	女・70・自・夫婦	3	.4
52	女・70超・非就業・独居	女・70・無・独居	77	9.7
53	女・70超・非就業・複数	女・70・無・複合	78	9.8
54	女・70超・非就業・夫婦	女・70・無・夫婦	61	7.7
-	分類不能	-	17	2.1
合計			794	100.0

(2) 「コロナ禍での困りごと」についての階層的視点からの分析

表 4-3-2 は、階層と「コロナ禍での困りごと」とのクロス集計結果である。このクロス集計表の数値を用いて、以下でコレスポンデンス分析を行った。

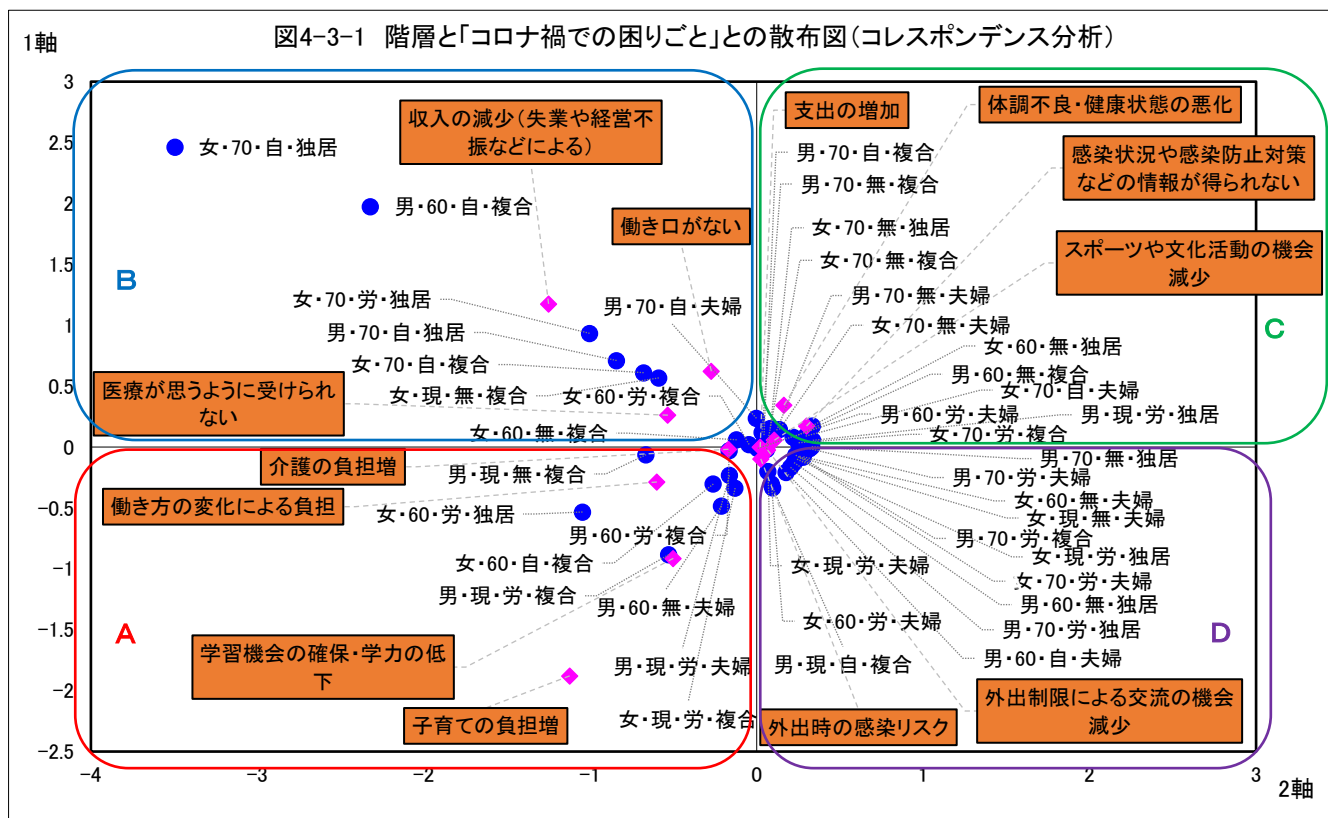
表 4-3-2 階層と「コロナ禍での困りごと」とのクロス集計結果

	収入の減少 (失業や経営不振など による)	支出の増加	働き方の変 化による負 担	働き口がな い	体調不良・ 健康状態の 悪化	医療が思う ように受けら れない	感染状況や感 染防止対策な どの情報が得 られない
男・現・労・独居	0	0	0	0	0	0	0
男・現・労・複合	0	2	2	0	0	2	0
男・現・労・夫婦	0	1	1	0	0	0	0
男・現・自・複合	0	0	0	0	0	0	0
男・現・無・複合	0	0	0	0	0	0	0
男・60・労・複合	0	1	2	1	0	1	1
男・60・労・夫婦	0	1	1	1	0	0	0
男・60・自・複合	1	0	0	0	0	0	0
男・60・自・夫婦	0	0	0	0	0	0	0
男・60・無・独居	0	0	0	0	0	0	0
男・60・無・複合	0	0	0	0	2	0	0
男・60・無・夫婦	0	0	1	0	0	0	0
男・70・労・独居	0	0	0	0	0	0	0
男・70・労・複合	0	0	0	0	0	0	0
男・70・労・夫婦	0	1	0	0	0	0	1
男・70・自・独居	1	1	0	0	0	0	0
男・70・自・複合	1	1	1	0	1	1	1
男・70・自・夫婦	2	2	0	0	0	0	1
男・70・無・独居	0	2	0	0	0	0	3
男・70・無・複合	6	9	1	3	12	4	8
男・70・無・夫婦	5	14	4	2	18	7	16
女・現・労・独居	0	0	0	0	0	0	0
女・現・労・複合	2	11	4	0	5	4	6
女・現・労・夫婦	0	3	1	0	0	0	1
女・現・無・複合	1	0	1	1	2	1	0
女・現・無・夫婦	0	0	0	0	0	0	0
女・60・労・独居	0	0	1	0	0	0	0
女・60・労・複合	2	3	0	0	1	1	0
女・60・労・夫婦	0	1	0	0	0	0	0
女・60・自・複合	0	1	1	0	0	0	0
女・60・無・独居	0	0	0	0	1	0	0
女・60・無・複合	1	2	0	1	1	0	1
女・60・無・夫婦	0	1	0	0	0	0	1
女・70・労・独居	2	1	1	1	1	0	0
女・70・労・複合	0	1	0	0	0	0	0
女・70・労・夫婦	0	1	0	0	0	0	0
女・70・自・独居	1	0	0	0	0	1	0
女・70・自・複合	2	0	0	0	0	0	0
女・70・自・夫婦	0	0	0	0	1	0	0
女・70・無・独居	2	7	2	2	10	3	5
女・70・無・複合	1	7	2	1	10	2	1
女・70・無・夫婦	1	5	1	2	7	3	4
合計	31	79	27	15	72	30	50

表 4-3-2 階層と「コロナ禍での困りごと」とのクロス集計結果（つづき）

	介護の負担増	子育ての負担増	学習機会の確保・学力の低下	スポーツや文化活動の機会減少	外出制限による交流の機会減少	外出時の感染リスク
男・現・労・独居	0	0	0	1	1	0
男・現・労・複合	2	6	4	12	18	15
男・現・労・夫婦	0	0	0	1	2	2
男・現・自・複合	0	0	0	0	0	1
男・現・無・複合	1	0	0	0	0	0
男・60・労・複合	1	0	0	2	8	6
男・60・労・夫婦	0	0	0	3	7	4
男・60・自・複合	0	0	0	0	1	0
男・60・自・夫婦	0	0	0	0	1	1
男・60・無・独居	0	0	0	1	2	2
男・60・無・複合	1	0	0	3	2	5
男・60・無・夫婦	0	0	1	2	3	4
男・70・労・独居	0	0	0	0	2	1
男・70・労・複合	0	0	0	2	2	2
男・70・労・夫婦	0	0	0	3	4	3
男・70・自・独居	0	0	0	1	0	2
男・70・自・複合	0	0	0	11	15	8
男・70・自・夫婦	0	0	0	11	13	5
男・70・無・独居	0	0	0	13	14	9
男・70・無・複合	6	0	5	62	63	47
男・70・無・夫婦	6	0	0	72	88	68
女・現・労・独居	0	0	0	5	10	7
女・現・労・複合	2	7	8	40	60	57
女・現・労・夫婦	1	0	1	5	11	8
女・現・無・複合	0	0	0	1	3	3
女・現・無・夫婦	0	0	0	0	1	0
女・60・労・独居	0	0	0	0	1	0
女・60・労・複合	1	0	1	10	20	18
女・60・労・夫婦	0	0	1	2	8	7
女・60・自・複合	0	0	0	0	2	2
女・60・無・独居	0	0	0	1	2	1
女・60・無・複合	2	0	1	3	7	9
女・60・無・夫婦	0	0	0	1	4	4
女・70・労・独居	0	0	0	2	2	1
女・70・労・複合	0	0	0	1	1	0
女・70・労・夫婦	0	0	0	2	3	2
女・70・自・独居	0	0	0	0	0	0
女・70・自・複合	1	0	0	3	3	3
女・70・自・夫婦	0	0	0	1	2	2
女・70・無・独居	0	0	1	23	37	25
女・70・無・複合	5	1	1	23	44	35
女・70・無・夫婦	2	0	0	26	36	21
合計	31	14	24	349	503	390

図 4-3-1 は、階層と「コロナ禍での困りごと」との関係をコレスポンデンス分析によって示した散布図である。まず、原点を軸にして左右で比較してみると、左側が概ね「就業者」（被扶養者も含まれると考える）のグループになっており、右側が概ね「非就業者」のグループになっているように見受けられる。また、原点を軸にして上下で比較してみると、上側の方がやや年齢層が高く、下側の方がやや年齢層が低くなっている傾向がみられる。更に、これを 4 つのグループに分けると、概ね 4 色の四角図で囲んだ A～D のグループができたみてよいと考える。



A（赤）は、「59歳以下」と「60～69歳」で占められており、多くが就業者として働いている。選択肢としては、「介護の負担増」や「子育ての負担増」、「学習機会の確保・学力の低下」（おそらく、子や孫のことが想定されているのでは？）も含まれるものと考えられるが、家族の問題が多く含まれている一方、「働き方の変化による負担」も含まれており、コロナ禍で「生活様式の変化」を余儀なくされたグループであると見受けられる。

B（青）は、ほとんどが「60～69歳」と「70歳以上」で占められており、ほとんどが就業者であるが、「収入の減少」や「働き口がない」といった就業不安を示す選択肢が含まれているほか、「医療が思うように受けられない」というのも、「医療費にお金がかかけられない」という意図が含まれているのであれば、問題が深刻であるといえる。

C（緑）は、ほとんどが「60～69歳」と「70歳以上」で占められており、就業者もやや含まれるが、ほとんどが非就業者となっている。「支出の増加」は線上にあるため、Dとも同等といえるが、選択肢としては、「体調不良・健康状態の悪化」や「感染状況や感染防止対策などの情報が得られない」、「スポーツや文化活動の機会減少」が含まれており、コロナ禍でどのように行動してよいか判断に困り、行動が制限され、健康を悪化させるなどして費用がかかり、「支出の増加」で困ったのではないかと考えられる。

D（紫）は、ほとんどが「60～69歳」と「70歳以上」で占められており、ほとんどが就業者となっている。Cのように、健康上の問題はなかったものの、「外出制限による交流の機会減少」とはなったものの、「外出時の感染リスク」を避けるための費用がかかり、「支出の増加」で困ったのではないかと考えられる。

（3）「収入の増減」についての階層的視点からの分析

表4-3-3は、階層と「収入の増減」とのクロス集計結果である。このクロス集計表のうち、網掛けしている部分の数値を用いて、以下でコレスポネン分析を行った。

表 4-3-3 階層と「収入の増減」とのクロス集計結果

	大いに 減少した	やや 減少した	変わらない	やや 増加した	わからない	合計
男・現・労・独居	0	0	1	0	0	1
男・現・労・複合	1	0	23	0	1	25
男・現・労・夫婦	0	0	3	0	0	3
男・現・自・複合	0	0	1	0	0	1
男・現・無・複合	0	0	1	0	0	1
男・60・労・複合	0	3	7	0	0	10
男・60・労・夫婦	1	1	6	0	0	8
男・60・自・複合	0	1	0	0	0	1
男・60・自・夫婦	0	0	1	0	0	1
男・60・無・独居	0	0	3	0	0	3
男・60・無・複合	0	1	10	0	0	11
男・60・無・夫婦	0	2	2	0	0	4
男・70・労・独居	0	0	2	0	0	2
男・70・労・複合	0	0	4	0	0	4
男・70・労・夫婦	0	1	3	1	0	5
男・70・自・独居	0	1	1	0	0	2
男・70・自・複合	1	5	12	1	0	19
男・70・自・夫婦	1	5	11	0	0	17
男・70・無・独居	0	2	24	0	0	26
男・70・無・複合	3	16	76	0	5	100
男・70・無・夫婦	1	16	114	0	2	133
女・現・労・独居	0	1	9	1	0	11
女・現・労・複合	2	2	69	1	1	75
女・現・労・夫婦	0	1	14	0	0	15
女・現・無・複合	1	1	1	0	1	4
女・現・無・夫婦	0	0	1	0	0	1
女・60・労・独居	1	0	0	0	0	1
女・60・労・複合	1	3	19	0	0	23
女・60・労・夫婦	0	1	8	0	0	9
女・60・自・複合	0	2	0	0	0	2
女・60・無・独居	0	2	1	0	0	3
女・60・無・複合	2	2	9	0	0	13
女・60・無・夫婦	0	0	5	0	0	5
女・70・労・独居	1	0	2	0	0	3
女・70・労・複合	0	0	3	0	0	3
女・70・労・夫婦	0	0	5	0	0	5
女・70・自・独居	1	0	1	0	0	2
女・70・自・複合	2	1	3	0	0	6
女・70・自・夫婦	1	0	2	0	0	3
女・70・無・独居	4	3	69	0	1	77
女・70・無・複合	2	9	67	0	0	78
女・70・無・夫婦	2	4	54	0	1	61
分類不能	1	2	13	0	1	17
合計	29	88	660	4	13	794

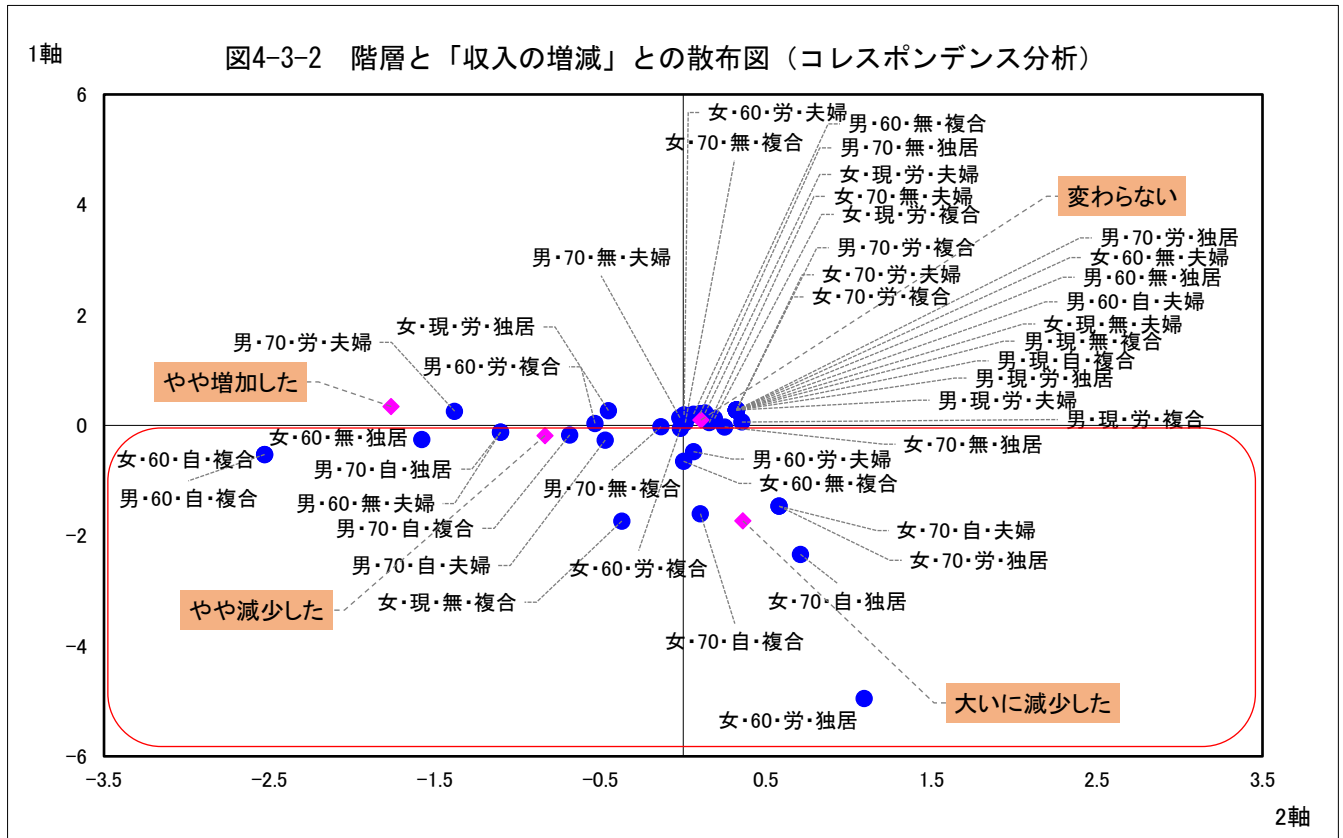
図 4-3-2 は、階層と「収入の増減」との関係をコレスポンデンス分析によって示した散布図である。概ね、4つのグループに分かれたとみてよいが、原点を両軸でみて、右下が「大いに減少した」、左下が「やや減少した」となっており、右上が「変わらない」、左上が「やや増加した」となっている。

まず、右上の「変わらない」の領域は、一定の「59歳以下（現役世代）」就業者が含まれるものの、「60～69歳」や「70歳以上」の非就業者も多く含まれていることから、コロナ禍の影響を受けていない就業者と

年金生活者が含まれているものと考えられる。

次に、「変わらない」以外で増減があった階層は、概ね就業者と被扶養者であるといえる。それも、概ね共通しているのが、そのほとんどが「60～69歳」と「70歳以上」の就業者であるという点である。左上の「やや増加した」についてはともかく、赤枠で囲んだ、右下の「大いに減少した」や左下の「やや減少した」をみると、高齢世代で働く人たちや被扶養者たちであると見受けられる。

理由は様々であると考えられるが、高齢世代が就業を継続していることに一定の意義を見出せるものの、コロナ禍で収入の減少の影響を強く受けているのも高齢世代であるとする、就業意欲のある高齢者等が安心して働き続けられる環境がコロナ禍で脅かされたことが示唆される。



（3）「高齢者の健康（おっくう）」についての要因分析（クロス集計による再分析）

表 4-3-4 は、年齢別にみた「外出の頻度（運動・スポーツ）」（問 3⑦）と「おっくうに感じる」（問 11③）のクロス集計結果である。

まず、下段の「合計」をみると、年齢を集計に含まない場合には、「運動・スポーツ」と「おっくうに感じる」との因果関係が強く出ている（有意確率 1.0%未満）ことがわかる。また、年齢別の要素を加えてみると、どの年齢層においても「運動・スポーツ」と「おっくうに感じる」との因果関係がやや強く出ている（有意確率 5.0%未満）ことがわかる。

次に、表の特徴をみると、どの年齢においても「運動・スポーツ」の外出頻度が「大いに減少した」から「変わらない」にかけて、「おっくうに感じる」ことが「ある」の回答割合が低下しており、逆に「おっくうに感じる」ことが「ない」の回答割合が上昇している。

「おっくうに感じる」の「ある」の回答割合が高かった高齢世代でも、コロナ禍で「運動量の減少」ある

いは「運動不足」が生じている人に「不活発」な傾向があらわれている可能性がうかがえる。

表 4-3-4 年齢別にみた「外出の頻度（運動・スポーツ）」と「おっくうに感じる」のクロス集計結果

			問 11.現在の健康状態について ③以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じることはありませんか。				合計
			ある	ない	わからない	無回答	
49 歳以下	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑦運動・スポーツ	大いに減少した	 8 50.0%	 4 25.0%	4 25.0%		16 100.0%
		やや減少した	10 30.3%	21 63.6%	2 6.1%		33 100.0%
		変わらない	3 9.4%	22 68.8%	7 21.9%		32 100.0%
		やや増加した	3 75.0%	0 0.0%	1 25.0%		4 100.0%
		大幅に増加した	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%		1 100.0%
		わからない	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%		4 100.0%
		合計	26 28.9%	50 55.6%	14 15.6%		90 100.0%
50～69 歳	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑦運動・スポーツ	大いに減少した	 16 57.1%	 12 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	28 100.0%
		やや減少した	19 41.3%	25 54.3%	2 4.3%	0 0.0%	46 100.0%
		変わらない	10 15.9%	49 77.8%	3 4.8%	1 1.6%	63 100.0%
		やや増加した	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	3 100.0%
		わからない	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
		合計	49 33.6%	90 61.6%	6 4.1%	1 .7%	146 100.0%
70 歳以上	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑦運動・スポーツ	大いに減少した	 53 50.0%	 48 45.3%	5 4.7%		106 100.0%
		やや減少した	70 36.6%	114 59.7%	7 3.7%		191 100.0%
		変わらない	76 34.1%	134 60.1%	13 5.8%		223 100.0%
		やや増加した	3 42.9%	4 57.1%	0 0.0%		7 100.0%
		大幅に増加した	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%		1 100.0%
		わからない	12 42.9%	12 42.9%	4 14.3%		28 100.0%
		無回答	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%		2 100.0%
		合計	216 38.7%	312 55.9%	30 5.4%		558 100.0%
合計	問3.昨年との比較による現在の外出頻度について ⑦運動・スポーツ	大いに減少した	 77 51.3%	 64 42.7%	9 6.0%	0 0.0%	150 100.0%
		やや減少した	99 36.7%	160 59.3%	11 4.1%	0 0.0%	270 100.0%
		変わらない	89 28.0%	205 64.5%	23 7.2%	1 .3%	318 100.0%
		やや増加した	7 50.0%	5 35.7%	2 14.3%	0 0.0%	14 100.0%
		大幅に増加した	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
		わからない	17 44.7%	17 44.7%	4 10.5%	0 0.0%	38 100.0%
		無回答	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%
		合計	291 36.6%	452 56.9%	50 6.3%	1 .1%	794 100.0%

※「合計」:有意差あり(P>0.01)、「49 歳以下」「50～69 歳」「70 歳以上」:有意差あり(P>0.05)

4. 総合的考察

本調査は、「コロナ禍における高齢者等の意識や行動等についてのアンケート調査」という名称で実施し、配票も高齢者が関係する団体などを通して多くが行われたこともあり、高齢者からの回答が多くなった。このように、サンプルに偏りがあるなかで、若い世代との比較を行うかどうか迷うところがあったが、比較検討するには楽観的な分析にならないように慎重に進め、まとめてきた。とりわけ、多くの設問が世代間の「違い」を表出させる結果を導き出したため、違和感が生じたものについては「追加的な分析」を試みるなどして、誤解が生じないように努めた。それでも結果に疑念をもたれる方が出てくるかもしれないが、そうした声には真摯に耳を傾け、必要な場合には再分析にも着手するつもりである。

以上のような前提のもとに行った調査の分析結果を踏まえたうえで、以下のような課題提起をしたい。

(1) 社会・経済活動と感染対策との両立をどう図るか？

コロナ禍が始まって2年余りが経過し、「With コロナ」とどう向き合うかは、国内に限らず、海外でも模索が続いている。当初は国も、国債発行などで大規模な補正予算を組むなど、コロナ対策に財政出動で対応をしてきたが、財政上の都合もあり、社会・経済活動が少しずつ回復するなかで、如何に社会・経済活動と感染対策との両立を図るかが課題になっているといえる。しかし、社会・経済活動を活発化すると感染が拡大する、ワクチンを開発してもいつ接種できるかわからない、新たな変異株があらわれても特徴がわからない、という問題は、ウイルスの変異が起こるため、一貫した対応では解消できず、住民の多くは「何をどう判断したらよいかわからない」不安な状態を何度も経験してきた。

国や自治体が進める政策は、科学的根拠だけでなく、社会・経済活動への影響を小さくしようとする圧力が加わるため、情報発信の仕方によっては「誤ったメッセージ」となり、政策効果が低減されてしまう場合もある。難しい課題ではあるが、自由記述回答に多く寄せられたように、行政機関には、これまで以上に丁寧な情報提供を求めたい。

(2) 「若い世代」に対しての支援課題

若い世代の中心的な役割は、経済や社会を支えることである。調査結果から、コロナ禍で弊害となっているのは、就業者本人が経済的に困窮することではなく、育児や介護など、家族の支え手としての役割において、コロナ感染が影響を及ぼしているということであった。仮に、家族の中に感染者が出たり、利用している学校や施設等の利用ができなくなったりしたとしても、「安心して仕事を続けられる」や「安心して休める」といった「中長期的な将来不安を軽減する」ことが大切である。これには、個々の努力や親族・近隣の支え合いというレベルで解消できるものではないため、システム（法制度）の整備が必要である。

(3) 「高齢世代」に対しての支援課題

高齢世代のなかにも就業によって生計を立てている人が少なくないものと推察されるが、調査結果からは、年金生活者の場合には、何か問題に直面することなどがなければ、すぐに経済的な支援を必要とするケースは少なく、むしろ、コロナ禍で生活が不活発になったり、健康維持が困難になったりしているケースが気になる点である。やはり、高齢世代の場合には、「今困っていることに対して、すぐにできることから着手する」ようにニーズを把握して、関係機関による支援だけでなく、当事者の活動を支援する取り組みが求められるものと考ええる。

5. むすび

この調査が実施された2021年10月頃は、ワクチン接種が急速に広がったこともあり、「緊急事態宣言」下で開催された東京オリンピックの頃には想像もできなかった勢いで、新型コロナの第5波が収束に向かった頃であった。調査の実施時期としては適切であったと感じられたが、他方では、このままコロナ禍が終息したら、この調査を実施した意義がなくなってしまうのではないかと、という喜ばしい悩みにも苛まれた時期でもあった。しかし、これらの一喜一憂も「オミクロン株」という新たな変異ウイルスの出現によって、すべてが無為にされてしまった。

日本で新型コロナ感染症の罹患者が初めて確認されてから、既に2年余りが経とうとしているものの、依然として「終息」というゴールが見えない状況にあり、多くの人々が我慢を強いられ、不安を絶えず抱えながら日々の生活を送られていると思われる。このような心身に負荷がかかる状態が長く続くなかにあっても、「決して困ることはない」と希望をもてる環境があれば、誰もが歯を食いしばってこの苦境を乗り越えようと努められるのではないかと考える。

コロナ禍では、新型コロナ感染症（COVID-19）が感染症法の「第2類感染症」に指定されていることもあり、行政機関が中心的な役割の担い手となり、感染が拡大すると保健所がひっ迫し、診療に従事する公私の医療機関も平常時よりも格段に過重な労務を強いられることになる。中には例外もあるが、コロナ禍の長期化は誰にとっても喜ばしいことではない、ということである。であるからこそ、課題を的確に把握し、関係機関はもちろん、住民一人ひとりが果たすべき役割を果たし、諦める人が出ないようにしていく必要がある。とりわけ、コロナ禍で自殺者数が増加に転じていることは周知のとおりであり、社会・経済活動が維持できるようにする努力とともに、行き詰る人たちが出てくる前の予防策と出てきた時の支援体制を拡充させていく必要があるものと考え。この調査が、これらの課題を考える一助になれば幸いである。

V 資料

1. 自由記述回答

(1)「問2 現在の生活について」の「その他」の回答

Q2その他	性別	年代	広域4区分
コロナ感染状況等を毎日、TVや新聞で確認するようになった。	男性	60代	盛岡広域
県内温泉旅行が増えました。	男性	60代	盛岡広域
外食や仲間との飲み会がへった。	男性	60代	県北広域
入居中で外出が出来ないのが不便を感じている。	男性	70代以上	盛岡広域
コロナ禍が常に意識の中にあり感染防止が生活の中心	男性	70代以上	盛岡広域
一人暮らしのため、三度の食事でも欠かさず以前と同じである。	男性	70代以上	盛岡広域
家庭菜園の仕事が多くなった。	男性	70代以上	盛岡広域
体温測定の回数が増えた。(午前2回、午後2回、就寝前1回)	男性	70代以上	盛岡広域
食料品の買い物(金額)が増えた。	男性	70代以上	盛岡広域
福祉団体の会議、交流が少なくなった。	男性	70代以上	県南広域
外食なし(コロナ前は月2~3回)	男性	70代以上	県南広域
会議、交流会、研修会が激減し、意思疎通に心配。	男性	70代以上	県南広域
子や孫と会えず、近所づきあいが、そえんになる。	男性	70代以上	県南広域
外出時のマスク徹底	男性	70代以上	沿岸広域
人的交流が少なくなった。	男性	70代以上	沿岸広域
年令と共に病院へ行く回数が増え、生活が苦しくなって来た。	男性	70代以上	沿岸広域
普通にやっている	男性	70代以上	沿岸広域
早く寝ることにした。	男性	70代以上	沿岸広域
外出は食品等の買い出しで月/4~5回、病院は、月/1~2回	男性	70代以上	沿岸広域
コロナ前とあまり変化はない	男性	70代以上	沿岸広域
感染予防対策用品の購入が増えた	男性	70代以上	県北広域
野菜や稲作の手入れもあり生活実態に変化なし	男性	70代以上	県北広域
がいしょくをしなくなった。テイクアウトのお店検索回数増えた。	女性	40代	県南広域
レジャーに出掛けていない。家族以外と飲食しない。	女性	40代	県南広域
遠方にいる子どもと会えなくなった	女性	50代	県南広域
旅行をしなくなった。外食をしなくなった。	女性	50代	沿岸広域
子・孫の訪宅回数が激減した	女性	50代	県北広域
県外在住の親族との交流を控えている	女性	60代	盛岡広域
県外在住の人との交流がなくなった(子供・友人等)	女性	60代	県南広域
マスクは自宅の室内以外は、しております。	女性	60代	県南広域
電話、メールが増えた	女性	60代	沿岸広域
遠方に居る子供達の所に行けなくなった。	女性	60代	沿岸広域
友人とランチする回数が減った	女性	70代以上	盛岡広域
お友達が来なくなった。趣味の教室が長期間休み	女性	70代以上	盛岡広域
人ごみに入りたいと思わなくなった。	女性	70代以上	盛岡広域
友人がコロナになり、元気づけるのに苦労した。	女性	70代以上	盛岡広域
県外に居る子や孫に2年前から会えない。	女性	70代以上	盛岡広域
コロナのため子供・孫が帰省しなくなった。淋しい	女性	70代以上	県南広域
散歩	女性	70代以上	県南広域
世の中全体がコロナ禍で自分の身は自分で守ることです	女性	70代以上	県南広域
千葉県にいる子供達もこれなくなって淋しく感ずる	女性	70代以上	県南広域
スマートフォンで家族で会話	女性	70代以上	県南広域
デイサービスへ元気応援に	女性	70代以上	県南広域
外食をしない	女性	70代以上	県南広域
通院時、病院とバス停のーにする(通院時)	女性	70代以上	沿岸広域
出かける事が激減した。	女性	70代以上	沿岸広域
平常通り過す。	女性	70代以上	沿岸広域
温泉へ湯治へ行けなくなりました。	女性	70代以上	沿岸広域
訪問客が減った。	女性	70代以上	県北広域
趣味活動・サロン開設数が減った。外食がほとんどしなくなった。	女性	70代以上	県北広域
外で会った人とあまり話をしなくなった。	女性	70代以上	県北広域

(2)「問5 コロナ禍での困りごと」の「その他」の回答

Q5その他	性別	年代	広域4区分
コロナ対策により保育園を早退する機会が増えた。微熱でも早退することになった。	男性	20代	県北広域
マスクの着用	男性	40代	盛岡広域
政府の愚策	男性	60代	県南広域
移動制限により、子や孫に会えない	男性	60代	県南広域
遠隔地にいる子供や孫に会えない。	男性	60代	県北広域
毎日農作業があるので、老人クラブの行事が無いので良い	男性	70代以上	盛岡広域
マスクの必要性	男性	70代以上	盛岡広域
旅行が出来ない。	男性	70代以上	県南広域
福祉団体の意見交換が少なくなり組織の運営に影響あり	男性	70代以上	県南広域
人間関係がしたいに薄くなっても平気でいられるようになるのがこわい	男性	70代以上	県南広域
旅行が出来ない	男性	70代以上	沿岸広域
子孫に会えなかったのが残念であった。東京、札幌	男性	70代以上	沿岸広域
高年齢になるとアルバイト等の仕事がない	男性	70代以上	沿岸広域
県外に出られない。	男性	70代以上	沿岸広域
家族、友人等での移動の機会、判断に苦慮する。	男性	70代以上	沿岸広域
マスクをつけるのが面倒	男性	70代以上	沿岸広域
お茶飲みなどお互い遠慮している	男性	70代以上	沿岸広域
コロナ禍の現状で諸行事が中止となり交流機会が大幅に減少し楽しみが激減している。	男性	70代以上	県北広域
保育園行事の中止	女性	30代	県南広域
妊活するタイミング	女性	30代	県南広域
・出産を控えているので、今後どうなるのか心配。・6才、5才、2才の子のワクチン、これから産まれる子のワクチンについて心配。	女性	30代	沿岸広域
外食を控えるようになった。	女性	30代	県北広域
会社のコロナに関する方針が厳し過ぎて、息が詰まる。	女性	40代	盛岡広域
学校行事の中止、保護者の観覧なしとか大会学校行事を通して子供の成長をみることができない。	女性	40代	県南広域
子どもを思いっきり遊ばせる場がへった。	女性	40代	県北広域
周囲からの偏見に近いもの(他県へ行く事、県外からの帰省等)	女性	50代	盛岡広域
別世帯の孫。体調不良時、コロナ感染の可能性を考えると一時預かりできない。勤務制限がある為。	女性	50代	県北広域
少しの体調不良も言い出しにくい雰囲気	女性	60代	盛岡広域
緊急事態宣言外地域に住む娘に初めての子どもが生まれたが手伝いに行けないし、会えてもない。	女性	60代	沿岸広域
理容業だけど客足が少なくなった	女性	70代以上	盛岡広域
子や孫に会えない。	女性	70代以上	盛岡広域
県外に行けない事	女性	70代以上	盛岡広域
集まって交流しお話、趣味の時間、習いごとをする時間、全くなかった	女性	70代以上	県南広域
ボランティア活動が出来なくなりました。	女性	70代以上	県南広域
コロナに関して携帯に不審なメッセージが届くことがある。	女性	70代以上	県南広域
高齢者向けの行事減	女性	70代以上	沿岸広域
遠くに住む家族が帰省できない	女性	70代以上	沿岸広域
クラブの活動ができないこと	女性	70代以上	沿岸広域
①町外に出たり、町外からの人と会うと受診もできない。(仕事など休まなければいけない。)	女性	70代以上	沿岸広域
②町の中は店が少ない。衣類など子供に送ってもらう。	女性	70代以上	沿岸広域
子孫に会うことが少ない。	女性	70代以上	県北広域
コロナによる何事もとりやめになるのが多い	女性	70代以上	県北広域

(3)「問6 コロナ禍で時間が増えたもの」の「その他」の回答

Q6その他	性別	年代	広域4区分
アニメ	男性	20代	盛岡広域
コロナのニュース	男性	60代	県南広域
畑仕事	男性	70代以上	県南広域
日本の医療や政治力・科学などの劣化。これに気づかずにいる多くの国民のいる日本国について深刻に考える時間が増えた。	男性	70代以上	県南広域
睡眠	男性	70代以上	県南広域

Q6その他	性別	年代	広域4区分
関係者とのTEL(スマホ)の回数の増加	男性	70 代以上	県南広域
飲酒時間と飲酒量	男性	70 代以上	県南広域
デイサービスを受けている。	男性	70 代以上	県南広域
県外に住んでいる子供達とは連絡が多くなった	男性	70 代以上	沿岸広域
感染防止の時間	男性	70 代以上	沿岸広域
家の片付け	男性	70 代以上	沿岸広域
いつもの生活、生徒の見守り等。	男性	70 代以上	沿岸広域
物置の整理	男性	70 代以上	県北広域
家の中でゴロゴロする時間、1人時間。	女性	40 代	県南広域
ペットと触れ合う時間	女性	50 代	県南広域
ぼんやり、のんびりしている時間	女性	50 代	県北広域
かたづけ、整理。	女性	50 代	県北広域
目が疲れるので以前より寝る時間が増えた。	女性	70 代以上	盛岡広域
家事手伝い(農業)	女性	70 代以上	盛岡広域
屋内外の片づけ	女性	70 代以上	盛岡広域
でんわ等	女性	70 代以上	盛岡広域
コロナ禍との因果関係は？だが新しいことへの挑戦が増えた。	女性	70 代以上	盛岡広域
片付けの時間	女性	70 代以上	県南広域
寝ている時間	女性	70 代以上	県南広域
外出の機会がなくなった。	女性	70 代以上	県南広域
家の掃除や消毒がふえ、時間もふえた。	女性	70 代以上	県南広域
ぼんやりしてしまうことが多くなったかな	女性	70 代以上	県南広域
家の中ですごしているが、これといって何もしていない。	女性	70 代以上	沿岸広域
一人暮らしで一日中話をしないことがある	女性	70 代以上	沿岸広域
畑の仕事があるので変わらない。	女性	70 代以上	県北広域
ZOOMIによる研修会	女性	70 代以上	県北広域

(4)「問7 コロナ禍で新たに生活に取り入れたこと」の「その他」の回答

Q7その他	性別	年代	広域4区分
買い物や食堂でのペイペイの使用が増加、現金支払いによる感染リスクの低減！！	男性	60 代	盛岡広域
新聞切抜	男性	60 代	盛岡広域
畑農作業の時間が多くなった。	男性	70 代以上	盛岡広域
近距離ドライブ、産直めぐり	男性	70 代以上	盛岡広域
テレビ観戦(大谷)が多くなった	男性	70 代以上	盛岡広域
野菜作り	男性	70 代以上	県南広域
新しい軽スポーツの実施	男性	70 代以上	県南広域
週2回デイサービス通っている	男性	70 代以上	県南広域
早朝のウォーキング	男性	70 代以上	沿岸広域
子・孫とテレビ電話で近況報告し合うのが楽しみ。	男性	70 代以上	沿岸広域
感染防止	男性	70 代以上	沿岸広域
ボランティア活動の増加	男性	70 代以上	沿岸広域
オンライン会議、書面議決回数が増えた。	男性	70 代以上	沿岸広域
こまめな掃除。断捨離	女性	30 代	県南広域
投資(株)	女性	40 代	県南広域
ウェビナー	女性	50 代	県南広域
散歩	女性	50 代	沿岸広域
何も変わらない	女性	60 代	県南広域
オンライン研修	女性	60 代	県北広域
テレビの視聴時間が増えた	女性	70 代以上	盛岡広域
野菜作り	女性	70 代以上	県南広域
本を読んだり、ピアノにふれることが多くなったかな。前に読んだ本を読みなおしたりしている。	女性	70 代以上	県南広域
畑で野菜等作る楽しみが増えました。	女性	70 代以上	県南広域
消毒、マスク、手洗いを体温をはかり健康留意	女性	70 代以上	県南広域
外出したら玄関で手の消毒。マスク着用	女性	70 代以上	県南広域
ラジオ体操	女性	70 代以上	県南広域

Q7その他	性別	年代	広域4区分
庭いじり	女性	70代以上	沿岸広域
草取り。家の外に出て外の空気を吸う回数	女性	70代以上	沿岸広域
菜園、ガーデンにかけ時間が多くなった	女性	70代以上	沿岸広域
健康維持の為、室内体操を毎日する	女性	70代以上	沿岸広域
ナンプレをする時間が多くなった	女性	70代以上	沿岸広域
スマホでやってみたい事は色々あるが、聞きに出て行くのがめんどろ	女性	70代以上	沿岸広域
①きものの着付けを2人づつ教えている。感染を注意しながら子供とはラインにし直接会わないようにした。	女性	70代以上	沿岸広域
草取りが忙しいので変りなし	女性	70代以上	県北広域

(5)「問 11④ 具体的にはどういふことがおっくうに感じるか」の「その他」の回答

Q11④その他	性別	年代	広域4区分
電車通勤より車両通勤が多くなった。歩かず車！！	男性	60代	盛岡広域
体全てに感じる	男性	60代	盛岡広域
作業	男性	60代	盛岡広域
不急の診療を控え症状(白内障)が悪化していると感じる。	男性	60代	県北広域
働いたつもりでも能率が上がらない	男性	70代以上	盛岡広域
気軽に行動に移すことが少なくなった	男性	70代以上	盛岡広域
歩くこと	男性	70代以上	県南広域
物の忘れや段取りが悪くなった。	男性	70代以上	県南広域
難聴になり不自由このうえなし	男性	70代以上	県南広域
庭そうじ	男性	70代以上	県南広域
書類が増加し、整理がおっくうになった	男性	70代以上	県南広域
自動二輪で余り遠くまで行かなくなった	男性	70代以上	県南広域
視力が落ち、生活がしづらくなった。	男性	70代以上	県南広域
仕事の分担整理をすることについて	男性	70代以上	県南広域
PCでの事務処理	男性	70代以上	県南広域
農業作業が前より出来ない。	男性	70代以上	沿岸広域
町外に出る事	男性	70代以上	沿岸広域
時々する農作業や庭の草採り等	男性	70代以上	沿岸広域
持病の悪化により体を使うと痛いし、安全のため無理	男性	70代以上	沿岸広域
計算、事務的なこと	男性	70代以上	沿岸広域
疲れる	男性	70代以上	県北広域
日常生活において身近な事について	男性	70代以上	県北広域
生活全般	女性	50代	沿岸広域
地域の行事活動(お祭り、収穫祭、等々)	女性	60代	県南広域
食事の準備	女性	60代	県南広域
食事のしたく、庭の植木の手入れ	女性	60代	県南広域
関節痛で動きに制限ある事で優先順位で活動している。	女性	60代	県北広域
料理・そうじ	女性	70代以上	盛岡広域
年齢的なこともあり、何事も面倒だと思うようになった	女性	70代以上	盛岡広域
草とり	女性	70代以上	盛岡広域
重い荷もつの移動が大変になった。(買い物等)	女性	70代以上	盛岡広域
家事の面で	女性	70代以上	盛岡広域
家の片づけ	女性	70代以上	盛岡広域
歩行	女性	70代以上	県南広域
日常生活全体的に	女性	70代以上	県南広域
体力がなくなってきたように思える	女性	70代以上	県南広域
食事作り	女性	70代以上	県南広域
家事一般が出来なくなった。	女性	70代以上	県南広域
膝が痛いので動いたり何かすることにおっくうに感じる	女性	70代以上	沿岸広域
調理をすること。(年令を増したため)	女性	70代以上	沿岸広域
体が思うように動かなくなってきた。	女性	70代以上	沿岸広域
身体を動かすこと。(草とりとか、...)	女性	70代以上	沿岸広域
日常生活の中で時々あるが、コロナのためではないと思うが	女性	70代以上	県北広域

(6)「問 11⑤」の「その他」の回答

Q11⑤その他	性別	年代	広域4区分
上司	男性	30 代	沿岸広域
相談しない。ぎりぎりがまん。	男性	60 代	県南広域
体調がベストで相談したことない	男性	70 代以上	沿岸広域
近くの人	男性	70 代以上	沿岸広域
職場の人	女性	50 代	盛岡広域
職場の同僚	女性	60 代	県南広域
妹	女性	70 代以上	盛岡広域
親せき	女性	70 代以上	県南広域
近くに住む娘に相談している	女性	70 代以上	県南広域
遠方の姉・妹	女性	70 代以上	沿岸広域

(7)「問 11⑦ 具体的にはどういう運動を行っているか」の「その他」の回答

Q11⑦その他	性別	年代	広域4区分
野球	男性	20 代	県北広域
ゴルフ	男性	40 代	盛岡広域
農作業	男性	70 代以上	盛岡広域
卓球、バウンドテニス、マレットゴルフ	男性	70 代以上	盛岡広域
卓球 バドミントン グランドゴルフ	男性	70 代以上	盛岡広域
卓球	男性	70 代以上	盛岡広域
介護施設でのリハビリ。週1回	男性	70 代以上	盛岡広域
マレットゴルフ、ゲートボール他スポーツ	男性	70 代以上	盛岡広域
ボウリング、グラウンド・ゴルフ	男性	70 代以上	盛岡広域
ゲートボール	男性	70 代以上	盛岡広域
ゲートボール	男性	70 代以上	盛岡広域
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	盛岡広域
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	盛岡広域
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	盛岡広域
グラウンド・ゴルフ	男性	70 代以上	盛岡広域
100才体操	男性	70 代以上	盛岡広域
卓球、グラウンドゴルフ、ゴルフ	男性	70 代以上	県南広域
草刈機の長期的利用。軽スポーツの実施	男性	70 代以上	県南広域
室内で出来る簡単な筋トレ、血液循環の促進	男性	70 代以上	県南広域
軽スポーツの実施回数が増加(ゲートボール、グラウンドゴルフ...)	男性	70 代以上	県南広域
デイサービスにてリハビリ的にやっている	男性	70 代以上	県南広域
ゴルフ、グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	県南広域
ゴルフ	男性	70 代以上	県南広域
ゲートボール、グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	県南広域
ゲートボール、グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	県南広域
ゲートボール	男性	70 代以上	県南広域
ゲートボール	男性	70 代以上	県南広域
グラウンドゴルフ・ボランティア活動	男性	70 代以上	県南広域
グラウンドゴルフ、ゲートボール	男性	70 代以上	県南広域
グラウンド・ゴルフ	男性	70 代以上	県南広域
農作業、田畑に関わる全ての作業、草刈り作業。	男性	70 代以上	沿岸広域
卓球	男性	70 代以上	沿岸広域
週3回グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	沿岸広域
ゲートボール	男性	70 代以上	沿岸広域
ゲートボール	男性	70 代以上	沿岸広域
ゲートボール	男性	70 代以上	沿岸広域
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	沿岸広域
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	沿岸広域
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	沿岸広域
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	沿岸広域

Q11⑦その他	性別	年代	広域4区分
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	沿岸広域
ヨガ	男性	70 代以上	県北広域
パークゴルフ、グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	県北広域
パークゴルフ	男性	70 代以上	県北広域
ニュースポーツ(ゲートボール)	男性	70 代以上	県北広域
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	県北広域
グラウンドゴルフ	男性	70 代以上	県北広域
スポーツ活動	女性	20 代	県南広域
ダンス	女性	40 代	沿岸広域
自宅で健康器具を使って行なっている。	女性	60 代	盛岡広域
ゴルフ	女性	60 代	県南広域
卓球、ヨガ	女性	70 代以上	盛岡広域
水泳 週1回(2時間位)	女性	70 代以上	盛岡広域
趣味の登山。トレッキング	女性	70 代以上	盛岡広域
施設等での運動	女性	70 代以上	盛岡広域
軽体操(高齢者向き)	女性	70 代以上	盛岡広域
屋内、手すりを使って、往復歩行している。	女性	70 代以上	盛岡広域
ヨガ	女性	70 代以上	盛岡広域
マレットゴルフ、ゲートボール	女性	70 代以上	盛岡広域
マシントレーニング	女性	70 代以上	盛岡広域
プールでウォーキング	女性	70 代以上	盛岡広域
バス20分往復しグラウンドゴルフ練習に週4回行っている(3人~4人)	女性	70 代以上	盛岡広域
グラウンドゴルフ、パークゴルフ、卓球、バレーボール	女性	70 代以上	盛岡広域
グラウンドゴルフ	女性	70 代以上	盛岡広域
グラウンドゴルフ	女性	70 代以上	盛岡広域
グラウンドゴルフ	女性	70 代以上	盛岡広域
グラウンド・ゴルフ バドミントン	女性	70 代以上	盛岡広域
週2~3回グラウンドゴルフ(きちんとマスクを使用)	女性	70 代以上	県南広域
バレーボール	女性	70 代以上	県南広域
ゲートボール	女性	70 代以上	県南広域
毎朝ラジオ体操をして居る	女性	70 代以上	沿岸広域
百歳体操 通2回	女性	70 代以上	沿岸広域
通所リハビリに通っている。	女性	70 代以上	沿岸広域
卓球	女性	70 代以上	沿岸広域
卓球	女性	70 代以上	沿岸広域
弓矢	女性	70 代以上	沿岸広域
階段のぼり	女性	70 代以上	沿岸広域
ラージ・ボール。週2回	女性	70 代以上	沿岸広域
ペタンク、卓球	女性	70 代以上	沿岸広域
バドミントンを月2回、たまにグラウンドゴルフ	女性	70 代以上	沿岸広域
デイケアでリハビリ等	女性	70 代以上	沿岸広域
合唱	女性	70 代以上	沿岸広域
ゲートボール・パワーゴルフ	女性	70 代以上	県北広域

(8)「問 11⑨ 具体的にはどういう不調を感じるようになったか」の「その他」の回答

Q11⑨その他	性別	年代	広域4区分
直接痛み出してはいないが腰痛や首の痛みが懸念される	男性	70 代以上	盛岡広域
心原性脳こうそく(軽快、後遺症なし)	男性	70 代以上	県南広域
思わぬ処がおかしくなった。	男性	70 代以上	沿岸広域
歩数の減少により、体重↑が気になる	女性	40 代	県南広域
生理痛の悪化	女性	40 代	県南広域
杖2本使用し外出しているが、すり足のため少しの段差でつまづいたり、体幹バランスをくずし転倒することもある。	女性	70 代以上	盛岡広域
基礎疾患があるため	女性	70 代以上	盛岡広域
イライラする	女性	70 代以上	盛岡広域
肩の痛み	女性	70 代以上	県南広域
治療を行い乍ら、現在の生活に变りない。	女性	70 代以上	沿岸広域
何かするのがおっくう。やる気が減	女性	70 代以上	沿岸広域

(9)「問 13 新型コロナの影響が今後も続いた場合に、心配と感ずること」の「その他」の回答

Q13その他	性別	年代	広域4区分
コミュニティ活動の停滞	男性	60 代	沿岸広域
福祉団体の組織力の低下	男性	70 代以上	県南広域
福祉団体の活動低下と組織の停滞。	男性	70 代以上	県南広域
介護事業所の休みが増える	男性	70 代以上	沿岸広域
年金の減額	男性	70 代以上	沿岸広域
先の事はどうかかわからない	男性	70 代以上	県北広域
別居家族・親類、友人との交流減	女性	30 代	県南広域
日本全体の経済悪化による多方面への悪影響	女性	50 代	県南広域
経済の低迷	女性	50 代	県南広域
県外に住む家族との交流が制限される。冠婚葬祭の制限。	女性	50 代	沿岸広域
親族との交流	女性	50 代	沿岸広域
子供の就活	女性	50 代	県北広域
遠方にいる家族に会えない	女性	50 代	県北広域
子供が県外在住、2年以上会っていない。又、大病を患い治療中なので心配	女性	70 代以上	盛岡広域
子や孫との往来、友人とのコミュニケーション不足	女性	70 代以上	盛岡広域
自分は年金暮らし、孫の心配です。	女性	70 代以上	県南広域
遠くに住む家族や親せきとの交流	女性	70 代以上	県南広域
ボランティアをやっていることで、自分自身の元気があると思っているので	女性	70 代以上	県南広域
家族が帰って来られないこと	女性	70 代以上	県北広域
遠方の家族と会えない状況が続く	女性	70 代以上	県北広域

(10)「問 14 支援策として行政機関等において実施してほしいと考える施策」の「その他」の回答

Q14その他	性別	年代	広域4区分
ワクチン、薬等の確保	男性	50 代	県南広域
福祉団体の活動支援	男性	70 代以上	県南広域
少子高齢化の進展に対応する日本の医学研究、医療に携わる人員の養成、私立病院にたよる医療体制など日本政府のお粗末をなんとかしてほしい。	男性	70 代以上	県南広域
高齢者への経済的支援	男性	70 代以上	沿岸広域
特に家族代行支援のようなサービスの拡充と、それを利用しやすいようハードルをさげるとか。	女性	30 代	盛岡広域
ワクチン接種を予約なし又は、1日の接種人数を増やして欲しいです。(家族が予約とれていないです)	女性	50 代	県南広域
IT化の推進 オンライン	女性	50 代	県南広域
社会的弱者や生活困窮者への迅速できめ細かな支援	女性	60 代	盛岡広域
高齢者や一人暮らしにいち早い情報発信があれば助かります	女性	70 代以上	沿岸広域
・介護に関してきめこまかい策を。・健康維持のため散歩ウォーキングしても途中休めるイスやトイレがない。	女性	70 代以上	沿岸広域

(11)「問 15 新型コロナウイルス感染症に関するご意見など」の回答

Q15	性別	年代	広域4区分
コロナ感染対策を行うことは、人とのつながりが対面で出来なくなって来ているようです。そのため、飲食店等は大きな影響を受け、子供たち同士の交流にも支障が出ているようです。ワクチン接種を済ませた人を飲食店等で受け入れできる体制や、コロナ禍でも子供たちが楽しめるイベントや行事はできる範囲で開催してほしいです。	男性	30 代	盛岡広域
・行政からの適時適切な情報発信。・ワクチン確保のおくれを国のせいにはしないこと。(盛岡市)	男性	30 代	盛岡広域
初めてのことで、終息するまでは仕方がないかと思います。医療従事関係の方々の負担が心配です。	男性	40 代	沿岸広域
感染防止対策は、もちろんですが感染した人達に対する誹謗中傷は絶対に許してはならないと強く感じます。	男性	60 代	盛岡広域
Q県独自の緊急事態宣言の発令時期について・人流予想に基づき早めに(1か月前から)発令する(例)お盆→7月初め～ 年末→11月初め～ 注)人流予想は過去の人出を参考に大胆予想(危機管理の要諦一最悪シナリオを想定)	男性	60 代	盛岡広域

Q15	性別	年代	広域4区分
・長期間となるから行政の情報を発信願う。・対策で効果を上げている地域活動、職場、団体があれば情報発信する。・予防について新しい対策あれば教えて下さい。・県民みんな関心が高いので健康家族、地域活動の情報発信して下さい。	男性	60代	盛岡広域
《3回目の予防接種》自治体、医療機関等従来のほか、献血の様に、移動車両等を利用の上、大型ショッピングセンター(施設)の様な人が集まる(往来する)所において幅広い年齢層に対し接種できることを望みます！	男性	60代	盛岡広域
他人への批判ばかり多く、自分の反省点を見つめる精神力が欠如している。	男性	60代	県南広域
国内でワクチンが製造され、もっと早くワクチン接種できるようになれば良い。コロナの発生状況がもう少しわかりやすく、重傷者の報告で死亡したのかどうかよりわかりやすく報告してもらいたい。	男性	60代	県南広域
・変異株による免疫力の低下やブレークスルー感染が多くあるように報道されていますが、3回目の予防接種の必要性和安全性はどうなっているのでしょうか？	男性	60代	県南広域
・政府にはコロナに対する考え方、それに対応する政策、見通しをしっかりと国民にしめてほしい。・PCR検査がだれでも気軽に受けられるようにしてほしい。	男性	60代	県南広域
・メディアの報道が常に感染者数のみのケースが多く、ベットの数の状況、医療従事者の確保、治療薬の進捗状況、ワクチン接種の状況と、集団免疫との関係、全体の死者数とコロナ死者数との関係、指定感染症での現在の状況をかえることの意味など。又コロナ後遺症がどの程度あるのかなど、様々な観点からの報道をしてほしい。	男性	60代	県南広域
人流が薄れてきており、コミュニティが希薄化してきている。	男性	60代	沿岸広域
国内の製薬メーカーにより予防効果の高いワクチンと治療薬の開発を期待します。	男性	60代	沿岸広域
特に感染防止対策は重要と考えております。感染した場合に安定した医療体制は必要です。感染したことを罪と考えずに、安心して医療を受けられることで、新しい生活のあり方にも大きく影響してくると思います。	男性	60代	県北広域
マスコミや一部政党の批判の為の批判が目立ちすぎる。このような時こそ、協力し合って希望の持てる情報を発信してほしい。具体的に現実的な施策を小さくても良いから講じてほしい。公の施設を閉鎖し屋外のイス、テーブルも撤去するのは、やりすぎと思う。	男性	60代	県北広域
身近な所で感染症が増大していませんが、今後も気をゆるめることなく皆んなで対策をキチンと守ることを心掛けることが大切です。早く遠くにいる孫に会える日が来るといいですね。	男性	70代以上	盛岡広域
新型コロナウイルス感染症は、日本国内では変化は一時的で、大体元に戻ると思いますが、日本に入国する人達の感染症体制を完全に防止するようにして下さいよろしくお願いします。	男性	70代以上	盛岡広域
新型コロナウイルス感染症が始まってから、2年間学校、地域活動が中止に追い込まれています。終わりが、見えない状態が続いております。完全復活はできないと思います。元の状態に近い状態に戻すまで、でも行政の支援が必要です。大変だと思いますが、支援を止めずお願いします。	男性	70代以上	盛岡広域
新型コロナウイルス2回済、周囲の状況のこまかい情報がなく、死者も出ている状況で心配の時もあったが、変わらず生活が出来た。	男性	70代以上	盛岡広域
集団感染リスクの大きい職場での対策を機敏に行って欲しい(教育機関でのワクチン接種など)	男性	70代以上	盛岡広域
市民(国民)の生活様式が悪化し、職業・働き方・居住などの変化・転換が続き、新しい暮らし方、働き方、学び方になり、行政力(国・地方)の格差が見られるようになるのではないかな。	男性	70代以上	盛岡広域
高齢者にとって、PC、スマホを活用した情報の交換は厳しいと思う。さらには移動手段の支援も必要だと思う。対策が後手にならないよう今回を教訓としてマニュアル化していただきたい。	男性	70代以上	盛岡広域
高齢者で夫婦のみの生活者ですが、接種予約がとれないで苦労した経緯があります。既に夫婦とも2回接種済ですが、3回目はスムーズにできるように希望します。医療が逼迫し自宅療養中に死亡のニュースを聞くと恐怖を覚えます。早い収束と安定した医療体制の充実を願うものです。	男性	70代以上	盛岡広域
個人情報の問題もあるかもしれないが発症情報は、保健所エリアでの発表でなく、やはり市町村毎にしないと危機感がなく、発症をおさえずらいと思う。	男性	70代以上	盛岡広域
現在の感染症拡大・原因は、政府の対策不備が原因だと思います。新政権は、これらを根本的に見直し早急に対策を立てることを希望したい。	男性	70代以上	盛岡広域
感染防止対策を十分に理解し、行政の責任にせず、個人個人それぞれの責任のもとに防止対策を守ることが真の対策と思う。	男性	70代以上	盛岡広域
感染症から守る情報も大事ですが積極的にせめる(体づくり、メンタル強化)情報がないような気がする。	男性	70代以上	盛岡広域

Q15	性別	年代	広域4区分
感染拡大防止策として、感染状況を発表する時に、非公表は基本なくしてほしい。個人が判る「大字・字」名は非公表でもいいが、各市町村名は公表してもらいたい、移動する際の参考になる	男性	70代以上	盛岡広域
感染の状況や感染防止対策の情報発信をしてほしい。	男性	70代以上	盛岡広域
医療関係の抜本的法改正、整備が必要と思います。	男性	70代以上	盛岡広域
コロナ禍は2年位続くと思われるので、この間の情報提供・病院の確保・拡大に努める事が重要である。加えて、感染拡大防止策が重要と思われる。	男性	70代以上	盛岡広域
コロナ禍の中医療体制は大変な事と思いますが、私共高齢者は情報を得るすべはテレビ、新聞だけです。詳しい情報はわかりやすく迅速に伝えて頂きたいと思います。早期の終息を願っております。	男性	70代以上	盛岡広域
コロナの感染状況の市町村発表は非公表はなしでやってほしい。自分の所が良くわからない。	男性	70代以上	盛岡広域
この感染症がここまで影響があるとは当初信じられなかった。身体的・経済的に広く関わってきた。又、感染症に対する個々人の対応の仕方も深く考えさせられると同時に社会的経済的な動向にも大きく影響し世界全体を動かす脅威ともなり、世界の人口をも減少させ、一人一人の対応の仕方一つで感染の度合いが異なることから、感染症について学ばされたことが多かった。	男性	70代以上	盛岡広域
2回の感染症後の変異ウイルスの対応を考えると不安である	男性	70代以上	盛岡広域
1. 感染地域発表、保健所でなく市町村名で発表すべき2. クラスターも人数だけでなく店、企業名まで発表すべき3. 岩手は重症者なしと言いながら死者が多いが判定と治療法は確立しているのか？	男性	70代以上	盛岡広域
・感染症に感染した患者方で、規則に反した方は医療費を有料にしてほしい。	男性	70代以上	盛岡広域
・2回の接種後3回目の接種はあるのでしょうか・それは2回目以降どれ位の日数後でしょうか・前に打ったメーカーと異なった場合の不具合はあるのでしょうか	男性	70代以上	盛岡広域
地域活動において年間活動計画を優先的に「開催ありき」で、コロナ禍による「命を健康を守る」ために中止、自しゆくを求め、収束から終息するまで開催すべきではないと考えています。特に高齢者は基礎疾患を多くかかえ重症化リスクを併発させるおそれがあるからです。冬季を迎えコロナ禍ばかりでなくインフルエンザ併発による死亡例も報道されています。(乱筆にて失礼します。)	男性	70代以上	県南広域
葬儀等の参加者の制限や食事の取りやめ等、簡素な催しに変わって来た。これが定着することが懸念される。(簡略化の定着)	男性	70代以上	県南広域
接種日の予約に関して、「電話、インターネット等からの申込みに大変苦労した」とのお話を多くの皆さんから聞いておりますが、今後又、接種するようであれば、年齢別以外に、行政区割とか、日割なり、何等かの考慮をお願いしたいと思います。	男性	70代以上	県南広域
新型コロナ感染者対策や状況等の発信は充実しているが、肝心の個人の症状等への発信が乏しい。例えば、感染症になったと感じるのは、何がどうした時かなどである。体調がこうなった時とか、意識がこうなった時とか個人レベルの変化の詳細がほしい。又、そのための予防方策などの情報の発信もほしい。要するに、人々一般を考えるのではなく、年代別・性別・属性別に個人が対策を講ずるべき情報がほしい。それが欠けていると感ずる。	男性	70代以上	県南広域
新型コロナウイルス感染症に効く一発注射で直るワクチンを望む。	男性	70代以上	県南広域
新型コロナウイルス感染が日本人の心情に変化を与え、これでよいのでしょうか？と思います。	男性	70代以上	県南広域
新型コロナウイルスの感染者の地域や飲食店等の公表があった方がよい。注意が増し拡大が少なくなると思う。たとえば、飲食店(感染者あり)が知らなくて広がっているのが現状ではないか。	男性	70代以上	県南広域
新型コロナウイルスに対する事は専門家でも答えが出ないので、先を見るのがむずかしい。	男性	70代以上	県南広域
市町村別感染状況の統一発表。	男性	70代以上	県南広域
今後もしばらく感染症は続くと思われます。よって医療体制の確保は無論のこと防止対策をもう数年続けることが大事だと思います。3回目までワクチン接種を続行して欲しい	男性	70代以上	県南広域
高齢者団体、障害児者団体の活動を実施している関係者はほぼボランティアである。組織の運営に対して、積極的支援を要請したい。例えば本調査についても、老人クラブの組織低下、クラブ員の減少が激しく高齢者の本当の意見が反映されるのが心配である。「コロナ」の現状に関係なく調査と支援は重要である。	男性	70代以上	県南広域
行政の対応はまったく遅いお迅速な対応を望む。	男性	70代以上	県南広域
個人情報の保護との名目で感染がどこにてクラスターをしているかが明確にされていないので感染が増えるのではありませんか。	男性	70代以上	県南広域

Q15	性別	年代	広域4区分
個人情報に配慮は必要ですが、「コロナ」の発生箇所、原因については出来るだけ詳細に発表願いたい。中部保険所管内だけでは個人としての対策がむずかしい。	男性	70 代以上	県南広域
規制や施策の面で、市・町・村に差が出ないように進めてほしい。今回のワクチン接種でも接種率の高い所と低いところがあるとTVで知った。県の主導で動いた方が良いのでは？	男性	70 代以上	県南広域
感染防止対策は重要ですが、市の施設の利用中止などありました。個人々々の感染対策を徹底し、行政もそれに協力し、スポーツ活動(室外)などは許可してもよいと思う。地域の集会も中止、あれもこれも中止では、特に運動不足の高齢者は会話の時間も奪われ、体調不良になるのでは。地域によって感染防止対策を工夫すべきだと思います。感染防止対策が裏目に出ない様！！	男性	70 代以上	県南広域
感染者、それを受け入れる医療機関とその従事者や家族に対する誹謗中傷、更には児童生徒のいじめ等…。これらの事象はコロナ以上に大問題を感じる。他人を思いやれない人の多いことに心が痛み！	男性	70 代以上	県南広域
感染拡大防止のタイムリーな対応の徹底。初期対応、接種対象は感染リスクの高い年令から実施	男性	70 代以上	県南広域
外出の自しゆくによる、近隣とのコミュニケーションの欠落が心配。緊急事態宣言とか再々の繰返しはやめること、厳しく初期段階で指示し、対応を求めることが重要です。(繰返しの指示はまたかと狼の■声となる。)	男性	70 代以上	県南広域
家族はもちろん、皆、神経を使っている。デイサービスに行っているが、すごく気のくばり様がわかる。アクリル板マスクはもちろん、消毒の有、席の開け方、米寿に近い私は、感謝しかない。	男性	70 代以上	県南広域
ワクチン等の安定供給	男性	70 代以上	県南広域
コロナへの対応として、給付金一家(一世帯)に5万円いただけるとありがたいです。	男性	70 代以上	県南広域
コロナでカラオケに行く事ができなくなった。一緒に行っていた友達も行かなくなった。今の状況になってしまったので、行きたいと思うこともなくなった。	男性	70 代以上	県南広域
コロナウイルスの影響によりあらゆる行事が自粛ではなく中止に追い込まれ、高齢者はそれだけでなく運動不足と会話不足で行き場の無い状態であり、家族とのコミュニケーションも悪くなり家庭の秩序が壊れかかって来ている事が心配である。小さい子供達もかわいそうでならない。	男性	70 代以上	県南広域
コロナウイルスによる感染者は、インフルエンザのように、落ち着までには数年続くと思います、ですが世の中の経済が回復するためには、感染対策をしっかりと取り規制を少しづつゆるめ、飲食、旅行、イベント等に皆さんが参加出来るようにしなければならぬと思います。	男性	70 代以上	県南広域
ウイルス感染検査を充実し、感染源を元から断つ(保健所機能の充実)	男性	70 代以上	県南広域
①厚労省の組織を見直し、厚生省、労働省に分離し双方の権限強化を図る。②厚生省は、健康を維持・増進させる為の医療体制を強化する。③医療従事者の生活を養護する。④医療弱者と困窮者を救う。⑤フレイル予防対策に万全を期す。	男性	70 代以上	県南広域
早期の終息を願う！	男性	70 代以上	沿岸広域
新型コロナウイルス感染症拡大を抑え込んだのは岩手県知事以外いません。ありがとうございました。	男性	70 代以上	沿岸広域
今後のためにも、出来るだけ早急に全国民がワクチンを接種できるように、他国に頼るのではなく自国でも対応できるように体制の確立をしてほしい。	男性	70 代以上	沿岸広域
今までの個々の感染防止対策の継続	男性	70 代以上	沿岸広域
個人個人で注意して行くべきと思う	男性	70 代以上	沿岸広域
個々人の義務について、もう少し強制的な施策を打つべきで、余り人様に囚われなく、国民を説得すべきと思料します。	男性	70 代以上	沿岸広域
県独自の医療体制の拡充。臨時的テント村の設置。(国は当てにならない)PCR検査キットが自由に使える方法。年金受給者に10万円、アベノマスクは不必要であった。→医療従事者の手厚い支給を望む。	男性	70 代以上	沿岸広域
係りの皆様ご苦労様です。お体を大切に。	男性	70 代以上	沿岸広域
感染者の誹謗中傷は厳禁ですが、感染拡大防止の為には公表が必要と思う。	男性	70 代以上	沿岸広域
感染者について、個人情報で開示できないと思うが、〇〇市、〇〇町くらい公表できないものか？。(注意力が上がると思います)	男性	70 代以上	沿岸広域
感染して自宅療養では家族に迷惑をかける。入院体制をしっかりしてほしい。コロナワクチンをスピーディに若者に早く接種してほしい。	男性	70 代以上	沿岸広域
感染したことが現れるマスクを開発すること。	男性	70 代以上	沿岸広域
医療関係にの従事者のご苦労に感謝です	男性	70 代以上	沿岸広域
ワクチン注射を急ぐ必要があります。	男性	70 代以上	沿岸広域

Q15	性別	年代	広域4区分
スポーツ活動や、芸能活動が出来なくなり、老人のフレイルの問題である。私でも種々考えてやっているが担当の職員不足もあり、市内全域に出来ているかどうか心配である。	男性	70 代以上	沿岸広域
コロナ感染が一日も早く収束し、元の生活に戻れるよう願っています。	男性	70 代以上	沿岸広域
コロナを心配して行事などに参加しない会員が多くなり、行事等が中止になりました。しかし、町内の人達は皆元気で安心しました。	男性	70 代以上	沿岸広域
コロナもやっと減少傾向に推移しております。でも、まだまだ油断が出来ません。特に私たち高齢者にはこれからの寒い時期を迎え一層の注意が必要です。又、ワクチン接種(2回)済みだからと安心はできません。次回接種は来年とか？行政には早め早めの対策をお願いしたい。私たちも感染対策には万全を期して安全、健康に努めていきたいと思います。	男性	70 代以上	沿岸広域
コロナウイルス根絶のため取組むと200年以上かかるといわれているので、世界的研究するシステム、国連の名で取組む必要がある。(日本は先駆者となってほしい)	男性	70 代以上	沿岸広域
コロナウイルス感染の出現により、国民の命を守るための、環境整備が非常に脆弱としか言えない状況が如実に現れた。第一に保健所の全国的な一律削減、医療大国と言われながらも、ワクチンの研究製造に取り組んでいないこと、これ等の基礎研究分野への政府の投資支援が諸外国にくらべ充実していない。ワクチン接種は第一に、医療従事者、基礎疾患のある人、幼保、小、中、高、大の教員、地方公務員、国家公務員、事業所等の接客部門であり、高齢者は次順位であると思える。	男性	70 代以上	沿岸広域
いつでも、何回でも無料で、PCR検査が出来るようにしてほしい。	男性	70 代以上	沿岸広域
◎ある程度、回復には時間かかるだろうが、ワクチンでも実施に地域格差が大きすぎる。(あり得ない)◎感染症は、これからも次々と発生するでしょう。これを契機にキチンとした体制を構築すべき。◎日本人は、キチンと協力する姿勢にある。	男性	70 代以上	沿岸広域
二戸市内での感染者が2021. 10. 2付岩手日報誌上で2020年7月から今年9月末までに34人と公表されましたが、10月7日現在「ゼロ」になっており他市町村との不公平さを感じます。感染症対応の意識にも悪影響を与えているので正しい報道に至急直すべきです。二戸市内スーパーには他県ナンバーの車が毎日多数来ており安心安全な街と映っていると思われませんが実態とは違っており一市民としては心苦しいかぎりです。	男性	70 代以上	県北広域
身近にある保健、医療、施設(機能)の充実を願います。コロナ禍で医療の大切さを改めて感じました。医療施設の統廃合はやめていただきたいと思ひますし、薬品研究への体制も国内にしっかりと育てていくべきだとも痛感しました。	男性	70 代以上	県北広域
私は、村のグラウンドゴルフ協会に入り多目的運動場でプレイしています、コロナの影響でマスクの使用や、検温をして、プレイを楽しみ運動をしていましたが最近村の施設は使用中止になり毎日の健康作りに困っています。早く、コロナが治まってほしいと思います。	男性	70 代以上	県北広域
感染症が治癒した後の後遺症についての認識が低いように思われる。後遺症の恐ろしさについて、もっと周知する必要がある、それが個々のコロナウイルスについての注意力を助長する。	男性	70 代以上	県北広域
ライブ、コンサート、フェス、舞台観劇などに自由に行けないのがとてもつらい。田舎の方がより外出やイベント参加への偏見が多くあるように感じる。	女性	20 代	県南広域
孤立に関する支援を年齢に関係なく検討し、実施していく必要があると思う。	女性	30 代	県南広域
感染者の保健所管内でなく市町村の公表「保健所管内」にする意図が不明。該当していない市町村に迷惑だし市町村公表ならそこになるべく外出しないようにと思える。若者のワクチン接種率が低いのでなくコールセンターがつかないのです。打たないわけではありませぬ。予約埋まったなら「こみあつて」でなく「受付終了」のアナウンスにしてほしい	女性	30 代	県南広域
感染者が増える前にロックダウンすべきだったと思う。その間の保証も(金銭的な所もふくめ)国として行えば、国民も外出自粛などしっかり行っただろうと思う。	女性	30 代	県南広域
・感染症によって何事も満足に出きなくなってしまう、大切な時期を失ってしまった人は多いと思う。そのようなことが二度とないように願いたい。ワクチンにしても薬にしても日本は遅い！！・コロナで、市の施設(体育館)を止めているが、学校の部活での利用も止められると、けっきょく学校の体育館を、倍の人数で使うことになり密です。部活だけには利用許可を！！	女性	30 代	県南広域
・オンラインの活用が推奨されているが、職場毎に環境や技術の偏りがあるので外部からも指導等あれば良い。・“不要不急の外出”に出張が含まれないケースが多い。個人の判断に委ねるなら出張後自宅待機の期間を十分に確保するなど職場の配慮が必要。・コロナが落ちついてその後も消費拡大の取組を行ってほしい。	女性	30 代	県南広域

Q15	性別	年代	広域4区分
妊娠中のワクチン接種だったので、最初主治医から「お勧めしない」と言われていたが、間もなく接種するよう勧められたり…と悩みがつきなかった。産後、子どもにどう影響するかも、ずっと心配。子どもがいる家庭は外出もできないし、仕事の日に子どもを預けて(感染がこわいので)買物しようと思っても、保育所からは「仕事の休みの日は極力家庭保育して下さい」と言われる。それも仕方のないことだと思うが、地域によっては、買物の宅配サービスが生協のみだったりして、物価が高い。充実させてほしい。	女性	30代	沿岸広域
ワクチン接種 全国でもワーストとききました。他県のいいやり方をどんどん取り入れて安心できるように取り組んで頂きたい。	女性	40代	盛岡広域
行政・医療に関わる方々には頭が下がる思いです。介護業界も頑張ります！！	女性	40代	県南広域
公共施設が利用できない期間等に高校の施設を利用して大会をするのはどうなのだろうか。公共施設利用不可は、コロナ状況により措置の認識だったが、少人数とはいえ開催するのは、コロナへの意識がうすく賛成しかねるが県として了解、良しとしている事なのだろうか、不信を感じる。	女性	40代	県南広域
基礎疾患を持つ子供へのワクチン接種について。効果よりも、副反応が心配。新しいワクチンなので、打った子が将来的にどうなるか分からないという長期的な不安がある。状況的に打った方がよいことはなんとなく理解しているが、これまでの予防接種とは違い、安全性についてかなり不安です。命にかかわるような重篤な症状であっても関係が認められないというのが現実ですの…	女性	40代	県南広域
いつ終わるのが先が見えない。介護職なので、感染がこわい。ちょっと具合がわるくても、がまんして出勤してしまう。具合わるいと言えない。	女性	40代	沿岸広域
早く、新型コロナウイルス感染症が落ちつくと思いたいです。子どもへの感染がとても心配です。	女性	40代	県北広域
ワクチンだけでなく、治療薬が早くできればと、願っています。	女性	50代	盛岡広域
正しい情報の提共と、データを収集して、今後への生活にやく立ててほしい、Withコロナを目指してほしい。コロナのために、人間らしい生活を失ってほしくない。	女性	50代	盛岡広域
国産ワクチン、治療薬が早期に開発されると良い。	女性	50代	県南広域
学生の中でも、大学生には支援(10万円)があるが、専門学生は保障されない。(学校法人ではない専門学校)ひとり親としてはそのような差に心を痛める。平等であってほしい。未来を担う子には変わりないはず。	女性	50代	県南広域
感染した人が誹謗中傷され、自殺者まで出る社会構造や、意識の改革が必要だと思う。この感染症の一番悪いところは、人の心を傷つけ、人の心を蝕むことで、将来にわたる人との交流を寸断することです。県外に行かなければクラスターがおきなかったのに、あの人のせい、他の業種は制限受けないのに飲食店だけ…そして倒産。コロナウィルス感染症が沈静化したあとの、人々の心の痛みも心配します。	女性	50代	沿岸広域
若い子育て世帯や子どもたちを支援してあげてほしいです。体育館、図書館等の公共機関が閉まったり、スポーツ文化のイベントがなくなったり、我慢することが多くてかわいそうに感じます。	女性	50代	県北広域
感染状況(クラスター)について、具体的に公表してほしい。	女性	50代	県北広域
ワクチン対策をもっとスムーズにできるようにして欲しい。	女性	50代	県北広域
本当に生活の苦しい人に支援が届くようにして欲しいです。バラマキは、将来の子供達に借金を押しつけるだけではないでしょうか。	女性	60代	盛岡広域
昨年4月頃より行事、研修等すべて中止となり、外出する機会や会話をする機会が減りました。特に高齢者のストレスが深刻だと感じています。70代後半～80代の独居の方の言動に大きな変化が見られることから以前は健康に問題なかった方が社会との関りや人との会話が減少した事により認知症のような症状になっている事にとても危機感を感じています。コロナ感染予防対策は重要ですが、介護人口が増える事も心配です。県として何か対策をお願いします。	女性	60代	盛岡広域
一人一人がコロナに絶対感染しないという強い意識を持って生活することが大事だと思います	女性	60代	盛岡広域
医療者とかに3回目接種	女性	60代	盛岡広域
これから先も新型コロナの完全消滅はないと想像するのでインフルエンザのようにワクチン接種により重とくにならない程度になれば良いにではと思います。	女性	60代	盛岡広域
1. 感染者の発表は、保健所管内ではなく居住する自治体名にしてほしい。2. 法令や条例等で、感染者やその家族への差別・中傷を許さないという体制を作る必要がある。3. 感染者の家族が外出制限されている期間、買物などの代行や心配事の相談などに対応するしくみを作る。4. 親が感染した時の子供の世話や同居の高齢者の介護について、システムとして整備しておく必要がある。5. 感染症に関する正しい情報を日常的に発信しておく。	女性	60代	盛岡広域

Q15	性別	年代	広域4区分
病気そのものよりも、差別や偏見により傷つくことがつらいと思います。ひとりひとりが自分が感染していたら！という気持ちになって生活できればと思います。医療の崩壊が決していないように政府の対応を強くお願いしたいと思います。	女性	60代	県南広域
高齢者のふれあいデイサービス開催の協力者をしております。今年は、昨年よりも集まる機会が少なくなり、独居高齢者の方で認知症状が進んできたと思われる方がいらっしゃいます。	女性	60代	県南広域
コロナワクチンが全国民に早く行き渡る事と、自己防衛にて1日も早くコロナウイルスに収束を願ってます。	女性	60代	県南広域
コロナウイルスに対しての行政の医療体制のとりくみが遅いです。	女性	60代	県南広域
インフルエンザのようにかかっても症状の悪化を防ぐ薬の開発を急いでほしいです。	女性	60代	県南広域
旅行や外食等いろいろな企画をたてるのも良いけど、感染を拡大しないように。本当に旅行等行きたい人は、正規の価格でも行くと思う。	女性	60代	沿岸広域
安心して外出をしたい。	女性	60代	沿岸広域
ワクチン予約の方法を再検討してほしい。今年のやり方は早いもの勝ちのような状態で、なかなか予約できなかった。特に高齢者世帯は電話に頼るしかなく、一日中電話したがつながらなかったということも聞いた。もっと確実に予約できる方法(たとえば、住田町方式)を考えてほしい。	女性	60代	沿岸広域
ワクチン接種が希望する人すべてに一日でも早く届くようお願いしたいです。	女性	60代	沿岸広域
ふだん高齢者二人との三人暮らしなので、コロナ禍になっても以前とほとんど変化ない生活をしています。子供たちが皆、県外なので往来できず淋しさはあります。色々考えずストレス貼めないように生活を続けていこうと思うだけです。“成るように成る”	女性	60代	沿岸広域
高令者から先に予防注射を行った。今後、若い世代への取組を重視し、働く世代等へ優先的に行う事で改善へ繋がるのでは？高令者を支える世代が減る様であれば新しい未来も望めない。	女性	60代	県北広域
体の痛みのため、タクシーを利用する機会が多い。その度、感染の不安を感じる。タクシー業者など、客を相手となる方々には、客の目に見える感染対策を続けていただきたい。	女性	70代以上	盛岡広域
全国で感染者0にならない限り、感染リスクはあると思う。緊急事態宣言が解除され、人の往来が増えたら再び感染者が増えるのではないかと、心配と不安の日々です。	女性	70代以上	盛岡広域
盛岡市、ワクチンが足りず、受けられない人もいる。みんなが受けられるような体制にしてほしい。3回目のワクチン... 不足にならないよう、確保してほしいです。	女性	70代以上	盛岡広域
新型コロナウイルス感染症いつまで続くのやら心配でなりません、先が見えるのでしょうか。	女性	70代以上	盛岡広域
若い人達へのワクチン接種も早くおわり、飲薬がでてくればと思っています。	女性	70代以上	盛岡広域
紫波町は予防注射も早く受けられましたし、会議、集会など気をつけているせいか、いっさい何もなく、家で過ごす日が多くなりました。私は、子供達の事が一番心配です。皆んななどの子も何ごともなく、平穏な幸せな日々を送ってほしいと願っております。特にコロナのせいで親が仕事がなく、満足に食事とれないなんて絶対困ります。そんな事がないようにお願いしたい！！	女性	70代以上	盛岡広域
私は年金をいただいているので、経済的に困ってないが、中小企業や自営業者、仕事を失って、収入がなくなった人達への援助は、必要だと思う。	女性	70代以上	盛岡広域
国産ワクチンそして治療薬が出来、何の心配も無い暮らしが来ますように、賢い日本人なら”ソロソロできそう”国の全力を注いで下さい。期待してます。	女性	70代以上	盛岡広域
考えた事もない状態が永く続き、全ての生活に不安がつきまといます。仕事、家庭、教育どれをとってもないがしろに出来ません。私の様に年金生活者は、仕事、教育に直接関わりのない様に思う反面、子や孫への心配がたえません。せめて感染した時に安心して診てもらえる医療体制が整えられる事を願うばかりです。コロナはなくなる様ない気がします。それ故に、医療体制の確立、薬剤の開発を一日でも早くお願いします。	女性	70代以上	盛岡広域
個人個人、皆で気をつけて早く終る事を願ってます。	女性	70代以上	盛岡広域
岩手県内で終息に向かっていて、とてもよろこばしいと思います。只、変異株の増加には気をしめてとり組みたいと胆にめいじています。	女性	70代以上	盛岡広域
岩手県はコロナの予防接種が遅くとても心配しています。若い人達にも早く接種出来る様願っています。	女性	70代以上	盛岡広域
岩手県のワクチン接種は、なぜ遅いのか？岩手県民全体の人口把握と、それにあったワクチンの確保を、はじめに全体像として、取り組めば、遅くて、あたふたすることはないと思う、これは国にも同じことがいえると思います	女性	70代以上	盛岡広域
感染者の居住市町村を非公表とするのは、個人情報重視してと思われるが、感染拡大防止する意味ではいかがな考えでしょう。身近に感染者がいると個人個人の注意喚起の仕方が違ってくるのではないかなと思う	女性	70代以上	盛岡広域

Q15	性別	年代	広域4区分
一日も早く元の生活に戻るように心がけています。	女性	70代以上	盛岡広域
一日も早い収束を望んでいます。	女性	70代以上	盛岡広域
ワクチン接種が行き渡ってもウイズコロナの生活は続く。変異株が次々と出てくる可能性もある。が、しかし来年もマスク生活が続くのはうんざり。	女性	70代以上	盛岡広域
ワクチン接種がスムーズに行われなかった様に感じています。地区によって違った様です。	女性	70代以上	盛岡広域
ワクチンは若い人を中心に行ってほしかったです。若い人が早くしていたらこんなにひろがらなかったと思う	女性	70代以上	盛岡広域
ワクチンの早期接種を望みます。	女性	70代以上	盛岡広域
もう少し早くワクチンの準備してほしかった。申し込みにすごく大変でした。	女性	70代以上	盛岡広域
なぜこう云う病気が出たのかこれにたいしてわれわれはどのような生活して行けばよいのかコロナウイルスがいつまで続くのか心配である	女性	70代以上	盛岡広域
コロナワクチン接種を高齢者優先していただいたことは大変ありがたいと思う反面、接種の順番が違うのでは？との思いもありました。医療従事者、福祉施設職員、学校関係者を最優先するのは良かったとして、次は実質世の中を動かしている現役世代(20代～60代)を優先にするべきだったのではと。若い人達が感染して亡くなったり、生活困窮のニュースを見るにつけ、心が痛みます。年金生活者や高齢者は外出自粛と言われれば、とりあえずその通りに出来るし…と私は思いました。とにかく働らき盛りの人達の生命と生活を守って、経済を回すことが大事ではないかと思えます。	女性	70代以上	盛岡広域
コロナにかかり入院、退院してきた人への交流について。元気づける為に、その家に訪問したいが。退院して来ているから、コーヒータイトムなどいいですね？	女性	70代以上	盛岡広域
コロナウイルスに感染しない様に毎日注意して生活しております。一日も早く元の生活が出来る様祈ってます。	女性	70代以上	盛岡広域
これは自分自身が気をつければ問題ない事ですが中には指導を守らない人がいるから大きく広がると思えます。特に都会の若者の行動をテレビで見ていると頭に來ています、マナーがなくなつてます！！私達年よりもきちんと言われた事は守るのねに…ね。	女性	70代以上	盛岡広域
うがい、マスク、手指消毒は、あたり前の事、それ以外に心が安らぐ事を指導してほしい。	女性	70代以上	盛岡広域
9月期限で宣言。まん延防止全面解除に到りました。感染対策には油断する事なく、情報を見極め乍ら行動に移す事が大事ななと思っております。	女性	70代以上	盛岡広域
1. 仕事(収入)を失った人への支援。2. 子ども 就学年令の人たちへの援助。3. 医療体制の就実	女性	70代以上	盛岡広域
目にみえないものとのたたかいですので、「気をつける」といってしまっていますが、むづかしく大変だと思っている、とにかく、手洗いは流水だけでなく石けんをつかってこまめにする様心がけています。(忘れてはならん)といつも心にいい聴かせています。	女性	70代以上	県南広域
早く収めてくれる事を願っています。親類や子、孫に合わないうちに、ボケてしまうのかと、残念です。	女性	70代以上	県南広域
新型コロナウイルス感染症がこんなに長く続くとは思ってもいなかったです。なんのウイルスも恐い病気です。世の中はコロナ禍で元気な、高齢者もコロナに負けないとうに、自分に合った体づくり運動しながら、食事をし地域活動が出きるの日が待ちどしい。若いお父さん、お母さん、幼子に感染しないように、家族を守って自分の身を守り、行動していただきたいと思いました。	女性	70代以上	県南広域
小さな村(町)での生活ですが1人1人が、ここに気をつけ、明るい生活が出来る事を、願い今はしずかに、生活しております。キッ、明るい日がくるでしょう！皆さんで、頑張りましょうね！	女性	70代以上	県南広域
除菌用品の購入が大幅に増加。消費が早く、高いので、支出が多くなる。	女性	70代以上	県南広域
今までのように小さな事例でも情報の発信をお願いします。	女性	70代以上	県南広域
元に戻ってほしいと願うばかりです。	女性	70代以上	県南広域
コロナが早く、収束してくれれば良いです。二年目になったら、つらくなりました。	女性	70代以上	県南広域
コロナウイルスの為会社関係の仕事が少なくまっております。	女性	70代以上	県南広域
・地域活動が少なくなり…楽しみが少ない。つまらない毎日です。	女性	70代以上	県南広域
対策は必要だとは思いますが、あまり過剰になりすぎるのは、どうかと思います。冷静な対応が大事ではないでしょうか？	女性	70代以上	沿岸広域
早く落ち着いて、安心して交流ができるようになってほしい。親せきや友人、子供たちと自由に会えるようになってほしい。	女性	70代以上	沿岸広域
絶対にコロナウイルスには感染したくないと気を付けております。感染すると後遺症が大変と聞いているので、早くコロナウイルスが収束することを願ってます。地域活動が再会して、人々との交流が出来るようになってほしいです。	女性	70代以上	沿岸広域
新型コロナウイルス感染が1時的に減少しても、解放せず慎重な対策を行ってほしい。	女性	70代以上	沿岸広域

Q15	性別	年代	広域4区分
治療薬を早く作って下さる様に願います。	女性	70代以上	沿岸広域
最近は皆さん(スマホ)の生活ですが90才にもなるとスマホも持っていないし使い方もわからず(接種の予約)に大変苦労しました。感染予防等にもおくれを取りこまりました。老人クラブの会員どうしていろいろ話し合って予防につとめました。	女性	70代以上	沿岸広域
国は生活こんきゅう者、その他支援事業で財政困難だろうが、年金を減らさないで欲しい。むしろ高額所得者の税金を上げ、大臣の給料を引き下げるべきではないか。	女性	70代以上	沿岸広域
高齢者の集まる機会が無くなったので、ひとりひとりが孤独におちいていると思う。不活発な状況が続いているので、情報やつながっていく方法を考えてほしい。	女性	70代以上	沿岸広域
高齢者の行事を開催してほしい。	女性	70代以上	沿岸広域
感染しないじゃなくて、感染させない個人の責任を感じます。スポーツー諸にしてみても、いっしょうけんめいに消毒してる人もいれば、なーに大丈夫、大丈夫とー。その変の責任の重みを考えてほしい。	女性	70代以上	沿岸広域
医療関係者、保健所、各役所関係者の各職員の皆様、日頃大変御苦労に感謝しております。各自生活習慣に緊急事態宣言解除後更にも気を引き締めてやっていきましょう。3回目のコロナ予防接種は高齢者は簡単に出来る様に宜しく願い致します。	女性	70代以上	沿岸広域
ぜん息持ちなので、かかる(コロナ禍)と大変。早く終息するのを待つのみです。予防接種は受けたのでまず安心。若い人々達の予防接種が完全に終るのを願うのみです。	女性	70代以上	沿岸広域
コロナの感染は自分で自分を防止対策すること	女性	70代以上	沿岸広域
通院や買い物に行くときの交通手段の支援をしてほしい。	女性	70代以上	県北広域
私は75才過ぎているのでわからないですが若い人達は大変だと思います。	女性	70代以上	県北広域
行政機関、各保健所において、感染症者数の正確な数字の掲載を望む。	女性	70代以上	県北広域
兄が神奈川県、孫が仙台に居るけど正月もお盆も逢う事が出来なくてとても残念に思っています。	女性	70代以上	県北広域
温泉やレジャーが出せない事がストレスになります。	女性	70代以上	県北広域
医療機関や医師を減らしてきた影響があると思う。九戸村でも医師がいなくて大変。今後また感染拡大したら困る。医療体制を拡充してほしい。	女性	70代以上	県北広域
・接種会場まで行くのに大変。地域コミュニティで(予防)接種できるといいです。(公民館等)※田舎なので地域毎にまとめて公民館等で予防接種や予防方法(実施)と予防雑貨の紹介(販売もOK)があればいいです。	女性	70代以上	県北広域

2. 調査票

コロナ禍における高齢者等の意識や行動等についてのアンケート調査

GT表

(Nの表記のない場合はN=794を100として%を算出)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響下において、岩手県内では7月上旬のデルタ株確認以降、2桁の新規感染者が確認される日が増え、また特定の地域に限らず全県的に感染が確認されて、県では8月12日に緊急事態宣言を発令するなど、予断を許さない状況が続いています。

このようなコロナ禍において、高齢者等の日常生活に関する心配事や、外出自粛による健康や生活全般への影響などについて、その現状等を把握することが重要であり、新型コロナウイルス感染症の影響が中長期的に続く予想される中、本調査において「コロナ禍における高齢者等の意識や行動等」について県民皆様の現状やご意見等を把握し、今後の各方策や計画などに反映させることを目的に、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙のところまことに恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和3年9月

公益財団法人いきいき岩手支援財団理事長

【ご回答にあたって】

- ◆ ご質問項目は15問となります。なお、複数の項目がある設問が2つあります。
- ◆ 団体等の方で、その代表の方又は事務局の方でも対応可能な方はご回答をお願いします。
- ◆ 無記名でご回答ください。
※回収されたアンケート票は、統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。また、このアンケートは無記名のため、個人が特定されることはありません。
- ◆ ご面倒ですが、令和3年10月22日(金)までにご回答ください。
- ◆ 回答は、返信用封筒(切手は不要です)に入れて封をし、郵便ポストへ投函してください。
- ◆ 本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。
公益財団法人いきいき岩手支援財団 総務・健康支援課
電話：019-626-0196 FAX：019-625-7494

あなたご自身のことについて

問1 ご自身のことについて、それぞれの項目ごとに当てはまるもの1つに○をつけてください。

①性別	48.1 男性	51.6 女性	na 0.3					
②年齢	0.0 20 歳未満	1.4 20～29 歳	4.3 30～39 歳	5.7 40～49 歳	6.3 50～59 歳	12.1 60～69 歳	70.3 70 歳以上	na 0.0
③居住地域	<u>詳細は別紙参照</u> 市・町・村							
	31.4 盛岡広域	30.2 県南広域	23.9 沿岸広域	14.4 県北広域	na 0.1			
④就労状況 (職業)	13.7 正社員	5.2 契約社員・派遣社員	6.2 パート・アルバイト	4.5 自営業	59.9 年金生活者	6.2 無職（主婦・夫、学生含む）	4.0 その他（	na 0.3
⑤家族構成	16.6 一人暮らし	28.0 親子2世代（子と同居）	6.9 親子2世代（親と同居）	12.6 3世代以上同居	34.4 夫婦のみ	0.4 その他	na 1.1	

コロナ禍における現在の日常生活について

問2 現在の日常生活において、当てはまるものすべてに○を付けてください。

- 84.1 手洗い・うがいなどを、こまめにするようになった
 25.9 マスクを室内でも常時するようになった
 95.7 外出時にマスクの装着を欠かさなくなった
 30.4 住居内の除菌・滅菌をこまめにするようになった
 53.4 室内喚起をこまめにするようになった
 34.8 外出をほとんどしなくなった 8.2 病院への通院回数が減った
 37.7 運動不足を感じるようになった 30.1 ストレスを感じるが増えた
 3.9 生活時間が乱れた 7.9 自宅でお酒を飲むが増えた
 9.6 料理(自炊)の頻度・1回あたりの作る量が増えた
 28.3 家の中のものを見直し、整理整頓した
 0.3 子どもや孫などが避難してきて生活を一緒にする家族が増えた
 17.5 家族で過ごす時間が増えた
 6.4 その他()
 0.9 特に意識や行動に変化はなかった na 0.0

問3 現在の外出頻度について、昨年と比べて、次の①から⑨について、項目ごとに当てはまるもの1つに○をつけてください。

① 食料品・生活必需品の買物				
5.7 大いに減少した	24.9 やや減少した	57.9 変わらない		
7.6 やや増加した	2.4 大幅に増加した	1.5 わからない	na	0.0
② 通勤・通学				
1.5 大いに減少した	2.3 やや減少した	41.7 変わらない		
0.3 やや増加した	0.1 大幅に増加した	9.9 わからない	na	44.2
③ 子育て関連施設（保育所等）				
1.4 大いに減少した	3.4 やや減少した	21.4 変わらない		
0.1 やや増加した	0.0 大幅に増加した	17.5 わからない	na	56.2
④ 病院・薬局				
1.0 大いに減少した	12.5 やや減少した	80.2 変わらない		
2.9 やや増加した	0.8 大幅に増加した	2.5 わからない	na	0.1
⑤ 友人・知人と会う				
41.4 大いに減少した	32.6 やや減少した	23.8 変わらない		
0.3 やや増加した	0.6 大幅に増加した	1.1 わからない	na	0.1
⑥ 役所での手続等				
3.4 大いに減少した	10.7 やや減少した	79.3 変わらない		
0.5 やや増加した	0.1 大幅に増加した	5.3 わからない	na	0.6
⑦ 運動・スポーツ				
18.9 大いに減少した	34.0 やや減少した	40.1 変わらない		
1.8 やや増加した	0.3 大幅に増加した	4.8 わからない	na	0.3
⑧ 余暇活動				
24.9 大いに減少した	30.4 やや減少した	38.0 変わらない		
2.9 やや増加した	0.8 大幅に増加した	2.8 わからない	na	0.3
⑨ 外食				
42.9 大いに減少した	27.5 やや減少した	24.9 変わらない		
0.9 やや増加した	0.5 大幅に増加した	2.8 わからない	na	0.5

生活面でのコロナの影響について

問4 コロナ禍で、昨年と比べた場合、収入の増減はどうですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

3.7 大幅に減少した	11.1 やや減少した	83.1 変わらない		
0.5 やや増加した)	0.0 大幅に増加した	1.6 わからない	na	0.0

問5 コロナ禍で困ったことや、現在、困っていることなどについて、当てはまるものすべてに

○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------------|
| 4.2 収入の減少（失業や経営不振などによる） | 10.3 支出の増加 |
| 3.7 働き方の変化による負担 | 1.9 働き口がない |
| 9.4 体調不良・健康状態の悪化 | 3.9 医療が思うように受けられない |
| 6.3 感染状況や感染防止対策などの情報が得られない | |
| 4.0 介護の負担増 | 1.9 子育ての負担増 |
| 3.0 学習機会の確保・学力の低下 | 45.0 スポーツや文化活動の機会減少 |
| 64.6 外出制限による交流の機会減少 | 50.4 外出時の感染リスク |
| 5.2 その他（_____） | |
| 14.1 特に困っていることはない | na 0.0 |

問6 コロナ禍で時間が増えたものについて、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 45.6 TVの視聴時間 | 11.7 PCによるインターネットの利用時間 |
| 22.7 スマホなどのモバイル端末によるインターネットの利用時間 | |
| 1.0 情報を「発信する」時間 | 15.2 情報を「収集する」時間 |
| 11.6 YouTubeの視聴時間 | 5.5 情報配信サービスの視聴時間 |
| 4.7 映画鑑賞の時間 | 4.9 音楽鑑賞の時間 |
| 14.4 読書の時間 | 8.3 「屋内」で健康維持・増進のための運動時間 |
| 7.6 「屋外」で健康維持・増進のための運動時間 | |
| 10.2 料理の時間 | 9.8 趣味の時間 |
| 12.8 生活を共にする家族とのコミュニケーションの時間 | |
| 8.7 離れた家族とのコミュニケーションの時間 | |
| 4.2 家族以外とのコミュニケーションの時間 | |
| 3.9 その他（_____） | |
| 27.7 特に時間が増えたものはない | na 0.0 |

問7 コロナ禍で新たに生活に取り入れたこと、やってみたことについて、当てはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|------------------------|
| 23.4 室内での健康維持・増進策 | 14.7 屋外での運動 |
| 8.9 スマートフォンでの新たなアプリ利用 | 2.3 積極的な情報「発信」 |
| 15.4 積極的な情報「収集」 | 2.4 今まで使っていなかったデバイスの利用 |
| 6.0 PCやスマートフォン、タブレット端末などでのゲーム | |
| 2.1 ゲーム機でのゲーム | 3.9 動画配信サービスの視聴 |
| 9.9 新しい趣味 | 1.5 オンライン飲み会 |
| 4.3 その他（_____） | |
| 46.9 生活に新たにに取り入れたことなどはない | na 0.1 |

意識面でのコロナの影響について

問 8 仕事の重要性に関する意識に影響はありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

13.5 仕事の重要性をより意識するようになった

10.2 仕事以外の重要性をより意識するようになった

35.6 変わらない

40.7 わからない・仕事をしていない na 0.0

問 9 社会とのつながりの重要性に関する意識に影響はありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

43.3 社会とのつながりの重要性をより意識するようになった

5.5 社会とのつながり以外の重要性をより意識するようになった

41.7 変わらない

9.3 わからない na 0.1

※「社会とのつながり」とは、地域の集まりや学校・会社などを通じた他者との交流や助け合い・支え合いなどのことをいいます。

問 10 ワーク・ライフ・バランスに対する意識に影響はありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

17.6 生活を重視するように変化

1.6 仕事を重視するように変化

45.6 変わらない

35.1 わからない・仕事をしていない na 0.0

※ ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事」と「生活（プライベート）」とのバランスのことで、仕事とプライベートの両方を充実させる働き方・生き方のことです。

健康面でのコロナの影響について

問 11 現在の健康状態について、次の①から⑧について、項目ごとに当てはまるもの1つに○をつけてください。

① コロナ禍前と比べてみて、今の健康状態はどうですか。

1.0 とてもよくなった 3.7 まあよくなった 78.3 変わらない

13.7 まあわるくなった 3.3 わるくなった na 0.0

② 食生活では1日3食、規則正しく食べていますか。

68.6 しっかり食べている 27.2 まあ食べている 2.9 あまり食べていない
1.0 食べていない 0.1 わからない na 0.1

③ 以前は楽にできていたことを今ではおっくうに感じることはありませんか。

36.6 ある 56.9 ない 6.3 わからない na 0.1

↓

④ 上記③で「1. ある」に○をした方にお伺いします。具体的にはどういことがおっくうに感じていますか。

n=291 5.2 1日3食の規則正しい食事を取ること 43.0 外出すること
19.9 人と会うこと 17.2 運動すること
14.8 その他 () na 0.0

⑤ 体調が不良の時に相談する相手はいますか。

69.1 家族 22.8 かかりつけ医 3.7 友人
1.6 施設等の職員 1.3 相談する人がいない
1.3 その他 () na 0.3

⑥ 日頃、健康のため運動を行っていますか。

53.8 行っている → ⑦にご回答ください
46.1 特に行っていない → ⑧にご回答ください na 0.1

⑦ 上記⑥で「1. 行っている」に○をした方にお伺いします。具体的にはどういう運動を行っていますか。(複数回答可)

n=427 55.7 散歩やウォーキング 41.5 体操やストレッチ
15.9 筋力トレーニングやスクワット 1.6 ジョギングやランニング
19.7 その他 () na 0.0

⑧ ⑥で「2. 特に行っていない」に○をした方にお伺いします。外出自粛などがある中で、身体の不調などの影響はありますか。

n=366 26.0 身体に不調を感じるようになった → ⑨にご回答ください
14.5 身体的な不調はない }
57.4 特に変わらない } → 問 12 にご回答ください
2.2 わからない na 0.0

⑨ 上記⑧で「1. 身体に不調を感じるようになった」に○をした方にお伺いします。具体的にはどのような不調を感じるようになりましたか。(複数回答可)

n=95 45.3 膝の痛み 51.6 腰痛
 52.6 目の疲れ 35.8 肩こり
 31.6 不眠・睡眠不足 26.3 姿勢が悪くなった
 21.1 むくみ・冷え 18.9 めまい・しびれ
 10.5 動悸・息苦しさ 10.5 血圧の上昇
 6.3 食欲不振
 11.6 その他 () ns 0.0

コロナ禍における今後の日常生活について

問 12 新型コロナウイルス感染症による生活の変化は、どの程度残ると考えますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

12.2 変化は一時的で、大体元に戻る
 42.8 変化した状態が続く部分も、元に戻る部分も両方ある
 17.1 変化した状態が概ね続く
 8.2 変化した状態が続き、元の状態には戻らない
 7.8 変化していない
 11.7 わからない ns 0.1

問 13 新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続いた場合、「心配と感ずること」を3つまで選んで○をつけてください。

13.2 収入の減少 9.6 支出の増加
 3.5 失業（就業先の経営不振） 2.1 休業（無給）
 6.9 働き方の変化による負担 2.4 就職・転職活動
 41.2 心身の健康悪化 1.4 進級・進学
 2.6 学習の機会減少 1.4 学力の低下
 1.0 子どもの預け先確保 2.5 子育ての負担増
 10.2 介護の負担増 52.1 地域活動の停滞
 41.7 スポーツや文化活動の機会減少 52.0 外出時の感染リスク
 2.5 その他 ()
 7.2 特になし ns 0.1

行政機関等に望む対策・取り組みなどについて

問 14 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、支援策として行政機関等において実施してほしいと考える施策を3つまで選んで○をつけてください。

74.2 安定した医療体制の確保

47.7 感染防止対策の充実

36.6 感染の状況や感染防止対策などの情報発信

16.9 打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援

11.6 小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策

13.1 子育て世代への経済的支援、保育所・幼稚園などの感染防止対策

3.7 商業施設・商店などの消費喚起

6.0 大学生など若者世代への支援

34.8 高齢者の生活支援

6.2 雇用対策、労働環境の改善

3.7 テレワークなど新しい働き方への対応

8.1 スポーツや文化活動への支援

19.0 市・町・村民活動、地域活動への支援

1.5 その他

na 0.1

問 15 そのほか、新型コロナウイルス感染症に関するご意見などがありましたなら、お聞かせください。（200字程度まで）

調査はこれで、全て終了です。

お忙しい中、ご協力いただきまして、ありがとうございました。